



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	こがねむしニ關スル研究報告(第二) : 我國ニ産スルこがねむし及ビ其分布(圖版第一乃至第七)
Author(s)	新島, 善直; Niijima, Yoshinao; 木下, 榮次郎 他
Citation	北海道帝國大學農學部演習林研究報告, 2(2), 1-253
Issue Date	1923-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/20607
Type	departmental bulletin paper
File Information	2(2)_P1-253.pdf



演習林研究報告第二卷第二號

こがねむしニ關スル研究報告(第二)

我國ニ産スルこがねむし及ビ其分布

(圖版第一乃至第七)

林學博士 新 島 善 直

林學士 木 下 榮 次 郎

Die Untersuchungen über japanische
Melolonthiden II.

Melolonthiden Japans und ihre Verbreitung.

(Taf. I.-VII.)

von

Prof. Yoshinao Nijima

und

Assist.-Prof. Eijiro Kinoshita.

第一節 緒 言

大正六年本演習林報告ニ於テこがねむしノ被害及ビ驅除ニ關スル研究報告(第一)ヲ公ニシテヨリ以來更ニ今日ニ至ルマデ之ガ研究ヲ進メツツアリ。茲ニ第二回ノ報告ヲ公ニスルニ當リ之ガ表題ヲ改ムルノ必要ヲ認メ「こがねむしニ關スル研究」トナセリ。

本回ノ報告ハ我國全部ニ産スルこがねむしノ種類ヲ分類シ各個ノ昆蟲學上ノ性質ヲ記載シ更ニ其識別點ヲ明カニシテ主トシテ林業家ノ實

(2)

用ニ供セシメ且ツ各種ノ分布區域ヲ確カメシコトヲ期セリ。

前報告ニ於テコガねむしノ分布ト被害狀況ヲ定ムル目的ヲ以テ各地ヨリ一定ノ様式ニヨレル報告ヲ得之レニヨリテ各種ノ產地ヲ掲記セリ。然ルニ予等ハ研究ヲ進ムルニ及ビコガねむしノ種類ヲ確實ニ定ムルコトノ甚ダ困難ナルヲ認メタリ。從テ前ニ各地ヨリ得タル報知ノコガねむし類ハ其和名及ビ學名ニ於テ如何ナル度マデ確實ナルヤヲ保ス能ハザルナリ。故ニ予等ハ先ヅ根本的ニ各種ノ分類上ノ性質ヲ研究シテ之ヲ發表シ林業家ヲシテ確實ニ種類ヲ檢知シ然ル後各種ノ被害狀況ヲ觀察報告セシムルノ急ナルヲ感ゼリ。茲ニ於テ之ガ研究ノ方法トシテ更ニ各地ヨリ材料ノ送附ヲ求メタリ。即チ大正十一年七月内地ハ勿論朝鮮臺灣樺太ニ亘リテ森林關係ノ官署學校等ニ書狀ヲ發シタルモノ凡ソ二百通而シテ今日ニ至リ之ニ由リテ標本ノ送附ヲ得タルモノ下記ノ如シ。但シ括弧内ハ採取者或ハ寄送者ナリ。

樺太

北樺太(今田敬一)

南樺太(江崎梯三)

北海道

千島國(沙那營林區分署)(原田眞幸)

天鹽國(天鹽營林區分署)(帝室林野管理局名寄出張所)

根室國(根室營林區分署)

日高國(安川杵太郎)

膽振國(室蘭營林區分署)(北海道帝國大學演習林派出所)(富本豐)(帝室林野管理局漁保護區員駐在所)

渡島國(函館營林區分署)

本州

青森縣(青森小林區署)(相内小林區署)(鱒ヶ澤小林區署)(大鰐小林區署)(野邊地小林區署)(三本木小林區署)(喜良市小林區署)

巖手縣(盛岡小林區署)

宮城縣(白石小林區署)(林業試驗場仙臺支場)(和田周造)

秋田縣(毛馬内小林區署)(大館小林區署)(上小阿仁小林區署)(荷上揚小林區署)(能代小林區署)(本莊小林區署)(角館小林區署)(生保内小林區署)

山形縣(酒田小林區署)(鶴岡小林區署)(寒河江小林區署)(小國小林區署)

福島縣(棚倉小林區署)(福島小林區署)(原町小林區署)(浪江小林區署)
 茨城縣(大子小林區署)(高萩小林區署)
 群馬縣(大間々小林區署)(高崎小林區署)
 栃木縣(帝室林野管理局宇都宮出張所)(今市小林區署)
 新潟縣(新發田小林區署)
 埼玉縣(秩父農林學校)
 東京府(西島歲峯)(平山修次郎)
 千葉縣(久留里小林區署)
 神奈川縣(帝室林野管理局大磯出張所)(帝室林野管理局沼津出張所)
 靜岡縣(帝室林野管理局氣田出張所)(帝室林野管理局天城出張所)
 長野縣(長野小林區署)(上田小林區署)(白田小林區署)(帝室林野管理局飯田
 出張所)(帝室林野管理局三殿出張所)
 愛知縣(東加茂郡造林事務所)(帝室林野管理局豐橋出張所)
 岐阜縣(岐阜公有林野官行造林署)(帝室林野官理局下呂出張所)
 三重縣(龜山小林區署)
 京都府(京都公有林野官行造林署)(京都小林區署)(井上乙五郎)(鈴木元次郎)
 岡山縣(岡精二)(岡崎俊太郎)(守屋嚴三郎)
 鳥取縣(鳥取公有林野官行造林署)
 山口縣(山口公有林野官行造林署)(蝶野勝四郎)
 廣島縣(廣島小林區署)(廣島縣官行造林可部苗圃)

四國

高知縣(高知大林區署)(安藝小林區署)(須崎小林區署)(窪川小林區署)(大槌
 小林區署)(本山小林區署)(宿毛小林區署)(竹內護文)

九州

佐賀縣(佐賀小林區署)(佐賀公有林野官行造林署)
 長崎縣(對馬小林區署)
 熊本縣(人吉小林區署)(多良木小林區署)(球磨農學校)(林業試驗場熊本支場)
 宮崎縣(延岡小林區署)(都城小林區署)(宮城小林區署)(齋藤虎三郎)
 鹿兒島縣(鹿兒島大林區署)(大根占小林區署)(鹿兒島小林區署)(鹿屋農學校)
 (鹿屋小林區署)(出水小林區署)(山野小林區署)(川內小林區署)

臺灣

臺北(高橋良一) 臺中(北海道帝國大學演習林派出所) 臺南(石田昌人)

朝鮮

江原(高橋廣平) 惠山鎮(齋藤良秀) 各地(內田登一)

琉球

(鈴木元次郎)(平山修次郎)

(4)

之等ノ各地ヨリ得タル標本數ハ甚ダ區々ニシテ多キハ一種ニシテ二百ヲ超ヘタルモノアリ。或ハ唯一個ヲ得タルモノアリ。我内地ノ種類ハ比較的多數ニ達シ既ニ記載セラレタル種類ノ大部ヲ充タシ得タルモ朝鮮樺太臺灣ノ各地ヨリハ少クシテ研究材料尙ホ甚ダ欠乏シタルモノアリ。

更ニ他方ニ於テ研究上必要ナル文獻ノ蒐集ニ務メ千八百年代ニ於ケル Motschulsky, Waterhouse, Hope, Lewis, Blanchard, Pates, Kolbe, Reitter 等ノ記載ノ外 Arrow, Moser, Ohaus, Brenske, Bourgoin 等ノ諸氏ノ記載セルモノニ及ベリ然レドモ多數ノ雜誌ニ散存セル論文ニ掲グラレタル全部ノ原記載ヲ得ルコトハ甚ダ困難ニシテ或ハ松村博士ノ手記セル所ノモノニ由リ或ハ江崎梯三氏ヲ煩ハシテ東京帝國大學ノ藏書ヨリ書寫セルモノアリテ略ボ各種ノ記載ヲ知ルヲ得タリ。

標本ノ研究ニ當リテ最モ本邦ノ學者ノ苦痛トスル處ハ基準標本ヲ見ル能ハザルコトナリ。我等ハ唯記載ニヨリテノミ種類ヲ判定セザル可ラズ。然ルニ動物ノ色彩形狀或ハ斑紋ノ狀態ノ如キ文字ヲ以テシテハ明カニ表シ難キモノ甚ダ多シ。又學者ニヨリ記載ノ要點同ジカラザルモノアリ。予等ハ忠實ニ記載ニヨリテ標本ヲ調査シ或ハ甲乙相比較シ誤リナキヲ務メタリ。然モ尙ホ燃犀ノ明ヲ得ザルモノナキニアラズ。殊ニ標本數ノ少ナキ者ニ於テ然リトス。予等ハ予等ノ得タル材料ト智識ニ於テ最良ヲ盡シタルモ更ニ今後多數ノ標本トコがねむし生態ノ研究ヲ進メ又幸ニ基準標本ヲ見ルヲ得バ之ガ訂正ヲナスベキモノアルヤヲ期セザルナリ。

本報告第一ニ於テ掲記セルコがねむし類ノ和名學名ニ於テ訂正ヲ要スベキ者ニ至リテハ蓋シ少ナシトセズ。之等ハ各種ノ記載ニ當リテ記述セントスルモノナリ。

予等ハ本論文ノ要點ト新種ノ記載ヲ獨逸文ヲ以テ附記スルコト、セリ。之レ研究ノ結果ヲ廣ク學界ニ發表スベキ形式トシテ必要ナルヲ以テナリ。然レドモ各種ノ識別ト形體上ノ記載ニ至リテハ專問昆蟲學者以外ト雖モ容易ニ理解シ得ベキニカラ用ヒタリ。唯分類上缺ク可ラザル者ニ至リテハ殊ニ專問學上ノ觀察點ヲ掲ゲタリ。例セバすじこがねノ類ニ對

シテ雄交尾器ノ構造ヲ示セル如シ。

こがねむしノ生態ト林業上ノ關係ニ到リテハ予等又研究ヲ進メツ、アリ之等ハ本報告ノ後續トシテ發表セラル、時アルヲ希フモノナリ。故ニ本報告ニハ既知ノ事實ト雖モ全ク林業上ノ關係ヲ除外セリ。

尙ホ新種トシテ記載セルモノ、内新島及松村ノ名ヲ以テセルモノハ松村博士ノ蒐集標本ニシテ同氏ガ新種ト認メタルモ未ダ發表スルニ至ラザリシ種類ナリ。之ヲ今回共同研究ニヨリ本報告ニ於ケル發表ニ加ヘタルモノナリ。

本報告ヲ發表スルニ當リ多數ノ材料ヲ寄贈セラレタル各地ノ諸賢ニ對シ謝意ヲ表シ殊ニ貴重ナル採集材料ヲ提供セラレタル矢野宗幹、桑山覺、高橋良一、江崎悌三ノ諸氏ニ對シ其好意ヲ謝シ又本大學教授松村松年氏ノ好意ニ由リ其公私有ノ文献ト豊富ナル標本トヲ自由ニ使用シ研究ヲナシ得タルコトヲ深謝スルモノナリ。

1. こがねむし識別上ノ要點

こがねむし類ノ形態ニ就テ之ガ識別上ノ要點タルベキ外部ノ性質ヲ掲記シ且ツ予等ガ採用シタル用語ノ説明ヲ試ミントス。

こがねむし類ノ頭部ハ後頭前頭及ビ頭楯ノ區別ヲナシ得ベク頭楯(Clypeus)ハヨク發達スルヲ常トシ種類ニ由リ著シキ奇形ヲ呈スルコトアリ。眼縁ノ前角部ハ隆起シ時トシテ著シキ状態ヲナス。即チ後方ニ伸長シ或ハ全ク眼ヲ上下ノ部分ニ中斷スルモノアリ。或ハ前方頭楯ト側方ニ連結ス。口器ハ其食物ニヨリ形質ヲ異ニス。即チだいこくこがね Coprinae 及ビはなむぐり Cetoniinae ノ如キハ其上顯柔軟ニシテ嚙嚼ニ適セズ。然レドモ他ノ種類ニテハ大形ニシテ堅硬ナリ。下顯ハ又鋭クシテ嚙ムニ適スルモ屢々其部ニ毛群ヲ具ヘ以テ固形或ハ液狀ノ食物ヲ攝取スルノ用ヲナス。下顯鬚ハ四節下唇鬚ハ三節ヨリ成リ共ニ短カクシテ簡單ナリ。舌ハこがねむし類ニテハ一般ニ小形ニシテ肉質ナリ。

頭部ノ附器中著シキハ觸角ニシテ普通十節ヨリ成リ其先端ノ三節或

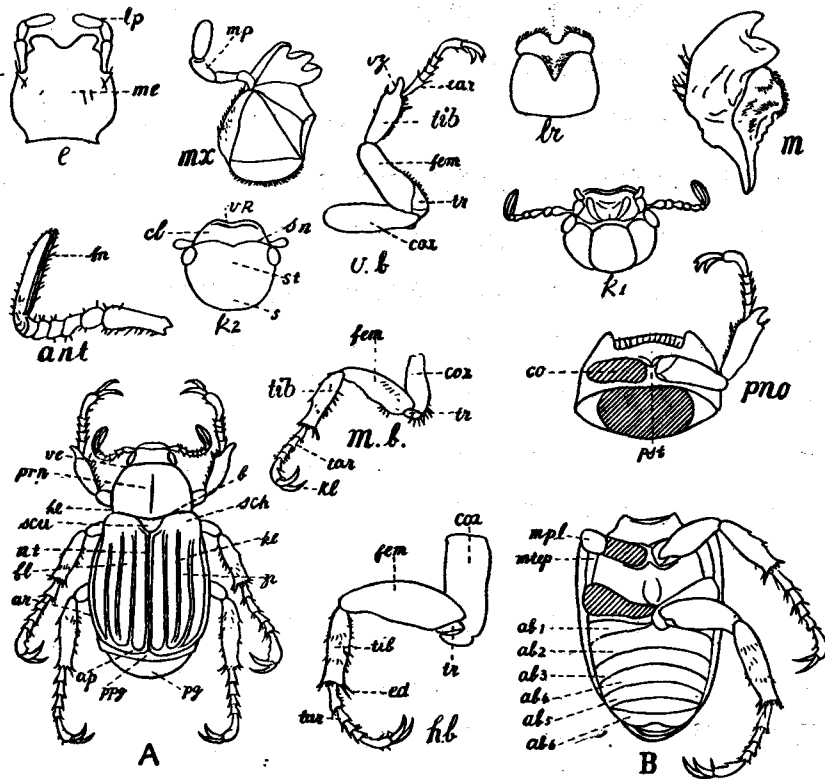
ハ種類ニヨリ三節以上ノモノ扁平ニシテ扇狀ニ開閉ス。其接合スル面ニハ感覺ノ用ヲナス小點及ビ毛ヲ有シ甲蟲ガ飛ビ又ハ運動スルトキニハ此片狀部ヲ開キ休止ノ時ハ閉合ス。基部ノ第一節ハ普通他ノモノヨリ大形ニシテ第二節ハ略ボ球形ナリ。之ト片狀節トノ間ノモノハ小形ニシテ或ハ其一ニヲ缺ク。觸角ノ位置ハ眼ヨリ離ル、モノ或ハ眼ノ前方ニ接シテ存スルモノ或ハ眼上ニ向ヘル突起部ノ下ニ位スルコトアリ。觸角ノ發達ハ雌雄ニ由リ異ナルモノアリ即チ此ノ如キ種類ニテハ雄ニ於テヨク發達シ片狀節ノ形狀大ナルカ或ハ節數多キヲ見ル。

前胸部ノ背片(Pronotum)即胸背板ハ其形狀多樣ナルモノ前方ニ狹窄スルモノ多シ。其前縁ハ單ニ縁取ラル、モノ或ハ短毛列ヲ有スルモノ或ハすじこがね屬ノ多クノ如ク細膜ヲ存スルモノアリ。後縁ハ直線狀ナルモノ弧線ヲナスモノ或ハ中央ニテ矢筈形ヲナスモノアリ。中胸部ノ腹片ハ種類ニ由リ特殊ノ形狀ヲナス。即チはなむぐりノ或者ノ如ク扁平或ハ圓筒狀ノ突起ヲナスアリこふきこがねノ如ク圓錐形ニ突出スルモノアリ。

脚ノ形狀ハ其種類又多クシテ跗節ハ四或ハ三節ノミナル僅少ナル例外アルモノ我國産ノ者ハ殆ンド皆五節ナリ。脚端ノ爪ハ地上ニ生活スル種類ニテハ左右相稱ニシテ簡單ナルヲ常トスルモノ樹上ニ棲息スルモノニハ種々ノ變化アリ。後者ニハ單ニ鈎狀ノモノ種々ノ形ノ齒ヲ有スルモノ自由ニ動カシ得ルモノ全ク動ク能ハザルモノ兩爪形ヲ異ニセルモノ單ニ一爪ノミノモノ等アリ。殊ニ雄ノ前脚ニアルモノハ變化多シ。脛節ノ形狀ハ種類ニヨル變化少ナク多クハ土ヲ穿ツニ適スル形狀ヲナス。前脛節ノ外縁ニハ齒狀ノ突起ヲ存スルヲ常トス。然レドモ雄ニアリテハ之ヲ缺キ或ハ變化セルモノアリ。又前脛節ノ先端ニ近ク一個後脛節ノ先端ニだいこくこがねノ外ハ皆二個ノ刺棘ヲ有ス。後者ヲ特ニ端棘ト名ク。基節ハ大形ニシテ前脚ニテハ大多數後脚ニテハ皆體ノ中央線ニ於テ相接ス。

稜狀板ハ一般ニ小形ニシテ三角形ヲナシ露出セラル、ヲ常トスルモはなむぐりノ或屬ノ如ク其一部或ハ大部ガ胸背板ノ後縁ノ伸長ニヨリテ被覆セラル、モノアリ。

翅鞘ハ多クハ其面ニ點列或ハ縱隆線ヲ有ス。前者ハ點刻ニ由レル縱線ニシテ多クハ多少凹陷ス。其間ヲ中間帶ト名ケ少シク隆起スルヲ常トス。後者ハすじこがね類ニ多キモノニシテ縱ニ隆起セル線條ナリ其間ヲ間室ト名ク。肩部ニ瘤狀隆起アルコト最多クかなぶん類ハ肩ノ下ニテ縁部凹入ス。外國種ノ或者ハ其雌蟲後翅ヲ缺キ飛力ヲ有セザル者アル。モ我國ノ種類ハ皆其後翅ヲ具フ。



第一圖

おほすじこがね(Anomala costata Hope. 合)ノ解剖

- A. 背面(上面) B. 腹面(下面) pno. 前胸部 k₁, 頭部腹面 k₂, 頭部背面 lr. 上唇
 m. 上顎 mx. 下顎 l. 下唇 ant. 觸角 v.b. 前脚 m.b. 中脚 hb. 後脚
 prn. 胸背板 ve. 前緣角 he. 後緣角 b. 後緣(胸背板基部) scu. 稜狀板 fl. 翅鞘
 sch. 肩 ar. 翅鞘外緣 ap. 先端部 nt. 會合線 kl. 縱隆線 zr. 中間室(中間帶)
 pg. 尾節板 ppg. 尾節ノ前節 mpl. 中胸側板 mtep. 後胸側板 ab₁—ab₆. 第一乃至六
 腹節 pst. 前胸腹板 co. 基節附着部 s. 後頭 st. 前頭(額) sn. 會線 cl. 頭帽
 vr. 前緣 mp. 下顎鬚 lp. 下唇鬚 me. 下鬚基部 fn. 片狀節 cox. 基節 tr. 轉節
 fem. 腿節 tib. 脛節 tar. 跗節 kl. 爪 ed. 端棘 vz. 脛節ノ外齒

腹部ノ末端ノ一節ヲ尾節ト稱シ其背片ヲ尾節板(Pygidium)ト云フ。尾節板ハ一般ニ翅鞘ノ外ニ現ハレ種類ニ由リ其形狀點刻等ヲ異ニス。腹部ノ環節ハ腹面即チ下面ニ於テ六節ヲ認ムルヲ常トス。然レドモ種類ニ由リテハ此全部ヲ見ル能ハザルモノアリ。氣門ハ胸部ニ二對腹部ニ七對ヲ存ス。此ノ腹部ノモノハ兩側ノ膜質部ニ存スルモノトさらん質上ニ開クモノトアリ。

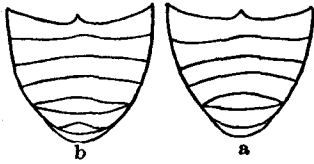
こがねむし類ノ解説ニ當リ我等ノ用ヒタル各部ノ名稱ヲ第一圖ヲ以テ圖示シ之ガ説明ヲ省略セントス。

次ニこがねむし類ノ識別上必要ナルハ其雌雄ノ別ナリトス。かぶとむしノ如ク雄ガ著シク大ナル角狀突起ヲ有シ雌ノ全ク之ヲ缺クノ例ハ普通ノこがねむし類ニ於テ見ル能ハザル處ナリ。唯はなむぐり中ノつのかなぶん屬 *Trigonophorus* ノモノニテ頭部ニ角狀突起アリテ雌雄稍ヤ其形狀ヲ異ニスルモノアリ。兩性ノ區別ヲ屢々認メ得ベキハ其前脛節ナリ。之レ雌ハ必ズ其産卵ノタメ土中ニ穿入セザルベカラザルタメ前脛節ノ發達ヲ見ルモノナリ。即チ雌ハ其前脛節堅強ニシテ幅廣ク銳齒ヲ外縁ニ存スルヲ常トス。然レドモ兩性共ニ土中ニ穿入スル多クノ種類ニテハ其差違著シカラズ。體ノ上面ノ色又ハ點刻等ハ兩性相異ナルコト多シ。之レ雌ガ雄ヨリ顯著ニ認メラレザル爲メナルガ如シ。雄ノ色澤ガ雌ヨリ明カナルコト又光澤アルコト多シ。あしながこがね及ビひらたはなむぐりニハ雄ガ色澤強キ鱗毛ヲ有スルコトアリ。觸角ニヨリ雌雄ノ差ヲ認メ得ベキこぶきこがねノ如キモノアルハ既述セル如シ。すじこがね類ニテハ雄ノ爪ノ特ニ發達スル者アリ。之ハ前脚ノ内爪ニ限ラル、モノニシテ同時ニ爪ヲ有スル環節モ大形ヲナシ跗節ハ全體トシテ太ク短カキ形狀ヲ呈ス。

腹部ノ尾端ハ兩性ニ於テ明カナル差違ヲ示スモノ多シ。殊ニすじこがね屬ノモノハ最モ明カナル區別ヲ顯ハス。即チ雌ハ腹部ノ尾節ガ三角形或ハ半圓形ヲナシ中央ニ於テ最長ナルモ雄ハ其先端凹入シ滑カナル光澤アル膜狀物ニテ被覆セラル(第二圖)。之等ノ外體面ニ雌雄ニ由ル特殊ノ變化ヲ示スモノアリ例セバはなむぐりノ或者ハ其雄ノ腹面ニ縱淺溝部

ノ存スルアルガ如シ。

こがねむし類ノ種類ヲ定ムルニ當リテ最緊要ナルハ雄ノ交尾器 (Ge-



第 二 圖
すじこがね雌雄ノ腹部
a 雌 b 雄

nitalia) ノ構造ナリトス。即チ識別上必要ナルハ其硬キさちん質ノ外鞘ノミニシテ一般ニ上面ニ一雙ノ裂片 Paramera ヲ有シ下面ニモ又中庸ノ裂片アリテ屢々分枝ス。前者ヲ上鞘ト稱シ其先端ハ簡單ナルモノアルモ或ハ小ナル刺棘ヲ有シ或ハ上下ニ反

張ス。本邦産ノすじこがね類或ハはなむぐり類ニハ其色ヲ以テハ全然異種ト思考セラル可キ變化アルモ雄交尾器ノ構造ニ由リ其同一種ナルヲ認メ得ベク反對ニ殆ンド同一種ノ如ク類似セルモノモ之ニ由リテ明カニ異種トナスヲ得ベキモノアリ。但シ種類ニ由リ雄交尾器ノ構造ニ僅少ノ差違ヲ同一種ニ認ムルコトアリ アロー 氏ハ之ヲ地理的變化ニ歸セリ我國ノ種類ニテモ多少ノ差異ヲ見ルモ其ノ基礎的構造ヨリ考察シテ同一ナルヲ認ムルコト難カラザルナリ然レドモ雄交尾器ノ觀察ハ乾燥セル標本ニヨリテ研究シ得ルモノニテ一般的ノ實用ニハ直チニ適スルコト難シトス。

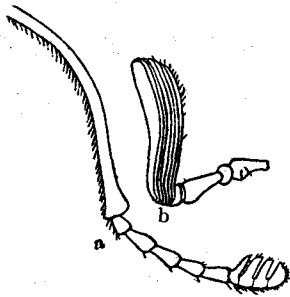
2. こがねむし科ノ分類

こがねむし科ノ分類ニ於テハ専門昆蟲學者間ニ説ヲ異ニシ種ハ勿論屬ニ於テモ意見ノ同一ナラザルモノアリ。例セバ ピラウド こがね亞科 Sericinae 中ノ屬ノ如キ ライター, ブレンスケ, モーゼル ノ諸氏ニ由リ相同ジカラザル者アリ。予等ハ最モ林業家ノ實用ニ適シ且ツ昆蟲學上至當ト思考セル分類法ヲ採用シテ各種ノ決定ヲナサンコトヲ期セリ。故ニ林業家ガ野外森林ニ於テ得タル標本ヲ擴大鏡ヲ用ユルノミニテ認メ得ベキ要點ヲ擧ゲタル索引表ヲ造リテ大體ノ識別ニ便シ更ニ各種ノ記載ニ因リテ種類ノ確定ヲ計ルモノナリ。唯止ヲ得ザル場合ニ於テノミ純昆蟲學上ノ特質ヲ擧グルコト、セリ。即チ前掲雄交尾器ノ構造ノ如キこがねむし

ノ各種ノ區別ニ必要ナリト雖モ特ニ之ニヨラザレバ確然タル區別ヲナシ得ザル種類ニ限リテ之ヲ掲記スルニ止メタリ。

こがねむし近似ノ甲蟲ハ片角類 Lamellicornia ナル一大部類ノ内ニ含まル、一科ニシテ片角類ノ觸角ノ構造ニ由リ次ノ二科ニ分タル。

I. 觸角肘狀ヲナス即チ基部ノ一節著シク長形ナリ。先端ノ數節薄片狀ヲナスコトナシ(第三圖 a) くはがたむし科 Lucanidae



第三圖

a くはがたむしノ觸角
b こふきこがねノ觸角

II. 觸角肘狀ヲナサズ。先端ノ數節薄片狀ヲナシ靜止ノトキ之ヲ相重疊ス(第三圖 b) こがねむし科 Scarabaeidae

こがねむし科ハ又ニニ大別セラル即チ次ノ如シ。

I. 觸角ノ先端節ノ全部或ハ少ナクトモ其前端ノ二節ガ光澤無ク霜狀白粉ノ附着シタル狀態ヲナス。

だいこくこがね類 Coprophagides

II. 觸角ノ先端節ハ他ノ節ノ如ク裸狀ナルカ或ハ僅カニ毛ヲ有ス光澤ヲ有シ霜狀白粉ノ附着セル狀態ヲナスコトナシ。

こがねむし類 Melolonthides

上記二類中だいこくこがね類ハ直接森林ニ關係ヲ有スルモノ殆ンド無キヲ以テ本報文ニ於テ記載セントスルモノハ唯こがねむし類ニ止マルモノトス。

こがねむし類 Melolonthides 中我國ニ存在スル者ニ就テ亞科ヲ定ムルコト次ノ如シ。

I₁ 胸背板ノ前縁平カニシテ上顎上面ヨリ見ルヲ得ズ。

II₁ 前脛節ノ内側ニ存スル可動ノ刺棘ハ先端ノ前部ニ存ス。其前端ニ跗節ヲ關接ス(第四圖 a)或ハ全ク刺棘ヲ缺クコトアリ。中及ビ後脚ノ脛節ハ先端鋭キ齒狀縁即チ掌狀ヲナサズ。

III₁ 兩爪發達シ同長ヲナス。

IV₁ 中後脚ノ脛節ノ端棘ハ内側ニアリテ相分離ス(第四圖 b)脛節ニ存スル跗節ノ容溝ハ端棘ノ中間ニ存ス。即チ跗節ハ最モヨク内方ニ動カシ易シ。形體小ナリ。
びろうどこがね亞科 Sericinae

IV₂ 中後脚ノ脛節ノ二端棘ハ其基部ニ於テ相接シテ脛節ノ先端縁ノ下部ニ存ス(第四圖 c)。跗節ノ容溝ハ端棘ノ前ニ存ス。其最モ動キ易キ方向ハ上方及ビ内方ナリ。
こふきこがね亞科 Melolonthinae

III₂ 爪ハ大サ不同ニシテ内部ノモノ屢々全ク消失ス(第四圖 d)。外部ノモノハ可動ナリ。

V₁ 後脛節ハ二ノ端棘ヲ有ス。其形狀こふきこがね亞科ト同ジ。胸背板ノ前縁ニ膜狀ノ狹縁アリ。體ニ毛ヲ有スルト然ラザルトアリ。

すじこがね亞科 Rutelinae

V₂ 後脛節ニ端棘ヲ有セズ(第四圖 e)。前脛節ノ内側又刺棘ナシ。胸背板ノ前縁膜狀縁ナシ。體ノ上面ニ鱗毛ヲ有ス。稀ニ毛ヲ具フ。

あしながこがね亞科 Hoplinae

II₂ 前脛節ノ内側ノ刺棘ハ跗節ノ附着部ノ後方ノ角ニ存ス(第四圖 f)。中後脚ノ脛節ノ先端縁ハ鋭キ齒狀即チ掌狀ヲナス。

VI₁ 翅鞘ノ側縁肩ノ後方ニ彎入セル部分ヲ有シ翅鞘ハ殆ンド閉ヂタル儘後翅ヲ此處ヨリ外ニ出シテ飛飄ス。胸背板ハ翅鞘ト淺ク接着ス(第四圖 g)。
はなむぐり亞科 Cetoniinae

VI₂ 翅鞘ノ側方彎入セズ。

VII₁ 後脚ノ基節廣ク相分離ス。第一跗節ハ著シク長形ナリ。

ひらたはなむぐり亞科 Valginae

VII₂ 後脚ノ基節ハ相接觸ス。第一跗節ハ第二跗節ヨリ短カキカ或ハ僅カニ長シ。

VIII₁ 尾節板著シク大形。後脛節ノ端棘ハ先端ニ存ス。

とらはなむぐり亞科 Trichinae

I₂ 前胸部ノ腹片ノ前縁ハ中央ニ於テ隆起シ又ハ角狀ヲナシ密ニ長毛ヲ生ス(第四圖 g)。上顎扁平ニシテ上反シ多クハ齒狀ヲナシ上面ヨリ見

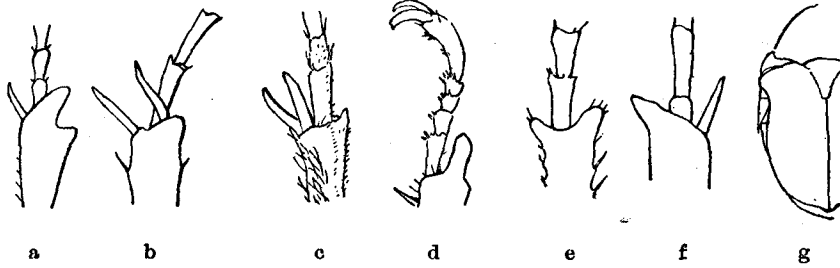
(12)

得ベシ。

かぶとびし亞科 *Dynastinae*

VIII. 尾節板普通ニシテ後脛節端棘ハ先端ヨリ少シク離レテ存ス。

ひげぶとはなむぐり亞科 *Glaphyrinae*



第 四 圖

- | | |
|------------------|--------------------|
| a. ひめびらうどこがねノ前脛節 | e. かばいゐあしながこがねノ後脛節 |
| b. 同 上 ノ後脛節 | f. かなぶんノ前脛節 |
| c. おほこふきこがねノ後脛節 | g. 同 上 ノ翅鞘 |
| d. おほすじこがねノ爪 | |

第二節 びらうどこな亜科

SERICINAE

上唇ハ頭楯ト癒着ス。後脚基節ハ大形ニシテ腹部ノ第一節ヲ被覆ス。頭楯ハ其他ノ體部ガ全ク光澤ナキ場合ト雖モ光澤ヲ有ス。世界ニ於ケルびらうどこなハ八十三屬ニ分タルモ我國ニ産スルモノハ唯六個ノ屬ノミナリ。其檢索表ヲ記スレバ次ノ如シ。

I₁ 觸角ノ片狀節ハ雌雄共ニ三節ナリ

II₁ 脚ノ後腿節及ビ殊ニ後脛節細狭ニシテ扁平ナラズ(第四圖b)

びらうどこな屬 *Serica*.

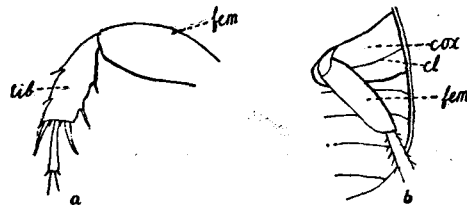
II₂ 後腿節及ビ殊ニ後脛節巾廣ク扁平ナリ(第五圖a)

あかびらうどこな屬 *Autoserica*.

I₂ 觸角ノ片狀節ハ雄四節雌三節ナリ。

III₁ 後基節ノ中央ニ横ノ凹線ヲ存ス(第五圖b)

ちやいろどこな屬 *Sericania*.



第 五 圖

a. あかびらうどこな後脚ノ脛節

b. ちやいろどこな後脚ノ基節

cox. 基節. fem. 腿節. tib. 脛節. cl. 後基節ノ横線

III₂ 後基節ニ横凹線ヲ欠ク。

IV₁ 胸背板ノ下面ニ於テ基部ニ沿ヒ前脛節ヲ横フル溝狀部ヲ有ス。胸背板ノ前縁角ハ突出スルコトナシ。雌ノ觸角ハ四節ナルコトアリ。

しまびらうどこな屬 *Gastroserica*.

IV₂ 胸背板ノ下面ニ横溝ナシ。

V₁ 後脛節ノ巾著シク廣ク中基節ノ間分離ス。體大ナリ。

ねをせりか屬 *Neoserica*.

V₂ 後脛節ノ巾狭ク中基節ノ間廣ク分離ス體小ナリ。

こびらうどこがね屬 *Microserica*.

ひろうどこがね屬

Serica M. Leay

觸角十及ビ九節片狀節雌雄共ニ三節ナリ。雄ノ片狀節ハ雌ヨリ短カキコト多キモ種類ニヨリ殆ンド區別シ難シ。前脚ノ脛節ハ二齒ヲ有シ爪ハ分岐ス。頭楯ハ長サヨリ幅廣ク胸背板ノ前緣角ハ稍ヤ突出ス。後腿節及ビ殊ニ後脛節ハ細シ。體ノ上面ハ光澤ナク一般ニ毛ヲ有セズ唯緣部其他ニ小數ノ刺毛ヲ存スルコトアリ光線ニヨリ絨毛狀光澤(びらうど様)ヲ呈ス。體色ハ褐、紅褐、黒褐等ニシテ我國ノ種類ニハ上面ニ斑紋ヲ有スルモノ少ナシ。體卵形又ハ楕圓形ニシテ幅及長サニ於テ多様ナリ。翅鞘ハ線條ヲ有シ中間帶ハ稍ヤ弓狀ニ隆起ス。眼ノ内緣ニ存スル刺毛點ハ明カナラザルヲ常トス。

我國ニ産スルびらうどこがね屬ノモノニシテ學名ヲ有スルモノ十種新ニ記載セルモノ一種アリ。其内二種ハ標本ヲ手ニスル能ハザルヲ以テ他ノ九種ニ對スル檢索表ヲ擧グレバ次ノ如シ。

I₁ 體長形。雄ノ觸角ノ片狀節長シ

II₁ 翅鞘ニ光澤ヲ有ス。

ひめちやいろこがね *S. grisea*.

II₂ 翅鞘ニ光澤ヲ有セズ。

III₁ 翅鞘ノ中間帶ニ黑色斑紋アリ。

IV₁ 黒斑散點狀ニ分離シ胸背板ニ細鱗毛アリ。

ひげちやいろこがね *S. boops*.

IV₂ 黒斑連絡スルコト多ク胸背板ニ細鱗毛ナシ。

からふとひげちやいろこがね *S. karofutoensis*, n. sp.

III₂ 胸背板ヨリ翅鞘一樣ニ黃褐色ヲナス。

かばいろこがね *S. similis*.

- I₂ 體圓味ヲ帶ビ光澤ナク多クハ絨毛狀ノ反射光ヲ有ス
 V₁ 翅鞘濃キ樺色ニシテ黑色ノ縁ヲ有ス。
 V₂ 體色一樣ナリ。 くろほしびらうどこがね *S. nigrovariata*.
 VI₁ 觸角九節ヨリ成リ前脛節 = 第三齒ノ痕跡ナシ、
 ひめびらうどこがね *S. salebrosa*.
 VI₂ 觸角十節ヨリ成ル。
 VII₁ 前脛節 = 第三齒ノ痕アリ。 びらうどこがね *S. orientalis*.
 VII₂ 前脛節 = 第三齒ノ痕跡ナシ。
 VIII₁ 形大ナラズ朝鮮産。 てうせんびらうどこがね *S. Motschulskyi*.
 VIII₂ 形大内地産 おほびらうどこがね *S. spissigrada*.

ひめちやいろこがね

異名はいいろびらうどこがね

Serica grisea Motschulsky.

Taf. III. fig. 1.

Bull. Mose. 1866, 1. p. 171.

Waterhouse. Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 101.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 392.

Brenske, Berl. Ent. Zeit. Uond. 1897, p. 424.

産地 Yokohama, Hiogo, Kiushiu (ろうま字ハ外國文献ノモノ。以下同ジ)

札幌、木曾、秋田、御嶽、青森、日光、上野(戸根)、近江(伊吹)

體長 7—9 幅 4—4.5 mm.

體形稍ヤ細長雌ハ暗黄褐雄ハ黑色ヲ帶ブ。金屬光澤アリ。體ノ上下面ニ淡褐ノ短毛ヲ多ク生ズ。

頭部黑色。頭楯ハ前部平カ其兩側角圓形ヲナス。密ニ細點刻ヲ有ス。前頭ハ中央ニ縦隆起線アリ粗ニ細點刻ヲ有シ少シク細毛アリ。

胸背板ハ細點ヲ平等ニ密布シ細短毛ヲ有ス。側縁ハ稍ヤ圓形ニテ僅少ノ長毛ヲ存ス。

翅鞘ハ明カニ縦線ヲ有シ又細短毛アリ不規則ナル點刻ヲ條線上及ビ

中間帯ニ存ス。中間帯ニハ刺毛ヲ散生ス刺毛ハ側縁及ビ先端ニ稍ヤ多シ。尾節板ハ圓味ヲ有シ細點ヲ密布ス。雌ニハ小隆起部アリ。

腹部ハ黒味ヲ帶ビ細點及ビ細毛ヲ有シ明カナル刺毛ヲ列狀ニ生スルコトナシ。びろうどこがね屬ノ多クノ雄ニテハ尾節板ノ先端ガ腹面ニ向フ爲ニ腹部ノ最端節ハ少ナクモ中央ニテ短縮セラレ、ノ觀ヲナスモ此ノ種ノミハ此ノ如キコトナシ。

後脚ノ腿節ハ扁平狀ヲナサズシテ先端ニ近ク狹細ス。又細點及ビ細毛ヲ存シ刺毛ヲ欠ク。後脛節ハ細ク粗ク搔傷ノ如キ點紋ヲ有ス。四ノ棘毛群アリ。端棘ハ第一跗節ノ凡四分ノ三ニ達ス。

基節ハ胸節ト共ニ光澤アリ剛毛ヲ有セズ。中基節ハ互ニ相分離ス。中腹板ハ後縁ニ明カナル一列ノ刺毛ヲ密生ス。脚ノ鈎爪ハ同大ニシテ内齒ハ外齒ヨリ短カキコトナシ。觸角ハ九節ニシテ雄ノ片狀節ハ甚長ク柄部ノ略ボ二倍ナリ。雌ハ柄部ヨリ短カシ。片狀節ノ色ハ雌雄共ニ黒色ナリ。

ひげちやいろこがね

異名ひげながちやいろこがね

Serica (*Ophthalmoserica*) *boops* Waterh.

Taf. III. fig. 4.

Waterhouse, Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 101. t. 3. f. 3.

Brenske, Berl. Ent. Zeit. XLII, 1897, p. 425.

産地 (兵庫) Mayasan

京都(花園)木曾(御嶽福島)日光清澄山,御殿場,信州(戸隠山)米澤十和田,
岩手,樺太,

體長6—8 幅3—4 mm.

觸角九節雄ノ片狀節三箇ハ柄部ノ二倍ノ長サヲ有ス雌甚小ニシテ柄部ヨリ短カシ。體形細長黃褐稀ニ黒褐色ニシテ光澤ナシ。

頭部黒色眼大形ニシテ突出ス頭楯ハ光澤アル褐色ヲナシ前縁ヨリ兩側ニ沿フテ縁狀隆起ヲ有ス。上面密ニ細點刻ヲ在ス。前頭ハ全ク光澤無ク

細點ヲ存シ僅カノ細毛ヲ具フ。

胸背板ハ不規則ナル細點ヲ有シ黄色ノ細鱗毛ヲ略ボ双對的ノ位置ニ生ズ。基部ニ近ク不判明ナル中央線アリ。兩側ハ前方ニ於テ稍ヤ狭ク前緣角ハ突出セズ。後緣角ハ略ボ直角ヲナス。

翅鞘ハ明カナル條線ヲ具ヘ線上ニハ不規則ニ密布セル細點ヲ有ス。中間帶ハ黑色ノ不規則ナル斑紋ヲ有シ短カキ細鱗毛ヲ散布ス。尾節板ハ細點ヲ有シ中央ニ縦ノ隆起線ヲ存ス。雌ニテハ圓ク隆起ス。

腹節ニハ細點ヲ有シ短細毛ト稍ヤ列狀ノ刺毛トヲ具フ。ひめちやいろこがねニ似ル。

後腿節ニハ密ナル點刻ヲ有シ光澤アリテ僅カノ毛ヲ有ス。明カナル列狀ノ刺毛ヲ有セズ。先端稍ヤ狭シ。外緣ノ刺毛群ハ弱ク後脛節ハ細長ニシテ内面ニ縦線狀ノ窪ミヲ存ス。端棘ハ第一跗節ノ半ナリ。前脛節ノ外齒ハ互ニ近ヅケリ。

ブレンスケ氏ハ此種ハ稀ナルモノトシテ記載セルモ調査セル標本ニ由ルトキハ九州ヨリ北海道ニ及ブラ知レリ。殊ニ北海道ニテハ初夏ニ出ル最モ普通種ナリ。

からふとひげちやいろこがね(新種)

Serica karafutoensis Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. III. fig. 5.

産地 樺太

體長 8—9.5 幅 5—6 mm.

體黒褐翅鞘上ニ不規則ナル黒斑アリ眼ハ突出ス。頭部黑色頭楯ハ前方ニ殆ンド狹窄セズ前緣上方ニ隆起シ表面ニ皺狀ノ點刻ヲ存シ淡褐色ノ毛ヲ生ズ。前頭光澤アルモ後頭部ハ光澤無シ。前頭ト頭楯ノ會線明カナリ。

胸背板ハ黑色ニシテ僅カニ兩側緣及ビ基部ニ於テ濃黃褐色ヲ呈ス。形短ク幅廣ク細點刻及ビ甚微細ナル淡色毛ヲ存ス。側緣ニ僅少ノ刺毛ヲ列生ス。

稜狀板ハ稍ヤ長形ニシテ鈍ク尖ル。微細ナル點ト毛ヲ有ス。翅鞘ハ濃黃褐ニシテ線條ニハ一列ノ細點アリ。中間帶ハ黑褐色ノ不規則ナル略ボ連續セル斑點ヲ有シ且ツ小數ノ細點刻ト短刺毛ヲ散生ス。側縁ニハ稍ヤ密ニ褐色刺毛ヲ存ス。

尾節板ハ黑褐ニシテ淡色ノ長毛ヲ生ズ。

觸角ハ九節ニシテ雄ノ片狀節甚長ク柄部ノ二倍アリ。雌ニテハ短カクシテ柄部ヨリ小ナリ。

後腿節ハ光澤アル僅少ノ褐色刺毛ヲ存ス。後脛節ノ外縁ノ刺群ハ甚ダ小ニシテ端棘ハ第一跗節ノ半ヨリ少シク長シ。

此種ハひげちやいろこがねニ最モヨク似ル。其區別點ハ後頭部ノ光澤ナキコト胸背板ニ細鱗毛ヲ欠クコト及ビ翅鞘ノ中間帶上ノ黑色斑紋密ナル等ナリ。

香港福州等ニ産スル *Serica nigrogutula* Brenske トハ彼ニ於テ翅鞘上ニ鱗毛ヲ有シ之ニ全ク無キトノ點ニ由リ區別シ得ベシ。今田氏ハ北樺太ニ於テ江崎氏ハ樺太南部ニ於テ採集セル外我國本土ニ於テ之ヲ得ズ。

かばいろこがね(新稱)

Serica similis Lewis

Taf. III. fig. 2.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 391.

Waterh., (*S. brunnea*) Trans. Ent. Soc. Lond, 1875, p. 101.

Brenske, Berl. Ent. Zeitschr. XLII, 1897, p. 427.

產地 Nagasaki, Hitoyoshi, Nikko, Wadatoge, Higo, Yokohama

鎗ヶ嶽下野

體長 8—9, 5 幅 4—5 mm.

體棒色或ハ黃褐色ニシテ全ク光澤ナク少シク突出セル眼ハ濃褐色ヲ帶ブ。體面ニ毛ヲ有セズ。

頭光澤アリ。頭楯前部少シク巾狭ク側縁ヨリ前縁ニ隆起ス。前頭濃褐光

澤アリ。形短カク細點ヲ散布ス。

胸背板短カク巾廣シ前縁ノ中央ハ前方ニ向テ少シク弧線狀ヲナシ前縁角ハ鈍キ突出角ヲナス。後縁角ハ略ボ直角ナリ上面ノ點刻ハ微細ニシテ縁毛ハ之ヲ缺ク。

稜狀板ハ長形ニシテ先端尖ル。

翅鞘條線ノ數多クシテ其點刻著シク細小ナリ。會合線ヨリ第二ノ中間帶ハ巾廣シ。側縁ニ短カキ刺毛ヲ列生ス。中間帶ノ中央線ハ殆ンド點ナシ。

觸角ハ九節ニシテ三箇ノ片狀節甚ダ長ク巾狭ク彎曲ス。

前脚ノ雄ノ鈎爪ノ分齒ハ内方ノ一爪ニ於テ巾廣シ後脛節ノ端棘ハ第一跗節ノ半以上ニ達ス。

ウオーターハウス氏ガ最モ歐洲ニ普通ナル *S. brunnea* トセルモノハ ブレンスケ氏ニ由ルニ全ク此種ナルガ如シ。唯其區別點トシテ ブレンスケノ舉ゲタルモノノ内異ナレルハ本學ノ標本ハ雄ノ前脚ノ鈎爪略ボ片狀ニ分齒セルモノアリ然レドモ他ノ特性ヨリ此種ニ加フルモノトス。

くろほしびろうどこがね(新稱)

Serica nigrovariata Lew.

Taf. III. fig. 3.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1805. p. 392,

Brenske, Berl. Ent. Zeitschr. XI, II, 1897. p. 425.

産地 Maebashi

信州(四阿山)

體長 9 幅 5 mm.

體稍ヤ長形ニシテ黑色光澤ナク、翅鞘濃キ樺色ニシテ暗色ノ細點ヲ散布ス。

頭楯ハ光澤ヲ有シ其ノ周縁少シク上方ニ彎曲シ前縁略ボ波狀ヲ呈ス。表面ニ粗點刻アリ。前頭ハ光澤ナク細點刻ヲ存シ眼ハひげちやいろこがねノ如ク突出スルコトナシ。

(20)

觸角濃褐ニシテ九節ナリ。片狀節ハ柄部ヨリ短カシ。

胸背板ハ前頭ト同ジク黑色ニテ細點ヲ有シ細淡黃毛ヲ散布ス。側縁ニハ褐色ノ細刺毛ヲ列生ス前縁角稍ヤ突出ス。

稜狀板ハ長三角形黑色ニシテ黃色細短毛ヲ散生ス。

翅鞘ハ濃キ棒色ヲナシテ會合線及ビ側縁ヨリ外縁ニ沿ヒ黑色ヲナス。明カナル條線ヲ存シ中間帶上ニ不規則ナル暗色ノ點斑ヲ散布シ又細短黃毛ヲ散生ス。脚ハ濃褐ニシテ前脛節ニハ二齒ヲ有シ後脛節ノ端棘ハ第一跗節ノ略二分ノ一ナリ。

本種ハレウキス氏ガ前橋ニテ採集セシ唯一箇ノ標本ニヨリテ記載セルモノナルガ又同地ニ近キ四阿山ニテ明治二十八年七月ニ採集セラレタル標本二個ニ於テ調査スルニ其特質記載ト同ジキヲ以テ茲ニ之ヲ加フルコトトセリ。蓋シ稀ナル種類ナルガ如シ。

ひめひろうどこがね(新稱)

Serica salebroza Brenske.

Taf. III. fig. 6.

Brenske, Berl. Ent. Zeitschr. XLII, 1897, p. 428.

Reitter, Wiener Ent. Zeitschr. XV, 1896, p. 178.

Best.-Tab. (50), 1902, p. 145.

產地 Yokohama, Hakone, Echizen, Kiushiu

石狩 (札幌, 錢函, 定山溪), 陸奥 (岩木山), 東京, 伊豫 (松山), 土佐
熊本, 臺灣, 大連, 金州

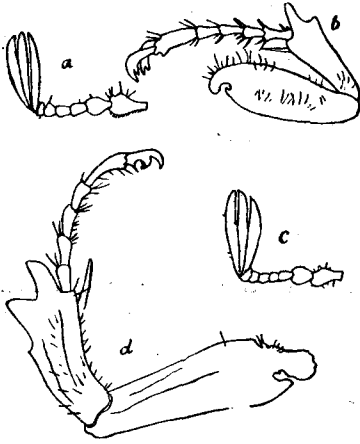
體長 6,5—9 幅 3,5—5,5 mm.

體黑色ヨリ黑褐色稀ニ褐色(成熟セザルモノ)光澤ナキモ光線ニヨリ絨毛様ノ光澤ヲ呈ス。

觸角ハ九節ニシテ片狀節三個ナリ。片狀節ハ雄少シク雌ヨリ長シ。

頭巾廣ク頭楯ハ光澤アリ前方ニ巾著シク狭シ。密ニ點刻ヲ有シ褐色毛アリ。前頭稍圓形ヲナス。粗點及ビ小數ノ褐色刺毛ヲ存ス。後頭平滑ナリ

胸背板ハ細短ノ淡色毛ヲ有スル粗點刻ヲ密布ス。中央ニ僅カニ窪メル



第六圖

- a ひめびろうどこがねノ觸角
 b 同 上 前脚
 c びろうどこがねノ觸角
 d 同 上 ノ前脚

縦線ヲ存ス。兩側縁ニ稍ヤ強キ褐色ノ刺毛ヲ列生ス。

稜狀板ハ楕形ヲナシ先端尖ラズ。細點ヲ具フ。

翅鞘ノ線條ニハ一列ノ細點ヲ存ス。中間帶上ニハ細點刻ヲ散布シ胸背板ノ如ク細短ノ淡色毛ヲ生ス。

尾節板ハ細點刻ヲ密布シ先端ニ近ク褐色毛ヲ存ス。

腹節ハ細點ヲ密布シ尾節前ノ者ニ稍ヤ明カナル一列狀ノ褐色毛ヲ有ス。胸部ニ近ヅク節ニ從ヒ點刻不明ナリ。

本種ハ最ヨクびろうどこがねニ似ルモ之ハ觸角九節ナルコト、前脛節ニ全ク第三齒ノ痕跡ヲ有セザル事トニ由リテ區別シ得ベシ(第六圖a,b)。

此種ハ最モ廣ク我國ニ分布セラレ又最モ普通ナル者ナリ。恐ラク現今マデびろうどこがねトシテ考ヘラレタルモノ、大多數ハ之ニ屬スルナルベシ。此種類ノ大サ色澤ニハ變化多ク北海道錢函ニ於テ採集セル多數ノ標本ハ形小(長サ6—9,5 巾 3,5—5 mm)ニシテ色ハ黃褐濃褐ヨリ黑色ニ及ビ光澤又著シク其度ヲ異ニセリ。愛媛縣松山ニテ採集ノ一標本又之ニ類スルモノアリ。他地方ヨリ送附ヲ得タル標本ハ殆ド皆黑色ナリ。蓋シ黃褐ヨリ褐色ノモノハ未ダ充分ニ成熟セザル成蟲ナルガ如シ。

びろうどこがね

Serica (Maladera) orientalis Mots.

Taf. III. fig. 8.

Motsch., Etud. Ent. 1857, p. 33.

Faism., Rev. d' Ent. 1898, p. 118.

Lewis., Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 395.

Reitt., Best.-Tab. (50) 1903, p. 145.

(蝶)

Brenake, Berl. Ent. Zeitschr. 1897, p. 427, u. 1902, p. 49.

産地 Yokohama, Hakone, Kioto, Nagasaki

函館, 輕川, 安房(清澄), 高知, 朝鮮(京城)

體長 9—10 幅 5—6 mm.

體光澤無ク黒褐種ニ褐色。觸角十節, 片狀節雌雄共ニ短シ。

頭部巾廣ク頭楯光澤アリ粗點刻ヲ密布ス。殆ンド毛ヲ有セズ。前頭略ボ平カニシテ細點ヲ存ス。僅少ノ刺毛ヲ散生ス。

胸背板ハ點刻稍ヤ粗兩側縁ニ甚ダ僅少ノ毛ヲ存ス。

翅鞘ハ多數ノ條線ヲ有シ線上ニハ一列ノ細點ヲ存ス。中間帶上ニハ同様ノ細點ヲ散布ス。

腹節ニ存スル褐色毛ハ明カナル一列ヲナサズ。

後基節ハ外縁小ナル刺毛點ヲ存ス。後腿節ハ光澤アリ。其ノ先方巾少ク狭ク外縁ニ沿ヒテ細カキ刺毛ヲ生ズル點列アリ。僅カノ長刺毛ヲ表面ニ生ズ。後脛節ハ扁平ナラザルモ前端稍ヤ巾廣シ。端棘ハ明カニ第一跗節ヨリ短カシ。前脛節ニハ外齒ノ外第三齒ノ痕跡ヲ有ス(第六圖d)。

此種ハ最モ普通ナルモノトシテ知ラレタル甲蟲ナルモ當林學教室ニ存スル標本ハ僅ニ九個(内五個ハ石狩國輕川産)ニシテ本年我國各地ヨリ寄送ヲ受ケタル多數ノ標本中一個ヲモ見ル能ハザリシハ採集時期ニモ關スルナランモ前種ノ如ク普通ナラザルコト明カナリトス。

てらせんひろらどこな(新稱)

Serica Motschulskyi Brenske

Taf. III. fig. 9.

Brenske, Berl. Ent. Zeitschr., 1897, p. 371.

産地 Korea.

京城

體長 9 幅 5,5 mm.

體黑色僅カニ褐色ヲ帶ブ。上面全ク光澤ナク唯腹面少シク光澤ヲ有ス。

觸角ハ拾節ニシテ其ノ片狀節雄ニ於テ長ク柄部ヨリ大ナリ。

頭楯巾廣ク前方ニ向ヒテ細狹シ前縁僅カニ彎曲ス。前頭ノ後方ニハ密ナル點刻ヲ有ス。絨毛狀ヲナサズ。

胸背板ハ巾廣ク細點刻ヲ散布シ後縁角ハ略ボ直角ヲナス。兩縁線ハ前部僅カニ弓狀ヲナス。

翅鞘ハ側縁ニ黃色刺毛ヲ存ス。條線ハ明カニシテ粗點刻ヲ有スルモ規則正シキ點刻ヲ有セズ。中間帶ノ中央ニ細點刻ヲ缺ク。

前脛節ニハ第三齒ノ痕跡ヲ缺ク。後脛節ハ特ニ巾廣キコト無ク略ボ一様ニ細點ヲ有ス。刺毛點弱シ。後脛節ハ著シク巾廣カラズ。二個ノ刺毛ヲ有ス。端棘ハ跗節ノ第一ト同長ナリ。

此種ハ最モヨクびろうどこがねニ似ル然モ後脛節ノ端刺ノ長キト雄ノ觸角片狀節ノ長キトニヨリ區別シ得ベシ。

おほひろうどこがね(新稱)

Serica spissigrada Bronske

Taf. III. fig. 7.

Bronske, Berl. Ent. Zeitschr. 1898, p. 430.

産地 Japan.

鹿兒島, 東京, 京城, 沖繩

體長 10 幅 5,5 mm.

體黑褐光澤ナシ。觸角十節。雄ノ片狀節ハ柄部ヨリ少シク長シ。

頭楯巾廣ク點刻ハ甚ダ密ナラズ。前縁平カナリ。前頭ハ短カク巾廣シ僅少ノ刺毛ヲ散布ス。

胸背板ハ側縁前方ニ僅カニ圓味ヲ有シ僅少ノ刺毛ヲ存ス。點刻ハ稍ヤ密ナルモ甚ダ淺シ。

翅鞘ハ條線部ニ密ナル細點ヲ有スルモ列狀ヲナサズ。中間帶ニモ細點ト甚ダ微細ナル殆ント注意シ得ザル毛ヲ散布ス。

後脛節ハ稍扁平ニシテ光澤ナク兩側ニ細キ刺毛ノ列ヲ存ス。後脛節ノ

先端ノ刺棘ハ跗節ノ第一ヨリ少シク長キカ略ボ同長ナリ。前脛節ニ第三齒ノ痕跡ヲ缺ク。

此種モ又びろうどこがねニ最ヨク似ル。形稍ヤ狭ク概シテ少シク大形前脛節ニ第三齒ノ跡ナク後脛節ノ刺棘長シテうせんびろうどこがねトハ唯其ノ記載ノミニテハ區別シ能ハザルモ此種ハ一般ニ彼ヨリ大形ナリ。

びろどうこがね屬ニテ標本ヲ檢定シ得ザルモノ次ノ二種アリ。

Serica famelica Brenske.

Berl. Ent. Zeitschr. 1897, p. 331.

産地 China, Formosa.

Serica formosana Moser.

Deutsch. Ent. Zeitschr. 1915, p. 333.

産地 Formosa (臺南)

あかびろうどこがね屬

Autoserica Brenske.

觸角十節甚ダ稀ニ九節ノコトアリ。片狀節ハ雌雄共ニ三節ナリ。前脛節ハ二齒ヲ有ス。後腿節及ビ脛節ハ巾廣ク扁平ナリ(第五圖a)。跗節ノ鈎爪ハ明カニ分枝ス。中基節ノ中間ハ腹面ニ於テ廣ク分離ス。Aserica Lew. (Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p.394) 中あかびろうどこがねヲ含ム種類ハ觸角ガ十個ノ節ヲ有スルモノナルガ其特性ヨリ本屬ニ入ルモノトス。又同屬ニ入レラレタルびろうどこがねハ脚ノ構造ヨリびろうどこがね屬ニ移スベキモノナルコト明カナリ。

此屬中我國ニ存在スルモノトシテ記載セラレタルモノ十種アリ。其内標本ヲ手ニスルヲ得タルモノ僅カニ四種ニシテ他ノ朝鮮及ビ臺灣産ノ種類ハ未ダ之ヲ見ルヲ得ズ。檢定セル四種ノ檢索表次ノ如シ。

I₁ 體長7mm.以下紅褐色ニシテ前脛節ノ齒ハ同大ナリ。

たいわんひめびろうどこがね *Aut. formosae*.

I₂ 體長 7 mm. 以上

II₁ 胸部(腹面)ノ中央ニ縦ノ窪メル縦線アリ。

ざうてるびろうどこがね *Aut. Saunteri*.

II₂ 胸部ニ縦凹線ヲ缺ク。

III₁ 頭楯ノ中央ニ少シク隆起セル縦線アリ前頭ニ僅少ノ毛ヲ有ス。

あかびろうどこがね *Aut. japonica*.

III₂ 頭楯ノ中央ニ小瘤狀部アリ前頭ニ毛ナシ。

まるがたびろうどこがね *Aut. secreta*.

まるがたびろうどこがね(新稱)

Autoserica secreta Brenske.

Taf. III. fig. 12.

Berl. Ent. Zeitschr. 1897, p. 341.

産地, Tsuruga, Nagahama, Fushiki, Shimonoseki, Kiushiu, Hagi, Hiogo, Yokohama.

東京

體長 8—11 幅 5—7 mm.

體紅褐暗褐ヨリ黒色ヲ帶ブ光澤ナク少シク絨毛光澤アリ。

頭楯ハ前縁ニ近ク淺キ横ノ窪ミアリテ其後ニ少シク瘤狀ニ隆起セル部アリ。此部分ハ雄ニ著シク雌ニ低シ。前頭ニ散在スル點刻ハ微細ニシテ殆ント點ナキガ如ク見ユ。眼ニ沿フテ僅カニ少數ノ刺毛ヲ存ス。

稜狀板ハ稍ヤ大形基部ノ巾廣シ。

翅鞘ノ線條ニハ不規則ニ密布セル細點ヲ有ス。中間帯ハ僅カノ細點刻アリテ恰モ點ナキガ如ク見ユ。尾節板ハ巾廣ク圓ミヲ有シ僅カニ細點ヲ存ス。

腹部ノ環節ニハ明カナル刺毛ノ列ヲ有ス。

後基節ノ後縁ヨリ外縁ニ刺毛ノ列ヲ存シ後腿節ハ巾廣ク光澤ナク僅少ノ刺毛ヲ存シ先端ノ縁ト外縁トガ略直角ヲナス。後脛節ハ巾廣ク其ノ

(8)

端棘ハ第一跗節ト略同長ナリ。

觸角拾節ニシテ片狀節ハ雄ハ柄部ト同長雌ハ少シク短カシ。

本種ハあかひろうどこがねヨリ大形ニシテ巾廣ク體稍ヤ圓味ヲ帶ブ。
甚シク多カラザルガ如シ本學ノ標本三個アリ。

あかひろうどこがね

異名とびいろびろうどこがね

Autoerica(*Maladera*) *japonica* Mots.

Taf. III. fig. 10.

Etud. Ent. 1860, p. 15.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 396.

Waterh., Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 102.

Reitter, Wien. Ent. Zeitschr. 1896, p. 187.

Reitter, Best.-Tab. (50). 1902, p. 144.

Brenske, Berl. Ent. Zeitschr. 1897, p. 432.

新島等, 演習林報告第五號 P. 11.

産地 Nagasaki, Hiogo, Yokohama

石狩,青森,秋田,米澤,仙臺,栃木,清澄,信州,東京,伊豆,加賀,岐阜,京都,土佐
高松,佐賀,熊本,宮崎,高鍋,鹿兒島,朝鮮,臺灣,

體長7—10 幅4—6 mm.

體楕圓形稍ヤ長形紅褐色ニシテ光澤無ク絨毛光澤ヲ有ス。

頭楕ノ前縁少シク窪ミ中央ニ縦隆起線アリ。前頭ニ明カナル毛ヲ有ス。

翅鞘上ノ線ハ明カニシテ各一列ノ細點刻ヲ有ス。中間帶ハ緩ニ高マリ
僅カノ散點刻アリ。尾節板ハ密ニ細點刻ヲ具ヘ先端ニ近ク少シク毛ヲ存
ス。

腹節ニハ明カナル一列ノ刺毛ヲ存ス。

後腿節光澤ナク一列ノ刺毛ヲ存ス。内縁ト外縁トハ直角ヲナサズ圓味
ヲ帶ブ。後脛節ハ滑カニシテ端棘ハ跗節ノ第一ト略ボ同長ナリ。後基節ノ
列狀刺毛ハ稍ヤ短小ナリ。

觸角十節三箇ノ片狀節ハ雄狹ク柄部ト略ボ同長雌少シク雄ヨリ短カシ。

最モ普通ナル種類ニシテ色澤皆紅褐色ニシテひめびろうどこがねニ於ケル如キ變化ヲ見ルコトナシ。本種ハ我國ニ於ケル最モ廣ク分布セル種類ノ一ナリ。

たいわんひめびろうどこがね(新稱)

Autoserica formosae Brenske.

Taf. III. fig. 16.

Brenske, Berl. Ent. Zeit. 1898, p. 210.

産地 Formosa

臺灣, 京城

體長 6—7 幅 4 mm.

黃褐或ハ黒褐ニシテ光澤無ク稍々絨毛光澤アリ。

頭楯短カク前方狹ク兩側前方ニ圓味ヲ帶ブ。細點刻ヲ散布ス。前頭ノ細點刻ハ密ナリ。表面ニハ毛ヲ有セズ唯眼ニ近ク僅少ノ刺毛ノ存スルアリ。眼ハ黒シ。

胸背板短カク前緣角ハ少シク前方ニ突出シ後緣角ハ略ボ直角ナリ。角點部ニ僅少ノ刺毛ヲ存ス。上面微細ナル點ヲ密ニ存在ス。

稜狀板ハ基部巾廣ク點ハ甚細カシ。

翅鞘ハ多クノ線條ヲ有ス。線溝部ニハ略ボ一列ノ點アリ。中間帶ハ弓狀ニ高マリ略ボ點刻ナシ。

尾節板ハ點紋殆ンド不明緣線ニ沿ヒテ列狀ニ長毛ヲ存ス。

腹部ノ環節ハ明ナル刺毛ヲ列狀ニ生ズ。

脚ノ前脛節ノ第一二齒間ノ切込ミ深シ後脛節ハ巾比較的ニ廣ク滑カニシテ點刻少ナシ。二ノ刺毛群ヲ存ス。端棘ハ第一跗節ト同長ナリ。

觸角十節ニシテ其片狀節ハ雄ハ柄部ヨリ僅カニ長シ。

あかびろうどこがねニ似ルモ形ハ著シク小ニシテ前脛節ノ齒ノ切込深シ。本種ハ恐ラク素木博士ニ由リ新變種トシテ記サレタルひめちやい

ろこがね(*Serica grisea* var. *formosma* Shiraki. 臺灣農事試驗場報告第一號明治二十九年 p. 228. pl. 40, f. 6.) ト同一ナル可シ。唯同氏ノ記載ハ特質ヲ擧ゲザルヲ以テ之ヲ以テ確定シ難シ。京城ニ於テ採集セラレタル一個ノ標本ハ全ク臺灣産ノモノト同一ナリ。

さうてるひろうどこがね(新稱)

Autoserica Sauteri Moser.

Taf. III. fig. 11.

Stett. Ent. Zeitschr. 1918, p. 213.

産地 Formosa(Kosempo, Sokutsu)

臺灣 (嘉義)

體長 10 幅 6 mm.

頭楯ハ前方巾狭ク前縁少シク反曲ス。表面淺キ細點刻ヲ有ス。前頭ノ點紋モ又細淺ナリ。

胸背板ノ巾ハ長サノ略二倍ナリ。後縁角ハ圓味ヲ帶ビタル直角ヲナシ。前縁角ハ僅カニ前方ニ突出ス。上面ノ點ハ微細ナリ。

稜狀板ハ基部ノ巾廣ク細點ヲ散布ス。

翅鞘ノ線條ハ明カニシテ多數ナリ。中間帶ハ稍ヤ隆起シ細點ヲ散布ス。

胸部ノ中央ニ窪メル一縦線アリ。其ノ兩側ニ強キ褐色ノ刺毛ヲ存ス。各腹節ニハ明カナル一列ノ刺毛ヲ存ス。

後基節ノ側縁ニ近ク強キ刺毛列ヲ具フ。後腿節ハ光澤ナク巾廣ク前後縁ニ近ク各一列ノ刺毛ヲ存ス。後脛節ハ巾廣ク短カシ。其端棘ハ第一跗節ト略同長ナリ。

觸角ハ十節ニシテ片狀節ハ雄ハ柄節ヨリ少シク長ク雌ハ短カシ。本學ノ標本ハ嘉義ニ於テ採集セラレタル者二個アリ。共ニブレンスケ氏ノ記載(11 mm.)ヨリ稍ヤ小ナルモ他ノ特性ヨク之ニ合スルヲ以テ此種ト認定セリ。

あかひろどこがね屬ニテ標本ヲ得ル能ハザリシ種類次ノ六種アリ。

Autoserica Koreana Moser.

Stett. Ent. Zeitschr. 1919, p. 330.

產地 Korea

Autoserica invenusta Moser.

Stett. Ent. Zeitschr. 1918, p. 212.

產地 Formosa

Autoserica infuscata Moser.

Deutsch. Ent. Zeitschr. 1915, p. 340.

產地 Korea, China

Autoserica cariniceps Moser.

Deutsch. Ent. Zeitschr. 1915, p. 341.

產地 Korea

Autoserica opaciventris Moser.

Deutsch. Ent. Zeitschr. 1915, p. 355.

產地 Korea

Autoserica castanea Arrow.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 393.

產地 Kobe, N. China (Tientsin, Shanghai, Foochow)

ちやいろこがね屬**Sericania Reitter.**

觸角ハ九節ニシテ片狀節ハ雄四節雌三節ナリ モツチユルスキー ハ柄部ノ最後ノ一節ガ稍ヤ延長シ短カキ片狀節ノ如キ形ヲナスモノアルヲ以テ之ヲ片狀節ニ數ヘタルモ之ハ明カニ柄部ニ入ルベキモノナリ。後脚ノ基節少シク短カク稍ヤ後方ニ偏シテ横ノ凹線ヲ存ス(第五圖b)。其爲ニ全基節ガ中間ニ向テ窪メル如キ觀ヲナス。中基節ハ相接シ後脛節ハ巾廣ク扁平ナルコトナシ爪ハ雌雄共ニ分枝シ其内部ノ者巾廣ク鈍ク尖ル。

ちやいろこがね屬ニ屬スルモノニシテ我國ニ産スルモノ三種アリ今新ニ二種ヲ加フ。其檢索表次ノ如シ。

- I₁ 體褐色ヲ帶ビ光澤アリ。
- II₁ 雄ノ觸角ノ片狀節ニ次グ環節ハ小片狀ヲナス。
からふとちやいろこがね *Serican. sachalinensis*.
- II₂ 雄ノ觸角ノ片狀節ニ次グ環節ハ小片狀ヲナス。
- III₁ 翅鞘ノ線條明瞭ナリ。
- IV₁ 體著シク細長ナラス。 なへどこちやいろこがね *Serican. mimica*.
- IV₂ 體著シク細長ナリ。 ひだちやいろこがね(新種) *Serican. hidana n. sp.*
- III₂ 翅鞘ノ線條著明ナラス。 れうゐすちやいろこがね *Serican. lewisi*.
- I₂ 體黑色ヲ帶ビ光澤ナシ
くろちやいろこがね(新種) *Serican. shinanoensis n. sp.*

なへどこちやいろこがね

異名なへどこあかこがね

Sericania mimica Lewis.

Taf. III. fig. 15.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 390.

Brenske, Berl. Ent. Zeitschr. 1897, p. 381, 433, ♀

新島等, 演習林研究報告 第五號 p. 12

産地 Nikko, Hakone, Subashiri, Mitake, Yokohama,

札幌膽振

體長9—11 幅 5—6 mm.

體長形ニシテ光澤アリ。褐色ニシテ僅カニ黄色ヲ帶ブ。翅鞘ノ條線深シ
頭楯ハ前方巾狭ク不規則ナル密點ヲ存ス。側縁ハ前縁ト圓ク連接ス。前
頭ハ濃褐色ニシテ前方密ニ後方粗ニ細點刻ヲ存ス。

胸背板ハ粗點刻ヲ存シ前縁角少シク前方ニ突出ス。後縁ノ兩側及ビ側
縁ハ高キ縁線狀ヲナス中央ノ縦線部ハ少シク窪ムヲ常トス。

翅鞘ハ強キ條線ヲ有ス。條線ト溝部ニハ密ニ點刻ヲ存シ中間帯ハ狭ク
滑カナリ。

尾節板ハ光澤ナク細點刻ヲ有ス。

腹節ノ上ニハ散點刻ヲ有シ列狀ノ刺毛ヲ缺ク後腿節ハ前方幅狹ク光澤アリ。點刻ヲ散布ス。後脛節ハ細長ニシテ先端ノ刺棘ハ二個共ニ略同大ニシテ第一跗節ヨリ短カシ。

觸角ノ片狀節ハ柄部ヨリ短カク雌ハ更ニ雄ヨリ短カシ。

からふとちやいろこがね

Sericania sachalinensis Matsumura.

Taf. III. fig. 14.

Matsumura, (*Serica*) Journ. Coll. Agri. Imp. Tohoku Univ. 1911, p. 118

産地 Sachalin.

樺太沙那(千島)十勝,京都,越後

體長 8—11 幅 4,5—5,5 mm.

體光澤アル濃褐色稀ニ綠黑色ヲ帶ブ絨毛光澤又ハ毛ヲ存スル事ナシ。

頭楯ハ前緣角ニ圓味ヲ帶ビ前緣ハ波狀ヲナス。前緣ニ沿ヘル横隆起線ハ著シ。表面ノ點刻ハ甚粗シ。前頭ノ點刻ハ不規則ニ排列シ中央ヨリ後頭ニ向テ縦ニ滑カナル部ヲ有ス。

胸背板ハ全面ニ細點刻ヲ存ス。然シ甚シク密布セズ。前緣角ハ少シク突出シ後緣角ハ稍ヤ圓味ヲ帶ブ。後緣ハ兩側ニ向テ縁狀ニ隆起ス。中央縦線狀ニ少シク窪ム側緣ニハ僅少ノ毛ヲ存スルノミ。

稜狀板ハ稍ヤ細長中央ニ滑カナル部ヲ殘シテ細小點刻ヲ密布ス。

翅鞘ハ多クハ褐色ヲ帶ブ。頭胸部ハ黒味ヲ帶ブルヲ常トス。條線深クシテ不規則ナル點刻ヲ存ス。中間帶ハ稍ヤ高ク略ボ滑カナリ。中間帶ハ光線ニヨリ綠黑色ヲ呈スルモノアリ。

腹節ハ不規則ナル點刻ヲ散布ス。刺毛點ナシ。

觸角ノ片狀節雄ハ四節ニシテ柄節部ノ全體ヨリ長ク雌ハ三節ニテ柄部ノ半ヨリ少シク長シ。雄ノ第五節即チ片狀節前ノ一節ハ全ク伸長スルコトナシ。

後脛節ノ端棘二個ハ同長ニシテ跗節ノ第一ヨリ僅カニ短小ナリ。其第

一 第三跗節ハ略同長ナリ。

本種ハ樺太及ビ千島(樺捉)ニ於テ最モ普通ニシテ七八月ノ頃潤葉樹林ニ多ク採集サレタリ。京都越後産ノ小數ノ標本モ全ク差違ナク十勝産ノモノノ一個ハ形著シク小(體長 8 mm 他ハ皆 10 mm, 前後)ナリ。

松村博士ガ創定セル新亞屬 *Mesoserica* ハ全ク ブレンスケ氏ノ定メタル同名ノ屬トハ性質ヲ異ニシテ本屬ト區別ナキモノト認ム。

ひだちやいろこがね(新種)

Sericania hidana Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II. fig. 9. 9a.

産地 飛騨

體長 11 幅 4.5—5 mm.

體著シク細長光澤アル黒褐色ニシテ翅鞘上ノ縦線強ク明カナリ。

頭楯ハ前方幅狭ク稍ヤ強キ點刻ヲ有ス。前縁ハ少シク彎入シ上反ス。前頭ハ又強キ點刻ヲ具ヘ中央ニ光澤アル隆線ヲ有ス。後頭部ハ滑カニシテ點刻ナシ。眼ハ少シク突出ス。

胸背板ハ短カクシテ幅長サノ二倍ヨリ大ナリ。光澤アル濃褐色ヲナシ兩側縁黃褐ナリ。中央縦ニ淺キ凹線ヲ有ス。點刻強ク側縁ニ小數ノ刺毛ヲ生ス。

稜狀板ハ少シク長形ニシテ中央ニ細縦線ヲ有シ小點刻ヲ具フ。

翅鞘ハ細長ニシテ條線ハ深キ細溝狀ヲナシ黃褐色ヲ呈ス。中間帯ハ隆起シ黒褐色ナリ。點刻ハ溝狀部ニ不規則ニ密布ス。第二中間帯ハ先端ニ向テ幅廣シ。

尾節板ハ光澤アル黒褐色ニシテ強キ隆狀ヲナシ小點刻ヲ有シ先端ニ近ク長黃色毛ヲ生ス。

胸部ノ腹面ハ黃褐ニシテ腹節ハ黒褐ナリ。腹節ハ一様ニ稍ヤ強キ點刻ヲ有ス。明カナル刺毛ヲ缺ク。後基節ハ横線ノ前方濃褐ニ後方黃色ヲ帶ブ。後脛節ノ端棘ハ第一跗節ヨリ短カク跗節ハ著シク細長ナリ。

觸角ハ黄褐ニシテ雄ノ片狀節長ク其前節ハ短片狀ニシテ片狀節ノ略三分ノ一ノ長サナリ。

本種ハヨクすじちやいろこがねニ似ルモ體狹長ナルト翅鞘ノ縦線深キトニ由リテ直チニ區別シ得ベシ。

予等ハ三個ノ標本ヲ有ス。何レモ飛彈産ナリ。

れうみすちやいろこがね(新稱)

Sericania lewisi Arrow.

Taf. III. fig. 13.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 397.

産地 Yokohama, Nikko.

中禪寺, 秩父, 鎗ヶ嶽

體長 8—10 幅 4.5—5 mm.

金屬光澤ヲ有シ褐色黑色或ハ綠褐色ヲナス。

頭楯ハ粗點刻ヲ存シ兩側ヨリ前緣角ニ圓味ヲ帶ブ。前頭トノ接線ハ殆ンド不明。前頭ハ光澤アリテ不規則ニ粗點ヲ散布シ滑カナル縦線ヲ中央ニ存ス。

胸背板ハ明カニ然シ稍ヤ粗ナル點刻ヲ有ス。前緣角ハ稍ヤ前方ニ突出シ後緣角ハ少シク直角ヲナス。側緣ニ僅少ノ細毛ヲ存ス。中央ニ縦線狀ノ窪ミアリ。

稜狀板ハ先端尖リ點刻ヲ密布ス。

翅鞘ハ強キ條線ヲ有シ不規則ニ密點ヲ有スル溝線ハ中間帶部ヨリ廣シ尾節板ハ細點ヲ散布ス。

腹部ノ環節ニハ細點刻ヲ散布ス。明カナル刺毛ノ點ヲ有ス。

後腿節ハ滑カニシテ細點ヲ散布シ細長ナル刺毛ヲ列狀ニ存ス。後脛節ノ端棘ハ二個略同長ニシテ第一跗節ヨリ短カシ。

觸角ノ片狀節ハ柄部ヨリ短カク雌ハ殊ニ著シ。雄ノ柄部ノ片狀節ニ接スル一節ハ短カキ片狀ヲ成ス。

本種ハ滿州ニ産スル *Seric. fuscolineata* ト同一トシテ認メラレタルモノヲアルロウノ別種トナセルモノナリ。其區別點ハ本種ガ頭楯ノ前縁ニ近ク隆起ヲ有セズ觸角ノ第五節ガ甚ダ短カキ片狀ノ伸長ヲナスノミナルトノ點ニシテ尙ホ翅鞘上ニ濃色ノ標本ノ外特殊ノ縦線ナキコトヲ舉ゲタリ。余等ノ有スル標本ニテハ明カナル縦線ヲ具フルモ他ノ特質ヨリ茲ニ之ヲ加フルモノトス。

くろちやいろこがね(新種)

Sericania shinancensis Niijima et Kinoshita, n. sp.

Taf. II. fig. 7.

産地 信濃(鎗ヶ嶽)福岡(英彦山)

體長 10.5—11 幅 6 mm.

體帶褐黑色光澤無ク稍ヤ眞珠色ノ反射ヲナス。

頭部黑色ニシテ光澤アリ。頭楯ハ前方ニ巾狭ク前縁少シク窪ミ上方ニ反曲ス。表面不規則ニ粗點ヲ有ス。褐色ノ刺毛略ボ一横列ヲナシテ存ス。前頭トノ會合線ハ殆ンド不明ナリ。前頭ハ前方粗ニ後方微小ナル點ヲ有シ僅少ナル刺毛ヲ散生ス。眼ハ少シク突出ス。

胸背板ハ幅廣クシテ短カク長サハ凡ソ幅ノ半ナリ。黒褐色ヲナシ微細ナル點刻ヲ上面ニ散布ス。側縁ハ前方ニ向テ狭ク鈍ク突出セル前縁角ヲ有ス。前縁ハ中央前方ニ向ヒ弧線狀ヲナス。後縁角ハ圓シ。稜狀板ハ長キ楕形ヲナシ先端尖ル甚ダ微細ナル點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ多數ノ條線ヲ有ス。各線上ニハ一列ノ細點アリ。中間帯ハ著シク隆起スルコトナク散在セル細點ト白色ノ細毛ヲ存ス。翅鞘ノ側縁ニ褐色ノ刺毛ヲ列生ス。

尾節板ハ強ク彎曲シ褐色刺毛ヲ有ス。腹部ハ光澤ナク小數ノ刺毛ヲ列生ス。

觸角ハ九節ニシテ雌ノ片狀節ハ柄部ヨリ短カシ。

前脚ノ基節ノ外縁ニ長キ刺毛ヲ生ズ。後基節ハ黃褐ニシテ此屬ニ共通

セル横凹線ヨリ上部ハ濃褐色ヲナス。後脛節ハ細長ニシテ外縁ニ二ノ棘毛群ヲ存ス。端棘ハ第一跗節ヨリ短カシ。

本種ハ未ダ其雄ヲ知ル能ハザルモ體ノ上面全ク光澤ナク黑色ヲ帶ブルヲ以テヨク本邦産ノ他種類ト區別シ得ベシ。

予等ノ調査シ得ザルモノ本屬中一種アリ。

Sericania fuscolineata Motsch.

Schrenck, Reise. II. 2, 1860, p. 136. t. 9, f. 10.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1902, p. 42.

産地 Ost-sibirien, Yokohama, Chiuzenji.

こひろらどこがね屬

Microserica Brenske.

觸角ノ片狀節ハ雄ニテ四節ヨリ成ルヲ普通トスルモ尙七節マデハ種々ノ變化アリ。雌ハ常ニ三節ナリ。前脛節ハ二齒ヲ有ス。後基節ハ甚シク大ニシテ横線ヲ有セズ。後脛節ハ一樣ニ狭クシテ多クハ滑カナリ。中基節ノ間ハ分離ス。頭楯ハ前後ノ幅同ジクシテ前部狭摺スルコトナシ。體形小ニシテ翅鞘上ニ斑紋ヲ有スルモノ多ク又眞珠光澤アリ。色澤多樣ナリ。

本屬中我國ニ記載セラレタルモノ次ノ四種アリ。然レドモ本學ノ標本トシテ得ラレタルモノナシ。

Microserica nikkoensis Brenske.

Berl. Ent. Zeitschr. 1897, p. 435.

産地 Nikko.

Micros. (Serica) brevicornis Lewis.

(Serica) Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 303.

Brenske, Berl. Ent. Zeitschr. 1897, p. 435.

産地 Nikko, Shinano.

Micros. (Serica) higonis Lewis.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 394.

Brenske, Berl. Ent. Zeitschr. 1897, p. 433.

産地 Hitoyoshi, Konose, Yuyama.

Micros. Branskei Reitt.

Wien. Ent. Zeitschr. 1896, p. 186.

Best.-Tab. (50), 1902, p. 116.

Brenske, Berl., Ent. Zeitschr. 1897, p. 436.

産地 Yokohama.

しまびろうどこがね 屬

Gastroserica Brenske.

觸角ノ片狀節ハ雄ハ四雌ハ四及ビ三節ナリ。胸背板ハ前部幅狭ク前縁角突出セズ。後縁角ハ稍ヤ尖ル。胸背板ノ腹面ニハ明カナル溝狀部後縁ニ沿フテ存在シ此處ニ前脛節ヲ横トウ。中基節ノ間ハ廣ク分離ス。上面ニ斜ニ發生セル刺毛ヲ散生ス。體形狭キ長橢圓形ヲナス。此屬ノ既ニ我國ニ存スルモノ唯一種アリ。

Gastroserica Herzi Heyden.

(Serica), Horae Soc. ent. Bossicæ, 1887, p. 204.

Brenske, Mém. Soc. Ent. Belg. 1894, p. 52.

Berl. Ent. Zeitschr. 1897, p. 414.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 397.

産地 Korea (Fusan, Genzan, Kiukiang), Mandchurie (Chosan)

本種ノ標本ハ未ダ之ヲ見ルヲ得ズ。別ニ本屬ニ屬スベキ一新種アリ。

しまこびろうどこがね(新種)

Gastroserica bicolor Nijima et Matsumura n. sp.

Taf. II. fig. 8.

産地 臺灣

體長 7 幅 3 mm.

體長形 黒色ニ黄褐色ノ縦縞アリ。光澤ナク、柔キ絨毛光澤ヲ呈ス。

頭楯黄褐前縁少シク弧線狀ヲナシ僅カニ上反ス。微細ナル點刻ヲ不規

則ニ散布ス。小數ノ褐色刺毛アリ。前頭黑色前緣角ハ稍ヤ銳ク前方ニ突出ス。上面ニ粗點ヲ散布シ刺毛ヲ存ス。僅カニ隆起セル中央線アリ。眼ハ濃褐色ニシテ突出ス。

胸背板ハ基部ノ幅廣ク前緣ト殆ンド半圓形ヲナス。中央及ビ兩側緣黃褐ニシテ他ハ黑色ナリ。上面ニ細點ト淡色細短毛トヲ生ズ。中央縱凹線ヲ有セズ。側緣ヨリ前緣ニ沿ヒ褐色刺毛ヲ具フ。

稜狀板ハ長形ニシテ先端尖リ黃褐ニシテ中央滑ニ兩側ニ細點ト細短毛ヲ生ズ。

翅鞘ハ黑色ニシテ各鞘上ニ縱ノ一黃色條ヲ具フ。條線ニハ一列ノ細點アリ中間帶ニハ細點ナク第一、三、五ノ中間帶上ニハ強キ褐色刺毛ヲ列生ス。殊ニ第一ノモノ多クシテ會合線ニ向フ。

尾節板ハ大形ニシテ暗黃褐ヲナシ細點ト稍ヤ長キ毛ヲ具フ。

腹節ハ黑色ニシテ明カナル一橫列ノ褐色刺毛ヲ存ス。

觸角ハ十節ニシテ雄ノ片狀節ハ四個濃褐ニシテ黃褐色ノ柄部ヨリ著シク長シ。

脚ノ後基節ハ著シク大、淡黃褐色ニシテ一様ニ細點ト細毛ヲ存シ刺毛ヲ缺ク。後脛節ノ端棘ハ短カシ。

記載ニ由ルトキハ最モヨク朝鮮産ノ *Gastr. Herzi* Heyd.ニ似ル。然レドモ雄ノ片狀節著シク長クシテ柄部ヲ超ヘ胸背板ノ中央ニ縱凹線ナク翅鞘ニ強キ褐色ノ刺毛ヲ列生スル點ニ於テ區別シ得ベシ。

ねをせりか屬

Neoserica Brenske.

觸角ノ片狀節ハ雄ニ於テ四ヨリ五或ハ六節ニ至リ雌ハ三節ナリ。中基節ノ間ハ腹面中央ニテ廣ク離ル。後腿節及ビ後脛節ハ著シク幅廣キヲ常トス。頭楯幅廣ク眼ハ稍ヤ突出ス。胸背板ハ弓狀ヲナシ突出セル前緣角ヲ有ス。前脛節ハ二齒ヲ有シ、跗節ノ爪ハ先端ニ近ク分枝ス。體形大ナリ。此屬ニテ我國ニ知ラレタルモノ次ノ三種アリ。予等ノ蒐集ニハ全ク之ヲ缺ク。

Neoserica angulata Lewis.

(*Serica*) Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 392.

Brenske, Berl. Ent. zeitschr. 1897, p. 434.

產地 Oyayama

Neos. quadrifoliata Lewis.

(*Serica*) Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 393.

Brenske, Berl. Ent. Zeitschr. 1897, p. 434.

產地 Nikko

Neos. macrophthalma Moser.

Stett. Ent. Zeitschr. 1818, 219

產地 Formosa

第三節 こふきこがね亞科

Melolonthinae.

本亞科ニ屬スルモノハ上顎ガ葉狀ヲナサズシテ上方ヨリ見ル能ハズ。頭楯ハ眼ノ前ニテ側縁ノ彎入スルコトナシ爪ハ同長ニシテ前腿節及ビ胸背板ノ側縁ニ齒ヲ有セズ。胸背板ノ前縁隆起スルコトナシ。後脛節ノ端棘ハ互ニ相接近シ脛節ノ先端ニ明カナル跗節ヲ容ル、切込又ハ溝狀部ヲ存ス。腹節ハ尾節ノ外相着合シ中央ノ接合線消失スルモノ多シ。觸角ハ八乃至十節ヨリ成リ片狀節ハ大ニシテ雄ニテ葉片狀ヲナスヲ常トス。

本亞科ヲ大別シテ三トス。即チ次ノ如シ。

I₁ 胸背板ノ前縁ニ膜狀縁ナシ。

II₁ 上唇ノ形狀左右相稱ナリ。

III₁ 觸角ノ片狀節雌雄共ニ三節ヨリ成ル。 くろこがね類 Rhizotrogina.

III₂ 觸角ノ片狀節雄ハ三節ヨリ多シ。 こふきこがね類 Melolonthina.

II₂ 上唇ノ形狀左右同ジカラズ體面ニ鱗毛ヲ具フ。

しろこがね類 Leucopholida.

I₂ 胸背板ノ前縁ニ膜狀縁ヲ有ス。觸角ハ十節ニシテ片狀節三個ナリ。

かんしよこがね類 Diprotaxida.

くろこがね類

Rhizotrogina.

胸背板ノ前縁ニ膜質ノ細縁ナク上面毛ヲ有スルカ裸狀ニテ鱗毛ノ存スルコトナシ。觸角ノ環節ハ我國ニ産スルモノハ皆九乃至十個ニシテ片狀節ハ雌雄共ニ三節ナリ。之ニ屬ス可キ我國ノ屬ハ五個ニシテ其檢索表次ノ如シ。

I₁ 爪ハ中央ノ直後ニ深キ切込ヲ有ス。或ハ下面ニ向テ直角ニ分枝スル大形ノ齒ヲ有ス。

II₁ 觸角九節ニシテ爪ハ中央ヨリ後ニテ銳齒ヲ分ツ。頭部後縁一横線ヲ

(40)

- 有ス。 てうせんきこがね屬 *Miridiva*.
- II₁ 觸角十節ナリ。
- III₁ 爪ハ前端ニテ二分ス上面ニ毛ヲ有セズ。 きこがね屬 *Pollaplonyx*.
- III₂ 爪ハ前端ニテ二分セズ。
- IV₁ 上面ハ前頭部及ビ胸背板ノ縁毛ノ外ハ無毛又ハ甚ダ短小ナル毛ヲ有ス爪ハ略中央ニ於テ分枝シ其齒ハ大形ニシテ彎曲シ尖銳ナリ。
- V₁ 爪ノ分枝ハ直角ナリ。體形稍ヤ大 くろこがね屬 *Holotrichia*.
- V₂ 爪ノ分枝直角ヲナサズ。體形稍ヤ小 ひめくろこがね屬 *Microtrichia*.
- IV₂ 上面殊ニ胸背板ハ上面セル毛ヲ有ス。爪ハ中央ノ後脚ニ切込ヲ有ス ぶらあみな屬 *Brahmina*.
- I₂ 爪ハ基部ニ近ク又ハ中央ヨリ前部ニ一ノ直角ニ突出スル齒ヲ有ス翅鞘ハ毛ヲ有スルト然ラザルトアリ。胸背板ノ後縁無縁ナルコト稀ナリ。 りぞとらうぐす屬 *Rhizotrogus*.

てうせんきこがね屬

Miridiva Reitter.

觸角九節ニシテ片狀節雌雄共ニ三個ナリ。頭部ノ後縁ニ近ク一横隆線ヲ有ス。胸背板ノ後縁ハ兩側細ク縁取ラレ中央無縁ナリ。爪ニハ中央ヨリ後ニ直角ノ方向ニ出ル分齒ヲ有ス。

本屬ニハ唯一種支那ニ産スル *M. (Rhizotrogus) trichophorus* Fairm. アルノミナルガ次記ノ一種ハ上面無毛ナル點ニ於テ異ナルモ觸角ノ節數前脛節ノ構造等ニヨリテ此屬ニ入ルベキ者ナルヲ認メ新種トシテ記載セリ。

てうせんきこがね(新種)

Miridiva koreana Nijima et Kinoshita, n. sp.

Taf. IV. fig. 15. Taf. II. fig. 16.

産地 朝鮮(水原)

體長 13—14.5 幅 6.5—7.5 mm.

頭部黒色體黄色光澤アリ。長楕圓形ニシテ上面ニ毛ヲ有セズ。外形ながちやこがねニ似ル。跗節細長ナリ。

頭部稍大形頭楯黒褐前方ニ巾狭ク圓ミヲ帶ビ縁ハ上反ス。點刻ハ小ニシテ散在ス。會線ハ殆ンド直線的ニシテ明カナリ。前頭ハ不規則ナル窪ミヲ有シ細點ヲ散布ス。

胸背板ハ點刻ヲ散布ス。前縁角ハ少シク尖リ後縁角ハ略直角ニシテ稍圓味ヲ帶ブ。後縁ノ兩側部ハ狭ク縁取ラル。

稜狀板ハ又平等ニ點刻ヲ有ス。翅鞘ハ其色黄色ヲ帶ブルモノ多シ。一標本ニテハ全ク胸背板ト同色ナリ。點刻ハ胸背板ヨリ小ニシテ稍ヤ強シ。會合線ニ沿ヘル縦隆線ハ高クシテ前部ヨリ後方ニ向テ幅廣シ。第一ノ縦隆線ハ略滑カニシテ幅廣ク僅カニ隆起ス。

尾節板ハ密ナル細點刻ヲ有シ先端ニ近ク僅少ノ黄色毛ヲ生ズ。

下面ハ黄色ニシテ胸部ニ長キ黄色柔毛ヲ密ニ生ズ。腹節ハ光澤アリ。甚ダ細カキ點ヲ散布シ僅カノ細毛ヲ存ス。

觸角ハ九節ニシテ三個ノ片狀節ハ雄ニ於テ甚ダ長ク殆ンド柄部ト同長ナリ。

脚ノ前脛節ニハ三個ノ外齒アリ。刺棘ハ基部及ビ中央ノモノ、中間ニ位置ス。

予等ノ標本ハ内田登一氏採收ノ朝鮮水原ノモノ及ビ京城附近産ノ一個ニシテ何レモ雄ノミナリ。

きこがね屬

Pollaplonyx Waterh.

體長形ヲナシ下顯鬚甚ダ長クシテ第二節最長ク第三ハ幅廣ク先端節ハ雄ニテ斧形ヲナシ雌ニテハ前節ヨリ三倍長ク稍ヤ肥大シ末端截形ナリ。觸角十節片狀節ハ三個ニシテ雄長形雌卵形ナリ。前脛節ニハ略二個ノ外齒ヲ有シ雌ハ其先端二分ス。爪ハ先端ニテ二分シ基部ニ齒狀部アリ。

本屬ノ昆蟲ハ我國ニ産スル唯一種アルノミナリ。

きこがね

Pollaplonyx flavidus Waterh.

Trans. Ent. Soc. Lond, 1876, p. 105, Pl. III f. 6.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 395.

産地 Japan, Kumamoto

熊本

體長 16—18 幅 8—9 mm.

長楕圓形ニシテ黄色光澤アリ。上面ニ毛ヲ有セズ。眼黑色ナリ。

頭楕半月形前縁上反シ中央ニ於テ強ク彎入ス。上面前縁ニ近ク粗ニ會線ニ近ク密ニ點刻ヲ有ス。前頭略ホ平カニシテ散在セル點刻ヲ有ス。後頭ハ平滑ナリ。

胸背板ハ幅廣ク前縁角僅カニ鈍ク突出ス。後縁角ハ圓形ナリ。側縁ニ一列ノ細黄褐毛ヲ存ス。點刻大ナラズ。稍ヤ強ク一様ニ散布ス。

稜狀板ハ半圓形ニシテ平滑兩側ニ僅少ノ細點刻ヲ具フ。

翅鞘ハ後方ニ幅少シク廣ク四個ノ縦隆線アリ。外部ノ二線ハ幅甚ダ狹シ。中間室ハ稍ヤ強ク密ナル點刻アリ。

下面黄褐色ニシテ胸部ニ黄色ノ軟毛ヲ多ク生ズ。腹節ノ面ニハ密ナル點刻ト細短毛ヲ具フ。

觸角ハ第三ヨリ第五節長形ニシテ其第四五兩節ハ殆ンド連結ス。第六七兩節ハ最モ短カシ。雄ノ片狀節稍ヤ長シ。前脛節外齒ハ二個ニシテ其下方ノモノ著シク小ナリ。

本種ハ我國ニ於テモ甚ダ多カラザルガ如ク本學ニ於テハ昆蟲學教室ニ於テ唯九州産ノ三個ノ標本アルノミナリ。

くろこがね屬

Holotrichia Hope.

觸角十節ヨリ成リ片狀節ハ三個ナリ。頭楕ハ前部多ク彎入シ眼ノ内縁

及ビ後縁被覆セラル、コトナシ。胸背板ノ後縁ハ多クハ縁取ラル。爪ニハ中央或ハ基部ニ於テ直角ニ出ルヲ常トセル稍ヤ彎曲シテ尖リタル大ナル分齒ヲ有ス。上部ニ毛ヲ有セズ。下面胸部ニ細毛ヲ具フルモノ多シ。

此屬ノモノハ形狀多クハ大ニシテ支那東部 シベリア 日本ニ多シ。予等ノ調査セル本屬ノ種類ニ對スル檢索表次ノ如シ。

I₁ 體面溷濁セズ。光澤ヲ有ス。

II₁ 翅鞘上ニ縦隆線ヲ存セズ。

III₁ 上面ニ全ク毛ヲ有セズ。

くろこがね *H. castane.*

III₂ 上面ニ細短毛ヲ有ス。

IV₁ 翅鞘ノ基部ニ稍ヤ長キ黄色毛ヲ生ズ。形小(18 mm. 以下)

たいわんくろこがね *H. formosana.*

IV₂ 翅鞘面ハ一様ノ短刺毛ヲ生ズ。形稍大(18 mm. 以上)

たいわんくろこがね *H. sinensis.*

II₂ 翅鞘上ニ縦隆線ヲ有ス。

V₁ 尾節板著シク隆起セズ。

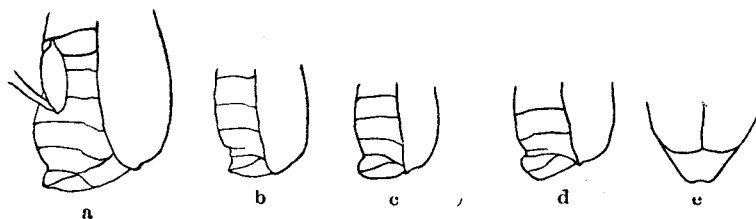
VI₁ 雄ノ腹部ノ末節ノ前節ハ横溝狀ノ窪ミヲ有ス(第七圖 b)

くろこがね *H. kiotoensis.*

VI₂ 雄腹部ノ末節ノ前ニ横溝狀ノ窪ミナシ(第七圖 c)

VII₁ 胸背板ノ點刻大ニシテ稍ヤ相聯絡ス。腹部ノ尾節前ノ兩側溷濁著シク大ナリ。

こくろこがね *H. picca.*



第 七 圖

くろこがね屬ノモノノ腹部

a たいわんおほくろこがね

b くろこがね

c こくろこがね

d まるをくろこがね

e てうせんくろこがね(背面)

(44)

VII₂ 胸背板ノ點刻楕圓形ニシテ明カニ散布ス。腹部ノ尾節前ノ兩側溷濁部小ナリ。
ざうてるくろこがね *H. Sauteli*.

V₂ 尾節板先端ニ近ク著シク隆起ス。

VIII₁ 尾節ノ隆起部圓キ囊狀ヲナス。(第七圖d)

まるをくろこがね *H. convexopyga*.

VIII₂ 尾節ノ隆起兩側ニ著シク中央窪ム。(第七圖e)

てうせんくろこがね *H. diomphalia*.

I₂ 體面溷濁ス即チ霜様白粉物質ヲ附ス。

IX₁ 雌ノ腹部著シク肥大セズ。

X₁ 胸背板ノ點刻淺クシテ粗ナリ。尾節板ノ霜白部著シカラズ。

おほくろこがね *H. morosa*.

X₂ 胸背板ノ點刻深クシテ密布ス。尾節板ノ霜白部著シ。

ほりしやくろこがね *H. horishana*. n. sp.

IX₂ 雌ノ腹部著シク肥大ス(第七圖a)

たいわんおほくろこがね *H. pruinosa*. n. sp.

くりいろこがね

Holotrichia (Subg. *Pledina*) *castanea* Waterh.

Taf. IV. fig. 1.

Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 101.

Reitter, Best.-Tab. (50) 1903, p. 174.

産地 Japan, Korea.

山口, 京都

體長 18—22 幅 10—11.5 mm.

體ハ濃キ栗色ニテ光澤アリ。上面ニ全ク毛ヲ有セズ。翅鞘ノ上面ニ線條ナシ。

頭部ハ比較的小形ニシテ頭楕ハ幅廣ク短カク前縁ノ中央内方ニ窪ム。點刻ハ大ニシテ稍ヤ密ナリ。會線ハ又中央窪ミテ波狀ヲナス。前頭ハ眼ノ

間ニ横ニ存スル明カナル隆線アリテ此部マデ胸背板ニ引込ムヲ得ル。

胸背板ハ前縁角突出セズ後縁角ハ緩波状ヲナス。點刻ハ稍ヤ密ナリ。上面ニ毛ヲ有セズ。

翅鞘ハ會合線ニ沿フテ一線條ヲ有スルノミニテ其他ハ全ク之ヲ缺キ全面ニ胸背板ノ者ノ二倍大ノ點刻ヲ存ス。

尾節板ハ光澤アル黒褐色ニシテ翅鞘ト同ジク點刻ヲ有ス。

觸角ハ雄十節雌九節ニテ共ニ三個ノ片狀節ヲ有ス。雄ノ片狀節ハ雌ノモノヨリ長キモ柄部ヨリ短カシ。脚ノ前脛節内面ノ刺棘ハ外齒ノ最下ノモノノ反對ニ近ク存ス。後脛節ノ端棘ハ第一跗節ヨリ長シ。

觸角ノ數ニ於テライターハ其標本ノ九節ノモノヲ恐ラク不完全ナルモノナル可シトセルモ雌ハ總テ九節ナルヲ見ル。

たいわんくろこがね

Holotrichia sinensis Hope.

Taf. IV. fig. 2.

Trans. Ent. Soc. Lond. 1845, p. 8.

Burm., Handb. Ent. IV, 2, 1855, p. 316.

Reitter, Best.-Tab. (50) p. 174.

新島等, 演習林研究報告第五號 P. 13.

產地 China,

臺灣

體長 18—21 幅 9—10 mm.

前種ニ最モヨク似ル。此ノ種ノ上面ニ細短毛ヲ存シ。其ノ色稍ヤ濃ク殊ニ胸背板及ビ翅鞘ノ基部少シク黒味ヲ帶ブ。但シ標本ニヨリくりいろこがねヨリモ淡キモノアリ。

頭部ノ會線ハ稍ヤ大ナル波状ヲナシ前頭ノ點刻強シ。横隆起線ハ著シ。

胸背板ノ兩側縁ニ細カキ切込ヲ有ス。此切込ノ距離ハ後部ノモノハ二倍ナリ。上面ノ點刻上ニ各褐色ノ細毛ヲ存ス。前縁角稍ヤ突出シ前縁ノ中央部著シク縁取ラル。

こくろこがね

Holotrichia picea Waterh.

Taf. IV. fig. 11.

Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 103.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1835, p. 35.

Reitter, Best.-Tab. (50) 1903, p. 176 nota.

産地 Nagasaki, Hakodate.

宮崎, 山口, 大阪, 京都, 北海道(七重, 軽川, 札幌, 漁, 苫小牧)

體長 15—19 幅 7—9 mm.

體多クハ黒褐ナルモ暗黄褐ニ至ルマデ濃淡アリ。最ヨクくろこがねニ似ル上下面光澤アリ。胸背板ノ點刻くろこがねヨリ小ナリ。

頭部ノ點刻稍ヤくろこがねヨリ密ナリ。後頭部ハ全ク平滑ナリ。

胸背板ハ前縁及ビ側縁ニ點刻ヲ有シ其上ニ長キ褐色ノ刺毛ヲ生ズ點刻ハくろこがねヨリ小ナリ。

稜狀板ハ扁平ナル三角形ニテ稍ヤ多クノ細點ヲ兩側ニ存ス。

翅鞘ノ點刻くろこがねヨリ小ニシテ密ナリ。

腹面ノ尾節前ノ節ニハ兩側面ノ大部ニ溷濁セル斑紋狀ヲ存ス。胸部ノ黄色毛ハ密ニシテ長シ。

予等ノ標本ニテハくろこがねガ本邦ノ南部ニ多キニ反シ本種ハ北部ニ普通ナルガ如シ。前報告(演習林研究報告第五號)ニ *L. picea* Waterh. トシテ記セルモノハくろこがねヲ誤認セルモノナリ。

ざうてるくろこがね(新稱)

Holotrichia Sauteri Moser.

Taf. IV. fig. 7.

Ann. Soc. Ent. Belg. 1912, p. 436.

産地 Formosa,

臺南

體長 19 幅 10 mm.

又くろこがねニ最モヨク似黒褐ニシテ少シク光澤アリ。胸背板ノ點刻

くろこがね

Holotrichia kiotoensis Brenske.

Taf. IV. fig. 6.

Mém. Soc. Ent. Belg. 1894, p. 19 et 68.

(*Lichnosteria inelegans*) Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1885, p. 396.

新島等, 演習林研究報告第五號 p. 13.

(*H. inelegans*) Reitter, Best.-Tab. (50) 1903, p. 176.

松村松年, 千虫圖解第三 p. 92, pl. 43. fig. 5.

(*H. parallela*) Waterhouse, Trans. Ent. Soc. Lond. 1875. p. 103.

産地 Shanghai, Formosa, Japan.

熊本, 高知, 京都, 東京, 仙臺, 秋田

體長 18—20 幅 9—11 mm.

體色 黑色 ヨリ 濃褐色 ニシテ 上下面 共ニ 光澤アリ。胸背板ノ 點刻 粗大ナリ。

頭楯幅 廣ク 粗大ナル 點刻ヲ 有ス。前縁ハ 上反シ 中央部 少シク 彎曲ス。會線ハ 緩波狀ヲ ナスモ 不明ナリ。前頭ハ 強キ 粗點ヲ 有ス。

背胸板ハ 短カク シテ 幅廣ク。大形ノ 點刻ヲ 散布ス。後縁角ハ 略ボ 直角ヲ ナシ 側縁ニ 僅少ノ 毛ヲ 有ス。

稜狀部ハ 稍ヤ 扁平ニシテ 滑カナリ。基部ニ 近ク 僅少ノ 細點ヲ 存ス。

翅鞘ハ 會合線ニ 沿ヘルモノ、外一個ノ 縱隆線ヲ 明カニ 認メ得ベシ。側方ノ モノハ 甚ダ 不明ナリ。全面ニ 粗大ナル 點刻ヲ 具フ。

尾節板ハ 著シキ 隆形ヲ ナサズ 淺キ 點刻ヲ 散布ス。

腹面ハ 胸部ニ 細褐色毛ヲ 存ス。雄ノ 腹部ノ 末節ハ 稍ヤ 窪ミ 其前節ハ 後縁ノ 中央ニ 於テ 強キ 横溝狀ノ 窪ミヲ 有ス(第七圖 b)。

本種ニ 對シテハ 普通 *L. inelegans* Lew. ノ 學名ヲ 用ヒ 來リシガ *H. kiotoensis* Brenske ト 同一ナルヲ 以テ モーゼルノ 説ニ 從ヒ (Ann. Soc. Ent. Belg. 1912 p. 437) 最初ノ 記載ニ 由リ 此學名ヲ 取ルコト、セリ。

こくろこがね

Holotrichia picea Waterh.

Taf. IV. fig. 11.

Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 103.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1835, p. 35.

Reitter, Best.-Tab. (50) 1903, p. 176 nota.

産地 Nagasaki, Hakodate.

宮崎, 山口, 大阪, 京都, 北海道(七重, 軽川, 札幌, 漁, 苫小牧)

體長 15—19 幅 7—9 mm.

體多クハ黒褐ナルモ暗黄褐ニ至ルマデ濃淡アリ。最ヨクくろこがねニ似ル上下面光澤アリ。胸背板ノ點刻くろこがねヨリ小ナリ。

頭部ノ點刻稍ヤくろこがねヨリ密ナリ。後頭部ハ全ク平滑ナリ。

胸背板ハ前縁及ビ側縁ニ點刻ヲ有シ其上ニ長キ褐色ノ刺毛ヲ生ズ。點刻ハくろこがねヨリ小ナリ。

稜狀板ハ扁平ナル三角形ニテ稍ヤ多クノ細點ヲ兩側ニ存ス。

翅鞘ノ點刻くろこがねヨリ小ニシテ密ナリ。

腹面ノ尾節前ノ節ニハ兩側面ノ大部ニ溷濁セル斑紋狀ヲ存ス。胸部ノ黄色毛ハ密ニシテ長シ。

予等ノ標本ニテハくろこがねガ本邦ノ南部ニ多キニ反シ本種ハ北部ニ普通ナルガ如シ。前報告(演習林研究報告第五號)ニ *L. picea* Waterh. トシテ記セルモノハくろこがねヲ誤認セルモノナリ。

ざうてるくろこがね(新稱)

Holotrichia Sauteri Moser.

Taf. IV. fig. 7.

Ann. Soc. Ent. Belg. 1912, p. 436.

産地 Formosa,

臺南

體長 19 幅 10 mm.

又くろこがねニ最モヨク似黒褐ニシテ少シク光澤アリ。胸背板ノ點刻

著シク大ニシテ散布ス。

頭楯ハ甚ダ短カク略ボ半月形ヲナシ前縁ノ中央少シク窪ム。頭部ノ點刻相密着セズ。

胸背板ハ前縁ニ全ク毛ナク側縁ニ僅少ノ短刺毛ヲ存ス。點刻楕圓形ニシテ大ナリ。全面ニ不規則ニ散布ス。唯前縁ニ接シタル部ノミ稍ヤ細カキ點刻ヲ密ニ排置ス。

翅鞘ハ殆ンドくろこがねト同ジ。

尾節板ハ稍ヤ平カニシテ粗點ヲ散布ス。腹面ハ雄ノ尾節少シク窪ムモ其前節後縁中央ニハくろこがねノ如キ横溝狀ノ窪ミナシ。前節ノ溷濁部ハくろこがねヨリ小ニシテ前方ニ偏ス。

予等ハ石田昌人氏採集ノ臺南産標本一個ヲ有スルノミナリ。

おほくろこがね(新稱)

異名おほびろうどこがね

Holotrichia morosa Waterh.

Taf. IV. fig. 8.

Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 104.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. (6) XVI, 1835, p. 36.

Reitt., Best.-Tab. 50, p. 176.

新島等, 演習林研究報告第五號, p. 13.

産地 Sachalin, Japan, China, Korea, Shanghai.

高知, 大阪, 岡山, 山口, 鹿兒島, 山口縣, 熊本, 朝鮮

體長 19.5—20 幅 9—11 mm.

黑色背腹面共ニ光澤無ク光線ニヨリ灰色ノ絨毛光澤ヲ呈ス。

頭楯ノ前縁ハ内方ニ窪ミ著シク上反ス。點刻ハ大形ニシテ密集シ相着合ス。前頭部ハ平カニシテ密ニ粗點刻ヲ有ス。

胸背板ハ短カクシテ幅廣ク點刻ハ大ナラザルモ深クシテ不規則ニ散在ス。中央ノ縦線部滑カニシテ前方少シク不明ナリ。側縁ニ甚ダ僅少ノ褐色毛ヲ存ス。

稜狀部ニハ僅少ノ微細ナル點刻ヲ有ス。

翅鞘ノ縱隆線ハ明カナラザルモ會合線ニ接スルモノ、外三線ヲ認め得ベシ。間室部ハ稍ヤ密ニ點刻アリ。

尾節板ハ光澤ヲ有シ僅カニ隆起シ不規則ナル點刻アリ。

腹面ハ尾節ノミ光澤アリ其前節ノ兩側面ニハ略ボ斑紋狀ニ褐色毛ヲ生ズ。觸角ノ片狀節ハ著シク短カシ。

本種ハおほびろうどこがねト稱セラル、モびろうどこがね屬ト混シ易キヲ以テ此新稱ヲ與ヘタリ。

てうせんくろこがね(新稱)

Holotrichia diomphalia Bates.

Taf. IV. fig. 12.

Proc. Zool. Soc. Lond. 1883, p. 373.

Brenske, Mem. Soc. Ent. Belg. 1894, p. 69 no. 1.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 36.

Reitter, Best.-Tab. 1902, p. 176.

產地 Ostsibirien, Ussuri, Mongolei, Korea, Japan.

朝鮮

體長 17—20 幅 10—11 mm.

黑色光澤アリ。くろこがねニ最ヨク似ル。尾節板中央窪ニ兩側隆起ス。

頭楯ノ點刻深クシテ互ニ分離ス。會線ハ明カニシテ波狀ヲナス。前頭部強キ點刻ヲ粗ニ存シ後頭稍ヤ密ナリ。

胸背板ノ點刻ハくろこがねヨリ稍ヤ小ニシテ不規則ニ散布ス。側縁ノ毛ハ僅少ナリ。

翅鞘ノ點刻ハくろこがねヨリ著シク小ナリ。

尾節板ハ後方ニ向テ著シク隆起シ。其中央部縦ニ弱キ窪ミアリテ隆起部ヲ左右ニ分ツ(第七圖c)。基部ノ兩側ハ狹溝狀ヲナス。全面ニ淺キ點刻ヲ存ス。

朝鮮以外ノ標本ハ未ダ之ヲ得ズ。

たいわんおほくろこがね(新種)

Holotrichia pruinosa Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. IV. fig. 4, 10,

産地 臺灣(補里社臺北)

體長 21♂—27♀ 幅 10,5—13 mm.

體黒褐又ハ赤褐色ニシテ上面白粉ヲツケタル状態ヲナス。雌ハ甚大ナル腹部ヲ有ス。

頭ハ弱キ光澤ヲ有シ頭楯ハ幅廣クシテ短カク前縁角ハ圓シ。前縁ハ上反シ雌ハ中央ニ於テ明カナル彎入ヲナス。密ニ強キ點刻ヲ有ス。前頭ノ會合線ハ中央ニ於テ彎入ス。前頭ハ稍ヤ弱ク粗ナル點刻ヲ存シ兩眼ノ間ニ強キ横隆線アリ。

胸背板ハ幅廣ク細點刻ヲ粗布ス。中央ニ縦ノ滑カナル線アリ。側縁ハ中央ヨリ上方小鋸齒ヲ有シ僅少ノ褐色刺毛ヲ存ス。

稜狀板ハ扁平ニシテ中央ノ縦線ノ外細點刻ヲ存ス。

翅鞘ハ赤褐色ヲ帶ブルモノ多ク縦隆線ハ弱クシテ僅カニ認ムルヲ得ベシ。弱キ點刻ヲ散布ス。縦隆線ハ點刻少ナシ。

尾節板ハ雄ハ平カニシテ點刻ハ粗ク稍ヤ搔傷狀ヲナス。雌ハ先端ノ前部弱ク高マリ點刻小ナリ。

中胸節ノ腹面ニハ長キ黃白ノ毛ヲ密生ス。腹部ハ黒褐又ハ赤褐色ヲナシ。溷濁シ細點刻ヲ有ス。雌ハ腹著シク肥大ニシテ尾節板ノ前節ノ全部翅鞘ノ外ニ出デズ。雌ノ前脛節ノ三個ノ外齒ハ大ナリ。雌ハ後端ノ一齒小形ナリ。後脚ノ基節ニハ長毛ヲ生ズ。

觸角ノ片狀節ハ雌甚短カク雄稍ヤ長シ。

本種ハ其外形おほくろこがねニ似ルモ體面ノ白粉狀物強ク且ツ雌ノ腹部著シク大ナルヲ以テ區別シ得ベシ。

予等ハ補里社及ビ臺北ニ於テ採取セラレタル標本雄二個雌二個ヲ有ス。此種ハ臺灣ニ稀ナラザルガ如シ。

まるをくろこがね(新稱)

Holotrichia convexopyga Moser.

Taf. IV. fig. 5.

Ann. Soc. Ent. Belg. 1912, p. 435.

産地 China(Kiukiang), Japan(Kobbe).

熊本,仙臺,秋田.

體長 18—20 幅 10—11 mm.

黒褐色ヲナシ最モヨクくろこがねニ似ル。唯其尾節板ガ前端ニ近ク圓味ヲ有スルヲ以テ區別シ得ベシ。

頭楯ノ點刻ハ前頭部ヨリ密ニシテ殆ンドくろこがねト同ジ。

胸背板ノ形狀點刻又くろこがねニ似ル。原記載ニ因ルトキハ點刻くろこがねヨリ強カラズ。稍ヤ密ニ散布スト稱スルモ標本ニヨリ殆ンド區別シ難シ。

稜狀板ハ滑カナルカ或ハ僅カノ細點刻ヲ具フ。

翅鞘ハくろこがねト同ジ。

尾節板ノ點刻大ナルモ淺ク粗ク散布ス。先端ニ近ク稍ヤ強ク圓味ヲ有シ瘤狀ニ隆起ス(第七圖d)。

下面ノ胸部ニ黃色毛ヲ有シ腹節ノ中央ハ滑カニシテ兩側ニ點刻ヲ有ス。尾節ノ前節ニハ他ノくろこがね類ノ如ク溷濁セル部アリ毛ヲ生ズ。

ほりしゃくろこがね(新種)

Holotrichia horishana Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. IV. fig. 9. Taf. fig. 30.

産地 臺灣(補里社)

體長 ♂ 16—17 ♀ 19 幅 ♂ 8—8,5 ♀ 9,5 mm.

くろこがねニ似ルモ著シク小ナリ。前脚ノ跗節ハ脛節ノ第二第三齒ノ中間ノ位置ヨリ生ズ。黒色ニシテ上面光澤アリ。下面ハ尾節ノ外溷濁ナリ。

頭部粗大ナル點刻ヲ一様ニ密布ス。頭楯ハ前縁上反シ中央ニ於テ彎入ス殊ニ雄ハ其内部明カニ鈍角狀ヲナス。

胸背板ハ幅廣ク略ボ中央ノ長サノ二倍ナリ。後縁ハ中央部ノ外ハ縁取ラル。前縁角ハ殆ンド直角ニテ突出セズ。後縁角ハ圓味ヲ帶ブ。點刻ハ頭部ヨリ小ニシテ稍ヤ分離シ一様ニ散布セララル。

稜狀板ハ扁平ナル三角狀ニシテ少シク褐色ヲ帶ビ中央ノ縦線平滑ニテ兩側ニ稍ヤ粗大ナル點刻アリ。

翅鞘ノ會合線ノ外明カニ三個ノ縦隆線ヲ有ス。其會合線ニ沿ヘルモノ最モ太ク外方ノ二個ハ稍ヤ細シ。間室ノ點刻ハ胸背板ノ者ヨリ少シク大ニシテ更ニ粗ニ不規則ニ散布ス。

尾節板ハ少シク球形ヲナシ淺キ點刻ヲ有シ先端ノ縁ニ沿ヒ黃褐毛ヲ列生ス。其基部ニ沿ヒ帶狀ニ溷濁部アリ。尾節板ノ前節又溷濁シ其前節ニ褐色ノ短毛アリ。

下面ハ尾節板ト同ジク點刻ヲ有シ腹部ノ尾節ノ外白霜狀ノ溷濁ヲナス。尾節ノ前節ハ中央横ニ凹入シ僅少ノ黃褐毛ヲ有ス。

脚ハ濃褐ニシテ前脚ノ脛節ノ外縁ニ三齒ヲ有ス。跗節ハ其第二第三齒ノ中間ニ位置シテ内縁ヨリ生ズ。刺棘ハ略第三齒ニ對ス。(第八圖)



第 八 圖

ほりしやくろこがねノ前脛節

爪ハ中央ヨリ直角ノ方向ニ分枝ス。

觸角ノ片狀節ハ雄雌共ニ短カシ。

予等ノ有スル標本ハ補里社ニ於テ採取セル雄二個及ビ明カナル採取所記載ナキモ恐ラク石田昌人ニ由リテ臺南ヨリ採取セラレタル雌一個ナリ。

くろこがね屬ノモノニシテ既ニ記載セラレタル種類ノ標本ハ予等殆ンド之ヲ手ニスルコトヲ得タリ。唯一種最モ古クレウキスニ由リテ記サレタル次ノ種類ハ之ヲ見ル能ハザリキ。

Holotrichia(*Lachnosterna*)**niponensis** Lewis.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 308.

産地 Nagasaki, Goto Island, Korea(Fusan).

記載ニ由ルトキハ最モヨクこくろこがねニ似ルモ我國ニ産スル最モ大形ノモノナリト云フ。暖地産ノモノナルガ如シ。

尙予等ノ所有スル標本中ニ九州延岡産ノ一種ニシテ新種ト認ム可キモノアルモ唯雌一個ノミナルヲ以テ將來ノ採集ヲ俟チテ研究ヲ進ムルコトトセリ。

ひめくろこがね屬

Microtrichia Brensk.

胸部ハ無毛ナルカ或ハ短カキ毛ヲ生ズ。胸腹部ノ側方尾節板ノ前縁ノ大部或ハ小部溷濁ヲナス。胸背板ハ網狀ノ點刻ヲ有スルモノ多シ。形ハくろこがね屬ニ比スレバ小ナリ。

本屬ニハ我國ニ臺灣産ノ一種知ラル、ノミナリ。

ひめくろこがね(新稱)

Microtrichia formosana Moser.

Taf. IV. fig. 13.

Deutsch. Ent. Zeitschr. 1913, p. 273.

産地 Formosa.

臺南、臺北

體長 15—16 幅 7,5 mm.

體長形黒褐色ニシテ上面光澤アリ。下面腹部ヨリ胸部ノ中央光澤アリ。前頭及ビ頭楯強キ密ナル點刻ヲ有ス。頭楯略半月形ニシテ前縁ノ中央ノ小部強ク凹入シ上反ス。中央線ハ一波狀ヲ呈ス。

後頭部ハ平滑光澤アリ。

胸背板ハ短カクシテ幅ハ長サノ二倍ナリ。密ニ細點刻ヲ有シ側縁ニ僅

少ノ毛ヲ有ス。

稜狀板ハ滑カナル縁及ビ中央線部ヲ除キ胸背板ノ如キ點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ稍ヤ光澤アリ。縦隆線ハ會合線ニ沿ヘルモノ第一及ビ縁線ニ近キモノ明カニシテ他ハ稍ヤ不明ナリ。全面淺キ相聯合セル點刻ヲ有ス。

尾節板ハ少シク隆起シ稍ヤ強キ點刻ヲ有シ後縁ヨリ兩側ノ一部ニ沿ヒ溷濁部ヲ有ス。

下面及脚ハ赤褐色ヲ帶ビ中央ノ光澤アル部分ヲ除キ胸部ヨリ腹部ノ兩側面ノ大部溷濁ス。前胸部ノ溷濁部ニ黃褐色ノ短毛アリ。尾節ノ前節ノ溷濁部ニモ淡褐細毛ヲ具フ。

予等ハ高橋、石田兩氏採取ノ臺北及ビ臺南ノ標本ヲ有ス。此内一個ハ其色少シク黃褐ヲナス。

ぶらあみな屬

Brahmina Blanch.

觸角ハ十節ニシテ三個ノ片狀節ヲ有ス。頭楯ハ普通ノ形ニテ眼ノ後方内側ハ被ハル、コトナクシテ表ハル。胸背板ノ後縁ハ縁取ラル、コトナク唯側縁ノミ之ヲ有スルコトアリ。多クハ側縁ガ線狀ニ一列ノ點刻ヲ存スルニ止マル。爪ハ中央ノ後部ニ深キ切込ヲ有ス。上面殊ニ胸背板ハ上向セル毛ヲ有ス。本屬ニハ朝鮮産三種アリ予等ノ標本ハ全ク之ヲ欠ク。

Brahmina crenicollis Motsch.

Etud. Ent. III. 1854, p. 64.

Brenske, Berl. Ent. Zeitschr. 1892, p. 116.

產地 China, Korea.

Brahmina intermedia Mannerh. var. *sibirica* Brenske.

Berl. Ent. Zeitschr. 1892, p. 39.

產地 Ostsibirien, Korea.

Brahmina excisiceps Moser.

Deutsche. Ent. Zeitschr. 1915, p. 137.

產地 Korea.

りぞとろうぐす属

Rhizotrogus Latr.

觸角十節片狀節三個ナリ。頭楯ハ普通形ニシテ前頭ニ横線ナシ。體面ニ白色粉狀物ヲ附スルコトナシ。翅鞘上ニ毛ヲ存セザルコト多シ。後胸節ハ多少長形ヲナシ雌ニテモ明カニ後基節ヨリ長シ。第一ノ後跗節ハ多ク第二ヨリ短カシ。爪ハ中央ヨリ前部ニ一齒ヲ存ス。

此屬ノ我國ニ記載セラレタルモノ次記唯一種アリ予等ハ之ヲ得ル能ハザリキ。

Rhizotrogus niponicus Lewis.

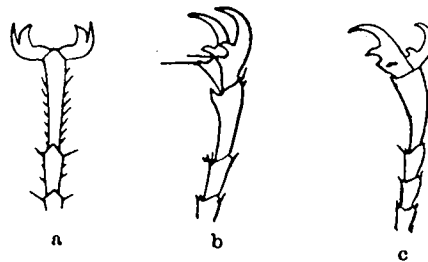
Ann. Mag. Nat. Hist, 1895, p. 379.

產地 Nipon, Gotoshima

こふきこがね類

Melolonthina

胸背板ノ前縁ニ膜狀縁ナシ。上面ニ毛ヲ有スルカ或ハ鱗毛ヲ具フ。觸角ハ十節ヨリ成リ片狀節ハ雄四乃至七節ニシテ第三節ハ長形ヲナスヲ常トス。我國ニ産スル此類ノ屬ノ檢索表次ノ如シ。



第九圖

こふきこがね類ノ爪

a. ながちやこがね b. ひげこがね c. こふきこがね

I₁ 爪ハ先端ニ於テ二分ス(第九圖 a)

II₁ 觸角ノ片狀節著シク長クシテ細シ體細長形ナリ。

ほそこがね屬 *Gymogaster*.

- II₂ 觸角ノ片狀節著シク細長ナラズ。
- III₁ 觸角ノ片狀節ハ六又ハ五節ナリ。片狀節ノ前節ハ延長スルコトナシ
かばいろこがね屬 *Hilyotrogus*。
- III₂ 觸角ノ片狀節ハ雄六節ナリ。片狀節ノ前節延長ス。
ながちやこがね屬 *Heptophylla*。
- I₂ 爪ハ基部ニ一銳齒ヲ分ツ
- IV₁ 觸角ノ片狀節雄ハ七節ニシテ長ク雌ハ六節ニシテ短カシ。腹節ノ兩
側ニ白斑アリ。兩側部ノ爪ノ發達少シク異ナル。(第九圖c)。
こふきこがね屬 *Melolontha*。
- IV₂ 觸角ノ片狀節雄ハ七節雌ハ五節ナリ。爪ノ兩側部同形ナリ。(第九圖b)
- V₁ 雄ノ觸角ノ片狀節著シク長ク翅鞘ノ斑紋不規則ナリ。
ひげながこがね屬 *Polyphylla*。
- V₂ 雄ノ觸角ノ片狀節著シク長カラズ翅鞘ノ斑紋線狀ナリ。
しろすじこがね屬 *Granida*。

ながちやこがね屬

Heptophylla Motsch.

觸角ハ十節ナリ。觸角ノ片狀節雄ハ六節ニシテ長ク雌ハ五節ニシテ短カシ。脚ノ爪ハ雌雄共ニ内側ニ於テ深キ切込ヲナス。前脛節ノ内側ニハ雌雄共ニ普通ノ刺棘一個ヲ存ス。

我國ニ存スル此屬ノモノハ次ノ唯一種ノミナリ。

ながちやこがね

異名きこがね

Heptophylla picea Motsch.

Taf. IV. fig. 14.

Etud. Ent. VI, 1857, p. 33.

Brenske, Ent. Nachr. 1892, p. 155.

Reitter, Best.-Tab. (50) 1902, p. 258.

新島等, 演習林研究報告第五號(1917) P. 15.

松村松年, 日本千蟲圖解第三卷, P. 99. Pl. 4. 17.

(*Holotrichia transversa*) Motschulsky, Etud. Ent. 1860, p. 15.

Waterhouse, Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 105.

産地 Japan: Jedo, Jesso, Yokohama, Nagasaki.

松山, 高知, 東京, 長野, 大和, 近江, 伊賀, 日光, 岩手, 仙臺, 札幌, 膽振,

體長 11—14 幅 5—7 mm.

長形ニシテ後方ニ幅少シク廣ク黃褐色ニシテ光澤アリ翅鞘ノ縦線ハ不明ナリ。

頭楯ハ短カクシテ幅廣ク前縁中央ニ於テ少シク彎入シ上反ス。點刻粗大ナリ。前頭トノ會線ニ近ク横線狀ノ隆起アリ。前頭ハ又粗大ナル點刻ヲ有シ上向セル黃褐色毛ヲ存ス。

胸背板ハ幅廣クシテ中央ノ長サノ二倍以上ナリ。光澤アル赤褐色ヲナシ不規則ナル粗點刻ヲ散布ス。側縁ヨリ前縁ニ稍ヤ長キ黃褐色ノ刺毛ヲ列生ス。上面ニモ同様ノ毛ヲ散生ス。後縁ノ中央稜狀板ノ上ニ黃白色ノ短毛ヲ存ス。

稜狀板ハ扁平ニシテ點刻小ナリ。

翅鞘ハ稍ヤ黃色ヲ帶ビ四個ノ縦隆線甚不明ナリ點刻粗大ニシテ一様ニ存在ス。側縁ニ沿フテ長黃褐毛ヲ生ズ。

下面黃褐色ニシテ後胸部ニ長キ黃色毛ヲ生ス。

觸角ノ片狀節ハ雄長形ニシテ六節ヨリ成ル。片狀節ノ前一節ハ稍ヤ長クシテ片狀ニ近キモ柄部ニ加フルヲ可トスベキヲ以テ六節トセリ雌ハ五節ヨリ成リ短カシ。脚ハ赤褐色ニシテ光澤アリ。

前脚ノ脛節ハ三個ノ外齒ト一個ノ内縁刺棘ヲ有ス。

かばいろこがね屬

Hilyotrogus Fairm.

脚ノ爪ノ先端ニ於テ深キ切込ヲ有ス。前脛節ノ外齒ハ三個ニシテ雌雄共ニ内側ニ普通ノ棘刺ヲ具フ。下顎鬚ノ末端節ハ細長形ナリ。觸角十節雄ノ片狀節ハ五個ヨリ成ル。

本種ニ屬スルモノニシテ記載セラレタルモノ七種アリ皆印度及ビ東洋ノ産ニシテ我國ニ産スルモノハ朝鮮ニ存スル次ノ一種ナリ。

てうせんかばいろこがね(新稱)

Hilyotrogus bicolorus Heyden.

Taf. IV. fg. 16.

(*Holotrichia*) Horne, Soc. Ent. Ross. 1887, p. 265.

Brenske, Ent. Nachr. 1892, p. 154.

Reitter, Best.-Tab. (50) 1902, p. 253.

産地 Sibirien, Mandschurei, Korea.

朝鮮(釋王寺)

體長 16 幅 8 mm.

體赤褐ニシテ稍ヤながちやこかねニ似テ光澤無ク僅カニ溷濁ス觸角ノ片狀節雄ニ於テ五節アリ。

頭楯短カク前側圓形ヲナシ前頭部ニハ強クシテ密ナル點刻ヲ有ス。會線明カニシテ前頭ニ小數ノ黃褐毛ヲ具フ。

胸背板ハ頭部ト同シク濃赤褐色ヲナシ幅廣クシテ短カク點刻小ニシテ密ナラズ前縁及ビ側縁ニ黃褐毛ヲ列生ス。後縁ハ縁取ラルルコトナシ。

翅鞘上ニ稍ヤ接近シテ存セル二縱隆線ヲ認メ得ベシ。點刻ハ胸背板ニ於ケルヨリ更ニ細カク稍ヤ密ニ存ス。

下面黃褐ニシテ胸部ニ黃色毛アリ。尾節及ビ其前節ニハ黃色刺毛ヲ具フ。

觸角及ビ脚ハ黃褐ナリ。雄ノ觸角ノ片狀節ハ長クシテ柄部ヨリ僅カニ短カシ。前脚ノ脛節ハ三齒アリテ刺棘ハ第二齒ニ對シテ存ス。

予等ノ標本ハ内田登一氏採取ノ雄一個ナリ。

こふきこがね屬

Melolontha Fabr.

脚ノ爪ハ基部ニ於テ一個ノ齒ヲ有ス。前脛節ハ其内縁ニ一個ノ刺棘ヲ

具フ。後胸部ノ前縁中央部ハ毬果狀ニ中脚ノ基節ノ間ニ突出ス。其大サニハ大小アリテ先端裸出シ光澤ヲ有ス。腹部ノ兩側ニハ白色ノ毛斑ヲ存ス。尾節板ハ略ホ三角形ヲナシ尾節ノ下面ニ聯ルコトナシ。

こふきこがね屬ニ對シおほこふきこがね屬 *Holosternus* Guér. ヲ區別シタルモ其區別點ノ主トスル處ハ胸部ノ毬果狀突起ニシテおほこふきこがね屬ハ突起甚ダ大、圓錐形ヲナシテ裸出シ之ニ由リ中脚ノ基節ヲ分チこふきこがね屬ハ之ガ小ニシテ細ク中基節ノ間ニ超出スルコトナシトセルモ其ノ間ノ區別甚ダ明了ヲ缺クモノアリ。又前脛節ノ内部ニ強キ刺棘ガおほこふきこがね屬ニテハ雄ニ存セズこふきこがね屬ニハ雌雄共ニ存スト稱スルモ前屬中ノおほこふきこがねハ明カニ雄ニ刺棘ヲ具フルヲ認ム。故ニ予等ハアルローノ主張ニ從ヒ (Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 401.) おほこふきこがね屬ノ名ヲ省除シこふきこがね屬ニ合セリ。

予等ノ調査シ得タル本屬ノ種類ハ五個ナリ。其内一ハ新種ニ屬ス。其檢索表次ノ如シ。

I₁ 腹側ニ白色毛斑ヲ有ス。

II₁ 背面ノ毛ハ明カナル黄色ヲナス。

III₁ 腹面ノ後胸中央ノ突起短カク裸出部少ナシ。

こふきこがね *M. japonica*.

III₂ 腹面ノ後胸中央ノ突起細長ニシテ裸出ス。

さつまこふきこがね *M. satsumaensis*. n. sp.

II₂ 背面ノ毛ハ灰白又ハ僅カニ黄色ヲ帶ブ。

IV₁ 尾節板長形ヲナサズ。

おほこふきこがね *M. frater*.

IV₂ 尾節板長形ナリ。

たいわんこふきこがね *M. insulana*.

I₂ 腹側ニ白色毛斑ナク雄ノ片狀節著シク長シ。

てうせんこふきこがね *M. incana*.

こふきこがね

異名かきこがね おほすぎむし

Melolontha japonica Burm.

Taf. IV. fig. 18., Taf. VII. fig. 12.

Handb. Ent. IV.2 1855, p. 420. 谷.

Waterh., Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 106.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913. p. 395.

新島等, 演習林研究報告第五號. P. 13.

產地 Hiogo, Nagasaki, Yokohama.

鹿兒島, 熊本, 宮崎, 高知, 岡山, 播磨, 枋木, 御殿場, 安房, 下總, 東京, 越中, 仙臺,
福島

體長 25—31 幅 13—15 mm.

體色濃褐ニシテ黄色ノ短毛ヲ密生ス。

頭部ハ細點ヲ密布スルモ黄色毛ノタメニ認メ難シ。頭楯ハ略四角形ヲナス。雌ハ前縁少シク凹入シ雄ハ稍ヤ弧線狀ヲナシテ上反シ頭楯ノ表面ハ窪メル有様ヲナス。會線ハ少シク内方ニ凹入ス。

觸角ハ雄ノ片狀部七節ニシテ凡ソ4mmアリ柄部ヨリ長シ。雌ハ短カク柄部ノ略ボ半ナリ。

前胸板ハ又密ニ細毛ヲ生ジ後縁ハ中央少シク後方ニ向ヒ波狀ニ突出シ側縁滑カナラズ。中央ヨリ前縁ニ著シク傾斜ス。地色ハ種々ニシテ赤褐ヨリ濃褐ニ至ル。

稜狀部略半圓形ニシテ又細毛ヲ密布ス。

翅鞘赤褐縦隆線ハ上面ノ三個ヲ認ムルヲ得ベシ。先端ニ近ク隆起部アリ。

前脚ノ脛節外縁ニ銳キ二齒ト一痕跡ヲ有スルモ雄ニテハ先端ノモノノミ著シク第二ハ甚小ナリ。第三ノ痕跡ノ如キ全ク消失シタルモノアリ。鹿兒島ニテ得タル一個ノ如キ唯先端ノ一齒ヲ存スルノミナリ。内面ノ刺棘ハ雌雄略同形ナリ。跗節ノ爪ノ基部ノ枝爪モ雌ニ一般ニ大ニシテ雄ニ小ナリ。

中胸突起ハ短カキモ光澤アル裸狀ニシテ明カニ認メ得ベシ。

腹部環節ノ兩側ノ毛斑著シク大ナラズ。

レウキスガが多數ニ採取セル標本ニ由リテ我國ノ此種ニ付キ近似セル二種ノ學名ノモノ記載セラレタリ。即チ上記ノモノト *Hoplosternus Japonicus* Harold. ナリ。之ヲ同一屬ニ改訂スルニハ同種名ヲナスヲ以テ モーゼルハ後種ニ *haroldi* ナル名ヲ與ヘンコトヲ記載セリ。然ルニ ハロールドハ其命名セル種ハ前種ト同一ナルモノナルヲ承認シ居タルヲ〔以テ之等ハ當然一個ノ種名トナルベキモノナリ。然ルニ實際ニ於テハ明カニ二種ノ異ナリタルモノアルヲ認メラレタル事實ニシテ茲ニ無名ノ一種ヲ出シタルコトトナレリ。〕アルローハ之ニ *frater* ノ學名ヲ附シテ發表セリ。即チ後ニ記載セル如シ。

別ニ本種ノ一變種ト認ムベキモノアリ。即チ次ノ如シ。

變種ごてんばこふきこがね

Melolontha japonica Burm. var. *Gotenbaensis* N. et. K. n. var.

頭部胸背板及ビ稜狀板濃褐色ナリ。翅鞘ハ黄褐色ニシテ淡キ黄色毛ヲ具フ。腹側ノ白毛斑ハ小形ナリ。雄交尾器ノ齒狀突起著シク銳シ。前脛節ノ齒ハ雌雄共ニ二個ナリ。體比較的小 24—26 mm ナリ。

予等ハ静岡縣御殿場ニテ採取セル標本雄三雌一個ヲ有ス。此内二個ハ殆ンド腹側ノ白斑ヲ缺ク。

さつまこふきこがね(新種)

Melolontha satsumænsis. Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II. fig. 5. Taf. IV. fig. 19., Taf. VII. fig. 13.

產地 鹿兒島、宮崎、高知

體長 27—33 幅 13—15 mm

こふきこがねニ似テ形稍ヤ大。頭、胸背板、稜狀板及ビ脚眞黒僅カニ褐色ヲ帶ブルモノアリ。後胸前縁ノ突起細長ナリ。

頭部密ナル細點刻ト黄色毛ヲ存ス。毛ハこふきこがねノ者ヨリ太シ。頭楯ハ雄ハ殆ンドこふきこがねト同ジキモ雌ハ前方稍ヤ強ク狭搾シ前縁

ノ中央緩ニ内方ニ凹入ス。

胸背板ハ雌ノ後縁角稍ヤ強ク突出ス。

翅鞘ノ縦隆線ハこふきこがねヨリ高クシテ著シ。

尾節板ハ長形ニシテ先端一般ニ鈍ク尖ル。

中胸突起ハ細長ニシテ裸出シ短カキこふきこがねノ者ト全く異ナリ。

前脛節ハ先端ニ一齒ト第二齒ノ痕跡ヲ存スルノミニテ明カナル二齒ヲ有セズ。雌ハ二齒ヲ具フ。

下面ハ黒色ナリ。腹側ノ白色毛斑ハ狹長ニシテ各節ノモノ相聯ナリ殆ンド一直線條ヲナス。

雄交尾器ノ形状ハこふきこがねト全く異ニシテ先端ニ近ク背面ニ向ヘル鋭キ一齒ヲ有スルノミ。高知本山産ノ一ハ其形少シク異ナルモノアルモ體ノ形質ニ於テ相似ルヲ以テ恐ラクハ地方的變化ニ屬スルモノナラン。

本種ハ最初こふきこがねト合置シタルモ其形質異ナルヲ以テ更ニ雄交尾器ヲ檢シ別種ト定メタリ。標本ハ薩摩國鹿兒島産(望月氏採收)雄二雌八個及ビ宮崎富高産雄一個高知本山産雄一個ナリ。

てうせんこふきこがね(新稱)

Melolontha incana Motsch.

Taf. IV. fig. 20.

(*Hoplosternus*) Etud. Ent. I. 1853, p. 46.

Reitt., Best-Tab. (50) 1902, 260.

產地 China, Korea,

朝鮮(水原, 花山)

體長 28 幅 15 mm (20—30 mm. L. nach Reitter)

外形體色及ビ細毛最モヨクこふきこがねニ似ルモ腹節ノ兩側ニ白色毛斑ヲ有セズ。

頭楯ハ四角形ニテ前縁略ボ平ラカニ少シク上反ス。前頭ノ前縁ハ弱キ

(64)

凹線ヲナス。

胸背板ハこふきこがねニ似ルモ幅廣ク側縁明カニ縁取ラル。前縁角モ稍ヤ前方ニ突出ス。

稜狀板ハ前種ヨリ少シク長形ナリ。

翅鞘ハ微細ナル點刻ト黄色毛ヲ有ス。縦隆線ハ其中間室部ノ凹ミ前種ヨリ著カラザル爲メ明了ヲ欠クモノアリ。

雄ノ觸角片狀節ハ甚ダ長ク凡ソ6mmニシテ前種ヨリモ著シ。前脛節ノ外齒ハ三個ナルモ雄ニハ最後ノ一ヲ欠除スルモノアリ。

腹部ノ兩側ニハ白色毛ノ斑紋ヲ有セズ。後胸部ノ前縁突起ハ長クシテ前基節ニ達ス。

予等ノ標本ハ京城ノ附近花山水原ニ於テ内田氏採集ノモノナリ。

たいわんこふきこがね(新稱)

Melolontha insulana Moser.

Taf. IV. fig. 23.

(*Hoplo termus*) Stett. Ent. Zeitschr. 1918, p. 246.

產地 Formosa(Karapin)

臺北

體長 29—30 幅 14—15 mm

こふきこがねニヨク似ルモ長形ヲナスヲ以テ區別シ得ベシ。

さつまこふきこがねニ比スレバ體毛白色ヲ帶ビ短小ナリ。

頭部ノ點刻ハ大ニシテ粗ナリ。灰色毛ハ略ボ臥生ス。頭楯ハ前縁ハ上反ス。

胸背板ハ兩側淺キ鋸齒狀ヲナシ短細毛ヲ列生ス。點刻ハ細密ナリ。

稜狀板ハ半圓形ニシテ細點ヲ平等ニ散布シ短毛ヲ生ズ。

翅鞘ハ縦隆線三個アリ。著シク隆起セズ。側方ノ一個ハ不明ナリ。間室ノ點刻細密ナリ。

尾節板ハ其先端ニテこふきこがねヨリ幅廣ク圓形ヲナス。兩側密ニ灰

色毛ヲ生ズ。

下面ハ腹節ノ中央部ヲ除キ密ニ灰色ノ短毛ヲ生ス。各腹節ノ兩側ニハ白色毛斑ヲ存ス。

中胸部ノ中央突起ハこふきこがねハ點ナク細クシテ長シ。

前脛節ハ三齒ヲ有ス然シ其最端ノモノ甚ダ小形ナリ。

予等ノ所有スル之ニ近似セル標本三個アリ。何レモ雄ニシテ臺北産ナリ尾節板ノ構造ヲ除キ他ノ性質全ク記載ニ合スルヲ以テ之ガ變種トナスコト、セリ即チ次ノ如シ。

變種 たいほくこふきこがね

Melolontha insulana Moser. var. *taihokuensis* N. et. K. n. var.

尾節ノ先端幅廣キ圓形ニアラズシテ細長形ヲナス。他ハ全ク基種ノ記載ト同ジ。雄交尾器ノ構造ハ全然こふきこがねト異ナリ。

おほこふきこがね

Melolontha frater Arrow.

Taf. IV. fig. 17.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1913. p. 400.

(*Hoplosternus Japonicus*) Harold, Abh. Nat. ver. Brem. 1875, p. 291.

Waterhouse, Trans. Ent. Soc. Lond. 1875. p. 106.

Bates, Proc. Zool. Soc. Lond. 1888, p. 373.

Ritter, Best.-Tab. (50) 1902, p. 259.

松村松年, 千蟲圖解第三, P. 90. Pl. 48. Fig. 3.

産地 Nara, Kioto, Kii Wada, Kobe, Osaka, China.

岡山, 高知(本山), 鹿兒島

體長 25—32 幅 14—15 mm.

體赤褐色ニシテ灰白色ノ細毛ヲ密附ス。此細毛ハ摩擦等ニヨリ脱落スルコトこふきこがねヨリ著シ。

こふきこがねニ最モヨク似ルモ其區別點ハ此種ニ於テハ體色赤褐ヨリ濃褐ニ傾キ細毛ヲ失ヒタル標本ニテハ著シキ光澤ヲ見ル。

翅鞘ノ基色ハ前胸板ト同ジ。

頭部密ニ細點刻ヲ有ス。細毛ハこふきこがねヨリ粗ナリ。頭楯ハ前縁ノ中央内方ニ少シク窪ミ雄ハ稍ヤ強ク上反ス。

胸背板ハ光澤アリテ細カキ灰白毛ヲ生ジ細點刻ヲ有ス。後縁角ハ鋭ク後方ニ向フ。

翅鞘ハ各面ニ明カナル三縦隆線ヲ存ス。灰白毛ハこふきこがねヨリ短ナリ。

尾節板ハ三角形ニシテ全面ニ細毛ヲ有ス。其中央縦線狀ニ僅カニ薄キ部分アリテ線狀ノ光澤ヲ呈ス。

腹節ノ兩側ニハ白色三角形ノ毛斑ヲ有ス。雌ノ尾節ハ平カニシテ先端縁取ラル、コトナシ。前脛節ニハ雄二齒雌三齒ヲ有ス。雄ノ片狀節ハ4,5—5mmナリ。

中胸前縁ノ毬果狀突起ハ短カク尖ル。

本種ハ普通 *Hoplosternus japonicus* Harold ノ學名ニテ知ラレタルモノナルガアルローニ由テこふきこがね屬ニ移シ此名ヲ採ルコト、セルハ前ニ記セル如シ。予等ノ標本ハ岡崎俊太郎氏採集ノ岡山産ノモノヲ最多トス。主トシテ暖地ニ普通ナルガ如シ。

しろすじこがね屬

Granida Motsch.

脚ノ爪ハ基部ニ近ク略ホ同形ノ分枝ヲナス。前脛節ニハ二齒ヲ有ス。内側ニハ一個ノ刺棘アリ。後脛節ノ末端ニハ二刺棘ヲ具フ。胸背板ノ兩側ハ弧線ヲナシ。角度ヲナスコトナシ。雄ノ觸角ノ片狀節ハ七節ニシテ長キモ彎曲スルコトナシ。雌ハ五節ニシテ短カシ。

此屬ハ元來其數多カラズ我國ニ存スルモノ亦一種ノミ。

しろすじこがね

Granida albolineata Motsch.

Taf. IV. fig. 27.

Etud. Ent. 1861. p. 8.

Waterhouse, Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 106, t. 3. f. 7.

Brenske, Ent. Nachr. 1890, p. 197 nota.

Reitter, Best.-Tab. (50) 1902, p. 270, nota.

(*Polyphylla Schönfeldti*) Brenske, Ent. Nachr. 1890, p. 198.

松村松年, 千虫圖解第三, P. 96. Pl. 48. Fig. 12.

新島等, 演習林研究報告第五號 P. 15.

產地 Hiogo, Nagasaki, Tokio, Liu-Kiu.

北海道(苫小牧, 日高), 岩手, 播磨, 丹後, 沖繩

體長 27—31 幅 13—16 mm.

頭胸黒褐ニシテ翅鞘ハ濃赤褐ナリ。體ノ上面ニ白色ノ縦條アリ。

頭楯ハ前縁凹入シ上反ス。頭楯ヨリ前頭ニ大形ノ淺キ點刻ト短カキ淡黄鱗毛ヲ存ス。眼ニ近ク稍ヤ長キ鱗毛ヲ斑紋狀ニ生ズ。後頭ハ平滑ニシテ光澤アリ。

胸背板ハ兩側縁圓味ヲ帶ビ小數ノ小刺毛ヲ列生ス。上面ハ光澤ヲ有シ大形ノ點刻ヲ散布ス。中央及ビ兩側ニ邊シテ白色鱗毛ヨリ成ル條斑アリ。

稜狀部ハ半圓形ニシテ中央縦ニ少シク巾廣ク裸出シ光澤アリ。兩側ニ白色短鱗毛ノ斑紋ヲ存ス。

翅鞘上ニ白色ノ縦條アリ其會合線ニ近キ二條ト兩側縁ニ近キモノ太クシテ明カナリ。

尾節板ハ圓錐形ニシテ中央縦ニ褐色裸出部アリ。兩側面ニ白色鱗毛ヲ存ス。

下面ハ胸節ニ黄色長毛ヲ密生シ。腹節ニ白色鱗毛アリ。

前脛節ノ外齒ノ先端ノモノハ彎曲セズ。雌ノ觸角片狀節ハ著シク長カラズ。

ひげこがね屬

Polyphylla Harris.

脚ノ爪ハ基部ニ於テ殆ント同形ノ分齒ヲ有ス。前脛節ハ二或ハ三齒ヲ有シ。内側ニ雌雄共ニ普通ノ刺棘ヲ存ス。後脛節雄ニテハ狭ク雌ニテハ下方ニ擴マレリ。外側ニ銳齒ヲ具フ。中胸部ノ前緣長形ノ毬果狀突起ヲナサズ。腹節ノ最後ノモノハ其前緣ニテ尾節板ヲ圍繞ス。雄ノ觸角片狀部ハ七節ヨリ成リ長クシテ彎曲シ柄部ヨリ長シ。雌ハ五節ニシテ短カシ。

此屬中我國ニ存スルモノ既記一種及ビ新種一アリ。次ノ如シ。

I₁ 前頭部ニ上向セル長毛ヲ存ス。形大ナラズ。

ひげこがね *P. laticollis*.

I₂ 前頭部ハ長毛ヲ存セズ。形著シク大ナリ。

たいわんひげこがね *P. formosana* n. sp.

ひげこがね

Polyphylla laticollis Lew.

Taf. IV. fig. 21.

Ent. Monthly Mag. 1887, p. 231. ♀.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 399.

Semen, Horae Soc. Ent. Ross. 1900, p. 312.

Reitter, Best.-Tab. (50) 1902, p. 271.

松村松年, 千虫圖解第三, p. 83, pl. 47. fig. 8.

新島等, 演習林研究報告第五號 p. 16.

產地 Sagami.

伊賀, 播磨, 岐阜, 朝鮮(平壤)

體長 33—36 幅 17—18 mm.

體濃褐色ニシテ白色ノ斑紋ヲ有ス。雄ノ片狀節著シク長ク彎曲ス。

頭部黃褐色毛ヲ有ス。頭楯ハ前部少シク巾廣ク前緣内方ニ弧線狀ニ窪ム。前頭ノ後方ニハ鱗毛ヲ交ユ。

胸背板ハ巾廣クシテ短カク中央ニ細ク裸出セル縦線部アリ。點刻淺クシテ密ナリ。淡黄色ノ細毛ヲ生ズ。兩側緣ハ稍ヤ角狀ニ突出シ。小數ノ刺毛ヲ列生ス。

稜狀板ハ先端及ビ中縦線ヲ除キ密ニ白色短毛ヲ生ス。

翅鞘ハ濃キ黄褐色ニシテ三個ノ縦隆線ハ不明ナリ。點刻淺ク不規則ナル横皺ト共ニ存ス。全面ニ白色毛ヨリ成ル斑紋アリ。

尾節板ハ鈍頭ノ三角形ヲナシ短毛ヲ密生ス。

下面ハ胸節ニ黄色ノ長毛ヲ存シ。腹節ニハ白色短毛ヲ密生ス。

脛節ノ外齒ハ雄二雌三個ナリ。

たいわんひげこがね(新種)

Polyphylla formosana Nijima et Matsumura n. sp.

Taf. IV. fig. 22.

産地 臺灣(補里社)

體長 41 幅 20 mm.

大形濃褐色ニシテ翅鞘ひげこがねニ似テ尙ホ密ナル白斑ヲ有ス。前頭部ニ上向セル毛ヲ有スルコトナシ。

頭楯ハ短カクシテ巾廣ク略ボ四角形ヲナス前縁僅カニ波狀ヲナシ上面前頭ノ會線ニ近ク平滑ナリ。側縁ヨリ前縁ニ沿ヒ淡黄色鱗毛ヲ存ス。前頭部ニ上向セル毛ヲ存セズ。強キ大ナル點刻ヲ有ス。眼ニ近ク帶狀ノ淡黄色鱗毛アリ。

胸背板ハ後縁明カニ縁取ラレ側縁ハ中央ニテ角狀ニ彎曲ス。上面稍ヤ密ニ點刻ヲ有シ中央及ビ兩側ニ淡黄ノ縦條アリ。其ノ兩側ノモノハ中央ニテ分離ス。側縁ノ角狀部ニ近ク斑紋狀ニ平滑ナル部分アリ。

稜狀板ハ中央ヨリ先端ニ平滑光澤アリ。基部ニ近キ兩側ニ淡黄ノ鱗毛斑アリ。

翅鞘ハ點刻淺ク不規則ニ白色鱗毛ヨリ成ル大理石紋ヲ有ス。

尾節板ハ光澤アリ密ニ細刺毛ヲ生ス。先端ハ載斷狀ヲナシ稍ヤ長キ褐色毛ヲ生ズ。

下面ハ光澤アル褐色ニシテ胸部及ビ後基節ニハ長キ細白毛ヲ密生シ。腹節ニハ搔傷狀ノ點刻ニ細カキ刺毛ヲ生ス。脚ノ前脛節ノ外齒雄唯一個

ナリ。觸角ノ片狀節ハ長形ニシテ其基部靜止ノトキ稍ヤ銳角ヲナス。

本種ハひげこがねニ最モヨク似ルモ形大ニシテ密ナル翅鞘上ノ斑紋ヲ有シ且ツ頭部ニ立毛ヲ有セザルヲ以テ明カニ區別シ得ベシ。

予等ハ補里社ニテ採取セル標本一個ヲ有シ本學昆蟲學教室又一個人ヲ具フ。共ニ雄ノミナリ。

ほそこがね屬

Gymogaster Blanch.

體長圓筒形ニシテ眼突出ス。觸角十節ニシテ片狀節雄ハ六或ハ五個ニシテ長形ナルモ巾狹シ脚ハ長クシテ稍ヤ細ク前脛節ノ外齒ハ二個ニシテ銳尖セズ附節ハ甚長ク中央ニ近ク分齒セル大形ノ鈎爪ヲ有ス。

本屬ノ種類ハ唯二種ノ知ラレタルモノアルノミナリ。次記新種ハ本屬ニ入ルベキモノナルヲ認ム。

ほそこがね(新種)

Gymogaster Ezakii Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II. fig. 1., 11.

產地 臺灣(烏來)

體長 9.5 幅 4.5 mm.

體濃褐光澤アリ細長ニシテ胸背板ハ強キ點刻アリ。觸角ノ片狀節六節ニシテ著シク長シ。

頭部幅廣キモ短カシ大ナル深キ點刻ヲ有ス。頭楯ハ前部ニ巾狹ク前緣角ハ圓味ヲ帶ビ前緣ハ中央ニ彎入ス。雄觸角ハ黃褐色ニシテ片狀節六節ヨリ成ル其内方ヨリ第三ノ一節小ニシテ幅狹ク中央ニ達セズ。

胸背節ハ幅廣ク稍ヤ圓ク隆起シ大形ノ少シク相連レル點刻ヲ密ニ有シ中央ニ弱キ凹線ヲ具フ。側緣ハ中央強ク彎曲ス。

稜狀板ハ小形ニシテ強キ光澤アリ點刻無ク平滑ナリ。

翅鞘ハ濃褐色ナルモ稜狀板ト肩トノ間ニ淡褐色ヲナス。

會合線ノ縁線ハ廣キ隆線狀ヲナシ各翅鞘面ニハ明カナルニ縦隆線アリ中間室ハ幅廣ク平カニシテ大ナル點刻ヲ稍ヤ連續的ニ存ス。會合線ノ先端ニ近ク短カキ刺毛ヲ列狀ニ存ス。尾節板ハ光澤アリ稍大ナル點刻ヲ有シ先端ノ縁ニ一列ノ長黃褐刺毛ヲ存ス。

下面ハ胸部脚ト共ニ赤褐色ニシテ腹節ハ淡黃褐色ヲナス。胸部ニハ粗點刻ヲ存シ。後基節ハ光澤ヲ欠キ點刻上ニ褐色ノ細短毛ヲ存ス。腹節ハ細點ヲ散布シ尾節ノ前節ハ兩側霜狀斑ヲ有ス。前脛節ノ外齒ハ三個ニシテ後方ノ一ハ小ナリ。

本種ハ江崎悌三氏ガ臺灣ヨリ採收セル雄一個ノ標本ニ由ツテ記載セルモノナリ。屬ノ性質ト比スレバ其前脛節ノ外齒ノ數ニ差アルモ他ノ點ニ於テ同一ナルヲ以テ此屬ニ加フルモノナリ。

かんしよこがね類

Diprotaxida

胸背板ノ前縁ハ膜狀縁ヲ有ス。頭楯ノ後端延長シテ殆ンド眼ノ全部ヲ横斷ス。胸背板ノ後縁ハ縁取ラルヽコトナシ。

此内ニテ我國ニ産スルモノハ唯次ノ一屬アルノミナリ。

かんしよこがね屬

Apogonia Kirby.

體短カク球形又ハ短カキ橢圓形ニシテ頭部幅廣ク前胸ニ深ク引入ルコトヲ得。頭楯ハ短カク略ボ半圓形ニシテ其外縁角ハ伸長シテ眼ノ中央ニ達ス。觸角ハ甚ダ小形十節ニシテ片狀節三個ナリ。胸背板ハ幅廣ク兩側縁弧線狀ヲナス。稜狀板ハ心臟形ヲナス。中胸突起ハ存スルコトナシ。前脛節ニ三外齒ヲ有シ附節ノ下面ニハ毛ヲ生ズ。後附節ノ第一ハ短カク爪ノ先端ニテ分岐ス。

予等ノ調査シ得タル本邦産三種ノ檢索表次ノ如シ。
I, 體ノ下面ニ短小ナル淡黃毛ヲ生ゼズ。

ひめかんしよこがね *Ap. amida*.

I, 體ノ下面ニ短小ナル淡黄毛ヲ存ス。

II, 上面胸背板ト翅鞘ト全ク一樣ノ色彩ヲナス(琉球産)

りうきうかんしよこがね *Ap. bicavata*.

II, 胸背板ト翅鞘トノ色少シク異ナリ(朝鮮産)

てうせんかんしよこがね *Ap. cupreoviridis*.

ひめかんしよこがね

Apogonia amida Lewis.

Taf. III. fig. 18.

Ann. Mag. Nat. Hist, 1896, p. 332.

(*Apogonia splendida*) Waterh. (nee Bohem) Trans. Ent. Soc. London, 1875. p. 102.

新島等, 演習林研究報告第五號 p. 14.

産地 Japan.

高知熊本

體長 9—9.5 幅 5—6 mm.

體黑色ニシテ鐵色ヲ帶ビ著シキ光澤アリ。

頭楯ハ幅廣ク著シク短カシ點刻ハ大ニシテ深ク稍ヤ密ナリ。前頭トノ會合線ハ波狀ヲナス。前頭ハ平カニシテ點刻頭楯ヨリ小ナリ。

胸背板ハ強キ圓味ヲ有シ上面甚微ニ兩側ニ稍ヤ粗大ナル點刻ヲ有ス。

稜狀板ハ略ボ滑カナリ。

翅鞘ハ滑カナル三縱條ノ外稍ヤ強キ密ナル點刻ヲ有ス。尾節板ハ小ニシテ楕圓形ヲナシ粗點刻ヲ有ス。

下面黑色ニシテ毛ナク點刻粗ナリ。

前脛節ノ外齒ハ銳尖ヲナスコトナク後方ノ一個ハ甚ダ小ナリ。

予等ノ有スル多數ノ標本ハ總テ高知附近ニ於テ採取セラレタルモノナリ。然レドモ原記載ノナサレタル レウキスノ採取ハ四國ニ及バザリシヲ以テ恐ラク本州ニ於テモ繁布スルモノナル可シ。

本報告第五號ニ臺灣産ヲ記シタルモ其標本ヲ檢シタルニアラザルヲ

以テ暫ラク之ヲ除クモノトス。

りうきうかんしよこがね(新稱)

Apogonia bicavata Arrow.

Taf. III. fig. 17.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 399.

産地 Loochoo Is: Okinawa.

琉球

體長 10.5 幅 6 mm.

黒色ニシテ僅カニ藍色ヲ帯ビ光澤甚強カラズ。長楕圓形ヲナシ後方ニ幅少シク廣シ。

頭楕新月形ニシテ強キ密ナル點刻アリ。縁上ニ微細ナル白毛ヲ存シ前縁ハ上反ス。會線ハ中央ニ於テ前頭ニ急ニ彎入ス。前頭ノ點刻ハ強クシテ大ナリ。

胸背板ハ上部前頭ヨリ稍小ニシテ側方ニ大ナル點刻アリ。前縁角ハ稍ヤ前方ニ突出ス。

稜狀板ハ光澤強カラズシテ微細ナル僅少ノ點刻アリ。

翅鞘ハ大ナル點刻ヲ稍ヤ密ニ存ス。會合線及ビ上面ノ二縱隆條ハ先端ニ於テ幅少シク廣ク互ニ接近ス。

尾節板モ又點刻粗大ニシテ微細ナル白毛ヲ存ス。

下面ハ黒色ニシテ散在セル粗點刻アリ。其上ニ短キ淡黄色毛ヲ生ズ。

前脛節ハ唯二外齒ヲ有ス其先端ハ尖ルコトナシ。

予等ハ琉球産唯一個雄ノ標本ヲ有ス。

てうせんかんしよこがね(新稱)

Apogonia cupreoviridis Kolbe.

Taf. III. fig. 19.

Arch. f. Nat. LII. 1883 p. L. p. 193.

Bates, Proc. Zool. Soc. London, 1888, p.373.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1896, p. 334.

產地 Korea, Goto Is.

朝鮮(水原,京城)

體長 10 幅 5,5 mm.

長楕圓形黑色ニシテ光澤アリ。頭及ビ胸背板ハ少シク銅色ヲ帶ビ翅鞘ハ光線ニヨリ綠色光澤ヲ呈ス。

頭楕ハ前縁僅カニ上反シ殆ント注意シ得ザル如キ細短毛ヲ生ス。點刻甚密ナリ。前頭ノ點刻モ亦強クシテ密ナリ。

胸背板ノ點刻粗ク前縁角明カニ前方ニ突出ス。

稜狀板ハ黒銅色ニシテ光澤ヲ有シ微細ノ點刻アリ。

翅鞘ハ胸背板ヨリモ強キ然シ密ナラザル點刻ヲ有ス。縦隆線ノ翅鞘面上ニアルモノハ幅比較的廣クシテ明カナル隆線狀ヲナス。

前脛節ノ先端ノ二外齒ハ明カニ尖リ後方ノ一齒ハ唯痕跡ヲ殘スノミニ止マル。

下面ハ粗點刻ニ明カナル淡黄ノ短毛ヲ生ズ。

予等ハ朝鮮産三個ノ標本ヲ有ス其内二個雌雄ハ水原及ビ京城産ニテ其色ハ變種 var. *jusana* Kolbe ニ當ル翅鞘銅赤色ヲ帶ブルモ形ハ大ナラズ。

以上記載セルモノ、外予等ノ調査ヲ逸シタル次ノ三種アリ。

Apogonia major Waterh.

Trans. Ent. Soc. London 1875, p. 103.

產地 Nagasaki.

Apogonia bicarinata Lewis.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1836 p. 333.

產地 Japan.

Apogonia niponica Lewis.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1895. p. 395.

產地 Japan.

以上ノ外臺灣ニハ尙ホ他ノ數種ヲ産スルガ如キモ標本不充分ナルガ

爲メ今回ハ其調査ヲナスヲ得ザリキ。

しろこがね類

Leucopholida.

胸背板ノ前縁ニ膜狀縁ヲ有セズ。體ノ上面厚ク鱗毛ヲ有ス。上唇ハ左右ノ形狀著シク異ニシテ右側部大形ヲナシ片狀ナリ。觸角ハ十節ニシテ片狀節ハ雌雄共三個ナリ。

此類ニ屬スル種類ハ熱帶地方ニ産スルモノノ外南支那ニ少數ノ知ラレタルモノアリタリ。我國ニテハ全ク記載セラレタルモノ無カリシモ本學昆蟲學教室所藏一個ノ臺灣産標本アリ之ヲ新種トシテ次ニ記載セントス。

しろこがね(新種)

Lepidota cratacea Nijima et Matsumura. n. sp.

Taf. I. fig. 16. Taf. II. fig. 12, 13.

產地 臺灣(補里社)

體長 21 幅 11 mm.

上面全部甚密ニ白色ノ鱗毛ヲ有シ全ク地色ヲ見ル能ハズ。下面ハ光澤アル黒褐色ニシテ又小ナル鱗毛ヲ存ス然レドモ上面ノ如ク密ナラズ。上唇ノ右側ハ甚大ナルモ左側ハ殆ンド其形ヲ存セズ (Taf. II. f. 12)。觸角ハ黃褐色ニシテ片狀節小ナリ。

頭大形頭楕ハ幅廣クシテ短カク側縁ヨリ前縁圓味ヲ帶ブ。前頭ハ中央會線ニ近ク窪ミアリ後頭ニ鱗毛ノ「つむじ」ヲナセル部アリ。

胸背板ハ幅廣ク短カクシテ前縁角ニ僅少ノ長毛ヲ存シ後縁角ノ鱗毛ハ稍ヤ翅鞘ヲ被フ。側縁ハ中央角狀ニ曲ル。

翅鞘ハ少シク黃色ヲ帶ベル鱗毛ヲ以テ被覆セラル。外縁ヨリ先端マデ溝狀ノ白色縁ヲ有ス。

尾節板ハ平カニシテ黒褐色ヲナシ細形ノ鱗毛ヲ生ズ。

(76)

下面ハ又黒褐ニシテ胸部ニ長白毛ノ間ニ鱗毛ヲ散生ス。

腹節ニモ白色細鱗毛アルモ中央ハ殆ント之ヲ缺ク中胸突起ハ甚小ナリ
脚ハ黄褐色ニシテ白鱗毛ヲ存ス。前脛節ノ外齒ハ明カニ三個ナリ。

本種ハ記載ニ由ルニジャバスマトラ産ノ *L. stigma* Fabr. ニ最モヨク似
ル。然レトモ本種ガ翅鞘縁ニ白色溝狀部ヲ有スルモ後種ニ於テ之ヲ缺キ
又尾節板ガ本種ニテ滑カナルニ彼ニ於テ二ノ隆起ヲ存スルコトニ於テ
區別シ得ベシ。予等ノ調査セル標本ハ松村博士蒐集補里社産雌一個ナリ。

第四節 あしながこがね亞科

Hoplinae.

後跗節ハ唯一個ノ爪ヲ有ス。他ノ脚ノ爪ハ長サヲ異ニス。觸角ハ九或ハ十節ニシテ三節ノ片狀部ヲ具フ。脚ハ長形ニシテ脛節ハ其先端ニ刺棘ヲ有セズ。前脚ノ脛節ニモ内側ニ可動ノ刺棘ナシ。

胸背板ノ前縁ニ膜狀縁ヲ缺ク。腹部ノ尾節ハ短カク第一節ハ普通ノ長サヲ見得ベシ。上面鱗毛アルヲ常トシ稀ニ毛ヲ存ス。小形ノモノ多シ。

我國ニ産スル此亞科ノ屬ハ二ナリ。

I₁ 前中各脚ノ二爪ハ形大サニ於テ大差ナク前端ニ巾廣シ。兩爪共ニ分割セラル。

ひめはなむぐり屬 *Ectinohoplia*.

I₂ 前中各脚ノ二爪ハ形狀大サ著シク異ナリ。前端幅廣カラズシテ外側ノ長爪ノミ分割セラル。

あしながこがね屬 *Hoplia*.

あしながこがね屬

Hoplia Illiger.

前中脚跗節ノ二爪ハ著シク其形ヲ異ニシ大サ又不同ナリ。其先端ニ向テ肥大スルコトナク外側ノ大形ノ一爪ハ常ニ分割セラル。觸角ハ九節或十節ナリ。尾節板ト其前節ハ翅鞘ノ外ニ現ハレ翅鞘ノ會合線ノ先端ニ刺毛群ヲ存セズ。

本屬中我國ニ知ラレタルモノ六種アリ。

あしながこがね

異名あをいろはなむぐり

Hoplia communis Waterh.

Taf. VI. fig. 24.

Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 100.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1908, p. 119.

松村松年, 千島圖解第三, p. 60. 1 L. 47. f 2(♀)

新島等, 演習林報告 第五號 p. 14

產地 Nagasaki, Yokohama.

越後, 東京, 播磨, 豊後

體長 6—7 幅 4 mm.

小形ニシテ黄綠色鱗毛ヲ存シ黑色或ハ褐色ナリ長形ノ脚ヲ有ス。

頭楯ハ前縁略ホ直線的ニシテ上反ス。面上ニ褐色細毛ト小鱗毛ヲ存ス。

頭部ハ稍ヤ綠色強キ鱗毛ヲ密生ス。

胸背板ハ前縁角鈍ク前方ニ突出シ。兩側縁中央ヨリ外方ニ張出ス。側縁ニハ一列ノ刺毛ヲ存ス。中央ニハ上部ニ小ナル無鱗點アリ。短刺毛ヲ生ズ。稜狀板ハ小形ニシテ鈍ク尖リ鱗毛ヲ密生ス。

翅鞘ハ肩ヨリ少シク後ニ幅廣ク黄色鱗毛ヲ密生スルモ不明ナル列狀ニ小無鱗點アリテ短刺毛ヲ具フ。縱隆線明カナラズ。會合線ノ兩側先端ニ近ク窪ム。

尾節板ハ略平カニシテ下向シ鱗毛ヲ密布ス。

後脚長ク脛節太シ。其爪ハ一個ニシテ長形ナリ。

下面ヲ被覆セル黄綠色ノ鱗毛ハ上面ノモノヨリ大ニシテ美光澤アリ。本屬中予等ノ調査シ得ザリシモノ五種アリ即チ次ノ如シ。

Hoplia moerens Waterh.

Trans. Ent. Soc. London, 1875, p. 100.

產地 Hiogo, Maiyasan,

H. maculata Bates.

Ent. Mo. Mag. 1889, p. 298.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 389. f.7.

產地 Satsuma, Mitsudake, Hitoyoshi.

H. Reinii Heyden.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1897, p. 339.

產地 Kiushiu.

H. gracilipes Lewis

Ann. Mag. Nat. Hist. 1875, p. 389.

産地 Oshima.

H. koreana Moser.

Stett. Ent. Zeit. 1920, p. 27.

産地 Korea.

ひめはなむぐり属**Ectinohoplia** Redtenbacher.

前中脚跗節ノ爪ハ其大サト形状ニ於テ大差無ク先端少シク大ニシテ
 兩爪共ニ先端ニ分烈セラル。觸角ハ十節ナリ。尾節板ト其前節ハ翅鞘ノ外
 ニ表ハレ翅鞘會合線ノ先端ニ刺毛群ヲ存ス。稜狀板ハ細長ナリ。前脛節ノ
 三外齒ハ先端ニ相接近ス。

本属ニハ我國ニ二種ノ知ラレタルモノアリ。次ノ如シ。

I₁ 後脚ノ爪ハ先端ニテ分割セラレ上面黄色ヲナス。

ひめはなむぐり *Ec. obducta*.

I₂ 後脚ノ爪ハ分割セラル、コトナシ上面栗色ヲナス。

かばいろあしながこがね *Ec. rufipes*.

ひめはなむぐり**Ectinohoplia obducta** Motsch.

Taf. VI. fig. 18.

Etud. Ent. 1857, p. 53.

(♀ *sublicola*) Mots. Etud. Ent. 1875, p. 34.Waterhouse (*Ectinohoplia variolosa*) Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 388.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 109.

Matsamura (*Hoplia*) Journ. Coll. Agr. Tohoku. Imp. Univ. 1911, p. 118.

松村松年, 千歳園釋 第三. p. 83. pl. 47. f. 7. (♀)

新島等, 演習林報告 第五號 p. 14.

産地 Hitoyoshi, Nikko, Simoda, Sachalin.

高知, 信州, 浅間, 白根, 赤城, 秋田, 日光, 東京, 北海道

體長 7—10 幅 4—5.5 mm.

體ノ地色ハ黑色ナルモ褐色ヲ帶ブルモノアリテ黄色ノ鱗毛ヲ有ス。外見ハ上面黄色ニシテ胸背ニ黑色ノ二條翅鞘上ニ中斷セル三雙ノ黑色ヲ表ハス。

頭楯黑色或ハ黒褐色ニシテ鱗毛ナク細毛ヲ具フ。略ボ新月形ニシテ前縁上反シ細點刻ヲ密附ス。前頭ニハ黄色鱗毛及ビ細毛ヲ生ズ。鱗毛ハ標本ニヨリ綠色光澤ヲ呈シ密ナラズ。

胸背板ハ兩側縁ノ中央ニテ角狀ヲナス。其前部ニハ長刺毛ヲ列生ス。上面ハ二條ノ太キ黑色ノ地色ノ細短線ヲ少シク側方ニ邊シテ殘スノミニテ黄色鱗ニテ被覆セララル。

稜狀板ハ稍ヤ長形ニシテ全ク鱗毛ニテ被覆セララル。

翅鞘ハ又黄色鱗ニテ條狀ヲナシ略ボ兩側各三條ノ太キ黑色線條ヲ殘シ其中央及ビ少シク先端ニ邊シテ黄色ノ横線ニテ切斷セララル。

尾節板及ビ其前節ハ翅鞘ノ外ニ出ヅ。密ニ鱗毛及ビ短毛ヲ有ス。

下面ハ密ニ鱗毛ヲ有スルモ其色上面ヨリ淡ナリ。

脚ハ赤褐色ニシテ附節ノ上ニハ僅少ノ綠色光澤アル鱗毛ヲ存ス。後脚ノ爪ハ僅カニ先端ノ前部ニテ切込ヲ有ス。

此種類ハ其色澤ニ於テ變化多シ其上面一樣ニ黄色ヲナスモノヲ變種 var. *sabulicola* Motsch. ト稱シ稀ニ下面黄色ニシテ上面黑色ナルモノアルヲ變種 var. *caminaria* Reitter. ト稱セララル。

かばいろあしながこがね

Ectinohoplia rufpes Motsch.

Taf. VI. fig. 19.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 110.

産地 Ostsibirien, Daurien, Gensan.

樺太

體長 8—10 幅 4,5—5 mm.

體栗茶色ニシテ翅鞘中央ヨリ稍ヤ後方ニ濃色ヘ字形ノ斑紋アリ。

頭楯ハ黑色ニシテ鱗毛ヲ有セズ。側縁ヨリ前縁ニ明カニ縁取ラル。前頭

ハ平カニシテ密ニ鱗毛ヲ有シ上向セル短刺毛ヲ交ユ。

胸背板モ頭部ト同様ノ鱗毛ヲ有ス。前縁角ハ突出シ側縁ハ中央ニテ角状ヲナス稜狀板ハ甚小ニシテ尖リ小數ノ鱗毛アリ。

翅鞘ハ又全部鱗毛ニテ被覆セラル鱗毛ハ淡色ノ者ニ稍ヤ濃色ノモノヲ交ユ。中央ヨリ少シク先端ニ偏シテ横ニヘ字形ヲナセル濃栗色ノ鱗毛斑アリ。

尾節板及ビ其前節ハ下面ト同ジク淡黄ノ鱗毛ニテ被ハル。

脚ハ黄赤色ヲナシ後脚ノ爪ハ大ニシテ簡單ナリ。

本種ハシベリヤヨリ朝鮮ノ産トシテ知ラレタルモノナルガ予等ノ標本ハ皆樺太ニ於テ採取セラレタルモノナリ。

第五節 すじこがね亞科

Rutelinae.

跗節ハ不同ナル鈎爪ヲ有ス。觸角ハ九或ハ十節ニシテ三個ノ片狀節ヲ有ス。後脛節ノ端棘ハ相近ク排列ス。胸背板ノ前縁ニ膜質ノ細縁ヲ具フ。

此類ニ屬スル昆蟲ノ大多數ハ次記ノ二類ニ屬スルモノニシテ我國ニハ之ヨリ以外ニ存スルモノナシ。

- I 上唇水平ニシテ下方ニ彎曲スルコトナシ。觸角ハ九節ヨリ成ル。翅鞘ハ其先端ニ明カナル膜質細縁ヲ有ス すじこがね類 Rutelina.
- II 上唇下方ニ伸長ス。觸角ハ十節ヨリ成ル。翅鞘ノ先端ニ膜質細縁ヲ有スルコトナシ こいちやこがね類 Adretina.

すじこがね類

Rutelina.

すじこがね亞科中ノ多數ハ此類ニ屬シ美麗ナル綠色又ハ藍色ノモノ多シ。觸角ハ九節ヨリ成リ頭楯ハ前縁上反シ一般ニ幅廣ク圓味ヲ帶ビ又ハ半圓形ヲナス。稀ニ長形ヲナスモノアリ。翅鞘ハ外縁ニ毛ヲ有ス。又無色ノ膜質縁ヲ具フ。脚ノ形狀ニハ變化多シ。前脛節ノ外縁ハ多クハ二個ナリ。爪ハ後脚ノモノハ常ニ分岐スルコトナク中脚ニテハ多ク前脚ニテハ殆ンド全部ノモノハ長キ側方ノ一爪分岐ス。時トシテ雄ノ爪ガ總テ分岐セザルコトアリ。雄ハ脛節ノ先端齒ガ雌ヨリモ短カクシテ銳キヲ常トス。

我國ニ産スルすじこがねノ屬ハ四アリ次ノ如シ。

- I₁ 胸背板ノ後縁ハ圓味ヲ帶ビ稜狀板ノ前部ニテ矢筈形ヲナスカ或ハ平カナリ。 まめこがね屬 Popillia.
- I₂ 胸背板ノ後縁一樣ノ弧線ヲナス。
- II 雄ノ前跗節ノ先端節即チ爪ヲ有スル節ハ中側ノ基部ニ齒ヲ有セズシテ一般ニ中央ニ近ク齒ヲ存ス。前脛節ノ内縁ニ雌雄共ニ可動ノ一刺棘ヲ有ス。

- III₁ 前胸部ノ腹面ノ中央前基節ノ中間部縦ニ扁平ナル突起ヲナス。
こがねむし屬 *Mimela*.
- III₂ 前胸部ノ腹面ニ著シキ突起ヲ有セズ。 すじこがね屬 *Anomala*.
- II₂ 雄ノ前跗節ノ爪ヲ有スル節ハ基部ニ近ク小齒ヲ有ス(ならのちやいろこがね亞屬 *Proagopertha*. ノモノハ前脛節ノ内縁ニ雌ハ普通ノ刺棘ヲ有スルモ雄ハ之ヲ缺ク。中胸節ノ腹面ハ基節ノ間ニ短カキ毬果狀ヲナシ突出ス。體長毛ヲ有スルモ翅鞘ハ之ヲ缺ク)。
うすちやいろこがね屬 *Phyllopertha*.

すじこがね屬

Anomala Samouelle.

外形ハ楕圓形ヲナスヲ常トスルモ長短種々ノ變化アリ。上面滑カニシテ光澤アルモノ多キモ僅カノ種類ハ毛ヲ有セリ。翅鞘ノ細縁膜ハ明カニ認ムルヲ得ベク胸背板ハ上面稍圓味ヲ帶ビ稜狀板ノ前部矢筈形ヲナスコトナシ。前胸ノ腹板ハ中央基節ノ後方ニテ僅カニ隆起ス。小數ノ例ニテハ稍ヤ突起狀ヲナスアルモこがねむし屬ノ如ク前基節ノ間ニ延長シテ彎曲狀ヲナスコトナシ。脚ノ形ニハ變化多ク前脛節ハ一二又ハ三個ノ外齒ヲ具ヘ跗節ノ基部ニ一刺棘ヲ存ス。中後兩脚ノ脛節ノ先端齒狀ニシテ二個ノ端棘ヲ有ス。前中脚ノ爪ハ長キ一側ノモノ分岐スルカ或ハ全脚ノモノ單簡ナリ。

此屬中我國ニ産スルモノ甚多ク單簡ニ分類スルコト甚困難ナルモ調査シ得タル二十四種ニ就テ次ニ檢索表ヲ作成セリ。

- I₁ 體ノ上面ニ毛ヲ有ス。
- II₁ 翅鞘上ノ縦隆線強クシテ明カナリ。胸背板ノ毛ハ少シ。
ひらたあをこがね *A. octiescostata*.
- II₂ 翅鞘上ノ條線強カラズ胸背板ノ毛ハ多クシテ太シ。
てうせんひらたあをこがね *A. Sieversi*.
- I₂ 體ノ上面ニ毛ヲ有セズ。

XIV₁ 翅鞘ノ側縁隆線ハ翅ノ彎曲部ニ達ス。

XV₁ 翅鞘縁ニ明カナル長キ毛ヲ有ス翅鞘黄褐色ナリ。

ちやいろすじこがね *A. corpulenta*.

XV₂ 翅鞘縁ニ長毛ナシ。

XVI₁ 體稍ヤ大形(15—19 mm.) 胸背板ノ點刻甚微細ナラズ。

さくらこがね *A. daimiana*.

XVI₂ 體稍ヤ小形(14 mm.) 胸背板ノ點刻微細ナリ。

てうせんひめこがね *A. pleurimago*.

XIV₂ 翅鞘ノ側縁隆線ハ翅ノ中央部ノ後ニテ終ル。

XVII₁ 翅鞘上ニ強キ光澤ナシ。

XVIII₁ 翅鞘縁色ニシテ黄色縁ヲ有ス。

たいわんひめすじこがね *A. limbifera*.

XVIII₂ 翅鞘褐色ニシテ僅カニ縁色ヲ帶ブ

てうせんはんのきこがね *A. luculenta*.

XVII₂ 翅鞘上ニ強キ光澤アリ。

XIX₁ 體細長ニシテ頭大ナリ。黄色ヲナス。 れんちこがね *A. Lenzi*.

XIX₂ 體細長ナラズ。

XX₁ 胸背板上ニ溷濁部ヲ存ス。

ひめこがね *A. rufocuprea*.

XX₂ 胸背板ニ溷濁部ヲ存セス。

XXI₁ 胸背板ノ點刻著シク微細ナリ。 ひめさくらこがね *A. geniculata*.

XXI₂ 胸背板ノ點刻微細ナラズ。

XXII₁ 頭部ヨリ翅鞘同色黄褐ニシテ美淡緑光澤ヲ呈ス。

とうきようこがね *A. tokioensis*. n. sp.

XXII₂ 胸背板ト翅鞘ト同色ナラザルコト多シ。

XXIII₁ 胸背板ノ中央ニ短カキ縦凹線アリ點刻甚小ナリ。

つやこがね *A. lucens*.

XXIII₂ 胸背板ノ中央凹線ナシ點刻稍ヤ大ナリ

はんのきこがね *A. Motschulskyi*.

きんすじこがね

Anomala holosericea Fabr.

Taf. II. fig. 10, Taf. VII. fig. 1.

(*Melolontha*) Mant, Ins. I. 21.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 401.

Dünitz, Berl. Ent. Zeit. Sitzungs-Ber. 1898.

Burmeister (*Rhombonyx*), Handb. Ent. IV. 1, 1844, p. 244.

Krantz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 233.

Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1896, p. 269; 1895, p. 56.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 56.

Ohaus, (*Mimela*, Subg. *Paramimela*) Deutsche Ent. Zeitschr. 1908, p. 635.

Matsumura, Journ. Coll. Agr. Tohoku Imp. Univ. IV. 1911, p. 119.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist, 1913, p. 396.

産地 Japan: Chiuzenji, Süd-Yezo, Nikko, Sibirien(Ural bis Wladiostock) Sachalin.

東京,北海道(定山溪,苫小牧)朝鮮(憲山鎮樺太)

體長 16—19 幅 9—12 mm.

全體美純綠色ニテ光澤アルモ翅鞘ノ縦隆線及稜狀板ノ外ハ點刻ノ爲メ光澤ナク見ユ。

頭楯ニハ一部相附着セル點刻ヲ密布ス。前縁ハ少ク紫黑色ヲ帶ブ。前頭モ頭楯ト同ジク密ナル點刻ヲ有シ眼ニ近ク白色毛ヲ散生ス。

胸背板ハ強キ圓形ノ點刻ヲ稍ヤ不規則ニ存ス。稜狀板ハ略ボ半圓形ヲナシ小數ノ點刻ヲ具フ。

翅鞘ハ會合線及第一ノ縦隆線明カニシテ光澤アルモ外縁ニ近キ三線ハ細クシテ殆ド不明ナリ。間室ハ不規則ニ密布セル強キ點刻ヲ有ス。

腹面及脚ハ銅紫色ニシテ白色ノ長細毛ヲ存ス。

脚ノ前跗節先端ノ鈎爪ノ大形ノモノハ單形ニシテ切込ヲ有セス。

雄ノ交尾器ハ鞘部幅廣ク先端略圓形ヲナス。

本種ハ主トシテ北地ニ産スル種類ニシテ オーハウス ハニノ變種ヲ記載セリ (Ohaus, Stett. Ent. Zeitschr. 1915, p. 92.)。

var. *holocypria* 平等ニ銅赤色ヲナシ腹面ノミ暗青銅色ヲナス

♀ ウラジホストツク 産。

var. *carbonaria* 上下面純黒色ナリ産地 ロシア, ウラル 南西地方 ウフワ 兩變種共我國ニテハ未ダ之ヲ發見セズ。

すじこがね

Anomala testaceipes Motsch.

Taf. I. fig. 2. Taf. VII. fig. 2.

Et. Ent. 1860. p. 14.

Waterh., Trans. Ent. Soc. London, 1875, p. 110.

Harold, Deutsche Ent. Zeitschr. 1877, p. 356.

Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879. p. 344.

(*A. costata*) Harold (neo Hope), Abh. Bum. 1876, p. 126.

Reitter. Best-Tab. (52) 1903, p. 56.

Ohaus, (*Mimela*, subg. *Paramimela*), Deutsche Ent. Zeitschr. 1908 p. 635.

Arnou, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 396.

新島等, 演習林報告第五號 p. 8

産地 Ostsibirien, Korea, Japan: Hiogo, Kioto, Kiushiu, Hakodate, Nagasaki.

北海道(定山溪幌別, 栗山, 札幌, 函館, 壽都, 十勝), 東京, 京都, 愛媛, 高知, 熊本
體長 14—16 幅 9—11 mm.

綠色ヨリ藍黑色ニシテ翅鞘ハ明ナル縦隆線ヲ有ス。間室ハ光澤ナシ。

頭楯綠色ニシテ側縁ニ沿ヒ黃褐色ヲナシ。前縁少シク上反ス。密ニ點刻アリ。前頭密ニ點刻ヲ有シ。後頭光澤アリテ粗細點ヲ具フ。

胸背板光澤アル深綠色ヨリ銅赤色ニシテ側縁黃色ヲナス。側縁ハ中央ニ於テ少シク鈍角ヲナシ。前縁角ハ稍ヤ突出ス。上面細點ヲ一様ニ散布ス。中央ニ明カナル縦溝狀ノ窪ミヲ存シ。兩側面ニ不明ノ窪ミアリ。稜狀板ハ半圓形ニシテ前胸部ト同様ナル點刻ヲ縁ニ近ク密ニ内部粗ニ存在ス。

翅鞘ハ明カナル縦隆線ヲ有シ。間室ハ光澤ナク細點ヲ密ニ不規則ニ細網狀ニ存ス。綠色ヨリ稍ヤ銅赤色ヲ帶ブルモノニ至ル。腹面黃褐ヲ基色トシテ腹節黒藍色ヲ帶ビ光澤アリ。

脚及ビ觸角ハ黃褐色ヲ帶ブ。

雄ノ交尾器ハ先端前方ニ向テ相離レ滑カニ伸長ス。

變種すじちやいろこがね(新稱)

Anomala testaceipes Mots. var. *ochroptera* Ohaus.

Taf. I. fig. 2a.

Ohaus, Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 91.

產地 Hatima, Yokohama, Mukoda, Manchurei.

鹿兒島,高鍋,宮崎,愛知,三重,御殿場,福島,秋田,青森,北海道(栗山,漁,苫小
牧,名寄),朝鮮.

基種すじこがねト同様ノ形體ヲ有ス。

色ハ上面全部黄褐色ヲ帶ブルモノヨリ頭,胸背板,綠色ヲ帶ビ翅鞘ノ一
部綠黑色ヲ帶ブルモノニ至ル。下面及脚ハ黄褐ヲナシ少ク綠色光澤ヲ呈
スルモノアリ。

オーハウスハ翅鞘ノ黄褐色ヲ帶ブルモノニ於テ二種ノ變種ヲ設定セ
リ即チ次ノ如シ。

var. *ochrochalcea* Ohaus.

上面美淡黄色ニシテ弱キ綠色金屬光澤ヲ有ス。下面脚及ビ尾節板黄褐
色ヲナス。

var. *ochroptera* Ohaus.

頭,胸背板,稜狀板金屬綠色,頭楯ノ前緣,胸背板ノ側緣,及ビ翅鞘ハ淡黄ニ
シテ綠黑金屬光澤ヲ有ス。腹部及ビ後胸褐色ニシテ青銅光澤ヲ有ス。脚及
ビ其基節淡黄ニシテ金屬綠色ノ光澤ヲ有ス。

予等ハ多數ノ標本ヲ檢シテオーハウスノ此兩變種ノ間ニハ中間ノ色
澤ヲ著ハスモノ多キヲ見タリ。例セバ胸背板ト稜狀板ノ如キ綠色ヨリ黄
色ニ至ル種々ノ變化アリ。然レドモ何レモ其翅鞘ノ基色ハ黄褐色ナルヲ
以テ後ノ學名ヲ採リ合セテ一變種トシ。 *ochrochalcea* ハ之ヲ削除セリ。

變種 あいろすじこがね(新稱)

Anomala testaceipes Motsch. var. *anocypria* Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 91-

産地 高知豊前,秋田,北海道(上川)

上面美赤色胸背板ノ側縁ノミ黄色ナリ。下面青銅色ニシテ黄色ヲナセル脚部ニ暗色ノ長線アリ。

上記 オーハウスノ記載ニ當ルモノ四箇アリ三箇ハ高知産ニシテ一箇ハ秋田産ナリ。前者ハ全體溷濁調ヲ帯ビ後者ハ光澤強ク美ナリ。而シテ基種中稍ヤ赤銅色ヲ帯ビテ此ノ變種トノ中間ニアルモノナキニアラザルモ基色トシテ綠色ヲ有セザル者ヲ此内ニ置クモノナリ。

オーハウスハ尙ホ綠色種ニ於テノ變種ヲ設ケタリ即チ

var. *cyprioptera* Ohaus.

上面銅綠色翅鞘銅赤色ナリ。胸背板ノ側縁尾節板後側板前側板ハ黄色ヲナス。脚ハ黄色ニシテ暗金屬綠色ノ長線ヲ有ス。

予等ハ百三十八箇ノ綠色ヨリ銅赤色種ヲ檢シタルニ極端ナル色ノ標本ニ於テハ上面全ク綠色ニシテ此基種ニ相當スルモノト上面綠色ニシテ翅鞘ノミ銅赤色ノ上掲ノ變種ニ當ルモノヲ區別シ得ベシ然レドモ是等ノ間ニ種々ノ中間ノ色彩ヲ示スモノアリテ變化著シク其間明カナル區別ヲナス能ハズ故ニ予等ハ獨立セル變種トシテ之ヲ認定セズ。

おほすじこがね

異名 すじこがね, すじむし

Anomala costata Hope.

Taf. I. fig. 1. Taf. VII. fig. 3.

Proc. Zool. Soc. Lond. 1839, p. 73.

Waterh., Trans. Ent. Soc. Lond. 1875. p. 109.

Kraatz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879. p. 233.

Harold, Abh. Brem. 1876 p. 126.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1877. p. 356.

Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879. p. 344.

Reitter, Best.-Tab. (52) 1903, p. 56.

Ohans, Stett. Ent. Zt. 195, p. 90.

松村松年, 千蟲圖解 第三. p. 80. pl. 47. f. 3

新島等, 演習林研究報告第五. p. 8.

產地 Japan: Hiogo etc.

北海道(札幌, 漁, 栗山, 苫小牧, 白老, 秩父, 付知, 熊本, 中禪寺, 高知(安藝), 愛知,
御殿場, 神奈川, 新潟, 福島

體長 17—20 幅 11—12 mm.

體綠色ニシテ強キ光澤アリ。翅鞘ノ縱隆線著シク間室光澤アリ。

頭楯幅廣クシテ短カク前緣彎入シ上方ニ反曲ス。著シク密ニ點刻ヲ有
ス。前頭ハ粗點刻ヲ存シ後頭ハ滑カニシテ細點刻ヲ有ス。

胸背板ハ前緣角僅カニ突出シ, 上面ノ中央ニ縱ノ強キ窪ミアリ。左右ニ
モ亦不定ノ窪ミヲ存ス。點刻ハ小ナルモ後頭ヨリ粗ナリ。標本ニヨリ上面
ノ兩側光澤ヲ缺クモノアリ。

稜狀板短カクシテ半圓形ヲナス。點刻著シク微細ナリ。

翅鞘ハ銅藍色ヨリ綠色ヲ帶ビ縱隆線ハ明カナリ。中間室ハ光澤アリ。其
第一ノモノノ幅最モ廣シ。

尾節板ハ深綠色ナルモ不規則ナル帶黃褐色ノ斑紋ヲ存ス。此前節ノ後
緣ニ沿ヒテ, モ亦黃褐色部アリ。

腹面ハ藍黑色ニシテ光澤アリ。少シク綠色又ハ褐色ヲ帶ブルモノアリ
本種ノ内ニハ翅鞘綠色ニシテ殆ンド銅藍色ヲ缺クモノアルモ其中間
ノ色彩ヲ呈スルモノアルヲ以テ別ニ之ヲ變種トナスコトナシ。

オーハウスハ特ニ銅藍色ノ強キ一個ノ雌標本ニヨリ變種 *incuprata* ヲ
設定シタリ(Stett. Ent. Zeit. 1915, p.91.) 然レドモ此色ノ變化ハ固定的ノモノ
ニアラズシテ著シク近似セル變化ヲ呈スルモノナルヲ以テ予等ハ本變
種ノ成立ヲ認メズ。

變種 ちやいろおほすじこがね(新稱)

A. costata Hope var. *flavipennis* Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 90.

産地 愛知御殿場, 神奈川, 千葉, 福島, 山形, 秋田, 北海道(野幌, 白老, 苫小牧)
 翅鞘淡黄褐ニシテ會合線ニ近キ中間室及側縁ニ近ク藍緑或ハ銅藍色
 ヲ帶ブ。胸背板ハおほすじこがねト同色ナルモ稀ニ其兩側縁ニ近ク黄色
 ヲ帶ブルモノアリ。

本種ハホープガ不熟ナル標本トシタルモノヲオーハウスガ變種トシ
 テ定メタルモノナリ。翅鞘上ノ銅藍色部ハ多キハ全面ニ及ビ少キハ殆ン
 ド之ヲ缺クモ翅鞘ノ基色黄褐ナルヲ以テ明カニ變種ノ特質ヲ定メ得ベ
 シ。胸背板ハ光澤アルモノト兩側面ニ之ヲ缺クモノトアリ。

元來おほすじこがねハ最モ普通ナル種類ニシテ予等ノ標本甚ダ豊富
 ナルガ此變種モ亦多クシテ予等ハ基種ト殆ンド同數ノ標本ヲ有ス。

ひらたあをこがね

Anomala octiescostata Burm.

Taf. I. fig. 5.

(Phyllopertha octiescostata) Lurm. Handb. IV. I. 1844, p. 243.

Waterh., Trans. Ent. Soc. 1875, p. 108

(Subg. *Crysoptethisa*) Reitter, Best.-Tab. 1903, p. 57.

Arrow, Trans. Ent. Soc. London 1899, p. 273.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 403,

(A. octocostata) Motschulsky, Etud. Ent. 1860, p. 14.

Bull. Mosc. 1866, p. 170.

Waterhouse, Trans. Ent. Soc. London. 1875, p. 108.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 57.

新島等, 演習林研究報告第五號 p. 9.

産地 Korea, Japan.

高知, 福岡, 山口, 鹿児島, 朝鮮

體長 11—12 幅 5,5—7,5 mm.

綠色ニシテ體面ニ白毛ヲ生ズ。翅鞘ニハ毛ナク明ナル縦隆線アリ。

頭楯稍ヤ銅色光澤ヲ帶ビ甚ダ細密ナル點刻ヲ有ス。前頭トノ會線不明ナリ。前頭ニハ密ナル細點ノ間ニ強キ粗大ナル點刻ヲ有シ。略三角形狀ノ刻斑ヲ呈ス。後頭ハ細點ノミヲ中庸度ニ散布ス。白毛ハ少ナシ。

胸背板ハ稍ヤ光澤アル綠色ニシテ側縁ニ沿ヒ銅紫色ノ光澤アリ。長白色毛ヲ生ズ。點刻ハ不規則ニシテ中央ニ滑カナル縦線ヲ有ス。

稜狀部ハ光澤アル半圓形ヲナシ僅數ノ細點ヲ存ス。

翅鞘ハ毛ヲ有セズ綠色ニシテ側縁紫銅色ヲ呈ス。縦隆線明カニシテ細點刻ヲ散布ス。間室ニハ淺キ粗點刻ヲ不規則ニ存ス。

腹面及ビ尾節板ハ黒味ヲ帶ブル紫銅色ニシテ又長キ白色細毛ヲ有ス

つしますじこがね

Anomala Sieversi Heyden.

Hor. Soc. Ent. Ross. 1887, p. 226.

H. Bates, Proc. Zool. Soc. London. 1887, p. 374.

Lewis, Ann. Mag. Nat Hist. 1895, p. 401.

(Subg *Euporomala*) Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 63.

(*A. octocostata*) Fairm. (nec. Burm.) Ann. Soc. Ent. Belg. 1891, C. R. (4) X. VIII, p. CC IV.

新島等, 演習林報告第五號 p. 9.

產地 Korea, Japan(Tsushima).

朝鮮

體長 13 幅 8 mm.

ひらたあをこがねニ似ル。體綠色ニシテ白色毛アリ。光澤弱ク翅鞘ノ縦隆線著シカラズ。

頭楯綠色ニシテ殆ンド光澤ナク密ナル細點ヲ有ス。前頭部ハ頭楯ヨリ稍ヤ粗大ナル點刻ヲ密布ス。

胸背板ハ稍ヤ密ニ點刻ヲ有シ白色毛ヲ存ス。中央ニ縦線ヲ缺ク。側縁ノ銅紫色部著シク狹シ。

翅鞘ハ縦隆線ヲ有スルモ著シク明カナラズ。中間室ハ大小ノ點刻ヲ不規則ニ存ス。側縁ノ銅紫色部狹シ。

尾節板ハ濃銅紫色ニ綠色ヲ帶ブ。下面ハ黒キ銅紫色ニシテ白色毛ヲ存

ス。

ライターニ由ルトキハ屢々體銅赤色ニシテ下面黑色金屬光澤アリ體側黑色ヲナスモノアリ。之ヲ變種 var. *subpurpurea* (朝鮮産)トシ又全體黒青色ノモノヲ變種 var. *atrocoerulea*. (朝鮮産)トセリ。

じよなすひめこがね(新稱)

Anomala Jonasi Ohaus,

Taf. VI. fig. 14.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 526.

Archiv f. Naturg. 1916, A. 4, p. 4.

産地 Formosa.

臺灣

體長 13 幅 7 mm.

體稍長形ニシテ後方ニ少シク巾廣シ。上面淡褐色ヲナシ光澤ヲ有ス。頭上ニ小形ナル綠色斑紋二個胸背板ニ大形ノ同色斑紋二個ヲ有ス。

頭楯ハ略半圓形ニ近キ形ヲナシ前頭部ハ共ニ密ナル強キ點刻ヲ有ス。前頭部ハ光澤アリ。

胸背板ハ淡褐色ニシテ上面ノ左右ニ不規則ナル輪劃ヲ有スル綠褐色ノ斑紋アリ。點刻ハ強クシテ中央ニ縦ノ溝狀線ヲ有ス前緣角ハ突出ス。

稜狀板ハ淡褐色ニシテ兩側ニ稍ヤ細點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ深キ溝狀ヲナセル線條ヲ有ス。溝底ニハ稍ヤ強キ點刻ヲ有ス。隆線及ビ中間帶ハ共ニ一樣ニ隆起シ三個ノ中間帶ハ各二個ノ隆線狀ヲナス。此ノ二隆線間ノ線ハ會合線ニ接スル中間帶ニ於テ基部ニ近ク二重ノ點刻ヲ有ス。

尾節板ハ圓味ヲ帶ビテ隆起シ強キ點刻ト先端ニ近ク僅少ノ褐色毛ヲ存ス。

下面ハ褐色ニシテ胸部ニ稍ヤ密ニ腹部ニ甚ダ僅少ノ毛ヲ生ズ。前脛節ノ二外齒ハ大ナリ。雄ノ觸角片狀節ハ柄部ト略同長ナリ。

本種ハ オーハウス ニヨリ臺灣産雄ノ記載アルモノナルガ予等ノ標本モ又雄一個ナリ。

ほそすじこがね(新稱)

Anomala auracoides Ohaus.

Taf. VI. fig. 9. Taf. VII. fig. 5.

Stett. Ent. Zeitschr. 1915, p. 327.

Archiv f. Naturg. 1916. A. 4. P. 5.

産地 Formosa.

臺灣(臺北)

體長 15,5 幅 9 mm.

體長卵形綠色ニシテ翅鞘ニ多ク縦隆線アリ。

頭楯ハ黄褐色ニシテ綠色光澤アリ。稍上反セル縁線ハ細ク黒紫色ヲ帶ブ。密ニ錯綜セル點刻アリ。頭ハ綠色ニシテ頭楯ノ會線明カナリ。前頭密ニ後頭粗ニ強キ點刻ヲ有ス。

胸背板ハ綠色ニシテ光澤アリ。側縁ニ沿ヒ黄色ヲ帶ブ。側縁ハ中央ヨリ前後ニ同様ナル弧線狀ヲナス。側方ノ窪ミト中央ノ縦凹線ハ稍ヤ明カニ認メ得ベシ。點刻ハ稍ヤ強クシテ中央ヨリ側方ニ相附着スルモノ多シ。

翅鞘ハ上部ヨリ見ルトキハ淺キ綠色ヲ呈スルモ後方ヨリ見ル時ハ紫銅色ノ光澤ヲナス。深キ溝線ヲ有シ縦隆線ト間室トハ同様ニ隆起ス。即チ第一ノ間室ニハ二他ニハ各一ノ隆線ヲ有シ。翅鞘面ガ一樣ニ密接セル隆線アル如ク見ユ。

下面尾節板腿節等ハ黄褐色ヲナシ少シク暗色ヲ帶ブ。

てうせんひめすじこがね(新稱)

Anomala costifera Reitter.

Taf. VI. fig. 13.

Wien. Ent. Zeit. 1835, p. 209.

(*Idiocnema*) Best.-Tab. (51) 1903, p. 61.

産地 Korea, Wladiwostock.

朝鮮

體長 11—12 幅 6—7 mm.

體稍細長ニシテ上面綠色ヲナシ光線ニヨリ稍銅色ノ金屬光澤ヲ呈ス。翅鞘ニハ稍ヤ強キ縦線ヲ存ス。

頭部綠色ニシテ強キ光澤アリ。點刻強ク密ナリ。頭楯ハ前縁角丸味ヲ帶ビ前縁明カニ上反ス。會線ハ少シク隆起ス。

胸背板ハ幅廣ク密ニ強キ點刻ヲ有ス。側縁ハ圓味ヲ帶ビ前縁角ハ少シク突出シ中央ニ縦溝狀線ヲ具フ。

稜狀板ハ胸背板ト同色ニシテ同様ノ點刻ヲ存ス。

翅鞘ハ綠色ナルモ光線ニヨリ銅赤色或ハ金色ノ光澤ヲ呈ス。上面ニ密ナル細點刻ヲ一様ニ存ス。隆條ハ略中間帶ト同ジ高サヲ有ス。唯會合線ニ近キモノノミ幅廣クシテ低シ。翅鞘ノ側縁隆起ハ先端ノ彎曲部マデニ及ブ。

尾節板ハ光澤アル褐色ニシテ上面ノ大部ハ綠色ヲ帶ブ。基部兩側ニ窪ミヲ有ス。先端ニ近ク僅少ナル毛ヲ生ズ。

下面ハ綠褐色ニシテ金屬光澤アリ。前脛節ノ外齒ハ先端ノモノ著シク大ナリ。

予等ノ標本ハ内田氏採取ノ朝鮮産ノモノナリ。

ちやいろすじこがね

Anomala corpulenta Motsch.

Etud. Ent. II. 1853, p. 28; 47.

Ohaus. Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 317.

(*Anomala Gottschei*) Kolbe, Arch. f. Natrg. 1897, p. 190. Taf. XI f. 28.

Reitt. Best.-Tab. (51) 1903, p. 71.

産地 Nordchina, Mongolei, Korea, Japan.

岡山

體長 15 幅 9 mm.

黄褐色ニシテ頭及胸背綠色ヲ帶ブ。翅鞘ノ周縁ニ毛ヲ有ス。

頭楕黄褐色ニシテ少シク銅紫色ノ光澤アリ。點刻密ナリ。頭部ハ綠色ナルモ前頭ハ銅紫色ヲ帶ブ。點刻前頭ニ密ニ後頭小ニシテ粗ナリ。

胸背板ハ幅廣クシテ長サノ二倍ナリ。側縁ノ中央外部ニ凸出シ底部ニ幅少シク狭シ。上面光澤アリ。綠紫色ヲ帶ビ兩側ハ黄褐色ヲ呈ス。點刻細小ニシテ前縁ノ中央ヨリ短カキ縦ニ窪メル細線アリ。

稜狀板ハ小ニシテ稍ヤ密ニ點刻ヲ有ス。

翅鞘黄褐色ニシテ稍ヤ明カナル縦隆線ヲ有ス。其側縁隆線ハ先端ニ及ビ之ニ黄褐色ノ毛ヲ列狀ニ存ス。尾節板ハ光澤ナク淺キ細點ヲ密布ス。下面ハ又黄褐ニシテ僅少ノ毛ヲ生ズ。

雄交尾器ハ先端ノ兩片短カクシテ幅廣ク先端ハ下面ニ鉤曲ス。

予等ノ標本中ニハ此原記載ニ當ルモノ唯一個岡山産雄アルノミ。其翅鞘ハ光線ニ由リ少シク銅紫色ノ光澤ヲ顯ハセリ。恐ラク此種ニモ色彩的變化ヲ呈スルモノ多カルガ如シ。

さくらこがね

Anomala daimiana Har.

Taf. I. fig. 3. 3a.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1877. p. 354.

Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879. p. 346.

Reitt., (*Anomala geniculata* Mots.) Best.-Tab. (51) 1903, p. 72.

Ohaus, Stett. Ent. Zeitschr. 1915, p. 321.

松村松年, 千蟲圖解第三(*A. geniculata*) p. 89, Pl. 47, f. 17. ♀

産地 Kiushiu, Nagasaki, Hiogo, Hakone, Hakodate.

秋田,青森,土佐,栃木,岡山,東京,北海道(十勝,天鹽,日高)

體長 15—19 幅 8—11 mm.

稍ヤ大形ノこがねむしニシテ黄褐色ヲナシ上面綠色ノ光澤アリ。

頭楕黄褐ニシテ綠色ノ光澤アリ。前方狭搾シテ少シク圓味ヲ帶ブ。點刻細カクシテ相分離ス。前頭ハ前縁ニ近ク黄褐色ヲ帶ビ標本ニヨリ上面縁

色ノモヨリ全部黄褐色ニ至ル變化アリ。後種ト雖モ光澤ニヨリ綠色光澤ヲ顯ハス。點刻稍ヤ粗ナリ。

胸背板ハ稜狀板ノ上部ヲ除ケル後縁側縁及ビ前縁明カニ縁取ラレ全面光澤アリ。稍ヤ細カキ點刻アリ。普通兩側縁前縁ニ沿ヘル狭キ部ト中央ノ縦線ト黄褐色ヲナシ他ハ綠色ヲ呈スルモ淡色ノモノハ殆ンド全部黄褐色ニシテ濃色種ハ側縁ノ狭小部ノ外濃キ綠色ヲナス。中間種ニハ斑紋三角形ノモノアリ。稜狀板ハ何レモ黄褐色ニシテ中央ニ縦凹細線アリ。微細ナル點刻ヲ散布ス。

翅鞘ハ其側縁隆線先端ノ彎曲部ニ達ス。色ハ黄褐ニシテ綠色光澤ヲ帶ブ。屢々淡キ金綠色ノ不規則ナル斑紋ヲ表ハスモノアリ。

下面及ビ脚ハ又黄褐色ニシテ金屬光澤ヲ有ス。脛節及ビ跗節ハ濃褐色ニシテ銅光澤アリ。黒銅色ヲ呈スルコトナシ。

雄交尾器ノ鞘部ハ短カクシテ左右兩片鈍ク尖リ先端ノミ相離ル。

本種ハライターニ由ツテ *A. geniculata* Mots. ノ異名トセラレタルモ其腹面ノ色ノ黒色ヲ帶ブルモノナキト體形ノ大ナルニ由リオーハウスニ從ヒ之ヲ分ツコト、セリ。

ライターガ *A. geniculata* ニ對シテ設ケタル變種 var. *impressibasis* モ亦此種ニ屬スベキモノニシテ體黄色ヲ呈スルモノナリ。然ルニ此種ノ標本五拾個ニ就テ見ルニ全面黄色ノモノヨリ胸背板以上ノ綠色ノモノニ種々ノ變化アリ。其全面黄色ニテモ綠色光澤ヲ有シ僅カニ斑紋狀ニ綠色部ヲ胸背上ニ表ハスモノヨリ次第ニ殆ンド全胸背面ノ綠色ヲナスモノニ及ビ特ニ此變種ヲ區別シ能ハザルヲ以テ之ヲ省クモノトス。尙ホ松村博士ガ千蟲圖解ニ掲ゲタル *A. geniculata* ノ圖及ビ同記載ノ材料ヲ見ルトキハ又本種ナルヲ認ム。

てうせんひめこがね(新稱)

Ancmala pleurimargo Reitter.

Taf. VI. fig. 10. Taf. VII. fig. 4.

Best.—Tab. (51) 1903. p. 72.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 396.

産地 Korea, Peking, Japan(Kiushiu)

朝鮮(京城)

體長 14 幅 9 mm.

ひめこがね或ははんのきこがねニ似ル。其翅鞘側縁ノ隆起ガ先端彎曲部ニマデ發達スルヲ以テ區別シ得ベシ。全體黃色ニシテ頭部ヨリ胸背板ノ大部綠色ヲ呈ス。

頭楯ハ前方幅狭ク前縁略平カニシテ上反ス。上面黃色ニシテ金色光澤アリ。甚ダ細密ナル點刻ヲ有ス。前頭部ノ大部ハ後頭ト共ニ綠色ヲナシ光澤アリ。頭楯トノ會線ニ近ク強キ點刻ヲ有シ後頭部ニ向ツテ小ナル點刻ヲ散布ス。

胸背板ハ基部ニ於テ幅最廣ク前縁ニ狹摺シ前縁角ハ強キ突出ヲナシ上面綠色周圍黃色ヲ呈ス。中央ニ縦ノ溝線アリ。點刻ハ微細ニシテ散在ス。

稜狀板ハ綠色ヲ帯ビ略平滑ナリ。

翅鞘ハ黃色ニシテ弱キ綠色ノ光澤ヲ有ス。上面ノ線條ハ隆起セズ。中間帯ニ平等ニ稍ヤ密附セル點刻ヲ有ス。側縁ノ隆線ハ著シク高カラザルモ先端ノ彎曲部ニ達ス。

尾節板ハ光澤アル綠色ニシテ不規則ナル點刻ヲ散布ス。先端ニ近ク兩側ニ窪ミヲ有ス。

下面ハ濃褐色ニシテ又綠色ノ光澤アリ。胸部ニハ細長ノ白毛ヲ細點刻上ニ生ズ。腹節ノ毛ハ甚ダ少シ。

予等ハ朝鮮産二個ノ標本ヲ驗スルヲ得タリ。共ニ胸背板及ビ頭部ニ綠色部ヲ存ス。其他ノ點ハ全ク原記載ニ一致ス。

たいわんひめすじこがね(新稱)

Anomala limbifera Ohaus.

Taf. VI. fig. 16

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 330.

產地 Formosa : Lamleh.

臺灣

體長 13 幅 8 mm.

綠色ニシテ光澤薄シ翅鞘ニハ稍明ナル縦隆線ヲ有ス。

頭部ハ頭楯ヨリ前頭ニ一様ニ細密ナル點刻ヲ有ス。頭楯ハ黃褐色ヲ帶ビ前縁少シク上反ス。

胸背板ハ綠色ニシテ側縁ニ黃色ノ部分ヲ有ス。點刻ハ稍ヤ粗ニシテ頭部ノ者ヨリ大ナリ。

稜狀板ハ略胸背板ト同様ノ點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ綠色ナルモ側縁ヨリ先端ニ沿ヒテ黃色ノ狹キ縁狀部ヲ有ス。上面ハ不規則ニ凹ミタル大形ノ點刻ト最小ナル點刻トヲ交フ。

尾節板ハ圓ク隆起シ大部分ハ黃褐色ヲナシ細毛ヲ散布ス。

下面ハ褐色ニシテ綠色ヲ帶ビ長キ黃褐色ノ毛ヲ生ズ。

脚ハ褐色ニシテ雄ノ觸角ノ片狀節ハ柄部ト略同長ナリ。

予等ノ調査シタル標本ハ唯一個ナリ。

てうせんはんのきこがね(新稱)

Anomala luculenta Erichson.

Taf. VI. fig. 15.

Naturg. Ins. Deutschl. III. 1847, p. 620.

Burmeister, Handb. Ent. IV. 2, 1855, p. 501.

Ohaus, Stett. Ent. Zeit, 1915, p. 316.

(*A. dahurica*) Mannerh. Bull. Mosc. 1849, p. 236.

Motschulsky, Schrencks Reis. Amur. II. 2, 1860, p. 135.

Krantz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 233.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 74.

(*A. Mongolica*) Motsch. Etud. Ent. II. 1853, p. 28; V. 1856, p. 81.

產地 Ostsibirien(Wladiwostock), Usuri, Korea(Gensan), China(Peking).

朝鮮(水原)

體長 13—15 幅 7—8 mm.

(103)

はんのきこがねニ似ル。體色ニ變化多シ。

頭部綠色ナルモ頭楯ハ稍ヤ黃色ヲ帶ビ前部ニ圓味ヲ帶ブ會線ハ不明ニシテ前頭ハ頭楯ト同様ニ點刻ヲ有ス。

胸背板ハ黃褐色ヲ基調トシテ綠色ヲ帶ブ。明ナル點刻ヲ散布ス。中央ニ僅カニ窪メル縦線アリ。稜狀板ハ略半圓形ニシテ胸背板ト同様ノ點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ又黃褐色ヲ基調トシテ綠色ヲ呈シ或ハ全ク綠色ナルモノアリ。縦隆線明カニシテ中間室ハ不規則ナル稍ヤ馬蹄形ニ見ユル點刻ヲ存ス。

下面ハ黒紫色ヲ帶ビ光澤アリ。脚ハ腿節マデ黃褐色ヲナシ脛節ハ光澤アル綠褐色ヲナス。

雄ノ交尾器ハすじこがねトはんのきこがねノ中間ニアル如キ形狀ヲナス。

新變種 むらさきてうせんはんのきこがね

Anomala luculenta Er. var. *purpurea* Nijima et Kinoshita. n. var.

體色黒紫色翅鞘赤褐ニシテ脚ハ黒褐色ナリ。

此變種ハ色澤著シク異ナルヲ以テ之レヲ分テリ。水原産雄雌各一個ノ標本アリ。var. *rufifemorata* Reitt. ハ之ヲ缺ク。

れんちこがね(新稱) .

Anomala Lenzi Ohaus.

Taf. VI. fig. 11. Taf. VII. fig. 6.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 323.

產地 Yokohama.

仙臺

體長 12—13.5 幅 6—7 mm.

體細長ニテ頭部大ニ突出セル眼ヲ有ス。上面黃褐色ニシテ強キ綠色ノ光澤アリ。翅鞘又黃褐縦線淺シ。

頭部ハ綠色ヲ帶ビ體ニ比シテ大形ナリ。頭楯ハ黃褐色ヲ帶ビ幅ハ長サノ二倍ナリ。前縁上反シ上面密ニ細點刻ヲ有ス。前頭部トノ會線ハ明カニシテ中央ニ於テ内方ニ稍ヤ彎曲ス。前頭ハ稍大ナル點刻ヲ有シ其ノ前部密ニ後頭ニ向ツテ散布ス。

胸背板又幅廣ク長サノ略二倍ナリ。周圍ハ完全ニ縁取ラル。前縁角及後縁角ハ稍ヤ突出ス。點刻ハ小ニシテ散在ス中央ニ短カキ縱溝狀ノ凹線アリ。色ハ黃褐ヲ基調トスルモ標本ニヨリ上面ノ左右大部綠色ヲナス。

稜狀板ハ略半圓形ヲナス。黃褐色ニシテ僅少ノ微細ナル點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ黃褐色ニシテ稍綠色ノ光澤ヲ呈ス。線條ハ淺クシテ稍強キ點刻ヲ列狀ニ存ス第一ノ隆線ハ中間室ヨリ強ク隆起ス第一間室ニハ上部不規則ナル二列狀ニ配列セル點刻アリ。前面ニ甚シク微細ノ點刻ヲ有ス。

尾節板ハ稍密ナル環狀ノ細點刻ヲ有シ上向セル長毛ヲ具フ。

下面ハ胸及ビ腹部ノ大部黑褐色ヲ帶ビ細點刻及ビ淡黃毛ヲ存ス。脚ハ黃褐ニシテ前脛節ノ外齒ハ短クシテ銳シ。

ひめこがね

Anomala rufocuprea Motsch.

Taf. VII. fig. 7.

Et, Ent. 1860, p. 14.

Waterh., Trans. Ent. Soc. Lond. 1875. p. 103.

Harold, Verh. Nat. Ver. Bremen V. 1876, p. 125.

Deutsche Ent Zeitschr. 1877, p. 350.

Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 343.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 401.

Ohaus, Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 320.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 403.

Reitt., Best.-Tab. (51) 1903, p. 73.

Matsumura, Journ. Coll. Agr. Tohoku. Imp. Univ. IV. 1911, p. 119.

松村松年, 千蟲圖解 第三 p. 86. p. pl XLVII. f. 13.

新島等, 演習林報告 第五號 p. 8.

產地 Hiogo, Kioto, Echizen, Mino etc.

木曾, 仙臺, 東京, 栃木, 北海道(札幌), 苫小牧, 野幌, 七重, 栗山, 十勝, 天鹽, 旭川,

漁,音威子府,沙那)

體長 12—16 幅 7,5—10. mm.

體上下面共ニ濃キ銅赤色ヲ帶ビ全面金屬光澤アリ。胸背板ノ大部光澤ヲ缺ク。

頭部光澤アリ。頭楯前部稍ヤ幅狭ク圓味ヲ帶ブ。點刻ハ甚ダ密ナリ。前縁上反ス。前頭ハ頭楯ト等シク密ナル點刻ヲ有ス。

胸背板ハ中央ノ縦線及ビ兩側面ノ窪ミ著シカラズ。上面ノ大部ハ光澤ヲ缺キ點刻ハ微小ニシテ密ニ存在セズ。側縁ニ僅少ノ細毛ヲ列生ス。

稜狀板ハ半圓形ニシテ又微細ナル點刻アリ。

翅鞘ハ縦隆線著シカラズシテ線狀ニ細點刻ヲ存ス。間室ニハ皺狀ノ凹凸ヲ存シ大サヲ異ニセル點刻ヲ具フ。

觸角ハ濃褐色ニシテ雄ノ片狀節ハ柄部ヨリ短カシ。前腿節ニハ二列ノ褐色刺毛ヲ具フ。

雄ノ交尾器ハ鞘部太キモ先端ニ向テ稍ヤ狭搾シ左右ニ短銳ナル突出部ヲ有ス。

此種ニ次ノ變種アリ。

變種 みどりひめこがね

Ancmala rufocuprea Mots. var. *viridicuprea* Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 320.

產地 高知,福島,仙臺,山形,秋田,北海道(七飯,札幌,栗山,苫小牧,旭川,十勝,天鹽,沙那),樺太

オーハウスノ記載ニ由ルニ本變種ハ基色トシテ金屬綠色ヲナシ弱キ銅色光澤ヲ有ストシ別ニ變種 var. *viridiaenca* ヲ記載シ體ハ基色トシテ純然タル金屬綠色ヲナシ胸背板ニ光澤ナキ溷濁部ヲ有ストセリ。然ルニ此兩變種ハ基種ガ全ク綠色ノ基調ヲ帶ビザルモノト區別スルヲ得ルモノナルガ此兩個ノ變種間ニハ著シク其色彩ニ變化アリ。即チ *viridicuprea* ニ入ルベキモノモ其銅色光澤ノ強キモノハ基種ニ近ク之ニ反シテ弱キモ

ノハ變種 *viridiaenea* ニ似ル。オーハウスハ *viridiaenea* ニ對シテ其ノ特徴トシテ胸背板ニきちん板ヨリノ分泌ニヨリ生ズル臘質物ニヨリ溷濁セル黒色ヲ呈スルコトヲ記セリ。此ノ性質ハ本變種ノ大部ト他ノ變種及ビ基種ニ通有スル處ナルガ此變種ニ屬スベキ標本中ニハ僅カニ其痕跡ヲ止ムルノミナルモノアリ。又著シク強キ光澤ヲ有スルモノアリ。此光澤アル種類ハ色澤綠色ノモノヨリ銅色ヲ帶ブルモノニ至レリ。即チ千島産ノ標本ノ如キ皆光澤ヲ有セリ。之等ハ一見 *A. Motschulskyi* ニ似ルモ其雄交尾器ノ構造ニ由リ明カニ區別シ得ベシ。故ニ總テ綠色ヲ基調トセルモノヲ合シテ一變種トシ上記ノ學名ヲ採用シ *viridiaenea* ハ之ヲ除ケリ。此變種ハひめこがね中最多ニシテ普通ナル色澤ノモノナリ。

變種 あまいろひめこがね

Anomala rufocuprea Motsch. var. *violacea* Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 320.

産地 別府,高知,御殿場,長野,東京,栃木,福島,山形,秋田,青森,北海道(七飯,羊蹄山,札幌,野幌,伊達,栗山,漁,苫小牧,旭川,天鹽,枝幸,十勝)

上下面共ニ一様ノ堇青色ヲナス。

オーハウスハ其調査セル標本五箇ノ雄ハ 12.5—14 mm 五箇ノ雌ハ 16—17 mm. ナルヲ記セリ。

予等ノ凡ソ百個ニ近キ此變種ノ標本ニ於テ見ルモ雌雄甚シキ大サノ變化ナク之ヲ通シテ 13—16 mm. ナリ。尙本變種ノ色彩ハ堇青黒色ト稱スルヲ以テ識別上便ナルヲ認ム。

變種 くりいろひめこがね

Anomala rufocuprea Motsch. var. *castanipennis* Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 320.

産地 鹿兒島,日向,佐賀,高知,岐阜,長野,豊橋,静岡,栃木,福島,盛岡,山形,青森

北海道(札幌天鹽音威子府根室沙那)

上下面暗青色ヲナシ翅鞘栗色ニシテ側縁黒褐色ヲナス。本變種ハオーハウスガ唯一個ノ雄標本(横濱産)ニテ區別シタルモノナルガ予等ノ標本モ前變種ニ比スレバ其數少ナシ。

ひめさくらこがね(新稱)

Anomala geniculata Motsch.

Taf. I. fig. 10.

Bull. Mosc. 1866. p. 3.

Waterh., Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 109.

産地 Japan.

鹿兒島(大根占小林區)岡山,北海道(天鹽後志)

體長 13—15 幅 7—8 mm.

體ノ上面淡黄褐色ニシテ光澤アリ。頭及ビ胸背部ノ一部綠色ヲナス。下面ハ黒紫色ナリ。

頭部光澤アル綠色ニシテ稍ヤ銅色光澤ヲ帶ブ。頭楯幅廣ク前縁角ハ圓味ヲ帶ビ前縁狭ク上反ス。點刻細密ナリ。界線不明ニシテ前頭又密ニ點刻アリ。後頭ハ僅少ノ點刻アリテ光澤アリ。

胸背板ハ光澤ヲ有シ幅廣クシテ短カシ。微細ナル點刻ヲ散布ス。上面ノ側縁ニ近ク窪ミアリ。綠褐色部ハ斑紋狀ニ左右ニ存スルモ標本ニヨリ不明ナリ。全體光線ニヨリ綠色ヲ呈ス。

稜狀板ハ胸背板ト同色ヲナシ鈍ク尖リ。微細ナル點刻ヲ散布ス。

翅鞘ハ淡黄褐色ニシテ縦隆線ハ密ナル點列ト弱キ隆起ニヨリ僅カニ之ヲ認メ得ベシ。間室ハ淺キ大小ノ點刻ト不規則ナル弱キ鋸狀ノ窪ミヲ有ス。尾節板ハ黒紫色ニ綠色ヲ帶ブ。

腹面ハ黒紫色ニシテ各節僅少ノ細毛ヲ列生ス。

脚ハ黄褐色ヲ基調トシ黒紫色ヲ帶ブ。脛節附節ハ殊ニ著シク又光線ニヨリ少シク綠色ヲ呈ス。

雄交尾器ハさくらこがねニ似ルモ鞘部長クシテ全ク下面ニ彎曲スルコトナシ。

本種ノ學名 *A. geniculata* ハ通常さくらこがねニ用キラレタリ(松村博士千蟲圖解第三 p. 89, 新島森林昆蟲學 p. 168)。然レドモ元來此學名ノモノハさくらこがねヨリ小形ニシテ且ツ腹面黒味ヲ帶ブルモノナリ。今次ニモツチヨルキーノ原記載ノ全文ヲ譯出セン。

形狀及ビ色澤 *Anomala Frischi* ニ類似スルモ幅廣シ。卵形凸圓狀ニシテ光澤アリ。點刻ヲ有ス。上面淡黃褐色。頭胸部、稜狀板多少綠色ナリ。體ノ下面黒藍色、脚黒綠色、環節部淡黃褐色ナリ。翅鞘ハ密ナル點列ヲ存ス。中間部交互ニ幅少シク廣シ。

然ルニさくらこがねノ和名アルモノハ形狀大ニシテ下面黒色調ヲ帶ブルモノナク *A. daimiana* ノ記載ニ合スルヲ以テレウキス及ピライターガ之ヲ *A. geniculata* ノ異名トセルモオーハウス (Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 325.)ニ從ヒ之ヲ分チタルナリ。(松村博士ノ千蟲圖解第三ニ記載セルモノモ大形ニシテ且ツ其ノ材料ヲ檢スルニ明カニ *A. daimiana* ナリ。但シ記載ニハ下面黒藍色トアルモ標本ハ黒調甚淡シ。)

大サニ於テハ原文ニハ長サ 6 lin. 幅 $3\frac{1}{2}$ lin (オーハウスハ $13\frac{1}{2}$ 乃至 7 mm. トセルモ誤譯ナルハ明カナリ)トシウオーターハウスハ其標本ヲ 6 乃至 8 lines 即チ凡ソ 13—17 mm. ト記セリ。予等ノ標本ハ雌八個雄二個ニシテ此ノ中鹿兒島及ビ岡山ノモノハ下面鞘ヤ淡色ナルモ他ハ明カニ黒調ナリ。他ノ性質ニ於テ原記載ニ合スルモノト認メ此ノ學名ヲ充當シ和名ヲひめさくらこがねと命ゼリ。雄交尾器ハさくらこがねト形ニ於テ全ク異ナレリトス。アルローノ日本ノ金龜子類ヲ記セルモノ (Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, pp. 396-408)ニハ此學名ノモノヲ省除シアリ。

とうきようこがね(新種)

Anomala tokioensis Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. I. fig. 8. Taf. VII. fig. 11.

産地 東京(駒場,目黒)

體長 15—16 幅 7—7,5 mm.

體稍ヤ長形黃褐色ニシテ強キ綠色ヲ帶ベル金屬光澤アリ。頭胸背板ハ點刻細カクシテ密ナリ。翅鞘上ノ點刻ハ之ヨリ僅カニ小ナリ。

頭部鞘ヤ大形頭楯ハ前方幅狭ク前縁強ク上反ス。點刻ハ淺ク密ニシテ少シク網狀ヲナス。前頭ハ界線ニ近ク大ニシテ密ナル點刻ヲ存シ後頭部ハ小ニシテ少シク粗ナリ。

胸背板ハ幅長サノ一倍半ナリ。側縁ニ僅少ノ細毛ヲ有シ前縁角ハ突出ス。中央ニ強ク窪メル縦線アリ。上面兩側及ビ後縁ノ稜狀板ニ近キ部分ニ窪ミヲ有ス。點刻ハ後頭部ト同ジクシテ稍ヤ密ナリ。

稜狀板ハ胸背板ヨリ密ニ細カキ點刻ヲ存ス。中央縦ニ窪ム。

翅鞘ハ上面ニ明カナル三個ノ縦隆線ヲ有ス。會合線ニ沿ヘル中間帶ハ平カニシテ幅廣ク他ハ狭クシテ少シク隆起ス。肩ノ内部ニ於テ壓セラレタル部アリ。一樣ニ胸背板ヨリ更ニ細カキ點刻ヲ有ス。側縁隆起ハ中央ヨリ少シク先方ニ達ス。

尾節板ハ細カキ網狀ノ點刻ヲ有シ僅少ノ褐色刺毛ヲ先端ニ近ク存ス。

下面ハ黃褐ニシテ胸節ノ毛ハ短カク少ナシ。腹節ニハ甚ダ僅少ナル刺毛ヲ散生ス。

雄交尾器ハ上鞘部ノ兩片細狭ニシテ相分レ先端急ニ擴張ス。

本種ハはんのひめこがねニ外形似ルモ體稍ヤ細ク胸背板ノ點刻著シク小ニシテ雄交尾器ノ形狀又全ク異レリ。

つやこがね(新稱)

Anomala lucens Ballion.

Taf. VII. fig. 9.

Bull. Mosc. 1871, p. 155.

Harold, Deutsche Ent. Zeitschr. 1877, p. 353.

Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 344.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 306.

Ohaus, Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 321.

(*Rhombonyx lucidula*) Motsch. Bull. Moscou. 1861, p. 171.

(*A. rufocyprea*) Waterhouse (nec Motsch.) Trans. Ent. Soc. London, 1875, p. 103.

Lewis. Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 401.

Reitter, Best.-Tab. (51), 1903, p. 72.

産地 Hiogo, Echizen, Mino, Kioto, Nagasaki, Moheji.

熊本, 鹿兒島, 岡山, 高知, 北海道, (函館, 七飯, 野幌, 旭川, 栗山, 根室, 十勝)

體長 14—17, 幅 8—9.5 mm.

頭ヨリ胸背板綠色ニシテ強キ光澤アリ。翅鞘黃褐色ニシテ綠色又ハ銅色ノ光澤アリ。色澤變化多シ。

頭部大形, 頭楯前方ニ狹摺シ點刻ハ密ナルモ相聯絡スルコトナシ。前頭ノ點刻大ニシテ不規則ニ密集ス。後頭ハ滑カニシテ點刻小ナリ。

胸背板ハ短カクシテ幅廣ク大約長サノ二倍ナリ。中央ニ細キ凹線アリ。點刻ハ頭部ノモノヨリ細小ニシテ稍密ニ一様ニ散布ス。側縁ニ沿ヒ黃色ノ縁ヲ有ス。

稜狀板ハ楕形ヲナシ微細ナル點刻ヲ存ス。

翅鞘ハ一様ニ微細ナル點刻ヲ有シ會合線ニ沿ヘル中間帯ハ幅廣クシテ平カナリ。第一ノ隆條ハ稍ヤ高クシテ殊ニ先端ニ近ク著シク隆起ス。尾節板ハ綠黑色ヲナシ網狀ノ細點刻ヲ有シ先端ニ近ク褐色ノ刺毛ヲ存ス。

下面ハ黑色ニシテ稍ヤ綠色ヲ帶ブ。前及ビ中脚ノ爪ノ大ナル一側ノモノ弱ク分岐ス。

本種ハ我國ニ甚ダ普通ナル種類ニシテ其ノ色澤又著シキ變化アリ。即チ頭及ビ胸背板綠色ニシテ翅鞘黃褐色ヲナスコト普通ナルモ翅鞘ノ一部綠色ヲ帶ブルモノヨリ全體綠黑色ヲナスモノニ至ル。飛彈ニ於テ得タル三個ノ標本ハ紫色ヲ帶ブ。然レドモ雄交尾器ノ構造ハ總テ同一ナリ。

はんのきこがね(新稱)

Anomala Motschulskyi Harold.

Taf. I. fig. 7. Taf. VII. fig. 10.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1877. p. 351.

Ohaus, Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 321.

Reitt., Best.-Tab. (51) 1903, p. 73.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913. p. 403.

産地 Japan.

鹿兒島,宮崎,日向,別府,長崎,佐賀,高知,三重,愛知,長野,豊橋,静岡,御殿場,茨城,高萩,栃木,仙臺,福島,山形,秋田,青森,北海道(七飯,野幌,伊達村,苫小牧,枝幸),朝鮮

體長 13—17 幅 8—9.5 mm,

ひめこがねニ最モヨク似ル。胸背板光澤アリ體綠色ヲ基色トシテ少シク黃褐色ヲ帶ブ。

頭楯ノ前縁平カニシテ少シク上反ス。點刻密ニシテ相聯合ス。前頭ノ點刻ハ前縁ニ近ク密ナリ。

胸背板ハ強キ光澤アリ。點刻ハ圓形ニシテ細カク中庸ニ密布ス。側縁毛ヲ生ズルコトナシ。

翅鞘ノ縦隆線著シカラズ。間室ノ點刻ハ大サー様ニシテ凹點又少ナシ故ニひめこがねニ比シ滑カニ見ユ。

前腿節ニハ一列ノ褐色毛ヲ供フ。

雄交尾器ハ鞘部狭クシテ先端ノ左右ニ突出スル部ひめこがねヨリ長シ。我國ニ於ケル最モ普通種ナリ其色彩ニ著シキ變化アリ。之ニ由リテ次ノ變種ヲ區別ス。

變種 あまいろはんのきこがね

Anomala Motschulskyi Har. var. *viridicuprea* Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 321.

産地 薩摩,長野,高知,朝鮮.

金屬綠色ヲ基調トシテ強キ銅赤色ヲナス。

此變種ハ基種ニ最モ近キ變種ニテ胸背板ノ光澤ノ如キ全ク異ナラザルモノアリ。然レドモ翅鞘ニ銅紫色ノ光澤ヲ有スルヲ以テ此變種ヲ區別シ得ベシ。

變種 ちやぼねはんのきこがね

Anomala Motschulskyi Har. var. *aptena* Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 321.

産地 伊豆,三重,愛知,長野,北海道(野幌,膽振,伊達村)

體金屬綠色ニシテ翅鞘ハ淡黄或ハ黄褐色ヲ帶ビ少シク金屬綠色ノ光澤ヲ有ス。

本變種ニハ基種ノ稍ヤ淡色ノモノニ似タル標本アルモ其翅鞘ハ明カニ黄褐ノ基色ヲ顯ハスヲ以テ區別シ得ベシ。

變種 あいいろはんのきこがね

Anomala Motschulskyi Har. var. *violacea* Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 321.

産地 別府,球磨,愛知,御殿場,秋田,北海道(苫小牧,枝幸)

上下面美堇色ヲ呈ス。濃キ藍黑種ヲ此内ニ屬サシム。此變種ハ最モ明カニ他ト區別シ得ベシ。

變種 あそちやはんのきこがね

Anomala Motschulskyi Har. var. *rafoviolacea* Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 321.

産地 鹿兒島,宮崎,佐賀,高知,屋島,丹波,京都,福島,北海道(七飯)

上面頭胸背板及ビ稜狀板ハ濃キ堇青色ヲナシ翅鞘赤褐色ニテ青ノ色澤ヲ呈ス。下面尾節板及ビ脚ハ青色ニシテ綠色光澤ヲ帶ブ。

本變種ニ屬スベキモノハ甚少ナシ。主トシテ九州産ナリ。

はんのひめこがね

Anomala multistriata Motsch.

Taf. I. fig. 11. Taf. VII. fig. 8.

(*Euchlora*) Et. Ent. 1861, p. 7.

Waterh., Trans. Ent. Soc. London. 1875. p. 112.

Reitt, Best.-Tab. (51) 1903, p. 70,

(*Anomala yuncticollis*) Harold, Deutsche Ent. Zeitschr. 1877. p. 351.

Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879. p. 344.

新島等, 演習林報告 第五號 p. 7.

産地 Mino, Kiushiu, Tsushima(not common).

秋田,青森,北海道(旭川,天鹽,苫小牧)

體長 15—18 幅 8—10 mm.

體純綠色,翅ノ基色少シク黄色ヲ帶ブ。

頭楯前方少シク幅狭ク綠色ナルモ僅カニ黄色ノ基調ヲ有ス。密ニ相附着セル點刻ヲ具フ。前頭トノ會合線ハ明カナリ。前頭ニハ強キ粗ナル點刻ヲ有シ後頭ニ向テ散布ス。

胸背板ハ綠色ナルモ側縁ニ沿ヒ黄色ヲ呈ス。前縁角ハ突出ス。上面ニ著シク大ナル深キ點刻ヲ密ニ存ス。

稜狀板ハ略半圓形ニシテ鈍ク尖リ胸背板ヨリ小ナル點刻ヲ散布ス。

翅鞘ハ側縁隆線ヲ先端マデ存ス。基調トシテ赤褐色ヲ帶ビタル綠色ヲナス。殊ニ光線ニヨリ美ナル草色ノ光澤ヲ表ハス。間室ニ皺狀ノ凹ミト不規則ナル小點刻ヲ具フ。

下面黄褐ニ銅赤色ヲ帶ビ。僅少ノ細毛ヲ生ズ。

雄交尾器ノ鞘部ハ長形ニシテ先端下面ニ向ヒ彎曲ス。

あをどうがね

Anomala(*Euchlora*) *albopilosa* Hope.

Taf. IV. fig. 25.

Proc. Zool. Soc. London. 1839, p. 70.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1840, p. 347.

Burmeister, Handb. Ent. IV. 1844, p. 278.

Waterhouse, Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 112.

Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 343.

Reitter (*Euchronomala*), Best.-Tab. (51) 1903, p. 65.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 492.

產地 Kiushiu, Hiogo,

大阪, 高知, 佐賀, 對馬

體長 19—23 幅 11,5—12,5 mm.

大形ノ綠色種ニシテ腹側ニ白色ノ毛斑ヲ有ス。翅鞘ニハ著シキ膜縁ヲ有ス。

頭楯ノ前縁ハ平カニシテ側縁ニ向テ圓味ヲ帶ビ粗點ヲ密布ス。中央部ハ少シク隆起ス。會線ハ細キモ明カナリ。

胸背板ハ全面稍ヤ強キ點刻ヲ存ス。後縁ハ兩側ニ於テ細キ縁ヲ有スルカ或ハ之ヲ缺ク。側縁上ニ細長毛ヲ列生ス。

稜狀板ハ先端ニ沿ヒテ銅色光澤ヲ有シ細カキ點刻ヲ存ス。

翅鞘ハ多數ノ小點刻ヲ有ス。其形ハ半圓又ハ馬蹄狀ノモノ多シ。點列ハ甚不明ナリ。側縁隆起ハ中央ヨリ少シク先方ニテ消失シ其部ヨリ翅鞘ノ先端ニ黃褐色ノ膜縁ヲ有ス。

尾節板ハ濃綠色ナルモ少シク銅色ヲ帶ビ細網狀ヲナシ僅少ノ白色毛ヲ生ス。其前節モ後縁ニ近ク列狀ノ白毛アリ。

腹面ハ脚ト共ニ黒味アル銅紫色ヲナス。各腹節ノ兩側ニハ白色ノ毛群ヲ存ス。

ライターハ胸背板ノ後縁ガ縁狀ヲナサズ前縁モ廣ク縁線ヲ有セザルモノヲ *albipilosa immarginata* トセルモ此間ニハ多クノ移行ノ變化アルヲ以テ明カニ區別スルコト難シトス。

ひめどうがね(新稱)

Anomala viridana Kolbe.

Arch. Naturg. 1886, p. 192.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903; p. 64.

Ohaus, Stett, Ent. Zeit, 1915, p. 319.

(*A. japonica*) Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 401.

產地 Korea, Japan.

朝鮮(水原)

(112)

體長 20 幅 11 mm.

體綠色ニシテ光澤薄ク最モ良クどうがねぶいぶいニ似ルモ體面ノ點刻強クシテ密ナリ。

頭部光澤ヲ有シ強キ點刻ヲ密附シ頭楯ハ前緣角圓味ヲ帶ビ側緣ヨリ前緣ニ上反ス。

胸背板ハ前緣ニ明カナル膜狀緣ヲ有シ前緣角稍ヤ突出ス。中央ニ細キ縱ノ滑ナル線狀部ヲ殘スノミニテ強キ點刻ヲ密付ス。側緣ニ白色ノ長毛ヲ散生ス。

稜狀板ハ胸背板ト同色ヲナシ點刻少シク小ナリ。

翅鞘ハ綠色ニシテ一様ニ密ナル稍ヤ強キ點刻ヲ有ス。線條ハ會合線ニ沿フテ一個ヲ認ムルノミニテ他ハ不明ナリ。側緣ノ中央ヨリ先端ニ沿ヒ幅廣キ膜質緣ヲ在ス。

尾節板ハ相連レル點刻ヲ密ニ存在シ白色ノ毛ヲ散生ス。

下面ハ又綠色ニシテ強キ光澤アリ胸部ニ長キ白色毛ヲ存シ腹節ニハ短線形ノ點刻ト列狀ノ棘毛ヲ有ス。腹側ノ兩節ニハ白色長毛ヨリ成レル小斑紋アリ。

予等ノ驗シタル標本ハ内田氏ノ水原ニテ採取セルモノナリ。

どうがねぶいぶい

Anomala cuprea Hope.

Taf. IV. fig. 26.

(*Euchlora*) Proc. Zool. Soc. London. 1839, p. 72.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1840, p. 350.

Burm., Handb. Ent. IV, 1, 1844, p. 278.

Motsch., Etud. Ent. 1860, p. 15.

Bull. Moscou XXXIX, 1866, p. 171.

Waterh., Trans. Ent. Soc. London. 1875, p. 111.

Har., Abh. Nat. Ver. Bremen IV 1875, p. 292.

Heyd., Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 342.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 64.

Arrow. Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 396.

産地 Mino, Hiogo, Echizen, Kioto, Kiushiu.

高知, 熊本, 岡山, 鹿兒島, 京都, 東京, 清澄, 秋田, 高鍋, 福島, 宮崎, 山形, 北海道
(札幌, 余市, 天鹽)

體長 20—24. 幅 11—13 mm.

體橢圓形ニシテ大銅鉦色ヲナス翅鞘ノ縱隆線全ク不明ナリ。

頭楕ノ前縁ハ稍ヤ緩ナル孤線ヲナス。全面ヨリ前頭ニ稍ヤ大ナル點刻ヲ密布ス。後頭部ハ點刻粗ナリ。

胸背板ハ光澤ヲ缺キ全面稍ヤ強キ橢圓形ノ點刻ヲ有ス。

稜狀板ハ楕形ヲナシ僅數ノ點刻ヲ具フ。

翅鞘ハ略一樣ニ不規則ニ點刻ヲ有ス。縱隆線ハ之ヲ缺キ唯僅カニ其位置ヲ認ムルニ止マル。側縁ノ後方ヨリ先端ニ黃褐ノ膜質縁ヲ明カニ存ス。

下面ハ黒銅色ニテ紫光澤アリ。胸部ニ白色ノ細毛ヲ多ク生ズ。

此種類ニハ綠色ノ強キモノ紺色或ハ銅赤色ヲ帶ブルモノアリ

たいわんあきどうがね

Anomala (Euchlora) expansa Bates.

Taf. IV. fig. 24.

Proc. Zool. Soc. Lond. 1866, p. 339.

Ohaus, Archiv. f. Naturg. 1916 A. 4, p. 8.

素木得一, 臺灣農事試驗場特別報告第八號 p. 653.

産地 Formosa, China.

臺灣(臺南, 補里社, 臺北)

體長 24—26 幅 14—16 mm.

光澤アル綠色ニシテ光線ニヨリ黄色ヲ表ハス。翅鞘ノ側縁隆線特殊ノ形狀ヲナシテ著シク伸長ス。

頭楕ハ前縁略ホー直線ニシテ黑色ノ縁線ハ少シク上反ス。前頭部マデ少シク黄色ノ光澤アリ。點刻ハ前頭密ニ後頭粗ナリ。

胸背板ハ後縁ノ兩側ヨリ周圍ニ明カニ縁取ラル。中央ニ細キ不明ノ縱

(114)

線アル外細點刻ヲ有ス。

稜狀板ハ楕形ニシテ純綠色ヲナシ微細ナル點刻ヲ有ス。

翅鞘ニ縱隆線ヲ缺クモ點列ニ由リ之ノ位置ヲ認メ得ベシ。全面ニ小點刻ヲ具フ。側緣隆線ハ外緣角ニ至ツテ幅廣ク伸長突出シテ終ル。此部雌ハ雄ヨリ狹シ。

腹面及ビ脚ハ黒藍色ヲナシ綠色光澤アリ。腹節ニハ不規則ナル列狀ノ刺毛ヲ具フ。

すじこがね屬ニシテ予等ノ調査シ得ザリシモノ次ノ如シ。

Anomala Schönfeldti Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 322.

產地 Yokohama, Nagasaki.

Anomala ignicolor Reitter.

Best.-Tab. (51) 1903, p. 73.

產地 Korea.

Anomala corrugata Bates.

Proc. Zool. Soc. London, 1866, p. 343.

產地 Korea.

Anomala inconcinua Bates.

Proc. Zool. Soc. London, 1866, p. 343.

產地 Formosa.

Anomala difficilis Waterhouse.

Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 111.

產地 Japan.

Anomala chamæleon Fairm.

Rev. d' Ent. VI. 1837, p. 317.

Heyd. Hor. Soc. Ent. Ross. 1839, p. 662

產地 Korea, Nordchina, Amur.

Anomala triangularis Schönf.

Ent, Nachr. 1890, p. 171.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 396.

產地 Japan.

Anomala poecilochalcea Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 323.

產地 Formosa.

Anomala streptopyga Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 329.

產地 Formosa.

Anomala libidinosa Ohaus.

Archiv f. Naturg. 1816. A. 4, p. 5.

產地 Formosa.

Anomala polianor Ohaus.

Archiv f. Naturg. 1816, A. 4, p. 4.

產地 Formosa.

Anomala sagax Ohaus.

Archiv f. Naturg. 1816. A. 4, p. 6.

產地 Formosa.

Anomala Sauteri Ohaus.

Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 329.

Archiv f. Naturg. 1916. A. 4. p. 7.

產地 Formosa.

Anomala siniopyga Ohaus.

Archiv f. Naturg. 1916. A. 4. p. 8.

產地 Formosa.

Anomala(*Euchlora*) **chloroderma** Arrow.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 403.

產地 Oshima.

Anomala xanthopleura Arrow.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 402.

產地 Liukiu.

Anomala castaneoventris Bates.

Proc. Zool. Soc. London. 1866, p. 344.

Ohaus, Archiv f. Naturg. 1916, A. 4. p. 7.

産地 Formosa.

Anomala cupripes Hope.

Proc. Zool. Soc. London. 1839, P. 68.

Ohaus, Stett. Ent. Zeit. 1915, p. 331.

産地 Formosa, Südchina.

Anomala trachypyga Bates.

Proc. Zool. Soc. London. 1866, p. 344,

Ohaus, Archiv f. Naturg. 1916, A. 4, p. 7.

産地 Formosa.

Anomala(*Spilota*)**plagiicollis** Fairm

Ann. Soc. Ent. France, 1886, p. 329,

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 51.

産地 Korea, Ostsibirien, China.

こがねむし属

Mimela Kirby.

卵形ニシテ上部圓味ヲ帶ブ。頭部ハ其幅稍ヤ廣クシテ短カク前縁モ圓味アリテ上反スル頭楯ヲ有ス。胸背板ハ其後縁完全ニ縁取ラルルコトナシ。翅鞘ハ細キ縁狀膜ヲ有ス。下面ノ前胸片ハ前脚ノ基節ノ後方ニテ片狀ノ隆起ヲナシ基節ノ相接スル部分ヲ超ヘ角狀ニ曲リテ突起ス。觸角ハ九節ヨリ成ル。脚ハ短カクシテ丈夫ナリ。前脚ノ脛節ハ一或ハ二齒ヲ有ス。

此属ハすぎこがね属ニ最モヨク類スルモ前胸片ノ突起ニヨリテ之ト區別セラル。此属ハ ライターニ由リテ種々ノ亞属ニ分タル、モ我國ノ種類ニ於テハ其數少ナキヲ以テ此ノ要ナシ。予等ノ調査シ得タル此属ノ種類ハ次ノ如シ。

I₁ 翅鞘ノ縦隆線高カラズ胸背板ハ全ク黄色部ナシ

こがねむし M. lucidula.

I₂ 翅鞘ノ縦隆線明カナリ胸背板ノ側縁ニ沿ヒ黄色部アリ

ひめすじこがね *M. fravilabris*.

こがねむし

Mimela lucidula Hope.

- Trans. Ent. Soc. Lond. 1835, p. 113.
 Waterh., Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 112.
 Harold, Abh. Brem. 1876, p. 127.
 (*Gaschkewitchi*) Motsch., Et. Ent. 1857, p. 32.
 Waterh., Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 112.
 Harold, Abh. Brem. 1875, p. 272.
 Deutsche Ent. Zeitschr. 1878, p. 72.
 Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 315.
 Reitt., Best.-Tab. 52, 1903, p. 53.
 松村松年, 千蟲圖解第三, p. 82, pl. 47, fig. 6.
 新島等, 演習林報告第五號 P. 11.

産地 Mino, Hiogo, Kyoto.

東京, 京都, 岐阜, 伊賀, 鹿兒島, 別府, 御嶽, 朝鮮(水原), 臺灣(補里社)

體長 17—19 幅 10—11 mm.

著シク光澤アル綠黑色ニシテ翅鞘ノ縦線特ニ隆起スルコトナシ。

頭楯ハ前縁黒紫色ヲナシテ上反シ上面ニハ細點ヲ密布ス。頭部ハ滑カニシテ稍ヤ深キ細點刻ヲ散布ス。

胸背板ハ全周明カニ縁取ラル。表面微細點刻ヲ散布シ兩側ニ不規則ナル壓凹部及ビ中央ニ細縦線ヲ存ス。

翅鞘ハ細點列ニ由テ僅カニ縦隆線ノ位置ヲ認メ得ルモ特ニ隆起スルコトナシ。間室ニハ弱キ凹凸ヲ有ス。點刻ハ細小ナリ。翅鞘ノ側縁隆線ハ中央ニ於テ稍ヤ強シ。

下面ハ黒色ニシテ少シク銅紫色ヲ呈ス。

雄交尾器ノ先端部ハ鉤狀ヲナシ。殆ンド彎曲セズ。

之ガ變種トシテ知ラレタル側面ニ紫紅色ヲ帶ブル var. *splendens* Gyll. 及ビ全上面紫紅色ヲ呈スル var. *ccrsca* Heyd. ハ未ダ之ヲ得ズ。臺灣産ノ標本一個雌ハ小形(體長 17 幅 10 mm)ナルモ他ノ特性ニ變化ヲ見ズ。

ひめすじこがね

Mimela flavilabris Waterh.

(*Anomala*) Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 110.

松村松年, 千蟲圖解第三 p. 91. pl. 48. fig. 4.

産地 Japan.

高知, 東京, 清澄, 御嶽, 仙臺, 秋田, 山形, 北海道(小樽, 野幌, 漁)

體長 15—20 幅 8,5—11 mm.

強キ綠色ニシテ光澤アリ。翅鞘ノ間室ハ平滑ナラズ。脚ハ黄褐色ナリ。

頭楯前縁ハ僅カニ彎入シ上反ス。強ク密着セル點刻ヲ有ス。前頭ノ中央部モ密ニ錯綜セル點刻アリ。後頭ハ滑カニシテ點刻小ナリ。

胸背板ハ光澤アル綠色ナルモ側縁ニ沿ヒ黄褐色ヲ有ス。中央縦線及ビ側面上ノ凹壓部明カナリ。點刻小ナリ。側縁ヨリ底縁ニ明カニ縁リ取ラル。

稜狀板ハ稍ヤ扁平ナル三角形ヲナシ先端略ホ直角ナリ。

翅鞘ハ綠色ナルモ稀ニ紫銅色ノ光澤ヲ帶ブルモノアリ。縦隆線上ニ細點ヲ有ス。間室ニハ不規則ナル皺狀斑點形ノ凹ミアリ細點ヲ其ノ上ニ散布ス。

下面ハ黄褐色ヲ基調トシテ銅紫色ノ光澤アリ。前脚基節間ノ突起ハ著シク彎曲セズ。

雄ノ交尾器ハ先端鈍ク尖ル。

本種ハ其大サニ於テ著シキ變化アリ。色澤ニ於テ綠色ヲナスコトハ同一ナルモ胸背板ニ全ク黄褐色ヲ有セザルモノ上面溷濁セルモノ或ハ稀ニ著シク強キ皺ヲ存スルモノアリ。

本邦ニ産スルトシテ知ラレタル此屬ノ種類尙ホ三種アルモ未ダ其標本ヲ得ル能ハズ。

Mimela testaceoviridis Blanchard.

Cat. Coll. Mus. Paris, 1850, p. 197.

Waterhouse, Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 112.

Reitter, Best.-Tab. 52, 1903, p. 51.

産地 China; Peking, Shanghai, Japan.

Mimela fusania Bates.

Ohaus, Stett. Ent. Zeitschr. 1915, p. 95.

産地 Korea: Fusan, Gensan.

Mimela splendens Gyll. var. **cyanicollis** Ohaus.

Stett. Ent. Zeitschr. 1915, p. 96.

産地 Korea, Chemulpo.

うすちやこがね屬

Phyllopertha Stephen.

頭楯ハ前縁圓味ヲ帶ブルカ或ハ平カナリ。前縁角ハ圓シ。胸背板ハ翅鞘ヨリ幅狭ク後縁ハ縁取ラル。翅鞘ノ先端ニ近キ縁ニハ細膜縁ヲ有ス。後胸節ノ中央ハ中基節ノ間ニ毬果狀ニ突出ス。脚ハ稍ヤ細ク後腿節ハ肥大セズ。前脛節ニ二外齒ヲ有シーノ端棘ヲ存ス。大形ノ爪部ハ前兩脚又ハ全脚ニ於テ先端分岐ス。觸角ハ皆九節ニシテ片狀節雄ニ於テ少シク雌ヨリ大ナリ。

我國ニ知ラレタル種類ハ五種ニシテ新ニ三種ヲ加フ。其索引次ノ如シ

- I₁ 體面ニ毛ヲ有ス。
- II₁ 胸背板ノ毛著シクシテ直チニ認メ得ベシ。
- III₁ 翅鞘ノ毛ハ殆ンド無キガ如ク見ユ。
- IV₁ 翅鞘滑カナル黄色ヲナス。 うすちやこがね Ph. diversa.
- IV₂ 翅鞘黒褐色ヲナス。 あかちやこがね Ph. kiotoensis n. sp.
- III₂ 翅鞘ノ毛ハ明カニ認ムルコトヲ得ル。
- V₁ 翅鞘黄色ニシテ綠色ノ縁ヲ有ス。 きすじこがね Ph. irregularis.
- V₂ 翅鞘黄色ニシテ綠色縁ナシ。 あとうすちやこがね Ph. intermixta.
- II₂ 胸背板ノ毛少ナシ。
- VI₁ 胸背板ノ毛少ナキモ側邊ノモノ長シ。翅鞘黄褐色ナリ。

VII₁ 翅鞘少シク扁平ニシテ縦隆線明カナリ。

かたもんこがね *Ph. conspurcata*.

VII₂ 翅鞘圓味ヲ帶ビ縦隆線不明ニシテ平滑ナル觀ヲナス。

ならのちやいろこがね *Ph. pubicollis*.

VI₂ 胸背板ノ毛甚薄ク殆ンド認メ難シ翅鞘黒色。

I₂ 體面ニ毛ヲ有セズ。

くろひめこがね *Ph. fuscata* n. sp.

VIII₁ 翅鞘黄色ヲ帶ブ。

IX₁ 翅鞘上ニ褐色ノ斑紋アリ。

せまだらこがね *Ph. orientalis*

IX₂ 翅鞘ニ全ク斑紋ナシ。

うすきいろこがね *Ph. pallidipennis*.

VIII₂ 翅鞘黒色體小形ナリ。

たんばひめこがね *Ph. tanbaensis* n. sp.

かたもんこがね

Phyllopertha conspurcata Har.

Taf. III. fig. 28.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1878, p. 71.

Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 342.

Waterhouse (*Ph. arenaria*), Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 108.

Reitter, Ent. Nachr. 1888, p. 292.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 400.

Reitter (*Blitopertha*), Best.-Tab. (51) 1903, p. 87.

松村松年, 千蟲圖解第三 p. 92. pl. 49. f. 8.

新島等, 演習林研究報告第五號 p. 9.

産地 Japan, Nagasaki, Ussuri, Peking, Tokio, Hiogo, Hagi.

京都, 東京, 札幌, 朝鮮,

體長 8—10 幅 4—5.5 mm.

體黒色, 翅鞘淡黄褐色, 胸背板ニハ僅カノ毛ヲ有ス。

頭楯ハ略ボ扁平ナル四角形ヲナシ前縁ハ明カニ上反ス。前頭部ト共ニ密ニ細點刻ヲ有ス。會線ハ不明ナリ。

胸背板ハ黒色ニテ銅色光澤アリ。點刻ハ稍ヤ密ニシテ不規則ニ聯合ス。長キ白色毛ヲ全面ニ生ズ。

稜狀板ハ黑色ニシテ密ニ點刻ヲ有シ。少シク綠色光澤アリ。又細白毛ヲ存ス。

翅鞘ハ上面少シク平タク淡黃褐色ニシテ會合線側緣黑色ヲナス。肩及ビ全面ニ黑色ノ不規則ナル斑紋ヲ呈スルモノアリ。細短ナル微白色毛ヲ生ズルモ殆ンド無毛ノ如ク見ユ。

×下面及ビ脚ハ黑色ニシテ銅色光澤アリ。胸部及ビ腹側ニ長白毛ヲ存ス。

×中脚ノ爪外側ノ大ナルモノハ先端ニテ分割シ後脚ノ者ハ單一ナリ。觸角ハ黑色ニシテ雄ノ片狀節ハ僅カニ柄部ヨリ長シ。

ならのちやいろこがね

Phyllopertha pubicollis Waterh.

Taf. III. fig. 25. 35,

(*Anomala*) Trans. Ent. Soc. London. 1875, p. 111.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 402.

Trans. Ent. Soc. London, 1899, p. 273.

Reitter (Subg. *Proagopertha*), Best.-Tab. (51) 1903, p. 51.

Arrow (*Anomala*) Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 396.

新島等 演習林研究報告第五號 p. 8.

產地 Nagasaki, Hiogo.

仙臺, 東京, 熊本

體長 10 幅 6,5 mm.

體銅黑色ニシテ翅鞘淡黃色腹面ニ白色毛ヲ多ク生ズ。

頭楯幅廣ク扁平ナル四角形ヲナシ前緣稍ヤ強ク上反ス銅紫色ニシテ密ナル點刻ヲ有ス。前頭トノ界線不明ナリ。前頭ハ頭楯ト同様ノ色彩ト點刻ヲ有スルモ後頭ニ綠色ヲ加ヘ點刻離散ス。僅少ノ白色毛ヲ具フ。

胸背板ハ暗綠色ニシテ兩側ニ向テ銅紫色ヲ呈ス。側緣ニ沿ヒ黃褐色ヲナス。前緣角ハ鈍ク突出シ側緣中央部ニテ彎曲ス。點刻上面ニ粗ニシテ兩側銅紫色部ニ強ク密ナリ。中央ニ細キ縦線アリ。上面ニ僅少ノ長毛ト側緣ニ列狀ノ白色毛ヲ存ス。

(122)

稜狀板ハ銅紫色ニシテ細點ヲ散布ス。

翅鞘ハ縦隆線明ナラザルモ細カキ點列ヲ存ス。肩部ノ内方ニ不明ナル窪ミヲ存ス。淡黃褐色ニシテ會合線及ビ側緣黒紫色ヲナス。

下面ハ黒紫色ヲナシ長キ白色毛ヲ生ズ。中胸部ハ基節ノ中間ニテ毬果狀ニ突出ス。

うすちやこがね

Phyllopertha diversa Waterh.

Taf. III. fig. 30.

Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 106. t. III. f. 5.

Reitter. Best.-Tab. (51) 1903, p. 84.

(*Ph. maculicollis*) Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 84.

Arrow (*Anomala*) Ann. Soc. Nat. Hist. 1913, p. 396.

新島等, 演習林研究報告第五號, p.9.

産地 Nagasaki.

東京, 宮崎, 熊本, 播磨, 静岡

體長 9—10 幅 5—5.5 mm

體長橢圓形黒色ニシテ毛ヲ有シ翅鞘ハ淡黃褐色ニシテ會合線ト側緣黒色ナリ。

頭部ハ長キ白毛ヲ有スルモ頭楯ハ殆ンド之ヲ缺ク。頭楯ハ光澤アリテ網狀點刻ヲ有ス。會線ハ明カニシテ前頭ハ粗點ヲ密布ス。

胸背板ハ黒色ニシテ強キ粗點ヲ密布シ長キ稍ヤ横タハレル長毛アリ。前緣角ハ僅カニ突出シ後緣角ハ略直角ナリ。

稜狀板ハ略ボ半圓形ヲナシ光澤アル黒色ニシテ僅少ノ毛ト細點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ胸背板ヨリ幅少シク狭ク兩側平行ス。淡黃褐色滑澤アリテ會合線及ビ側緣時トシテハ肩部黒色ヲナス。明カナル細點列ト中間帶ニ僅少ノ點刻アリ。毛ハ僅カニ基部ニ近ク存スルコトアルノミ。

下面及ビ脚ハ黒色ニシテ長白毛ヲ具フ。觸角モ黒色ヲ帶ビ雄ノ片狀節

ハ柄部ヨリ長シ。

あをうすちやこがね(新稱)

Phyllopertha intermixta Arrow.

Taf. III. fig. 31.

(*Anomala*) Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 403.

(*Phyllopertha horticola*) Waterhouse, (nec. Linn.) Trans. Ent.

Soc. London 1875. p. 106.

産地 Nikko, Chiuzenji, Sapporo, Hakodate.

丹波

體長 10 幅 6 mm.

上面藍綠色翅鞘黒褐色ニシテ上面ノ毛甚少ナク翅鞘ノ上面殆ンド無毛ノ如ク見ユ。

頭楯ハ前縁略ボ直線狀ニテ上反ス。前頭ハ強キ點刻ヲ稍ヤ粗ニ存在ス。

胸背板ハ形狀前種ニ似綠黑色ニシテ上面及ビ側縁ニ僅少ノ白色細毛ヲ存ス。周縁及ビ中央部ハ少シク黄褐色ヲ帶ブ。

稜狀板ハ半圓形ニシテ無毛僅カノ點刻アリ。黄褐ニ少シク綠色光澤アリ。

翅鞘ハ黄褐色ニシテ上面殆ンド毛ヲ有セズ。僅カニ縁ニ沿フテ短細毛ノ列狀ニ生ズルヲ認メ得ベシ。條線ハ稍ヤ深クシテ中間帯ニ強キ皺狀ノ凹ミト細點刻ヲ存ス。尾節板ハ黄褐色ニシテ淺キ網狀ヲナシ稍ヤ長キ毛ヲ具フ。

下面黄褐ニ銅黑色ヲ交ヘ白キ細毛ヲ生ズ。

前脛節ノ第二齒ハ雄ニ鋭ク雌ニ鈍シ。

本種ハウオーターハウスガ *Ph. horticola* ニ當テタルモノニシテレウキスガ さすじこがねノ變種トセルモノナリ。原記載ニアルロウノ附記セル所ニ由レバ粗ナル刻斑、翅鞘ノ金屬光澤ナキコト、頭楯ノ眞直ナルコト等ニヨリさすじこがねト明カニ區別シ得又稍ヤ幅廣キ形態、毛ノ少ナキ體、殊ニ胸背板ガ少シク短クシテ幅廣ク稍ヤ強ク明カナル點刻ヲ有スルコ

トニ由リ *Ph. horticola* ト分チ得ベシト。予等ノ所有スル標本ニシテ此記載ニ當ルモノ三個アリ其内二個ハ採取地不明ナリ。

前報告ニ *Ph. horticola* L. ノ學名ニテくろひらたこがねトセル者(演習林研究報告第五號 p. 9)此種ト異ナルガ如キヲ以テ暫ラク之ヲ當充セザルモノトス。

きすじこがね

Phyllopertha irregularis Waterh.

Taf. I. fig. 18, Tab. III. fig. 29.

Trans. Ent. Soc. London, 1875, p. 107. t. III. f. 4.

Arrow (*Anomala*), Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 396.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 400.

産地 Nagasaki, Kawachi.

京都,大阪

體長 9—10 幅 5 mm.

光澤アル綠色ニシテ翅鞘ハ會合線及ビ周縁綠黑色中央縦ニ黃褐色ヲナス。

頭部綠色淡褐ノ立毛アリ頭楯ヨリ前頭ニ一様ニ粗點ヲ密布ス。會合線ハ殆ンド不明ナリ。

胸背板ハ綠色ニシテ金屬光澤アリ。形ハあをうすちやこがねニ似ル。毛ハ稍ヤ黃色ヲ帶ビ細長ナリ。點刻密ナラズ。

稜狀板ハ半圓形ニシテ細毛ト細カキ點刻ヲ存ス。

翅鞘ハ長形ニシテ黃褐色ヲナシ會合線及ビ周縁綠黑色ヲナス。全面ニ毛ヲ有シ線條ノ間ニ不規則ナル皺紋ト細點刻ヲ存ス。會合線ニ沿ヘル線條ハ深クシテ明カナルモ第二第三ハ唯先端ニ近クノミ深ク窪ム。

下面及ビ脚ハ綠黑色ニシテ白キ長毛ヲ有ス。脚ハ金屬光澤アリ。

觸角ノ片狀節ハ雄ニアリテ著シク長ク柄部ヨリ大ナリ。雌ハ之ヨリ短カシ。

ウォーターハウスハ頭楯胸背板ノ側邊及ビ脚ハ雌ニアリテ黄褐ヲ呈スルモノアルヲ記シタルモノ等ノ有スル八個ノ標本ハ何レモ綠色ニシテ黄褐部ヲ存セズ。

せまだらがね

Phyllopertha orientalis Waterh.

Taf. I. fig. 4.

Transf. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 108.

Harold, Abh. Brem. 1876. p. 126.

Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879. p. 345.

Reitter (*Anomala*), Ent. Nachr. 1898, p. 293.

Arrow (*Anomala*), Ann. mag. Nat. Hist. 1913, p. 336.

新島等, 演習林報告第五號 P. 8.

産地 Hakodate, Kawachi, Hiogo, Nagasaki.

高知, 飛彈, 京都, 大阪, 紀伊, 丹後, 清澄, 日光, 信濃, 東京, 御殿場, 秋田, 岩手, 青森, 福島, 北海道(定山溪, 野幌, 小樽)

體長 9—13 幅 5—8 mm.

翅鞘ノ色彩ニ變化多ク黄褐色ニ褐色ノ斑紋ヲ有スルモノヨリ黑色ニ黄褐紋ヲ有スルモノニ及ブ。胸背板モ黄褐ニ褐色斑紋ヲ有スルモノヨリ全部綠黑色ノモノニ至ル。

頭楯黄褐前縁稍ヤ圓味ヲ帶ビ黑色ヲナシ少シク上反ス。點刻淺クシテ密ナリ。頭部ハ銅黑色ニシテ光澤ヲ有シ前部ノミ少シク黄褐色ヲナスモノアリ。前頭ノ點刻ハ粗大ニシテ相聯絡シ後頭部ハ少シク散在ス。

胸背板ハ毛ヲ有セズ點刻粗大ニシテ深シ。前縁角ハ稍ヤ突出シ周縁明カニ縁取ラル。側縁及ビ中央縦線部黄褐色ヲナシ上面ノ左右ハ銅黑色ノ斑紋狀ヲナス。

稜狀板ハ鈍ク尖リ。細點刻ヲ有ス。色ハ黄褐ナリ。

翅鞘ハ明カニ窪メル多數ノ線條ヲ有ス。黄褐色ニシテ矢筈形ニ排列セル三段ノ斑紋ヲ有ス。

下面ハ黄褐ニシテ黒銅色ヲ交ウルモノト全部黒銅色ノモノトアリ。黄

褐ノ刺毛ヲ各腹節ニ列生ス。

觸角ハ濃褐色ニシテ雄ノ片狀節ハ柄部ヨリ長シ。脛節及ビ跗節ハ後脚ニテハ濃褐色ヲ呈シ前中脚ハ少シク黃褐色ヲ帶ブ。

本種ハ其大サ及ビ色彩ニ於テ變化多キモ雄交尾器ノ形狀ニ由ルトキハ明カニ同一種類ノモノタルヲ認メ得ベシ。胸背板ノ色澤ハ黃褐色ニシテ帶黑色ノ斑紋殆ンド認メ難キモノヨリ全部黃褐色ヲ存セザルモノニ至リ。其帶黑色部モ綠色ヨリ銅紫色ニ至リ種々ノ變化アリ。翅鞘モ殆ンド黃褐ノモノヨリ上記ノモノニ及ビ更ニ濃色部ヲ加ヘ黑色ヲ基調トシテ褐色ノ矢筈形ヲ止ムルモノニ至レリ。予等ノ標本五拾箇中最モ黒色調ノモノハ飛彈、日光、定山溪、野幌産ノモノニシテ京都、大阪ノモノハ黒調ニ綠色ヲ加フ。四國産ノモノハ主トシテ黃褐調ナリ。

ウオーターハウスハ之ニ三個ノ變種ヲ記載セリ。即チ次ノ如シ。

var. a. 黃褐色、胸背ノ前縁ト二斑紋ハ銅色ヲナス。跗節ハ黒色ナリ。

var. b. 黃褐色ニシテ胸背ノ前縁部ト翅鞘上ノ不規則ナル二帶狀部銅色ヲナス。

var. c. 銅色ニシテ翅鞘黒褐色ヲナシ黃色ヲ有ス。然レトモ之等三變種ト認ムベキモノ、間ニハ中間ノ色彩アルコト前述ノ如シ。

あかちやこがね(新種)

Phyllopertha kiotoensis Nijima et Kinoshia n. sp.

Taf. VI. fig. 17.

産地 京都

體長 9—10.5 幅 5—6 mm.

上面眞黒翅鞘黒褐ナリ。上面ニハ毛ヲ有ス。

頭楯ハ側縁部前縁ヨリ著シク上反ス。密ニ相接著セル點刻ヲ有ス。會線ハ明カナリ。前頭部ハ頭楯ト同ジク密ニ點刻アリ。後頭ハ光澤ヲ有シ點刻粗ナリ。

胸背板ハ短カクシテ幅廣ク幅ハ長サノ二倍ナリ。基部ハ明カニ縁取ラ

レ後縁角雄ニテハ稍ヤ外方ニ突出シ雌ハ圓味ヲ帶ブ。光澤アル黑色ニテ綠色金屬光澤ヲ帶ビ上面ニ強キ點刻ヲ稍ヤ不規則ニ存ス。雄ノ中央縱線部ハ少シク溝狀ニ窪ム。上向セル淡黃褐ノ毛ヲ有ス。

稜狀部ハ略ホ半圓形ヲナシ黑色ニシテ光澤アリ僅少ノ點刻ヲ存ス。

翅鞘ハ上面稍ヤ平カニシテ光澤アル黑褐色ヲナシ明カナル線條ヲ有ス。第一ノ中間帶ニハ粗キ一列ノ不規則ナル點刻アリテ中部ノ後ニ達ス。側縁ニ近ク之ト並行シテ溝狀ノ窪ミアリ。甚ダ短カキ褐色毛ヲ存スルモ殆ンド無毛ノ觀ヲナス。

尾節板ハ黑色ニシテ金屬光澤アリ。淡褐色ノ毛ヲ生ズ。

下面及ビ脚ハ黑色ニシテ光澤アリ長キ黃色毛ヲ有ス。毛ハ胸部ニ密ニ腹節ニ散生ス。腹節ノ兩側ニハ淡キ斑紋狀ニ長毛アリ。

觸角ノ片狀節ハ雄ニ於テ柄部ヨリ長ク雌ハ短カシ。雌ノ前脛節外齒ノ先端ノモノハ雄ノ者ヨリ長ク鋭シ。

本種ハ其形狀ニ於テかたもんこがねニ似ルモ色澤及ビ翅鞘ノ線條ノ深キコトヲ以テ明カニ區別シ得ベシ。予等ノ標本ハ京都産雄一雌三個ナリ。

うすきいろこがね(新稱)

Phyllopertha pallidipennis Reitter.

Taf. III. fig. 33.

Best.-Tab. (51) 1903, p. 89.

產地 Ostibirien: Wladiwostock, Ussuri, Korea.

東京, 高知, 宮崎

體長 10—11.5 幅 5—6 mm.

體淡黃色ニシテ胸背板ノ上ニ毛ヲ有セズ。黑色斑紋ヲ有ス。頭部稍ヤ黑色ヲ帶ブ。

頭楯ハ黃色ニシテ略ホ四角形ヲナシ幅廣シ。密ニ點刻ヲ有ス。

前縁角ハ圓味ヲ帶ビ前縁ハ上反ス。前頭又密ナル點刻ヲ有シ後頭ニ近ク黑色ノ斑紋アリ或ハ略ホ全部黑色ヲナシ紫色ノ光澤ヲ帶ブ。

胸背板ハ短クシテ巾廣ク前縁角著シク突出シ後縁角ハ略ホ直角ヲナス。上面ニ散點狀ノ點刻ヲ有シ左右ニ大ナル黑色ノ斑紋ヲ存ス。此部ハ光線ニヨリ綠色ヲ呈ス。

稜狀板ハ小ニシテ半圓形ヲ成ス。點刻著シク微小ナリ。

翅鞘ハ強ク凹入セル多數ノ條線ヲ具ヘ中間帶ハ細點刻ヲ有ス。

尾節板ハ微細ナル點刻ヲ密布シ先端ニ近ク少數ノ黃色毛ヲ有ス。

下面ハ又黃色ヲ成ス。標本ニヨリ稍ヤ褐色ヲ帶ブル者アリ。胸部ニハ細黃毛ヲ存ス。腹節ニハ列狀ニ淡黃ノ刺毛ヲ生ズ。

觸角ハ濃褐色ヲナシ雄ノ片狀節ハ柄部ヨリ少シク長ク雌ニテハ前四節ト略同長ナリ。前脛節ノ外齒ハ雄雌共ニ二個ナリ。

本種ハ朝鮮、シベリヤ地方ニ知ラレタル種類ナルガ。予等ノ標本ハ總ベテ我國ノ稍ヤ暖地ニ邊シタル九州四國及東京ノモノナリ。ラキターノ變種トシタル var. *nigrata* ナル黑色種ハ未ダ之ヲ得ズ。

たんぼひめこがね(新種)

Phyllopertha tanbaensis Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. VI. fig. 21.

產地 丹波、高知

體長 9—10 幅 5.5—6 mm.

體小形ニシテ上面圓味ヲ帶ビ黑色ニシテ光澤アリ。頭及胸背板綠色ヲ帶ブ上面ニ毛ヲ有セズ。

頭楯ハ綠黑色ニシテ前縁上反シ前縁角圓味ヲ帶ブ。上面ハ甚密ナル點刻ヲ有ス。前頭部ハ頭楯ヨリ粗ナル細點ヲ有ス。

胸背板ハ光澤アル綠黑色ニシテ一様ニ明カナル點刻ヲ有シ稜狀板ノ前ニ滑カナル縦線ヲ存ス。上面ニ全ク毛ヲ缺キ側縁及後縁ハ明カニ縁取ラル。前縁角ハ突出シ後縁角ハ略ホ直角ヲナス。

稜狀板半圓形ニシテ細點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ黑色ニシテ條線明ナル細溝ヲナス。中間帶ハ細小ナル點刻ヲ具

フ。

尾節板ハ密ニ網狀ノ點刻ヲ具ヘ先端ニ褐色ノ長毛ヲ生ズ。

下面ハ光澤アル黒褐色ニシテ胸部ニ白色ノ細毛ヲ生ジ腹節ニハ同様ノ長毛ヲ散生ス。前脛節ハ二個ノ外齒ヲ有シ其ノ後方ノ者ハ甚ダ小ナリ。雄ノ觸角ノ片狀節ハ柄部ト略ボ同長ニシテ雌ハ僅カニ短カシ。

本種ハ既ニ記載セラレタル日本産ノ同屬ノ者中之レニ當ルベキ性質ヲ有セルモノナシ。無毛黒色ナル點ニ於テ他ノ種類ト區別シ得ベシ。予等ハ丹波産ノ標本雄三個、高知産雄一個雌一個ヲ有ス。

くろひめこがね(新種)

Phyllopertha fuscata Nijima et Kincshita n. sp.

Taf. VI. fig. 22.

産地 北海道(苫小牧)

體長 10—11 幅 5,5—6 mm.

體黒色ニシテ長形上面稍ヤ平カナリ。細白色毛ヲ生ズ。胸背板ハ綠色光澤アリ。

頭楯ハ前部幅狭ク前縁平カニシテ上反ス。前縁角圓味ヲ帶ブ。密ニ細點刻ヲ具フ。前頭ハ粗ナル點刻ヲ有シ細長ナル白色毛ヲ散生ス。

胸背板ハ綠色ノ光澤強クたんばひめこがねニ似ルモ中央ノ縦ノ平滑線ナク白色細長毛ヲ生ズ。

稜狀板ハ胸背板ト同色ヲナシ細點刻ヲ密布ス。

翅鞘ハ黒色ニシテ光澤弱ク細短毛ヲ生ズ。縦條線ハたんばくろこがねヨリ淺ク點刻ハ強シ。

尾節板ハ黒色ニシテ少シク綠色ヲ帶ビ白色毛ヲ密生ス。

下面ハ黒色ニシテ光澤強ク又少シク綠色アリ。胸部ニ白色毛ヲ具フ。腹節ノ白毛ハ更ニ細シ。

前脛節ノ外齒ハ雌雄共ニ二ナリ。觸角ノ片狀節ハ其大サ雌雄ノ差著シカラズ共ニ柄部ヨリ短カシ。

(180)

本種ハたんばくろこがねニ似ルモ體長形ニシテ稍ヤ扁平體面ニモアルヲ以テ區別シ得ベシ。

予等ハ本學苦小牧演習林ヨリ採取セル多數ノ標本ヲ有ス。

うすちやこがね屬ノモノニシテ予等ノ標本ヲ手ニシ得ザルモノ一種アリ即チ次ノ如シ。

Phyllopertha maculicollis Reitt.

Best.-Tab. (51) 1903. p. 84.

產地 Süd-japan

但シライターガウケン博物館所有ノ雌ノ標本二個ニ由リ記載シタルモノニシテ最モうすちやこがねニ近似スルモノナリ。

まめこがね屬

Popillia Serville.

まめこがね屬ノ昆蟲ハ中庸ヨリ小形ニシテ體ノ幅稍ヤ廣シ。頭部ハ一般ニ大ナラズ。頭楯幅廣ク前部圓味ヲ帶ブ。胸背板ハ前方幅狹ク後縁ハ稜狀板ノ前ニ於テ凹弧線ヲナス。基部ノ幅ハ翅鞘ノ肩ノ部ヨリ幅狹シ。翅鞘ハ短カクシテ外縁ニ細キ縁狀膜ヲ具フ。

尾節板ハ其前節ノ一部ト共ニ翅鞘外ニ裸出ス。尾節板上ニハ一雙ノ毛斑ヲ存スルヲ常トス。中胸突起ハ圓錐形ヲナシ基節間ニ伸長ス。前脚ノ脛節ハ外側ニ二齒ヲ有シ跗節ハ長形ナラズ。中脚ノ爪ハ其大ナル一側先端ニテ分岐ス。觸角ハ九節ニシテ短カシ。

我國ニ於テ記載セラレタル此屬ノ種類十二種及ビ新種二種アリ予等ノ調査シ得タル此内九種ノ檢索表次ノ如シ。

I₁ 腹節ノ白色毛一列ニ排置セラル。

II₁ 翅鞘ニ黃色ノ斑紋ナシ。

III₁ 腹節ノ兩側ニ明カナル白色斑アリ體稍ヤ大形。

IV₁ 翅鞘ノ全部黑色ナリ。

るりまめこがね *P. indigonacea*.

IV₂ 翅鞘ノ一部又ハ全部褐色ヲ帶ブ。

V₁ 體綠色ヲ帶ビズ尾節板ノ白色毛斑著シク小ナリ。

てうせんまめこがね *P. atrocoerulea*.

V₂ 體少シク綠色又ハ紫色ヲ帶ビ尾節板ノ白色毛斑稍ヤ大ナリ。

VI₁ 翅鞘ノ外側ヨリ先端ニ沿ヒテ明カナル綠黑色部ヲ存ス。

まめこがね *P. japonica*.

VI₂ 翅鞘ノ外側ヨリ先端ニ綠黑色部ナシ。

ちやばねまめこがね *P. histeroidea*.

III₂ 腹節ノ兩側ノ白色毛斑ハ列毛ト連ナリ殆ンド區別シ難シ體小形。

うちだまめこがね *P. Uchidai*. n. sp.

II₂ 翅鞘上ニ新月形ノ黄色斑紋ヲ有ス。

つきがたまめこがね *P. comma*. n. sp.

I₂ 腹節ノ白色毛ハ二列ニ排置セラル。

VII₁ 中胸突起小形ナリ。

VIII₁ 胸背板ノ後縁強ク縁取ラレ脚赤色ヲ帶ブ。

たいわんまめこがね *P. taiwana*.

VIII₂ 胸背板ノ後縁弱ク縁取ラレ脚濃色ニシテ紫色光澤アリ。

あきなはまめこがね *P. lewisi*.

VII₂ 大形ニシテ中胸突起大ナリ

きばねまめこがね *P. quadrigutta*.

まめこがね

Popillia japonica Newm.

Taf. III. fig. 26.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1838, p. 337.

Trans. Ent. Soc Lond. 1841. p. 43.

Burmeister, Handb. Ent. IV. 1844, p. 301.

Motschulsky, Etud. Ent. 1860, p.14.

Waterhouse, Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 112.

Harold, Abh. Brem. 1876, p. 127.

Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 345.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 403.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 48.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist, 1913, p. 396.

松村松年, 日本千虫圖解第三 p. 87, pl. 6

新島等, 演習林研究報告第五號 P, 10

產地 Hiogo, Kawachi, Echizen.

青森, 長野, 静岡, 秋田, 鹿兒島, 札幌, 天鹽, 岐阜, 福島, 山形, 大和, 岡山, 東京

體長 9—12 幅 5—7 mm.

體光澤アル綠黑色ニシテ翅鞘ノ大部黃褐色ナリ。翅鞘ノ外ニ出ル尾節板ニ二個ノ白色毛ヨリ成レル斑紋ヲ存ス。

頭楯ハ短カクシテ幅廣ク前緣稍ヤ上反シ兩角ハ圓味ヲ帶ブ。上面細點ヲ密布ス。前頭ハ頭楯ト略ボ不明ノ界線ヲ有シ。又細點ヲ密布シ小數ノ毛ヲ具フ。

胸背板ハ圓味ヲ帶ビ下面粗點刻ヲ有ス。其側邊ニ近キモノ強クシテ不規則ニ相聯合ス。前緣角ハ突出シ後緣角ハ圓味ヲ帶ブ。側緣ニ短カキ白色毛ヲ列生ス。

稜狀板ハ小形ニシテ細點刻基部ニ密ニシテ先端ニ少ナシ。

翅鞘ハ大部黃褐色ヲナシ會合線及ビ側緣綠黑色ヲナス。或ハ全部黃褐ノモノ (var. *plicatipennis* Burm.) アリ。條線ニハ一列ノ明カナル點刻ヲ存ス。第二第三ノ中間帶ハ先端ニ近ク相合ス。

尾節板ハ綠色光澤アリテ背面ニ二個ノ斑紋狀ノ白色毛塊ヲ存ス。各腹節ノ側部ニモ又白色ノ毛塊アリ。之ニ連ナリテ白色毛ヲ生ジ列狀ニ中央ニ向テ一橫線ヲナス。

前脛節ニハ外側ニ二齒ヲ有ス先端ノモノ著シク大ナリ。後脛節ハ外緣ニ一ノ斜ナル刺群ヲ有ス。端棘ハ短カシ。

本種ハ上記ノ如ク我國ニ固有スルモノニシテ北海道ヨリ九州ニ及ビ最モ普通ナルガ又數年前ヨリ北米合衆國ニ移入セラレ同地ニ於テ旺盛ナル繁殖ヲナシ産業上ノ恐ルベキ害蟲ノ一トナリツ、アリ。

おきなはまめこがね(新稱)

Popillia lewisi Arrow.

Taf. III. fig. 22.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 45.

産地 Okinawa Is.

琉球

體長 8,5 幅 5 mm.

體著シク光澤アル綠黑色翅鞘ハ黄褐ナリ。

頭部毛ヲ有セズ。頭楯小形基部ノ幅廣クシテ急ニ狹摺シ前縁ハ平カナリ。藍色ヲ帶ビ密ナル細點刻ヲ具フ。前頭ハ前部密ニ後頭粗ナル點刻ヲ存ス。

胸背板ハ球形ニ彎曲シ上面綠黑側縁ニ沿ヒ黄色ヲ帶ブ。前部幅狹ク前縁角突出ス。上面小ニ側方粗ナル點刻ヲ有ス。

稜狀板藍色ヲ帶ビ略ボ半圓形ニ近ク基部ニ接シテノミ僅カニ細點ヲ存ス。

翅鞘ハ黄褐ニシテ上部ノ五線條明カニ窪ミテ各一列ノ點刻ヲ有ス。外側ニ沿ヘル部ノ點列ハ不規則ニシテ粗大ナリ。

尾節板黑藍色ニシテ密ニ網狀ノ點刻ヲ存シ白色毛ノ斑紋ハ前部太ク後端狹クシテ'狀ヲナス。

腹節ハ中央裸出シ左右ニ白色ノ稍ヤ長キ毛ヲ列生ス。

胸部ノ突起ハ明カナルモ幅廣ク鈍形ナリ。

まめこがね中最小ナルモノニテ本學ニハ標本二個アリ。

てうせんまめこがね

Popillia atrocærulea Bates.

Taf. III. fig. 23.

Proc. Zool. Soc. Lond. 1888, p. 376.

Krantz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1892, p. 245.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 46.

産地 China, Korea.

朝鮮

體長 12—13 幅 7.5—8 mm.

黒色ニシテ少シク藍色ヲ帶ビ光澤アリ翅鞘ノ中央部褐色ヲ帶ブ。

頭楯短カクシテ幅廣ク前縁略ボ平カニシテ短カキ褐色毛ヲ列生ス。表面密ニ點刻ヲ存ス。前頭ハ頭楯ト同ジク點刻密ナリ。

胸背板ハ粗點ヲ有シ側縁圓味ヲ帶ビ前縁角鈍ク突出ス。小數ノ白色毛ヲ側縁ニ列生ス。

稜狀板ハ稍ヤ扁平ナル三角形ヲナシ不規則ニ細點ヲ散生ス。

翅鞘ハ會合線及ビ周縁黒色中央部ハ褐色ナリ。前部ニ淺キ斜ナル窪ミヲ有ス。第二中間帶ハ幅著シク廣ク他ノ二倍ニシテ前部ニ不規則ナル強キ皺狀ノ窪ミノ刻點アリ。

尾節板ハ大ニシテ稍ヤ密ニ淺キ細點ヲ有ス。白色毛斑ハまめこがねヨリ小ナリ。

るりまめこがね

Popillia indigonacea Motsch.

Taf. III. fig. 24.

Etud. Ent. 1853, p. 47.

Krnatz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1892, p. 245.

H. Bates, Proc. Zool. Soc. London, 1888, p. 376.

Reitt., Best.-Tab. (51) 1903, p. 46.

素木得一, 臺灣農事試驗場特別報告第八號大正二年 p. 657

新島等, 演習林研究報告第五號 p. 10.

產地 China, Amur.

朝鮮臺灣

體長 11 幅 7 mm.

體藍黒色光澤アリ翅鞘上ニ一雙ノ窪ミヲ有ス。尾節板ニ白色毛斑ナシ。

頭楯略ボ半圓形ニシテ密ニ網狀點刻ヲ有ス。前頭密ニ後頭粗ニ點刻アリ。殆ンド無毛ナリ。

胸背板ハ圓味ヲ帶ビ點刻ハ上面微細ニシテ散在シ前縁角ニ近ク大ニ

シテ密ナリ。後縁ハ殆ンド縁線ナク兩側ハ並行シ前部急ニ狹摺ス。前縁角ハ突出ス。

稜狀板ハ先端鈍ク尖リ微細ナル僅少ノ點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ體ト同色ニシテ線條ハ一列ノ點ヲ有シ窪ムコトナシ。中間帶略ボ平カナリ。稜狀板ニ近ク斜ニ新月形ノ窪ミアリ。

尾節板ハ淺キ點刻ヲ有シ全ク白色毛斑ヲ缺ク。腹節ニ稍ヤ長キ白色毛ヲ一列ニ存ス。

本種ハ支那ニ産スルトシテ知ラレタルモノナルガ素木博士ニ由レバ臺灣ニ於ケル棉ノ害蟲ナリ。本學ノ標本ハ朝鮮及臺灣ノモノナリ。

たいわんまめこがね

Popillia taiwana Arrow.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 41.

産地 Taikokan.

臺灣(臺北)

體長 7—11 幅 4—6 mm.

頭胸部光澤アル綠色又ハ銅赤色。翅鞘黄褐色ナリ。腹面ノ各節ニハ二列ノ白毛アリ。

頭楯ノ前縁ハ黑色ヲナシ稍ヤ上反ス。點刻ハ淺ク密ニ網狀ヲナス。殆ンド光澤ヲ缺ク。前頭ヨリ後頭ニ強キ光澤アリ。會線ハ明カニシテ前頭密ニ後頭粗ニ點刻ヲ存ス。

胸背板ハ圓味ヲ帶ビ強キ光澤アリ。前縁ヨリ側縁ニ近ク細點ヲ有ス。上面殆ンド滑カナリ。側縁ニ近ク一ノ強キ凹點アリ。側縁ニ沿ヒ黄褐色ヲ帶ブ。

稜狀板ハ略ボ心臟形ニシテ僅カニ點刻アリ。

翅鞘ハ黄褐色ニシテ強ク窪ミタル點刻ヲ有ス。中間帶ハ隆起ス。會合線ハ少シク綠色ヲ帶ブ。

尾節板ハ綠色又ハ銅赤色ヲナシ。明カナル三角形ノ白毛刺毛ヲ有ス。

腹面ハ黒銅色ニシテ或ハ綠色ヲ帶ブ。中胸部ノ腹片ハ前方ニ突出ス。腹部ノ各節ニハ中央ニ横線ヲ有シテ明カニ二重ノ白色毛列ヲ有ス。

此種ハ外形おきなはまめこがねニ似ルモ腹面ノ毛ノ位置ヨリ明カニ分チ得ベシ。

本標本ハ松村博士採收ノ九個ニシテ總テ本學昆蟲學教室ニ屬スルモノナリ。

きばねまめこがね

Popillia quadriguttata Fabr.

Taf. III, fig. 27.

(*Trichius*) Mant. Ins. II. 1787, Append. p. 377.

Burmeister, Handb. Ent. IV, 1. 1844, p. 541, V, 2, 1855, p. 503.

Kraatz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1892, p. 253.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 49.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 39.

(*Trichius bidentata*) Fabr., Ent. Syst. IV. 1794, Append. p. 449.

(*P. Straminipennis*) Kraatz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1892, p. 258.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 49.

(*P. castanoptera*) Hope, Ann. Mag. Nat. Hist. XI. 1813, p. 63.

Burmeister, Handb. Ent. IV. 1. 1844, p. 310.

素木得一 臺灣農事試験場特別報告第八大正二年 p. 655. pl. 43. f. 12.

新島等, 演習林研究報告第五號 p. 10.

産地 China (Chusan, Peking, Shanghai, Ta-Tschia-Sy).

臺灣, 琉球

體長 9—11 幅 6—7 mm.

強キ光澤アル美黄色ヲナス。脚ハ銅色光澤アリ。

頭楯ハ前縁ニ向テ幅狭ク上面細點ヲ密布シ略ボ細網狀ヲナス。前頭部ハ滑カニシテ綠色ヲ帶ビ頭楯ヨリハ大ナル點刻ヲ散布ス。雄ハ前頭ノ會線ニ近ク中央ニ僅カニ窪ミタル部アリ。雌ハ會線ニ近ク點刻密ナリ。

胸背板ハ強キ光澤アリ。濃綠或ハ黃褐ニ綠色ヲ帶ビ兩側ニ近ク黄色ヲ呈ス。此側縁ニ近キ中央部ニ不明ノ小褐色斑ト其上部ニ楕圓形ノ小凹點

アリ。前縁角ハ稍ヤ鋭ク突出シ後縁ハ稜狀板マデ縁取ラル。上面微細ナル點ヲ一様ニ散布ス。

稜狀板ハ鈍ク尖リ胸背板ト同色光澤アリ。點刻ハ基部ニ近ク胸背板ヨリ大ナリ。

翅鞘黃褐ニシテ光澤アリ。規則正シク八個ノ條線アリ。線上ニハ一列ノ點刻ヲ有ス。中間帯ハ著シク隆狀ヲナスコトナク甚ダ微細ナル點ヲ散布シ殆ンド滑カナルガ如ク見ユ。會合線第四及ビ第六ノ中間帯上ニ不規則ニ濃褐色ヲ呈スルモノアリ。

尾節板上ノ白色毛斑ハ略ボ三角形ニシテ尙之ヨリ先方ニ僅少ノ白色毛ヲ生ズ。

下面ハ濃褐色ニ綠色ヲ帶ビ腹節ハ各其側邊ニ向テ白色毛ヲ二横列ニ存ス。中胸突起ハ大形ニシテ前端圓錐狀ニシテ圓シ。

本種ハ臺灣ノ各地ニ普通ナルガ如シ。

ちやばねまめこがね

Popillia histeroidea Gyll.

Sebün., Syn. Ins. I, 3, 1817, Append. p. 66.

Burmeister, Hand. Ent. IV. Z. 1844, p. 297.

Krantz, Deutsch Ent. Zeitschr. 1892, p. 211.

Ohaus, Archiv f. Naturg. 1916, A. 4, p. 2.

產地 Ostindien, Formosa.

臺灣(補里社)

體長 11 幅 7 mm.

體光澤アル黑色ニシテ銅紫色ヲ帶ブ。翅鞘ハ黃褐色ニシテ唯會合線ノミ綠黑色ヲ帶ブ。

頭部ハ綠黑色ニシテ中央ハ銅紫色ヲ呈ス。頭楯ハ密ナル點刻ヲ有シ前縁平カニシテ上反シ前縁角圓味ヲ帶ブ。前頭部ニハ稍ヤ強キ點刻アリ眼ニ近ク白色ノ細毛ヲ生ズ。

胸背板ハ側縁ニ向テ稍ヤ強キ密ナル點刻アリ。周圍ニ僅少ノ白色細毛ヲ散生ス。

稜狀板ハ略正三角形ヲナシ僅少ノ細點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ黃褐色ニシテ會合線ノミ綠黑色ヲナシ兩側縁稍ヤ濃褐ナリ。條線ハ上面肩部マデ六本アリ其第二ハ強ク窪マズ不規則ニ大形ノ點刻ヲ具フ。側方ニ尙ホ密接セル不規則ノ點刻アル五個ノ條線ヲ有ス。

尾節板ハ圓ク隆起シ細點刻アリ。固有ノ白色毛斑ハ小ナリ。

下面ハ黑色ニシテ綠色ヲ帶ビ光澤アリ。胸部及ビ腹節ノ兩側ニ白色毛ヲ生ズ。

予等ハ此種ノ標本唯一個ヲ有ス。

うちだまめこがね(新種)

Popillia Uchidai Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. III. fig. 36.

產地 朝鮮

體長 9 幅 5 mm.

小形ニシテ體黑色、綠色ノ金屬光澤アリ。翅鞘淡黃褐色ヲナシ尾節板上ノ白色毛斑ハ甚ダ小ナリ。

頭部ハ稍黒紫色ヲ帶ビ頭楯前方ニ幅狹ク甚密ナル細點刻ヲ有シ前縁平カニシテ上反ス。前頭トノ會線ハ不明ナリ。前頭ハ前部少シク密ニ後頭部ニハ粗ナル點刻ヲ具フ。

胸背板ハ圓味ヲ帶ビ光澤アリ。側縁ハ強キ弧線ヲナシ前縁角ハ突出ス。後縁ハ強ク稜狀板ニ傾キ兩側明カニ縁取ラル。上面粗ニ側方ニ強ク密ナル點刻アリ。

稜狀板ハ光澤アリ。鈍ク尖リ中央ニ滑カナル縦線アリ。基部ニ細點刻ヲ具フ。

翅鞘ハ淡黒褐色ニシテ明カナル條線ト一列ノ點刻ヲ有ス。中間帯ハ點刻甚ダ細微ニシテ殆ンド滑カナリ。其第二ハ幅廣クシテ基部ヨリ中央マ

デ大ナル點刻アリ。

尾節板ハ黒紫色ニシテ散布セル點刻ヲ有ス。白色毛斑ハ小ニシテ淡シ。

下面ハ又黒紫色ニシテ胸部ニハ白色ノ毛ヲ生ジ腹節ノ兩側ニハ一列ノ白色毛ヲ生ズ。中胸突起ハ稍大ナル圓錐形ニシテ先端鈍ク尖ル。

脚及ビ觸角ハ黒褐色ナリ。

本種ハ外形稍ヤあきなはまめこがねニ似ルモ彼ニアリテハ中胸突起小ニシテ腹節ノ白毛二列ヲナスモ此種ハ中胸突起大ニシテ腹節毛ハ一列ナリ。

予等ノ標本ハ二個ニシテ共ニ水原産ナリ。

つきがたまめこがね (新種)

Popillia comma Nijima et Matsumura n. sp.

Taf. I. fig. 9.

産地 臺灣

體長 10—12 幅 6—7 mm.

體黒綠又ハ黒銅色翅鞘上ニ新月形ノ黄褐色斑紋ヲ有ス。

頭部黒綠又ハ銅色。頭楯密ニ網狀ノ點刻ヲ有ス。會線不明前頭又稍ヤ密ニ點刻ヲ具フ。後頭部ノ點刻ハ粗ナリ。

胸背板ハ強キ光澤アリ圓ミヲ有シ稜狀板ノ前部ニ縁ヲ有セズ點刻ハ明カニシテ前部及ビ兩側ニ密ナリ。

稜狀板ハ稍ヤ扁平ニシテ鈍ク尖ル。

翅鞘ハ體ト同色ヲナシ強ク窪ミタル點刻ヲ有ス。肩ノ内部ヨリ稜狀部ノ少シク下部ニ達スル黄褐色ノ彎曲セル斑紋ヲ有ス。但シ標本ニ由リ不明ナルモノアリ。

尾節板ハ光澤アリテ細カキ點刻ヲ有ス。先端ニ僅少ノ細毛ヲ有ス。毛斑ハ大ナラズ淡褐色ヲナス。

下面ハ黒綠色ヨリ銅色光澤アリ。中胸突起ハ鋭尖ナルモ短カシ腹節ヨリ一列ノ淡褐毛ヲ生ズ。

本種ハるりまめこがねニ似ルモ翅鞘上ノ斑紋ニ由リ明ニ區別シ得ベシ。

本標本ハ松村氏採收ノ臺灣産十個ニ由ル。

我國ニ産スルトシテ記載セラレタルモノニシテ予等ノ調査シ得ザル種類次ノ如シ。

Popillia formosana Arrow.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1913. p. 45. f 7.

産地 Formosa: Tainan.

Popillia insularis. Lew.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1835. P. 403.

産地 Oshima.

Popillia chlorion Newm.

Mag. Nat. Hist. II. 1838, p. 337.

Ohaus, Archiv f. Naturg. 1916, A. 4. p. 2.

産地 Formosa.

Popillia mongolica Arrow.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 40. u. 43.

Ohaus, Archiv f. Naturg. 1816, A. 4. p. 2.

産地 Formosa.

Popillia Sauteri Ohaus.

Archiv f. Naturg. 1816, A. 4. p. 2.

産地 Formosa.

こいちやこがね類

Adoretina.

觸角ハ十節ヲ常トスルモ種類ニ由リテハ雌ガ九節ヨリナルコトアリ。背面ノ尾節板前ノ一節ガ腹面ノ同位置ノ環節ト體側ニ於テ銳角ヲ以テ相合ス(第10圖a)。上唇ハ伸長シテ其先端下方ニ向フ(第10圖b)。翅鞘先端ニハ明カナル膜狀ノ細縁ヲ有セス。

之ニ屬スル我國ニ存スルモノ唯ちやい



第十圖

a ちやいろこがね類の腹部
b 同上の上唇

ろこがね屬 *Adoretus* = 屬スル一種アルノミナリ。

ちやいろこがね屬

Adoretus Laporte

觸角ハ雌雄共ニ十節ニシテ片狀節ハ三個ナリ。頭楯ハ幅廣クシテ基部ヨリ眼ヲ覆フ。上唇ハ中央ニ於テ狹ク長シ。脚ハ前脛節ニ三個ノ外齒ヲ有ス。爪ノ大形ノ一側ハ強大ニシテ前中兩脚ノモノハ其先端ニ近ク切込ヲ有ス。翅鞘上ニハ少ナクトモ弱キ縦隆線ヲ有ス。

ちやいろこがね

Adoretus tenuimaculatus Waterh.

Taf. III. fig. 20.

Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 112.

Harold, Abh. Brem. 1876, p. 127.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1877, p. 356.

Heyden, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 346.

Reitter, Best.-Tab. (51) 1903, p. 30.

Kolbe, Archiv f. Naturg. 1886, p. 192.

松村松年, 日本千蟲圖解第三. P. 100. Pl. 48. f. 19.

新島等, 演習林報告第五號 p. 11.

產地 Hiogo, Tokio, Echizen, Mino.

京都, 東京, 山城, 高知, 熊本, 熱海, 信濃, 朝鮮

體長 10—10,5 幅 5—5,5 mm.

長楕圓形濃褐色ヲ帶ブ上面ニ白色ノ鱗毛ヲ生ズ。

頭部稍ヤ大形, 頭楯ハ略ボ半圓形ヲナシ縁邊黑褐色ニシテ少シク上反ス。鱗毛ハ縁ニ沿ヒ密ニ列狀ニ排列ス。前頭部ハ強ク弧線狀ヲナサズ。又外部ヨリ中心ニ向ヘル毛ヲ有ス。

胸背板短カク幅廣シ。側縁ハ前方ニ少シク弧線狀ヲナシ。前縁角稍ヤ突出ス。後縁角ハ稍ヤ鈍角ナリ。上面ニ粗點ト白色鱗毛ヲ有シ其中央ニアルモノ一斑紋狀ヲ呈ス。

(142)

稜狀板ハ基部ノ幅廣クシテ少シク扁平ナル三角形ヲナシ細鱗毛ヲ密生ス。

翅鞘上ニハ四個ノ縱隆線ヲ有ス。前面ニ白色鱗毛ヲ有ス。其會合線ニ沿ヘルモノ、外ノ三隆線上ニハ列狀ニ斑紋狀ヲナス。先端ニ近ク瘤狀隆起部アリ其上ト之ニ並ビテ著シキ鱗毛斑アリ。

觸角ハ雌雄殆ンド同ジ。

前脛節ノ齒狀部ハ多クハ著シク發達セズシテ等距離ニ存ス。後脛節ハ中央ヨリ少シク先方ニテ狹窄シ其部ニ一個ノ斜狀隆起線ヲ存シ一列ノ小刺ヲ生ズ。

前脛節ノ齒狀部ハ標本ニヨリ甚シク發育ノ不良ナルモノアリ。老熟セル者ニテハ上面ノ鱗毛剝離シテ唯翅鞘先端ノ斑紋ノ外方ナルモノノミナルアリ。

松村博士採取産地不明ノ標本二個ハ略黑色ヲナス。

第六節 はなむぐり亞科

Cetoniinae.

體ノきちん質厚クシテ堅硬ナリ。體面ニ白色又ハ黄色ノ小斑ヲ有スルコトアリ。此小斑ハ毛又ハ鱗毛ト同性質ノ物質ニシテ上皮ノ少シク窪メル處ニ存ス。頭楯ハヨク發達シテ多クハ幅廣キ十能形ヲナス。稀ニ頭部ニ雌雄共ニ角狀附器ヲ有スルモノアリ。口器ハ柔軟ナル物質或ハ液體ヲ採ルニ適ス。上顎ハ僅少ノ例外ヲ除キ薄クシテ嚙ム能ハズ。下顎ハヨク發達シ丈夫ニシテ齒ヲ有ス。觸鬚ハ三節ニシテ細シ。胸背板ハ體ノ後部トヨク着合シ稜狀板ノ前部ニ於テ矢筈形ノ切込ミヲ有シ或ハ其部ガ鬚狀ヲナシテ稜狀板ノ一部或ハ全部ヲ被フ。翅鞘ハ其兩側肩部ノ後方ヨリ彎入セル切込ミヲ有シ飛飄ノトキ後翅ヲ此部ヨリ外ニ出シ翅鞘ヲ他ノ亞科ノモノノ如ク開キテ高ムルコトナシ。脚ノ前基節略ホ直角ニ並ビテ相合ス其後方ニ前胸片ノ隆起スルコトナシ。中基節ハ一横線ニヨツテ中胸片ノ中央其中間ニ突出ス。即チ後胸片ノ中央ガ前ニ突出シ前方ニ於テ中胸片ト合シ共ニ中胸突起ヲ形成ス。其會合線ハ全ク癒合シテ見ル能ハザルモノアリ。中胸突起ハ圓錐狀ノモノヨリ扁平ニシテ前部幅廣キモノニ至ルマデ種々ノ變化アリ。後基節ハ大形ニシテ體ノ上面ヨリ其一端ヲ見得ルヲ常トス。前脛節ハ三個以下ノ外齒ヲ有スルヲ常トシ殊ニ雌ハ必ズ之ヲ存ス。爪ハ動カズシテ形簡單ナリ。觸角ハ十節ニシテ片狀節ハ三個ナリ。其形狀ハ種類ニ由リ大ナル變化ナシ。雌雄又殆ンド同形ナリ。

雌雄ノ變化ハ其前脚ノ脛節ニ於テ屢々ヨク認ムルヲ得即チ雌ハ三齒ヲ有シ丈夫ナルニ雄ハ齒ノ數少ナク或ハ全ク之ヲ缺クモノアリ。種類ニヨリテハ後脛節ノ端棘ガ雄ニ短カクシテ鋭ク雌ニ長クシテ鈍シ。腹部ノ末節ハ雄ニ於テ其先端稍ヤ凹入セル縁線ヲ形成スルモノ多シ。色澤ノ差違ヲ雌雄ニ於テ認ムベキモノ又アリ。即チ雄ガ光澤アル著シキ色ヲ有スルニ雌ガ全ク溷濁ナル色彩ノモノアリ。はなむぐり亞科ハ二ニ大別セラレ即チ次ノ如シ。

I₁ 上顛薄クシテ鋭ク尖ラズ又嚙ムニ適セズ内部ニ膜狀ノ壁ヲ有ス。
はなむぐり區 Centoniina.

I₂ 上顛強健ニテ鋭ク膜狀ノ壁ヲ有セズ。
ほそはなむぐり區 Cremastochilina.

我國ノ種類ハ殆ンド皆前區ニ含マレ後區ニハ唯一種記載セラレタル
モノアルノミナリ。

はなむぐり區

Centoniina.

此内ニ屬スル者ハ甚ダ多ク我國ニ産スル種類ノ大多數ハ之ニ含有セ
ラル。四ニ類別スルコト次ノ如シ。

I₁ 後脚ノ基節及腹節ハ全ク翅鞘ニテ被覆セラル。
つのがね類 Goliathides.

I₂ 後脚ノ基節及ビ腹節ハ一部上面ニ表ハル。

II₁ 胸背板ノ後縁中央ニ於テ壁狀ニ延長ス。
ゑぐりこがね類 Macronotides.

II₂ 胸背板ノ後縁ハ中央ニ於テ壁狀ヲナサズ。
かなぶん類 Heterorrhinides.

III₁ 胸背板ノ後縁直線狀ヲナス。

III₂ 胸背板ノ後縁直線狀ヲナサズ。
はなむぐり類 Cetoniides.

つのがね類

Goliathides.

此類中ニ含マル、屬ハ甚少ナク我國ニハ唯一屬アルノミナリ。

つのがね屬

Dicranacephalus Westwood.

體形稍短カク胸背板略ボ半球狀ヲナス。中央ノ幅最モ廣ク後縁角圓味
ヲ帶ブ。中胸側板ハ明カニ上部ヨリ見得ルモ背面ニハ達スルコトナシ稜
狀板ハ其先端稍ヤ鋭シ翅鞘ハ腹背ノ全部ヲ被覆シ。側縁直線的ニシテ先

端ノ角度尖ルコトナシ。中脚ノ基節ハ細キ中胸突起ニ由リテ分タル。此突起ハ短カクシテ尖リ先端稍ヤ下方ニ向フ。雄ノ頭楯ノ兩側縁ハ延長シテ長角状ヲナシ。先端弓状ニ彎曲ス。前脚ノ脛節ト總テノ跗節ハ細長ナリ。雌ハ頭楯幅廣ク前縁角鋭クシテ稍ヤ上反ス。前脛節幅廣シ。其外齒ハ雌雄共ニ三個ナルモ雌ニ於テ鋭シ。跗節ハ殆ント雄ノ長サノ半ナリ。

本屬ニハ臺灣及朝鮮ニ産スル者下記三種アリ。予等ハ此屬ノ標本一種ヲ有スルモ原記載ヲ得ル能ハザルヲ以テ之ヲ確定スル能ハザルヲ遺憾トス。

Dicranocephalus Adamsi Pasc.

Journ. Ent. II, 1863—66 (1863), p. 25.

産地 Korea.

Dicranocephalus Bourgoini Pouillande.

Insecta IV, 1914, p. 273.

産地 Formosa.

Dicranocephalus Boweringi Pasc.

Journ. Ent. II, 1863—66 (1863), p. 25.

産地 Nordchina, Formosa.

ゑぐりこがね類

Macronotides.

此類ニ屬スル既ニ記載セラレタル我國ノ種類ハ三屬五種アリテ皆臺灣産ナリ。此内予等ハ唯一屬ゑぐりこがねノ標本ヲ得タルノミナリキ故ニ他ノ二屬ニ於テハ他日材料ヲ得テ之ヲ研究セントス。三屬ノ區別點ヲ擧グレバ次ノ如シ。

I₁ 胸背板ノ中央延長シテ稜狀板ヲ覆フ。　くりんてりあ屬 *Clinteria*.

I₂ 稜狀板ハ被覆セラルコトナシ。

II₁ 腹部ノ背面兩側ハ翅鞘ノ外ニ表ハル。　ゑぐりこがね屬 *Macronota*.

II₂ 腹部ノ背面ハ兩側翅鞘ノ外ニ出デズ　こえろうでら屬 *Coelodera*.

ゑぐりこがね屬

Macronota Hoffmannsegg.

體長形ニシテ腹部ノ兩側及ビ後端ハ上面ヨリ見ルコトヲ得ル。頭楯長形ニシテ多クハ其前部二分ス。胸背板ハ其幅翅鞘ノ肩部ヨリ狭ク後縁ノ中央短カク延長ス然シ稜狀板ヲ被覆スルコトナシ稜狀板ハ稍ヤ長形ナリ。翅鞘ハ肩部ヨリ後ニテ切込アリ。先端ニ向テ狭捲ス。中胸突起ハ兩基節ノ間ニ僅カニ突出ス。前脛節ハ銳キモ短カキ三齒ヲ有ス。但種類ニ由リ一或ハ二ナルコトアリ。上面ハ概シテ絹絲狀又ハ絨毛狀光澤ヲ有ス。

本屬ニハ臺灣産三種アルモ之ヲ得ズ。予等ノ標本五種ハ皆新種ナリ。

I₁ 翅鞘上ニ赤色ノ線條アリ。

II₁ 胸背板上ニ四黃條ヲ有ス形稍大ナリ。

よつすじゑぐりこがね *M. formosana*. n. sp.

II₂ 胸背板上ニ四條線ナシ形小ナリ。

かぎゑぐりこがね *M. kagiensis*. n. sp.

I₂ 翅鞘上ニ赤色ノ線條ヲ有セズ。

III₁ 翅鞘綠色ヲ帯ビ其中央ヨリ後方ニ三個ノ小白斑アリ。

あをゑぐりこがね *M. viridula*. n. sp.

III₂ 翅鞘黒褐ニシテ中央ヨリ後ニ大ナル橢圓形ト圓形ノ斑紋アリ。

ちやいろゑぐりこがね *M. fuscomaculata*. n. sp.

III₃ 翅鞘光澤アル眞黒色ニシテ黄色ノ斑紋アリ。

ほつぼゑぐりこがね *M. hopponus*. n. sp.

よつすじゑぐりこがね(新種)

Macronota formosana Nijima et Matsumura n. sp.

Taf. I. fig. 13.

産地 臺灣(タツバン)

體長 21 幅 9,5 mm.

最モヨク *Macronota quadrivittata* Schaum. ニ似ル。然シ形大ニシテ細ク翅鞘ノ斑紋又少シク異ナリ。體黒色頭楯脚及ビ觸角赤色ヲ帯ブ。胸背板ニ四條ノ

黄色線アリ。翅鞘ハ赤色ニシテ黒紋及ビ黄色ノ點斑アリ。腹背ノ翅鞘ノ外ニ現ハルヽ部甚少ナシ。

頭黒色ニシテ二條ノ黄色帶アリ。頭楯ノ中央ニ達ス。頭楯ハ赤色ニシテ前縁明カニ二片狀ヲナス。稍ヤ強キ點刻ト黄色ノ毛ヲ有ス。

胸背板ハ稍ヤ長形、黒色ナルモ兩側縁ハ少シク赤色ヲ帶ビ上面ニ四黄色條ヲ有ス。側縁ハ細鋸齒狀ヲナシテ中央ノ少シク前方ヨリ前縁ニ傾ク。淺キ半圓形ノ點刻アリ。黄色條ノ部分ハ凹壓セラレ内部ノ二條ハ前方幅廣ク後方細シ。

稜狀板ハ黒色長形ニシテ尖ル。然シ先端甚シク鋭ナラズ。兩側縁ハ黄色ニ細ク色取ラル。

翅鞘ハ赤色ニシテ三個ノ黒斑アリ。二ハL形ヲナシテ會合線ノ近クヨリ肩ニ向ヒ一ハ翅端ニ近ク存ス。此外五双ノ小黄點斑ヲ有ス。

尾節板ハ黒色ニシテ側縁ヨリ先端ニ沿ヒ赤色ヲ帶ビ中央ニハ一個ノ長方形ノ斑紋アリ。短カキ黄色ノ毛ヲ有ス。腹節ノ背面翅鞘ノ外ニ出ルコト少ナシ。

下面黒色光澤アリ。中胸側板ノ後側縁黄色ヲナシ。中胸板ト二腹節ノ兩側ニ二又ハ一ノ黄色斑アリ。但シ尾節及ビ其前節ハ之ヲ缺ク。腹節ノ兩側ハ稍ヤ角狀ヲナス。前脛節ノ外齒ハ三個ナルモ先端ニ近キ二ハ大ニシテ他ノ一ハ甚小ナリ。中脛節ノ一外齒ハ鋭シ。

本種ハ松村博士ノ蒐集ニ由ル本學標本一個ニ由リ記載セルモノナリ。之ニ最モヨク似テ支那ニ於テ採取セラレタルモノアルモ稍ヤ小形ニシテ斑紋ノ位置全ク異ナリ。然シ *M. quadrivittata* トハ又同ジカラズ。

ちやいろゑぐりこがね(新種)

Macronota fuscomaculata Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II. fg. 2.

産地 臺灣(嘉義)

體長 23 幅 10 mm.

體黑褐色ニシテ光澤アリ。前胸部ニ四條翅鞘ノ中央ニ橢圓形及ビ圓形褐色斑紋アリ。

頭部強キ點刻ヲ有シ後頭ヨリ前頭部マデ中央ニ縦ノ隆起ヲ存ス。此隆線ノ兩側頭楯ノ中央マデ褐色條ヲ存ス。頭楯前緣ニ深キ切込ヲ有シ明カニ二片狀ヲ呈ス。

胸背板ハ側緣ノ中央ヨリ前緣ニ圓形ヲナシ四ノ縦ノ褐色條ヲ有ス。外部ノ二ハ側緣ニ接シテ細ク内部ノ二ハ太クシテ相接近ス。強キ點刻ヲ有シ褐色條上ニ密ニ短刺毛ヲ存ス。

稜狀板ハ長形ニシテ尖リ側線ハ弧線ヲナス。全部褐色ノ被物ヲ有シ褐色短刺毛ヲ存ス。

翅鞘ハ光澤アリ。中央ヨリ先端ニ會合線ノ兩側ニ連ナリテ橢圓形及ビ圓形ノ褐色斑紋アリ。此兩斑ノ間ニ位シ側緣ニ近ク一個及ビ肩ノ下ニ於テ一個ノ小斑アリ。總テ斑上ニハ密ニ褐色毛ヲ存ス。

尾節板ハ全體褐色被物ト褐色刺毛ヲ密生ス。

下面及ビ脚ハ黑色ニシテ光澤アリ。腹節ノ兩側ハ隆線ヲ有シ各節ノ側緣ニ近ク褐色斑及ビ褐色毛ヲ有ス。前脛節ノ三外齒ハ鋭ク中脛節ノ中央ノ一齒モ亦鋭シ。

予等ノ調査シ得タル標本三個アリ。一ハ嘉義ニテ採取セラレタルモノニシテ二ハ本學昆蟲室標本ナリ。

かぎあぐりこがね(新種)

Macronota kagiensis Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. I. fig. 15.

產地 臺灣(嘉義)

體長 13 幅 6 mm.

黑色小形ニシテ體面ニ美ナル赤色ノ縦線アリ。其他翅鞘上ニ二ノ横黃褐色帶ヲ有ス。

頭部ハ黑褐色ニシテ光澤アリ。密ニ點刻ヲ有シ。黃褐色ノ短毛ヲ存ス。頭

楯ハ前部圓味ヲ帶ビ前縁ノ中央彎入シテ二片狀ヲナス。後頭ノ中央ニハ短カキ光澤アル隆線ヲ存ス。

胸背板ハ稍ヤ長形黒褐ニシテ中央ニ於テ幅廣ク前縁角圓ク後縁角略ボ直角ナリ。後縁ハ中央ニ於テ強ク稜狀板ノ方ニ延長ス。上面ハ密ニ點刻アリテ黄褐色ノ短毛ヲ生ズ。後縁ニ近キ中央ニ黄褐色ノ鱗毛ニテ成レル縦線アリ。

稜狀板黒色中央ノ縦線及ビ先端ニ黄褐色ノ鱗毛アリ。

翅鞘ハ長キ連續セル搔傷狀ノ點ヲ有シ褐色ノ細毛ヲ存ス。

稜狀板ノ兩側ト翅鞘ノ中央ニ點刻及ビ毛ヲ有セザル縦ノ隆條アリ。前者ハ短カシ。色ハ黒色ニシテ稜狀板ノ兩側ニ於テ環狀ヲナシ。縦隆線ノ中央ニ及ビテ横ニ會合線ニ達スル赤線ト外側縁ニ沿ヒ先端ニ近ク横ニ會合線ニ達スル赤線トヲ有ス。其他翅鞘ノ中央及ビ其肩トノ間ニ黄褐色ノ鱗毛ヨリ成レル横條ヲ存ス。

尾節板ハ黒色ニシテ強キ點刻アリ。後縁ニ沿ヒ其中央ヨリ縦ノ黄褐色鱗毛斑ヲ具フ。

下面黒色ニシテ黄褐色毛ヲ生ズ。尾節及ビ其前節ニ於テ殊ニ長シ。腹部ニハ半圓形ノ粗キ點刻アリ。中央三節ハ兩側後縁ニ黄褐鱗毛ヨリ成ル長形ノ斑紋ヲ有ス。脚ハ赤褐ニシテ前脛節ハ鋭キ三齒ヲ有ス。其前端ノ者ノ外ハ短カシ。

予等ハ嘉義ニテ採取セラレタル雌一個ノ標本ヲ有ス。

本種ハ *M. quadrivittata* Schaum ニ似ルモ形狀小ニシテ翅鞘ノ赤線ノ位置ヲ異ニス。

あきゑぐりこがね(新種)

Macronota viridula Nijima et Matsumura n. sp.

Taf. I. fig. 6.

産地 臺灣(大坪)

體長 16 幅 8 mm.

上面暗綠色翅鞘ノ中央ニ點狀ノ小斑ヲ有ス。腹節ノ背面ニ表ハルル部分ニ又小白斑ヲ有ス。下面ハ紫黑色ヲ呈ス。

頭部ハ光澤アル黑色ニシテ綠紫色ヲ帶ブ。中央ニ於テ明カニ縱隆線ヲ有ス。強キ點刻ヲ有シ前頭部ニ白色ノ毛ヲ存ス。頭楯ハ前緣二片狀ニシテ上反セズ。細毛ヲ有ス。

胸背板ハ略ボ七角形ヲナス。側緣ハ中央ヨリ少シク前方ニテ角狀ヲナス。光澤ナク一様ニ細點ヲ有シ白色短毛ヲ具フ。

稜狀板ハ長形ニシテ銳ク尖ラズ。先端ノミ僅少ノ白色短毛ヲ有ス。

翅鞘ハ幅狹ク會合線ノ兩側窪ミテ廣キ溝形ヲナス。左右面上ニ存スル縱隆線ハ略平行シ唯肩部ニ於テ分岐ス。會合線ニ沿ヒテ一及ビ溝狀部ノ中央以下ニ三ノ紫黑色ノ細隆線ヲ有ス。點刻ハ強カラズ。先端ニ白色毛ヲ存ス。溝狀部ノ中央ヨリ先方ニ四個ノ群狀ニ排列セル小斑アリ。

尾節板ハ前緣ノ近クマデ隆起シ搔傷狀ノ刻線ヲ密ニ存シ僅少ノ白色毛ヲ具フ。腹部ハ幅廣ク翅鞘ノ外ニ出ヅル背面ニ於テ各節ノ後緣ニ白色線狀ノ斑紋アリ。

下面ハ紫黑色ヲナシ光澤アリ。胸部ニハ白色長毛ヲ生ジ中胸突起ハ短カクシテ先端球狀ヲナス。腹部ハ側緣隆線狀ヲナサズ中央ニ於テ溝狀ノ窪ミヲ存ス。後基節ニ近キ腹節ノ兩側ニ白色ノ斑紋ヲ有ス。腹節ノ内緣ニハ長毛ヲ存ス。前脛節ノ三齒ハ銳ク中脛節ノ外緣ノ中央ノ一齒ハ棘狀ヲナス。

本學昆虫學教室松村博士蒐集標本雄一個ニヨリ記載ス。

ほつぼゑぐりこがね(種新)

Macroncta hopponus Nijima et Matsumura n. sp.

Taf. I. fig. 12.

產地 臺灣(北埔)

體長 22—24 幅 11—12 mm.

美ナル甲蟲ニテ體漆黒ヲナシ光澤アリ。胸背板ノ殆ンド全部ト翅鞘上

ノ斑紋黄色又ハ樺色ヲナス。

頭部ハ黑色ニシテ少シク紫色ヲ帶ブ。中央ニ縦隆線アリ。其兩側ニ長キ黄色ノ斑紋アリ。頭楯ハ眼前強ク彎入シ前縁明カニ二片狀ヲナス。斑紋上ニ黄色ノ毛ヲ密生ス。黑色部ニハ點刻及ビ細毛ヲ存ス。

胸背板ハ側縁ノ中央稍ヤ角狀ヲナシ之ヨリ上部ハ圓形ヲナス。後縁角ハ稍ヤ銳角ナリ。前縁ヨリ後縁ノ兩側ニ向テ山形ノ黑色隆線アリ。其中央ハ強ク窪ミテ兩側ト共ニ黄色ノ斑紋ヲナス。其上ニ黄色毛ヲ密生ス。

黄斑外ノ部ハ光澤アル黑色ニシテ點刻ナシ。稜狀板ノ前方黄斑トノ間ニ小縦凹線ヲ有ス。

稜狀板ハ小ニシテ先端銳尖シ中央縦ニ窪ミ僅少ノ黄色毛ヲ存ス。

翅鞘ハ幅廣ク肩ヨリ先端ニ向テ隆起シ稜狀板ヨリ會合線ニ沿ヒテ窪ム。中央ヨリ少シク先方ニ於テ會合線ノ兩側ニ橢圓形及ビ之ト翅先トノ間ニX形ノ黄色斑アリ。此兩斑ノ間ノ外縁ニ近ク及ビ肩ノ後ニ於テ各一ノ黄斑ヲ存ス。斑上ニハ黄色毛ヲ生ズ。殊ニ翅端ニ多シ。

尾節板ノ中央ノ大部ハ黄斑ヲ有シ黄色毛ヲ具フ。此ノ黄色毛ハ雄ニ於テ殊ニ長シ。

下面ハ光澤アル黑色ニシテ腹節ノ兩側ニ黄斑及ビ黄色毛ヲ有ス。前脛節ノ外縁ニハ雌雄共ニ銳キ三齒ヲ有ス。腿節ニハ總テ多クノ黄色毛ヲ存ス。脛節ニモ列狀ノ刺毛アリ。後基節ノ外側ハ銳キ棘狀ヲナシテ後方ニ突出ス。

本種ノ記載ハ本學松村博士蒐集標本雌三雄一ニ由ル。

本屬ノ種類ハ本邦ニ於テ二種ト一亞種ノ記載セラレタルモノアリ。何レモ臺灣産ナルガ予等ハ今回之等ノ標本ヲ一モ見ル能ハザリシヲ遺憾トス。即チ次ノ如シ。

Macronota proxima Bourgoïn.

Bull. Soc. Ent. France 1915, p. 156.

Macr. lata Bourgoïn.

Bull. Soc. Ent. France 1915, p. 118.

Macr. procera Bourgoïn.

Bull. Soc. Ent. France 1915, p. 163.

Macr. flavofasciata Mos. subsp. **formozana** Mos.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1910, p. 298.

くりんてりあ屬

Clinteria Burmeister.

頭楯四角形ニシテ前縁僅カニ二片狀ヲナス。眼ハ稍ヤ突出ス。胸背板ノ基部ハ鋭キ片狀ニ延長シ殆ンド稜狀板ヲ被フ。兩側縁ハ一樣ノ弧線ヲ以テ前縁ノ中央ニ達ス。稜狀板ハ其鋭尖セル先端ノミ外ニ現ハル。翅鞘ハ兩側ノ切込ミ深クシテ先端ノ角度ハ鋭カラズ。中胸突起ハ尖リテ種類ニ由リ長短アリ。中後胸部ノ會線ハ全ク消失ス。前脛節ハ三齒ヲ有ス。體ハ一般ニ短形ヲナス。

本屬中ニハ唯一種臺灣産ノモノアルモ予等ノ標本ニハ之ヲ缺ク。即チ次ノ如シ。

Clinteria aeneofusca Bourgoïn.

Bull. Soc. Ent. France, 1914, p. 467.

産地 Formosa.

こえろうてら屬

Cœlodera Hope.

前胸板梯形ニシテ其兩側縁中庸ノ弧線ヲナス。下面ハ稍ヤ強ク毛ヲ有ス。又脛節及ビ脛節ニモ毛ヲ有ス。中胸突起ハ幅廣ク前端圓形ヲナス。前脛節ハ雌雄共ニ三齒ヲ有スルモ雄ハ少シク弱シ。

本屬ノ種類ハ唯一亞種ノ我國ニ知ラレタルモノアリ。即チ臺灣産ニシテ予等ハ未ダ之ヲ有セス。

Cœlodera nigroscutellaris Moser, subsp. **formosana** Moser.

Berl. Ent. Zeitschr. 1901, p. 527.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1901, p. 297.

産地 Formosa.

但シ基種ハ Tonkin Mausonberge 産ナリ。

かなぶん類**Heterorrhides.**

此類ハ頭部長形ニシテ或ハ角狀突起ヲ有ス。此角狀突起ハ其形狀種々ニシテ屢々雌雄ニ由リ少シク異ナリ。前脚ノ脛節ハ齒狀突起ヲ雌ニノミ有シ。雄ハ之ヲ缺クモノ多シ。體滑カニシテ光澤ヲ有シ美綠色ヲナスモノヲ普通トス。

我國ニハ四屬アルモ其二屬ハ全ク檢スルヲ得ザリキ。予等ノ標本ハつのかなぶん屬 *Trigonophorus* 及ビかなぶん屬 *Rhomborrhina* ノミニシテ前種ハ皆頭部ニ角狀附器ヲ有シ後種ハ之ヲ缺ク。

I₁ 頭楯ハ前端急ニ兩側ニ突出ス。 いんぐりすま屬 *Ingrisma*.

I₂ 頭楯ハ前端マデ同様ノ幅ヲ有ス。

II₁ 頭楯ノ前部ニ角狀突起ヲ有ス。 つのかなぶん屬 *Trigonophorus*.

II₂ 頭楯ノ前端ニ角狀突起ナシ。

III₁ 中胸突起稍ヤ長シ。 かなぶん屬 *Rhomborrhina*

III₂ 中胸突起短カクシテ太シ。 こすみをもるふあ屬 *Cosmiomorpha*.

つのかなぶん屬**Trigonophorus** (Hope) Westwood.

體ハ長形ニシテ少シク扁平體面ニ毛ヲ有セズ脚ハ稍ヤ細長ナリ。頭部ニ平カニ前方ニ突出スル角狀突起ヲ有シ。頭楯ノ前縁中央ニ長三角形ノ著シキ角狀突起ヲ存ス。此ノ突起ハ前方ヨリ上方ニ彎曲シ基部ニ細ク先端ニ幅廣シ。頭楯ノ兩側ハ殆ンド直線的ニシテ前縁角ハ圓味ヲ帶ブ。胸背板ノ兩側ハ弧線狀ヲナシ後縁ハ中央矢筈形ヲナス。稜狀板ハ先端鋭尖ス。

翅鞘ハ兩側ニ明カナル切込ミヲ有シ上面平カナリ。中胸突起ハ長形ナリ。
體色綠ナルヲ常トス。

此屬ノ種類ニシテ我國ニ知ラレタルモノ臺灣産二種アリ。

つのかなぶん

Trigonophorus dilutus Bourgoïn.

Taf. V. fig. 13.

Bull. Soc. Ent. France, 1914, p. 438.

産地 臺灣(霧社)

體長 18 (角狀部ヲ除ク)幅 14 mm.

體綠色ニシテ光澤アリあをかなぶんニ似テ稍ヤ長形ナリ。頭楯ニ大形ノ角狀附器ヲ有ス。

頭部略四角形ニシテ上面窪ミ顆粒狀ノ細黒點ヲ有ス。頭楯ノ前縁ニ存スル角狀附器ハ略4 mm.ノ長サヲ有シ黑色ニシテ先端廣銀杏葉形ヲナス。後頭ヨリ水平ニ出ル突起ハ平タクシテ先端鋭尖ス。

胸背板ハ點刻ナク先端尖ル。

翅鞘ハ淺キ點列ヲ有シ稜狀板ニ近ク横皺狀ノ淺キ壓凹部アリ。下面ハ綠色ニシテ少シク黄色ヲ帶ブ。

腹部ノ點刻ハ少ク略半圓形ヲナス。中胸突起ハ前端肥厚シ圓味ヲ帶ブ。

下記臺灣産ノ一種ハ予等ノ標本ニ之ヲ缺ク。

Trigonophorus varians Bourgoïn.

Bull. Soc. Ent. France, 1914, p. 37

いんぐりすま屬

Ingrisma Fairm.

頭楯ハ長形ニシテ前縁圓味ヲ帶ビテ上反シ其兩側左右ニ角狀ヲナシテ突出ス。胸背板ハ多少三角形ヲナシ稜狀板ノ前部ニ於テ僅カニ矢筈形ヲナス。稜狀板ハ短カキモ鋭尖ス。中胸突起ハ稍ヤ細クシテ強ク下方ニ曲リ平タク圓味ヲ帶ブ。體長形ニシテ扁平ナリ。

本屬ニ屬スルモノハ臺灣ニ産スル次ノ二種アルモ予等ハ未ダ其標本ヲ得ル能ハズ。

Ingrisma paralleiceps Bourgoïn.

Bull. Soc. Ent. France, 1914, p. 446,

Ingrisma insulana Moser.

Stett. Ent. Zeitschr. 1916, p. 141.

こすみをもるふあ屬

Cosmiomorpha Saund.

頭楯略ホ四角形ニシテ脚細長ナリ其中胸突起ハ前部圓ク兩側並行ス。我國ニ産スルモノハ唯次ノ臺灣産一種ノミ。予等ノ標本ハ之ヲ缺ク。

Cosmiomorpha similis Fairm.

Ann. Soc. Ent. France, 1899, P. 621.

かなぶん屬

Rhomborrhina Hope.

體稍ヤ長形上面平カニシテ多クハ平滑光澤アリ頭楯長形前緣直線ナリ胸背板ハ三角形ニ近ク稜狀板ニ接スル處ハ矢筈狀ヲナス稜狀板ハ稍長クシテ鋭ク尖ル。中胸ノ突起ハ幅ヨリハ長クシテ先端尖ルカ鈍形ヲナス。前脛節ハ雄ハ細クシテ外齒一個雌ハ幅廣ク外齒二個ナリ。

本屬中我國ニ知ラレタルモノ八種アルモ予等ノ調査シ得タルハ唯四種ノミニシテ他ノ四種ハ其標本ヲ得ル能ハザリキ。

I₁ 體青銅色ヲナス。 かなぶん R. japonica.

I₂ 強キ光澤アル綠色ヲナス。

II₁ 全體綠色ナリ。 あをかなぶん R. unicolor.

II₂ 肩ニ黒斑アリ體少シク長形。 たいわんあをかなぶん R. formosana.

I₃ 體黑色ヲナス。 くらかなぶん R. polita.

かなぶん

Rhomborrina japonica Hope.

Taf. V. fig. 16.

- Trans. Ent. Soc. Lond. 1841, p. 61.
Westwood, Arc. Ent. 1842, p. 118. t. 30, f. 4.
Westwood, Trans. Ent. Soc. Lond. 1845, p. 90.
Burmeister, Hand. Ent. III. 1842, p. 199, 778.
Schaum, Ann. Soc. Ent. France, 1844, p. 350; 1849, p. 246.
Harold, Abh. Nat. Ver. Brem. 1876, p. 127.
Kolbe, Arch. f. Natg. 1836, p. 194.
Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1887, p. 118.
Reitter, Best.-Tab. (38) 1898, p. 78.
Heyne, Taschenb. Exot. Krf. 1908, p. 107, t. 19, f. 41.
(*R. glauca*) J. Thomson Typi Cet. 1878, p. 9.
(*R. squamuligera*) J. Thomson, Typi Cet. 1878, p. 9.
Arrow (*Torynorhina*) Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 396.
松村松年, 千島圖解第三. p. 81. pl. 47. f. 5.

産地 China, Korea (Fusan—Söul), Japan (very common in all the islands)

熊本, 東京, 熱海, 秩父, 京都, 播磨

體長 24—25 幅 13—14 mm.

青銅色ニシテ褐色ノ光澤ヲ呈ス。形少シク扁平長方形ニ近キ外形ヲナス。稜狀板ハ尖銳ナリ。

頭楯ハ眼ノ基部ヨリ前縁ニ向テ側縁少シク圓味ヲ帶ビ前縁僅カニ上反ス。點刻ハ淺クシテ密ナリ。頭部ノ中央ハ眼ノ間ニ於テ縦ニ隆起ス。

胸背板ノ點刻ハ中央ニ於テ著シク小ニシテ殆ント認め難キモ兩側ニ至ルニ從ヒ大ニシテ半圓形ヲナス。

翅鞘ハ平滑ニシテ不規則ニ多クハ短弧線狀ヲナセル點刻ヲ有ス。僅カニ薄キ二個ノ縦隆線ノ痕ヲ認め得ベシ先端ニ近キ會合線ノ兩側ニ鈍キ窪ミヲ存ス。

中胸突起ハ先端略ボ圓形ヲナス。脚ハ綠色ニシテ中後脛節ニ黃褐色ノ

毛アリ。

本種ハ最モ普通種ナルモ北海道ニ産セズ。

本種ニ一變種ノ記載セラレタルモノアリ即チ var. *dypecta* Burm. (Hand. Ent. III. 1842. p. 199) ニシテ其形短ク幅廣キモノナリ然レ共予等ノ標本ニテハ形狀色澤ニ於テ多少ノ變化ヲ認ムルモ特ニ此區別ヲナシ難シトス。

あまかなぶん

Rhomborrhina unicolor Mots.

Taf. V. fig. 15.

Etud. Ent. 1861, p. 8.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1887, p. 197.

Arrow, (*Torymorhina*) Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 396.

松村松年, 日本千鳥圖解第三 p. 79. pl. XI. VII 1.

産地 Japan.

北海道(札幌, 軽川, 苫小牧, 天鹽), 青森, 伊賀, 京都, 熊本, 長野

體長 29 幅 13—13.5 mm.

美綠色ヲナシ強キ光澤アリ, 形ハかなぶんと略同ジ。

頭楯ハ兩側圓味ヲ帶ビズ, 幅前方ニ向テ少シク廣シ, 前縁殆ンド上反セズ, 點刻小ナルモ強シ, 前頭部ノ點刻ハ淺クシテ大ニ後頭ハ平滑ナリ。

胸背板ノ中央ハ縦ニ點刻ヲ缺キ之ヨリ兩側ニ向テ次第ニ大ナル點刻ヲ有ス, 兩側ハ中央ヨリ後方ニ少シク凹入ス。

稜狀部ハ鋭ク尖リ甚ダ微細ナル點刻ヲ僅カニ散布ス。

翅鞘ハ縦隆線ナキモ僅カニ細點ノ列狀ニ存スルヲ認メ得ベシ, 全面ニ小ナル點刻ヲ不規則ニ散布シ, 翅端ニ網狀ヲナスヲ見ル, 先端近ク左右ニ隆起部ヲ存ス。

下面ハ又光澤アル綠色ヲナシ, 尾節ノ先端ニ褐色毛ヲ存ス。

たいわんあまかなぶん

Rhomborrhina formosana Moser.

Taf. V. fig. 12.

産地 Formosa.

臺灣(補里社,霧社,恒春,臺南)

體長 24,5—27 幅 13—14 mm.

最モヨクあをかなぶんニ似ル。上面ノ點刻ヤ、強ク肩及ビ會合線黑色ヲナシ頭楯ノ前縁彎入ス。

本種ハモゼルニヨリ最初あをかなぶんノ一種トシテ記載セラレ後多クノ標本ニヨリテ獨立セル種トセラレタルモノナリ。予等ノ所有スル六個ノ標本ニテハ明カニ肩ニ黒斑ヲ有スルモノ一個ニシテ他ハ僅カニ黑色ヲ認ムルニ止マルモノナリ。臺灣ニ於ケル普通種ナルガ如シ。

くろかなぶん

Rhomborrhina polita Waterh.

Taf. V. fig. 19.

Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 113.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1837, p. 197.

Arrow, (*Torynorrhina*), Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 396.

松村松年 日本千蟲圖釋第三 p94. pl XL vll 10.

産地 Yokohama.

東京,山形,秩父,熱海,鹿兒島,秋田。

體長 22,5—28 幅 12—14 mm.

體長形ニシテ黑色光澤アリ。形狀ハあをかなぶんニ似ル。

頭部狹長中央稍ヤ幅廣キ縦ノ隆起ヲ有ス頭楯ハ密ナル點刻及ビ顆粒ヲ有ス。

胸背板及ビ翅鞘ハ殆ンドあをかなぶんト同ジク唯色ノ黒キト僅カニ點刻ノ多キヲ以テ異ナレリトス。翅鞘ハ先端ニ向テ狹細ナリ。稜狀板ハ長形ニシテ先端鋭尖シ。其面平滑ナリ。

前基節及ビ中後脛節ノ内面ニ稍ヤ長キ褐色毛ヲ存ス。

中胸突起ハ幅廣ク先端圓味ヲ帶ビ黄褐色ノ毛ヲ有ス。

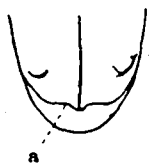
本種ハ北海道ニ於テ未ダ之ヲ見ズ。

- II₁ 胸背板ノ後縁中央ニテ明カナル矢筈形ヲナス。稜狀板ノ先端尖ラズ。跗節短カシ。 くろはなむぐり屬 Glycyphana.
- II₂ 胸背板ノ後縁中央ニテ明カナル矢筈形ヲナス。
- III₁ 中胸突起ハ先端圓味ヲ帯ビ下方ニ曲ル。雄ハ下面腹部ノ中央ニ縦ノ溝狀ノ窪ミヲ有ス。 はなむぐり屬 Cetonia.
- III₂ 中胸突起ハ扁平ニシテ前端幅廣シ。
- IV₁ 雄ハ腹面ニ溝狀ノ窪ミヲ有ス。 しらほしはなむぐり屬 Liocola.
- IV₂ 雄ハ腹面ニ溝狀ノ窪ミヲ有セス。
- V₁ 翅鞘ノ先端ノ角度即チ會合線ノ先端部銳ク突出セス。
- VI₁ 前脛節ハ雌雄共ニ三齒ヲ有ス。 しろてんはなむぐり屬 Potosia.
- VI₂ 前脛節ハ雌三個雄二個ノ齒ヲ有ス。 りうきうはなむぐり屬 Pyropotosia.
- V₂ 翅鞘ノ先端ノ角度即會合線ノ先端銳ク突出ス。 はいいろはなむぐり屬 Protactia.
- III₃ 中胸突起ハ短カクシテ前端球形ヲナス。 こあをはなむぐり屬 Oxycetonia.

はなむぐり屬

Cetonia Fabricius.

第十一圖



はなむぐりの翅鞘

頭楯ハ先端二片狀ヲナス。頭部ニハ中央ノ縦隆線ニ境セラレテ眼ノ間ノ部ニ窪ミヲ有ス。稜狀板ハ先端鈍ク尖リ前脛節ニハ外縁ニ三齒ヲ有シ。後脛節ハ二ノ端棘ヲ有シ。跗節ノ各節ハ簡單ナリ。中胸突起ハ圓味ヲ帯ビテ前方ニ稍ヤ長ク突出シ少シク下方ニ彎曲ス。中胸板トハ全ク界線ヲ有セザルカ或ハ強ク曲リタル無毛ノ線ニテ分タル。雄ハ腹部ニ平タキ然シ明カナル縦溝線ヲ有ス。翅鞘ノ先端會合線ニ近キ翅縁ニ彎曲セル切込ヲ有ス(第十一圖a)。

本屬中予等ノ調査シ得タルモノ次ノ如シ。

- I₁ 上面ニ細毛ヲ有ス。 はなむぐり *C. pilifera*
 I₂ 上面ニ細毛ヲ有セス。
 II₁ 光澤ヲ有セス翅鞘上ノ點刻淺シ。 あをはなむぐり *C. Roelofsi*.
 II₂ 光澤ヲ有ス翅鞘上ノ點刻強シ。

變種つやあをはなむぐり *C. Roelofsi* var. *nitidula*.

はなむぐり

Cetonia pilifera Motsch.

Taf. V. fig. 8.

(*Glycyphana*) Etud. Ent. 1860, p. 15.

Waterhouse, Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 114.

Kraatz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 250.

Harold, Bull. Soc. Ent. Belg. 1880, p. 4.

Reitter, (Subg. *Eucetonia*) Best.-Tab. (38) 1898, p. 38.

松村松年 (*Glycyphana*), 千島圖解第三 p. 87. pl. 47. f. 14.

産地 Japan: Hiogo, Kiushiu.

京都, 東京, 札幌.

體長 16 幅 10 mm.

上面綠色ニシテ上下面共ニ白色ノ細毛ヲ密生ス。翅鞘上ニ細カキ白色ノ斑紋アリ。

頭部光澤アル綠色ニシテ中央ノ縦隆線明カナリ。頭楯ハ赤銅色ニシテ前縁僅カニ上反シ中央彎入ス。點刻密ナリ。前頭ニハ多クノ毛ヲ生ズ。

胸背板ハ兩側縁ニ沿ヒ赤銅色ヲ呈シ上面一双ノ白小斑ヲ存ス。其他ニ三對ノ白點アルモ多クハ之ヲ缺ク。

稜狀板ハ長形ニシテ平滑中央ニ白毛ヲ存ス。

翅鞘ハ光澤ナク又ハ淡黄ノ細毛ヲ有シ點刻ハ多ク淺キ搔傷狀ヲナス。上面ニ二個ノ縦隆線ヲ稍ヤ明カニ認メ得ベシ。白斑ハ横ニ長形ヲナシ兩側縁ノ彎入部ノ先方ニ存スルモノ最大ニシテ其他ニ二三ノ白色斑ヲ有ス。

下面ハ黒紫色ニシテ胸部ノ全面ヨリ腹部ノ兩側ニ淡黄又ハ白色ノ長毛ヲ生ズ中胸突起ハ圓筒形ニテ先端圓味ヲ帶ビ少シク下方ニ向フ脚ニモ長毛アリテ前脛節ノ外齒ハ銳シ。

あそはなむぐり

Cetonia Rœlofsi Harold.

Taf. V. fig. 11.

Bull. Soc. Ent. Belg. 1889, p. V.

Reitter, Best.-Tab. (33) 1838, p. 37.

産地 Japan(Hakodate)

大阪,東京,名古屋,青森,北海道(釧路,天鹽,旭川,札幌)

體長 15—18 幅 8—10 mm.

綠色ニシテ光澤無ク下面黒紫色ニシテ光澤アリ上面ニ著シキ毛ヲ有セズ。

頭楯赤銅色ヲ帶ビ前縁上反セズ其中央著シク彎入ス。點刻密ナリ。前頭中央ノ縦隆線ノ兩側ニ著シキ搔傷狀ノ刻斑アリ。

胸背板ハ光澤ナク側縁弧線狀ニ前縁ニ狹摺シ。側縁帶狀ニ黒紫色ヲ帶ビ其部ニ搔傷狀ノ刻斑ヲ存ス。二ノ白點ヲ存スルモノト之ガ消失セルモノトアリ。

稜狀板ハ長形ニシテ基部ニノミ小點刻ヲ存ス。

翅鞘ハ綠色ニシテ光澤無ク最モヨクはなむぐりに似同様ニシテ小形ナル白色斑ヲ有ス。然レドモ多クノ標本ニテハ之ヲ缺除ス。會合線ハ翅先ニ於テ稍ヤ尖ルモ棘狀ヲナスコトナシ。尾節板ハ兩側縁ニ近ク一個ノ白點ヲ存ス。

下面ハ紫黒色或ハ赤銅色ヲナシ光線ニヨリ少シク綠色光澤ヲ表ハス。各腹節ニハ褐色毛ヲ列生シ其ノ兩側端ニハ一個ノ小白點斑アリ。

此種ニハ二變種ノ記サレタルモノアリ。

變種 つやあそはなむぐり(新稱)

Cetonia Roelofsi Har. var. **nitidula** Reitter.

Best.-Tab. (38) 1898, p. 37.

上面光澤ヲ有シ翅鞘ニ強キ點刻ヲ具ヘ之ニ小ナル刺毛ヲ存ス。白斑ハ之ヲ有セザルモノ多シ予等ノ標本ハ天鹽、旭川、石狩等皆北海道産ナリ。

C. Roelofsi Har. var. **villifrons** Reitter.

Best.-Tab. 38, 1898, p. 37.

上面光澤無ク綠黑色ヲナシ下面全綠色ヲナス。胸背板ニ紫色綠ナシ予等ハ此標本ヲ見ズ。

はなむぐり屬中予等ノ調査シ能ハザルモノ三種アリ。即チ次ノ如シ。

Cetonia hondana Arrow.

(Protalia) Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 404.

産地 Japan: Kobe, Tanegashima, Hiroshima.

記載ニ由ルトキハはなむぐりヨリハ著シク大形ナルモノ、如シ。

Cetonia Bodemeyeri Cu:ti.

Ent. Mitteil, 1915, p. 20.

産地 Japan: Kobe.

Cetonia prasinata Bourg.

Bull. Soc. Ent. France, 1915, p. 104.

産地 Formosa.

あかまだらこがね屬**Anthracophora** Burmeister.

體扁平ナル橢圓形脚長カラズ頭楯ハ幅廣ク前縁反張セズ又明カナル切込ミヲ有スルコトナシ。胸背板ハ幅廣ク中庸僅カニ矢筈形ヲナス。前縁ノ兩側ハ縁取ラル。稜狀板ハ稍ヤ長形ニシテ小ニ其先端尖ルコトナシ。翅鞘ハ腹背ノ全部ヲ被覆シ肩ノ後ニテ僅カニ淺キ彎曲セル切込ミヲ有ス。中胸突起ハ扁平ニシテ先端幅廣シ。脛節ハ稍ヤ短カクシテ前脚ノモノニ又ハ三ノ短齒ヲ有シ中後脚ニハ一個ノ先端鋭キ齒ヲ有ス。雄ハ腹面ニ溝

狀部ヲ有スルコトナシ。

本屬ハ印度及ビ東洋ニ産スルモノニシテ我國ニテ記載セラレタルモノ一種アリ。

あかまだらこがね

Anthracophora rusticola Burm.

Taf. V. fig. 1.

Hand. Ent. III. 1842, p. 624.

Harold, Deutsche Ent. Zeitschr. 1878, p. 72.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1837, p. 199.

Kraatz (*Pocilophilides*), Deutsche Ent. Zeitschr. 1898, p. 406.

Reitter, Best.-Tab. (33.) 1898, p. 78.

松村松年, 日本千蟲圖解第三. p. 96. pl. 48. fig. 13.♀

産地 Japan, Korea, Amurgebiet, Daurien bis zur Mongolei.

本州,九州,東京。

體長 18—20 幅 10,5—11 mm.

體黃褐色ニテ黑色ノ小斑紋ヲ密布ス。脚及ビ體ノ下面ハ黒シ。

頭部黑色ニシテ僅カニ黄褐色ヲ頭頂ニ存ス。點刻小ニシテ粗ナリ。頭楯短カクシテ幅廣ク前縁平カニシテ前縁角圓シ。

胸背板ハ滑カニシテ僅少ノ點刻ヲ存シ大小ノ黑色斑紋ヲ散布ス。中央ノ兩側ニアルモノ最大ナリ。後縁角ハ圓味ヲ帶ビ其前ニ於テ側縁少シク彎入ス。前縁ニ向テ幅狹シ。

稜狀板ハ長形ニシテ基部ニ近ク中央ニ稜形及ビ先端ニ黑色ヲ呈スル部アリ。

翅鞘ノ側縁ノ彎入部ハ甚緩ナリ。上面ニハ點列ヲ有シ中間帶稍隆起ス。黑色紋ハ小ニシテ不規則ナリ。尾節板ハ黑色ニシテ黄褐色ノ斑紋ヲ存ス。

下面黑色ナルモ中胸突起ノミハ黄褐色ニシテ光澤ヲ有シ略ボ圓形ヲナス。

しらほしはなむぐり屬

Liocola Thoms.

はなむぐり屬ニ似タル屬ニシテ前胸背ハ稜狀板ノ前ニテ矢筈形ヲナス。中胸部ノ突起ハ前端幅廣クシテ扁平ナリ。雄ハ其腹部ノ中央ニ縦ノ長キ窪ミヲ有ス。此屬中我國ニ産スル種類ハ既記五種アリ。此内予等ノ調査シ得タルハ四種ニシテ別ニ新種一ヲ加フ。

I₁ 後脛節二毛列ヲ有ス。

II₁ 體ニ著シキ光澤アリ。雄交尾器ハ先端ニ後方ニ向フ短刺アリ。

たいわんしらほしはなむぐり *L. formosana*.

II₂ 體ノ光澤著シカラズ。

III₁ 頭楯ノ前縁殆ンド直線的ナリ。雄交尾器ハ刺ヲ缺キ前方ニ細長ナリ。

しらほしはなむぐり *L. brevitarsis*.

III₂ 頭楯ノ上反セル前縁ノ中央窪ミニ片狀ヲナス。

IV₁ 大形黒青銅色。雄交尾器幅廣ク先端ニ外方ニ向ケル短刺アリ。

みやこしらほしはなむぐり *L. miyakoensis*. n. sp.

IV₂ 綠色長楕圓形。雄交尾器肥厚シ先端上方ニ向フ。

みどりしらほしはなむぐり *L. speculifera*.

I₂ 後脛節二毛列ナク紫黒色ヲ呈ス。

むらさきおほしはなむぐり *L. insperata*.

しらほしはなむぐり

Liocola brevitarsis Lewis.

Taf. VII. fig. 14.

(*Celonia*) Ann. Mag. Nat. Hist. 1879, p. 463.

Kraatz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1833, p. 10.

Fairm, Rev. d'Ent. 1887, p. 320.

Reitter (*Pachnotonia*), Best.-Tab. (38) 1893, p. 47.

Arrow (*Protaxia*), Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 406.

松村松年 (*Celonia*) 日本千鳥圖解第三 p. 85. pl. 47. f. 11.

産地 Ostsibirien, China, Japan: Jesso.

鹿兒島,熊本,京都,御殿場,東京,秋田,北海道(天鹽,札幌,漁)四國,臺灣。

體長 20—24 幅 11—14 mm.

體光澤アル黒銅色ニシテ體ノ幅廣ク翅鞘上ニ小ナル斑點ヲ散布ス。最モ普通ナル種類ニシテ其色澤ニハ綠紫ノ變化アリ。

頭部ハ大ナル點刻ヲ有ス。頭楯ハ長形ニシテ側縁ヨリ前縁上反シ前縁ノ中央僅カニ彎入ス。

胸背板ハ前方ニ幅著シク狭ク中央ニ近ク少シク隆起ス。側縁隆線ハ略ボ前縁ニ達ス。上面ノ中央ニハ縦ニ滑カナル部分ヲ殘シテ點刻ヲ有ス。點刻ハ上面ニ小形ニシテ散在シ兩側ニ至ルニ從ヒ大ニシテ圓形ヲナシ稍ヤ密ニ存在ス。稜狀板ニ近ク二個ノ窪ミアル白點ヲ有シ其他數個ノ白點アリ。

稜狀板ハ光澤アル長三角形ヲナシ先端尖ルコトナシ。

翅鞘ハ半圓形ノ大形ノ點刻ヲ有ス。點狀及ビ短線狀ノ十二三個ノ白斑ヲ有ス。中央會合線ニ近キ白斑部ハ凹陷ス。先端ニ近ク會合線ノ兩側窪ミ其兩側瘤狀ニ隆起ス。

尾節板ニハ密ナル皺刻アリ。又小白色斑點ヲ有ス。

下面ハ光澤アリ。胸節ニハ短カキ白色毛アリ。中胸突起ハ先端ノ幅著シク大ナリ。腹節ノ兩側ニハ短カキ帶狀ノ白斑アリ。雄ノ腹溝ハ著シカラズ。

前脛節ハ三齒ヲ有スルモ其第一ハ小ナリ。後跗節ハ前跗節ヨリ短カシ。脛節ノ上端ニハ膝狀白斑ヲ有ス。

本種ハ其色澤又斑紋ニ變化著シク斑紋ノ如キ全ク之ヲ認メ難キモノモアリ。此ノ如クシテ之ガ變種或ハ亞種トシテ學名ノ擧ゲラレタルモノ十三個ニ至レリ。

此内我國ニテ知ラレタルハ朝鮮産ノ一種ノミ。然レドモ予等ノ標本ニシテ既記ノ變種ニ當ルモノヲ求メテ之ヲ擧グレバ次ノ如シ。

變種 こしらほしはなむぐり(新稱)

Liocola brevitarsis Lew. var. *crassa* Harold.

Bull. Soc. Ent. Belg. 1890, p. VI.

稍ヤ小形ニシテ上面強キ點刻ヲ密附ス。白色斑紋強シ。暗色ニシテ金屬光澤アリ。下面ハ青色又ハ董色ヲナス。支那北部、北京産トシテ知ラル。

予等ハ京都産ニシテ此記載ニ當ル一個ノ標本ヲ有ス。但シ其形ハ基種ヨリ小ニシテ體長18,幅10mm. ナリ。

變種 あをしらほしはなむぐり(新稱)

Liocola brevitarsis Lew. var. *viridis* Kraatz.

Deutsch. Ent. Zeitschr. 1883, p. 380.

體上下共ニ綠色ニシテ金屬光澤アリ。支那 Kiukiang 産ナリ。

予等ノ標本ハ鹿兒島、熊本、岡山、京都産ノモノ合計七個ニシテ之ヲ以テ見ルトキハ暖地ニ多キガ如シ。

變種 てうせんしらほしはなむぐり

Liocola brevitarsis Lew. var. *seulensis* Kolbe.

Taf. V. fig. 3 Taf. VII. fig. 15.

Arch. f. Naturg. 1890, p. 194. t. II. f. 23.

基種ヨリ少シク小形、上下面共ニ濃キ銅色ヲナス。朝鮮産ナリ。

予等ハ之ニ當ル朝鮮産標本二個ヲ有ス。共ニ光澤淡ク翅鞘上ノ一縦隆線基種ヨリ稍ヤ明カナリ。體面ノ白色斑紋ハ原圖ニハ明白ニシテ強キモ予等ノ標本ニテハ殆ンド不明ナリ。雄交尾器ノ形モ基種ヨリ著シク細キモ其構造相似ルヲ以テ産地ニ由ル變化ト見做スベキカ。

たいわんしろほしはなむぐり(新稱)

Liocola formosana Moser.

Taf. V. fig. 18 Taf. VII. fig. 16.

Ann. Soc. Ent. Belg. 1910, p. 357.

(188)

產地 Formosa.

臺灣(補里社)

體長 19—22 幅 11—12,5 mm.

最モヨクしらほしはなむぐりニ似ル。體強キ光澤アリ色ハ變化多シ。
全ク雄交尾器ノ形ヲ異ニス。

原記載ニ由ルトキハ上下面共ニ赤銅色ヲナシ光澤アリ細カキ白色ノ
斑紋ヲ有ス。頭部、胸背板、翅鞘、尾節板等殆ンドしらほしはなむぐりと同シ。
然シ實物ニ於テ見ルトキハ一般ニ光澤強シ。色ハ予等ノ標本ニハ明カニ
三種アリ。即チ赤銅色ノモノヲ基種(補里社産二個)

a. 全ク綠黑色ヲナスモノ(補里社産一個)

b. 黒藍色ヲ呈スルモノ(採取個所不明臺灣産二個)

何レモしらほしはなむぐりノ變種ヨリハ光澤著シク強シ。

最モ著シキ區別點ハ雄交尾器ニシテしらほしはなむぐリニテハ先端
ニ向ツテ次第ニ細狹スルモ此種ニテハ急ニ其幅ヲ増シ且擴大部ノ兩側
ハ後方ニ向テ鋭尖ス。

むらさきおほはなむぐり

Liocola insperata Lewis.

Taf. V. fig. 5.

(*Catonia*), Ann. Mag. Nat. Hist. 1879, p. 463.

Reitter, Best.-Tab. (33) 1898, p. 47.

Matsumura, Journ. Coll. Agric. Tohoku Imp. Univ. 1911, p. 119.

產地 Nagasaki, Sachalin.

石狩(漁)

體長 19—21, 幅 10,5—12 mm.

體しらほしはなむぐリニ似ル。形稍ヤ細長。上面紫又ハ赤銅色ヲナスヲ
普通トスルモ亦種々ノ變化アリ。光澤ヲ有ス。

頭楯ノ前緣殆ンド直線的ニシテ僅カニ上反ス。點刻ハ頭楯密ニ頭頂ニ

強ク粗ナリ。

胸背板ノ側縁ハ基部ニ近ク彎入シ中央ニテ鈍キ角狀ヲナス。縁線ハ中央ヨリ少シク前方ニテ消失シ前縁ニ達セズ。上面ノ中央滑カニシテ點刻上部小ニ兩側ニ大ナリ。側縁ニ近ク網狀ヲナス。

翅鞘上ノ白斑ハ多カラズ。其先端ニ近ク凹陷部ヲ有スルモノ明カニシテ少シク長形ヲナス。

脚ハ體ト同色ナリ。

予等ノ標本ハ三個ニシテ何レモ石狩國産ノモノナリ。色ハ黒紫色ヲナス。記載ニヨルトキハ綠色ノモノ青銅色ノモノアリ。

みどりはなむぐり(新稱)

Liocola speculifera Swartz.

Taf. V. fig. 6.

(*Cetonia*) Shüh. Syn. Ins. I 3, 1817, Append. p. 53.

Burmeister, Handb. Ent. III, 1842, p. 474.

Kraatz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1883, p. 12.

Waterhouse, Trans. Ent. Soc. London, 1875, p. 114.

Reitter (*Pachnolisia*), Deutsche Ent. Zeitschr. 1891, p. 17.

Moser, Ann. Soc. Ent. Belg. 1910, p. 358.

Arrow (*Prototia*), Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 406.

(*Cetonia Orientalis*) Gory et Perch, Mon. Cét. 1833, p. 57, 193,

Kraatz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1883, p. 11.

Arrow (*Prototia*), Fauna, Brit. India, Lamell. I, 1910, p. 143.

産地 Himaraya, Kaschmir, China, Formosa, Japan.

鹿兒島、大阪

體長 22—24 幅 12—14 mm.

最モヨクしらほしはなむぐりノ綠色種ニ似ル光澤アル縁黒色ヲナス。然シ黄色銅色又ハ紫色ヲ帶ブルモノアリ。

頭部ハ稍ヤ強キ點刻ヲ有シ頭楯ノ前縁上反シ中央窪ミ略ボ二片狀ヲナス。

(170)

胸背板ハしらほしはなむぐりト殆ンド區別ナク上面ノ各側ニ四乃至七個ノ小白點ヲ有ス。側縁ニモ亦白線アリ。

翅鞘ハ粗ナル點刻ヲ有シ多クノ白色小斑ヲ供フ。翅先ハ稍ヤ強キ角狀ヲナスモ刺狀ヲナスコトナシ。

中胸突起ハ前部ノ幅廣ク扇形ヲナス。

脚ハ稍ヤ短カク後脛節ニハ黃色毛ヲ列生ス。

本種ハ最モヨクしらほしはなむぐリニ似ルモ其雄交尾器ノ形狀全ク異ナリ。即チ著シク肥厚シテ先端上向ス。

本種ノ形狀大(24—26mm.)ニシテ支那産ノモノニ var. *Confuciusana* Thoms. ノ名アリ。又綠色ニシテ胸背板及ビ稜狀板ノ周圍ノ赤色ヲ帶ブルモノニ var. *Thyrsis* Reitt. ナル種アリ亦支那産ナリ。

みやこはなむぐり(新種)

Liocla miyakoensis Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II. fig. 6. Taf. V. fig. 14. Taf. VII. fig. 17

産地 宮古島,土佐(宿毛)

體長 23,5—27 幅 13—14 mm.

しらほしはなむぐリニ最モヨク似僅カニ大ナリ。體色ハ銅綠色ヲ帶ビあをはなむぐリ var. *viridis* Kraatz. ニ似ル。

頭部ハ殆ンドしらほしはなむぐリト同シ唯宮古島産ノ雌ニテハ明カニ頭楯ニ細毛ヲ有スルヲ認ム。

胸背板ハ側縁ニ沿ヒテ細キ白線ヲ存シ上面ニ強キ點刻ヲ有ス。其側方ノモノハ搔傷狀ヲナス。

翅鞘ハ又しらほしはなむぐリト同シキモ翅鞘面ノ縦隆線稍ヤ著シ。

中胸突起ハ前方ノ幅廣シ。

中後脛節ニハ長キ褐色毛ヲ列生ス。

雄ノ腹部縦溝ハ淺クシテ幅廣シ。

最モ異ナルハ其雄交尾器ノ構造ニシテ幅廣クシテ先端ニ外方ニ向ヘ

ル短棘状突起ヲ有ス。しらほしはなむぐりハ細クシテ突起ヲ缺キたいわんはなむぐりニテハ突起後方ニ向フ。

本種ハ本學ノ標本中しらほしはなむぐりノ内ヨリ別チタルモノニシテ殆ンド一變種ノ如クナルモ其交尾器ノ構造全ク異ナルヲ以テ新種トセルモノナリ。

しらほしはなむぐり屬中予等ノ調査シ得ザリシモノハ次ノ一種ナリ。

Liocola Lenzi Har.

Abh. Nat. Ver. Brem. 1876, p. 128.

産地 Japan.

しろてんはなむぐり屬

Potosia Muls.

頭楯ハ通常二片状ヲナサズ唯前縁僅カニ縁ヲ有セズ或ハ彎入スルモノアリ。前縁角圓味ヲ帶ブ。胸背板ハ後縁ニ近ク凹壓部ヲ存セズ前縁ハ縁リ取ラル、コトナシ。前脛節ニハ雌雄共ニ三齒ヲ存ス。雄ハ腹部ニ縦溝部ヲ缺ク。中胸突起ハ稍ヤ扁平ニシテ前方ノ幅廣ク滑カニシテ毛ヲ有セザルカ或ハ點刻ヲ存ス。

本屬中予等ノ檢シ得タリシモノ五種アリ其内二ハ新種ナリ。

I₁ 體ノ上面ニ光澤アリ。

II₁ 尾節板先端ニ近ク強ク隆起ス。

III₁ 體形大ナリ(22 mm 以上)

しろてんはなむぐり *P. aerata*.

III₂ 體形大ナラズ(20 mm 以下)

いしがきはなむぐり *P. ishigakia*.

II₂ 尾節板先端ニ近ク隆起セズ。上面紫黑色ヲ帶ブ。

からふとはなむぐり *P. purpurea*.

I₂ 體ノ上面ニ光澤ナシ。

IV₁ 體綠色ニシテ稜狀板ノミ光澤アリ。

きょうとはなむぐり *P. nitidiscutellata*. n. sp.

IV₂ 體黃褐ニシテ稜狀板光澤ナシ。かばいろはなむぐり *P. grisea*. n. sp.

しろてんはなむぐり(新稱)

Potosia (Calopotosia) serata Erichson.

Taf. V. fig. 20.

(*Cetonia*) Nova Acta Halle XVI, 1834, p. 240.

Burmester, Handb. Ent. III. 1842, p. 798.

Kranz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1893, p. 11, 1899, p. 280.

Reitter, Best.-Tab. (38), 1898, p. 50.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 407.

産地 Japan, Korea, China.

鹿兒島, 熊本, 臺灣.

體長 22—25 幅 13—14 mm.

體ノ外形及ビ大サ最モヨクしろほしはなむぐりニ似ル。然モ其尾節板ノ此種ニ於テ著シク脹起スルコトニ由リ區別シ得ベシ。

頭部光澤アル綠黑色ニシテ大形ノ淺キ點刻ヲ密ニ存ス。唯中央部縦ニ滑カナル隆線アリ。頭楯ノ前縁ハ強ク上反シ二片狀ヲナス。

胸背板ハ光澤ヲ有シ後縁角圓味ヲ帶ブ。上面ノ中央ハ平滑ナルモ側縁ニ向テ強ク大ナル點刻ヲ存ス。凡ソ五双ノ白點ヲ有ス。

稜狀板ハ長形ニシテ平滑ナリ。

翅鞘ハ半圓狀ノ粗點刻ヲ有ス。中央ヨリ先方ノ會合線ノ兩側ニ淺ク幅廣キ溝狀部アリ。其上ニ各二個ノ白色斑紋ヲ存シ其側方兩斑ノ中央ノ位置ニ側縁ニ達スル長形ノ白斑アリ。

尾節板ハ細カキ點刻ト散在セル白斑ヲ存ス。雄ハ先端ニ近ク著シク圓ク隆起シ雌ハ兩側稍ヤ壓凹セラレ中央縦ニ光澤アル隆起ヲナス。

下面ハ光澤アル綠黑色ニシテ胸部ニ一網狀ノ缺刻ト細白毛ヲ具ヘ、三個ノ中央腹節ハ各側ニ二個ノ白斑ヲ有ス。

此種ニハ上下共ニ綠色ヲナセル者及ビ銅色ヲ帶ブルモノトアリ。

いしがきはなむぐり

Potosia (Calopotosia) ishigakia Fairm.

Taf. V. fig. 4.

(*Celonia*) Bull. Soc. Ent. France, 1898, p. 14.

Schoch, Mitteil. Schweiz. Ent. Ges. X. 1898, p. 181.

Arrow (*Prototia*), Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 407.

産地 Ishigaki Is.

石垣島。

體長 17—18 幅 9—10 mm.

黒味アル青銅色ニシテ光澤アリ。翅鞘ノ白色斑紋部分ハ稍ヤ強ク窪ム。頭楯ノ前縁少シク上反シ中央僅カニ彎入ス。兩側縁ノ外一様ノ點刻ヲ有ス。前頭部ノ點刻ハ強大ニシテ後頭部ニ向テ中央ニ滑カナル縦隆線ヲ有ス。

胸背板ハ中央ニ近ク細キ滑カナル部分ヲ殘ス外稍ヤ大ナル粗ニ排置セル點刻ヲ有ス。中央ニ近ク一雙稍ヤ後縁ニ近ク一雙ノ白斑アリ。斑紋部ハ凹沒ス。其他後縁角ニ近キ不規則ナル斑紋及ビ側縁ニ沿ヘル白色ノ細帶ヲ具フ。

稜狀板ハ滑カニシテ光澤アリ。長形ナリ。

翅鞘ハ稜狀板ニ沿ヒテ窪ミ面上ニ粗大ナル點刻ヲ有ス。白斑ハ會合線ニ於テ二雙アリ。其上方ノモノノ下ヨリ斜メニ外縁ニ細長紋アリ。其他側縁及ビ肩部ニ近ク散在セル小斑ヲ存ス。

尾節板ハ光澤アリ。先端ニ近ク強ク隆起シ二雙ノ白斑ヲ供フ。

下面ハ黒味強ク稍ヤ綠色光澤アリ。胸部ニハ白斑アリ。

腹節ノ兩側ニモ亦小斑アリ。中胸突起ハ扁平ニシテ前部幅廣ク圓味ヲ帶ビ僅少ノ細點刻アリ。

からふとはなむぐり

Potosia purpureipes Matsumura.

(*Celonia*), Journal Coll. Agric. Sapporo, IV, 1911, p. 119.

産地 Sachlin: Shiraraka, Solowiyofka, Tonnaitcha.

樺太

體長 16—20 幅 9—10 mm.

上面縁黒ニシテ小白點ヲ有シしらほしはなむぐりニ似ルモ體著シク

(174)

小ナリ。

頭部ハ頭楯及ビ後頭部密ニ中央粗ナル點刻ヲ有ス頭楯ノ前縁ハ上反シテ中央少シク窪ム。

胸背板ハしらぼしはなむぐりニ似テ側縁及ビ後縁ニ稍ヤ紫色光澤アリ。

稜狀板ハ紫黑色ニシテ滑カニ光澤アリ唯基部ニ於テノミ僅カノ點刻ヲ存ス。

翅鞘ハ會合線ニ沿ヒ光線ニ由リ紫色ヲ呈ス半圓狀及ビ細點狀ノ刻點ヲ存ス中央ヨリ先方ノ窪メル部分ニアリテハ刻斑相連合ス。

下面及脚ハ紫黑色ヲナシ中胸突起ノ前方ニ幅廣シ。

後脛節ニハ黃褐色或ハ淡色ノ毛孔アリ。

雄ノ腹部縱溝ハ全ク之ヲ缺ク。

和名ハ松村博士ニ由リテからふとおぼはなむぐりトセラル、モ形態大ナラザルヲ以テ「おぼ」ノ二字ヲ除クコト、セリ。

きょうとあをはなむぐり(新種)

Potosia nitidiscutellata Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. V. fig. 2. Taf. VII. fig. 18.

産地 京都(花園, 貴船)

體長 21—24 幅 12—13 mm.

體ノ上面綠色ニシテ光澤ナク唯稜狀板ノミ強キ光澤アリ翅鞘ノ白斑ハ細キ曲線狀ヲナス。

頭部光澤アリ唯前頭部ノ兩側少シク溷濁ス頭楯ノ前縁紫色ヲ帶ヒ其中央少シク彎入ス。不規則ニ稍ヤ細カキ點刻ヲ有ス頭ノ中央ハ弱ク隆起ス。

胸背板ハ側縁弧線狀ヲナシテ前方ニ狹窄シ紫色ヲ帶ベル側邊ハ前縁マデ明カニ縁取ラル點刻ハ上面小ニ側方ニ大ナリ然シ搔傷狀ヲナスコトナシ。側縁ニ沿ヘル細キ白帶ト略ボ七双ノ小白斑ヲ存ス。

稜狀板ハ強キ光澤アリ。長形ニシテ中央ニ弱キ隆線ヲ有ス。

翅鞘ハ光澤ナキ綠色ニシテ點刻甚ダ弱ク細點列ヲナス外肩ニ近ク半圓狀ノ淺キ點刻ヲ認メ得ベシ。白色斑ハ會合線ノ先端ニ近キ部分ヨリ左右ニ略直角ニ屈曲セル線狀ヲナシテ翅端隆起部ノ方向ニ達スルモノ及ビ側縁ノ中央ヨリ少シク下ノ部分ヨリ發スル屈折狀ノ線ヲナスモノ最モ著シク形ヲ異ニセル小斑紋ヲ散在ス。

尾節板ハ光澤無ク幅廣クシテ隆起スルコトナク僅少ノ白斑ヲ存ス。

下面ハ脚ト共ニ光澤アル紫黑色ニシテ胸部ニハ黃褐ノ細長毛ヲ有シ白斑ヲ散布ス。腹節ノ兩側ニハ小白斑アリ。雄ハ腹溝ヲ缺ク。前脛節ノ外齒ハ雌雄共ニ三個ナリ。

雄交尾器ハ幅廣ク鞘部ノ先端ハ外方ニ向ヒテ少シク鈍齒ヲ有ス。

予等ハ京都附近ニ於テ採取セラレタル四個ノ標本ヲ有ス。

かばいろはなむぐり(新種)

Potosia grisea Niijima et Matsumura n. sp.

Taf. V. fig. 7

產地 臺灣

體長 19—20 幅 11—12 mm.

黃褐色ニシテ光澤ナク體面ニ短刺毛ヲ有ス。下面及ビ脚ノ大部ハ光澤アル紫黑色ナリ。

頭楯ハ略四角形暗褐色前縁黑色ヲ帶ビ僅カニ上反シ中央淺ク彎入ス。點刻甚微細ニシテ略ホ認メ難シ。前頭ハ散在セル細點刻ヲ有シ眼ニ近ク黃褐毛ヲ存ス。

胸背板後縁角圓ク側縁細ク縁取ラル。中央滑カナル縦線アルモ前縁ニ達セズ。點刻ハ比較的小ニシテ各一個ノ黃褐色ノ短刺毛ヲ存ス。數個ノ淡色斑ヲ有ス。稜狀板ハ光澤無ク滑カナリ。

翅鞘ハ針搔狀ノ點刻アリ短刺毛ヲ生ス。翅鞘面ノ左右中央ヨリ翅端隆起ニ達スル細キ帶黑色隆線アリ。此黑色線ノ先端ニ近ク會合線ヨリ斜ニ翅鞘ノ側縁ニ達スル者ト黒線ノ上部ニテ側縁トノ間ニ連ナル淡色ノ斑

(178)

紋アリ、其他ニ散在セル多クノ斑點アリ。

尾節板ハ又密ナル搔傷狀ノ點刻ト短刺毛アリ、小ナル斑紋ヲ存ス。

下面ハ紫黑色ニシテ光澤アリ、胸部ノ兩側ニハ黄色ノ斑紋ト長黄色毛ヲ生ス、前中脚ノ基節ノ大部ヨリ腿節後基節ト腿節ノ前部ハ黄色斑ト長黄色毛ヲ存ス、腹節ノ兩側モ亦黄斑ト黄刺毛ヲ具フ、尾節ノ前節ノ斑紋殊ニ大ナリ。

本標本ハ主トシテ松村博士蒐收ノ本大學標本五個ニ由リタルモノニシテ予等ハ雌一個ヲ有ス。

本屬中記載アルモノニテ予等ノ檢シ得ザリシモノ次ノ如シ。

Potosia exasperata Fairm.

(Columbia) Ann. Soc. Ent. France, 1898, p. 386.

產地 Lin-Kiu: Oshima.

Potosia formosana Moser.

Ann. Soc. Ent. Belg. 1910, p. 357.

產地 Formosa.

Potosia famelica Jans. subsp. **Amurensis** Heyd.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1896, p. 285.

Reitter, Best.-Tab. (38) 1898, p. 58.

產地 Amur, Korea.

はいいろはなむぐり屬

Protoetia Burmeister.

頭楯單筒ニシテ前緣多少上反ス、胸背板ハ基部ノ兩側斜狀ヲナス、稜狀板ハ長形ニシテ先端尖ルコトナシ、翅鞘ノ中線刺狀突出スルカ或ハ銳角ヲナス、前脛節ハ二外齒ヲ有スルヲ常トス、中胸突起ハ短カクシテ幅廣シ、予等ノ檢シ得タル本屬ノモノハ一新種ノミナリ。

はいいろはなむぐり

Protoetia taiwana Nijima et Matsumura n. sp

Taf. II. fig. 4.

產地 臺灣

體長 14—15.5 幅 8—9 mm.

體色灰黒ニシテ光澤ナク光線ニヨリ小シク綠色又ハ銅色ヲ呈ス。胸背板及ビ翅鞘僅カニ細短ノ毛ヲ有ス。細カキ黃白色ノ斑紋アリ其翅鞘ノ兩側ニアル各二個ノモノ大ナリ。

頭部ハ光澤アル黒色ニシテ頭楯ハ略四角形ヲナシ小數ノ大ナル點刻ヲ有ス。唯其會線ニ近ク密ナリ。前頭部ハ中央ニ縦ノ光澤アル隆線ヲ有シ強キ點刻ヲ存ス。其他稍長キ白色ノ鱗毛アリ。

胸背板ハ前部ニ著シク狹擡セラレ上面圓味ヲ帶ブ。點刻ナシ。後緣角ハ又圓味ヲ帶ビ後緣ノ中央ハ強ク矢筈形ヲナス。中央縦線狀ノ部ヲ除キ小ナル多數ノ散點狀ノ黃白色斑紋ヲ有ス。後緣ノ兩側ニ線狀ノ黃白部アリ側緣ヨリ後緣ニ小數ノ鱗毛ヲ存ス。

稜狀板ハ稍ヤ長形ニシテ鈍ク尖リ點刻ナク基部ノ兩側ニ鱗毛ヲ有ス。翅鞘ハ會合線ノ先端棘狀ヲナシ鋭ク突出ス。黃白ノ斑紋ハ外側ニ沿ヒテ大ナル二個ト翅端ニ近ク群狀ヲナスモノ、外小數ノ散點狀ヲナスモノアリ。點刻ハ小數ニシテ淺ク半圓形ヲナス。

尾節板ハ甚ダ微細ナル殆ンド注意シ難キ針搔様ノ點刻ヲ有シ兩側ニ稍ヤ大ナル黃白斑ヲ具フ。其他ニ鱗毛ヲ散生ス。

下面ハ光澤アル黒色ニシテ胸部ニハ長キ白色鱗毛ヲ密生シ腹部ニハ兩側面ニ黃白色ノ斑紋アリ散在セル半圓形ノ強キ點刻上ニ白色鱗毛ヲ生ス。前脛節ノ外齒ハ二個ナリ。

此屬ニテ既ニ記載セラレタルモノ三種アルモ本種ハ形狀斑紋ニ於テ全ク異ナルモノアリ。予等ノ調査セル標本ハ田中芳男氏ノ補里社ニテ採收セル一個ノ外五個ノ松村博士蒐收ノモノナリ。

我國産ニシテ既ニ記載セラレタルモノ三種ハ予等未ダ之ヲ見ル能ハザリキ即次ノ如シ。

Protætia orientalis Gory et Perch.

(*Cetonia*) Mon. Cet. 1833, p. 57, 193, t. 34. f. 6.

Burm, Handb. Ent. III. 1842, p. 474.

産地 Japan, Formosa, China, Kaschmir, Himalaya.

Protætia spinosa Moser.

Ann. Soc. Ent. Belg. 1911, p. 122.

産地 Formosa.

Protætia culta Waterh.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1879, p. 247.

産地 Formosa: Kosenpo.

りうきはなむぐり属

Pyropotosia Reitter.

稜状板ハ先端ニ於テ鋭尖セズ前脛節ハ雄二雌三ノ齒ヲ有シ後脛節ハ二ノ端棘ヲ具フ。後跗節ハ簡單ナルモ平面ハ黄色ノ毛群ヲ有ス。中胸突起ハ扁平ニシテ前部幅廣シ雄ハ腹溝ヲ缺ク。

此属ニハ全體トシテ唯一種ノ記載セラレタルモノアルノミナルモはなむぐり属中ニ加ヘラレタルおほりうきはなむぐりモ性質上此属ニ入ルベキモノナルヲ以テ茲ニ移スコト、セリ。此兩種ハ形ノ大小ト胸背板ノ點刻ニ由リ區別シ得ベシ。

りうきはなむぐり

Pyropotosia pryeri Jans.

Taf. V. fig. 17.

(*Cetonia*) Ann. Mag. Nat. Hist. 1888, p. 195.

Schoch, Mitteil. Schweiz. Ent. Ges. IX, 1896, p. 387.

(*Potosia oshima*) Nonfr, Berl. Ent. Zeitschr. 1895, p. 293.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1896, p. 335.

Reitter (*Preyeri*), Best. -Tab. (38) 1898, p. 45.

産地 Liu-Kiu: Oshima.

琉球

體長 24—25 幅 13 mm.

體幅廣ク稍ヤ扁平ニシテ綠色光澤アリ。

頭楯ハ前縁上反シ中央少シク彎入シテ略ボ二片狀ヲナス。淺キ點刻ヲ有ス。前頭部ハ點刻少シク強シ。

胸背板ハ後縁角圓クシテ點刻中央ニ細カク兩側ニ強シ。中央ニ近キ兩側ニ群狀ノ點刻アリ。稜狀板ハ細長ニシテ滑カニ光澤強シ。

翅鞘ハ會合線ノ中央ノ兩側ヨリ先端ニ向テ凹入セル部アリ淺キ大形ノ點刻ヲ有ス。其他ノ點刻ハ略ボ一様ナリ。

尾節板ハ先端ニ近ク稍ヤ圓ク隆起シ強キ綠色光澤アリ。

下面ハ又光澤アル綠色ニシテ脚ハ稍ヤ紫色ヲ帶ブ。前脛節ノ外齒ハ雄ニ雌三ナリ。

雄ノ交尾器ハ滑カニシテ先端ニ短齒ヲ有セズ。

おほりうきはなむぐり(新稱)

Pyropotosia Lewisi Jans.

Taf. VI. fig. 12.

(*Cetonia*) Ann. Mag. Nat. Hist. 1838, p. 194.

產地 Liu-Kiu.

沖繩石垣島

體長 27 幅 15 mm.

大形ニシテ綠色光澤アリ雌ハ少シク扁平ナルモ雄ハ圓味ヲ帶ブ。最モヨクりうきはなむぐりに似テ形大ナリ。

頭楯ハ前縁明カニ縁取ラレ中央ニテ弱ク彎入ス。點刻稍ヤ強シ。前頭ハ中央ニ於テ弱キ縱隆起ヲ有シ散點ヲ存ス。

胸背板ハ著シク光澤アリ。後縁角ハ圓味ヲ帶ブ。上面中央ニ甚ダ微小ニ側方ニ大形ナル點刻ヲ有ス。

稜狀板ハ長形ニシテ先端尖ラズ點刻ナシ。

翅鞘ハ又強キ光澤アリテ稜狀板ノ周圍殆ンド滑カニシテ肩ノ内部及ビ前部ニ圓形ノ大ナル點刻ヲ有ス。會合線ノ兩側中央以下ノ部ニ於テ帶狀ニ窪ミヲ有ス。此上ニ淺キ馬蹄形ノ點刻ヲ有ス。翅鞘ノ先端ノ角度ハ銳

ナラズ。

尾節板ハ先端稍ヤ圓ク隆起ス。其兩側雌ニアリテ少シク窪ム。

下面ハ又濃綠色脚ハ銅紫色ヲ帶ブ中胸突起ハ扁平ニシテ前方ノ幅廣シ。前脛節ハ雄ニ雌三齒ヲ具フ。後跗節ハ雌ニ於テ雄ヨリ短カシ跗節ノ下面ニ存スル毛ハ短カシ。後脛節ノ内面ニ黃褐ノ稍ヤ長キ毛アリ。

雄交尾器ハ先端圓味ヲ帶ビ黃褐毛ヲ密生ス。

本種ハ同地方ニ産スルりうさうはなむぐりニ似ルモ形ノ大ナルト點刻ノ翅鞘上殊ニ稜狀板ノ周圍ニ少ナキト交尾器ノ構造全然相異ナルトニ由リテ區別シ得ベシ。

くろはなむぐり屬

Glycyphana Burm.

體細長ニシテ脚ハ稍ヤ短カシ。頭楯二片狀。前縁上反セズ。胸背板ハ短カクシテ後縁角圓味ヲ帶ブ。後縁ノ中央矢筈形ヲナサズ。稜狀板ハ細長形ニシテ側線弧線狀ヲナシ先端尖ラズ。前脛節ノ外齒ハ雌雄共ニ三個ナリ。後脛節ハ先端ニ強キ刺棘ヲ有ス。跗節ハ一般ニ短カシ。中胸突起ハ扁平ナリ。雄ハ腹溝ヲ缺ク。

本屬ニテ我國ニ知ラレタル二種アリ。一種臺灣産ノモノハ其標本ヲ得ル能ザリキ。

くろはなむぐり

Glycyphana fulvistemma Mots.

Taf. V. fig. 10.

Mots., Schrenck Reis. 1860, p. 135.

Waterh., Trans. Ent. Soc Lond, 1875. p. 114.

(*Glycetonis*) Reitt, Best.-Tab. (38) 1898, p. 44.

Kolbe, Arch. f. Natg. 1886, p. 196.

Kraatz, Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, P. 237.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1887, p. 199.

Fairm. Ann. Soc. Ent. Belg. 1887, p. 117.

松村松年, 日本千蟲圖解第三 p. 188. pl. 47. f 16

産地 Mongolia, Daurien, Japan, Korea.

京都、東京

體長 12—14 幅 7—8 mm.

黒色ニシテ上面絨毛狀下面光澤アリ。翅鞘ノ略ボ中央ニ白色ニ少シク淡褐ヲ帶ビタル横條形ノ不規則ナル輪郭ノ斑紋アリ。

頭部ハ頭楯ト共ニ淺キ大ナル點刻ヲ有ス。頭楯ノ前縁ハ彎入シ僅カニ上反ス。

胸背板ハ兩側縁ヨリ前縁ニ圓味ヲ帶ブ。上面ノ點刻ハ中央ヨリ兩側ニ向テ大形ヲナシ半圓狀ニシテ甚密ナラズ。二個ノ白色點斑ヲ有ス。側縁又同色ヲ帶ブルモノアリ。

翅鞘ニハ會合線及ビ上面ニ二個ノ縦隆線アリ。略ボ中央ニ外方幅廣ク内部互ニ分離セル白色或ハ淡褐ノ斑紋アリ。之ヨリ先方ニ尙一個ノ小斑ヲ有ス。

尾節板ハ幅廣ク二個ノ淡褐斑アリ。先端ニ近ク灰白ノ短毛ヲ存ス。

下面光澤アル黒色ニシテ後胸部及ビ腹部ノ各節ノ兩側ニ小淡褐紋アリ。

之ニ次ノ一變種記載セラル。

Glycyphana fulvistemma Mots. var. (*Euryomia*) **Sieboldi** Snell.

Vollenh. Tijdschr. Ent. 1864, p. 158.

此他ニ次ノ一種アリ。

Glycyphana incongrua Jans.

Cist. Ent., II. 1878, p. 388.

産地 Formosa.

こあきはなむぐり屬

Oxycetonia Arrow.

頭楯長形ニシテ前方ニ幅狭ク前縁深ク凹入ス。縁ハ反張セズ。胸背板ハ

基部幅廣ク稜狀板ノ前部矢筈形ヲナス。稜狀部ハ短カク基部幅廣ク先端稍ヤ尖銳トナル。翅鞘ハ肩部ノ下ニテ明カナル切込ミヲ有シ先端ノ角度ハ銳キモ伸長セズ。中胸部ノ突起ハ短カク前端圓味ヲ帶ブ。前脛節ハ強キ三齒ヲ有ス。後脛節ハ手指狀ヲナスコトナク刺棘ハ短カシ。下顎ハ細クシテ先端ニ長毛ヲ有ス。

こあをはなむぐり

Oxycetonia jucunda Falderm.

Taf. V. fig. 9.

(*Glycyphana*) Faldermann, Mém. Acad. Petr. II. 1835, p. 50.

(*G. argyrostra*) Burm. Handb. III. 1842, p. 360.

Krantz, (*Glycyphana*) Deutsch. Ent. Zeitschr, 1879, p. 235.

Heyden, Deutsch. Ent. Zeitschr. 1879. p. 347.

Kolbe, Arch. Naturg. 1886. p. 195.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1887. p. 199.

Reitter, Best.-Tab. 38, 1898, p. 35.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 407.

松村松年 (*Glycyphana*), 日本千蟲圖解第三 p. 88. pl. XLVII f. 15.

(*Glycyphana albosetosa*) Motschulsky, Etud. Ent. 1861, p. 9.

Waterhouse, Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 114.

産地 Nepal, Bengalen, Sikkim, Assam, Sibirien, Korea,

China, Californien, Japan; N. et S. Hiogo.

京都, 栃木, 岡山, 仙臺, 長崎, 高知, 別府.

體長 11—15 幅 6,5—9 mm.

上面光澤無キ綠色ニシテ毛ヲ生ズ。白色ノ斑紋ハ多カラズ。下面黑色ニシテ光澤ヲ有シ。多少黄毛ヲ密生ス。上面ノ毛ハ多キモノト殆ンド無キガ如キモノアリ。色モ甚變化多シ。

頭部ハ長形ニシテ小ナル點刻ヲ密ニ存ス。頭楯ノ前端ハ鈍ク二片狀ヲナス。

胸背板ハ強キ點刻ヲ稍不規則ニ散布シ短カキ褐色毛ヲ生ズ。側方ハ點刻縦ニ相聯ル側縁強ク彎曲ス。後縁ハ稍ヤ平カナルモ中央明カニ矢筈狀ヲナス。側縁ニ沿フテ白キ細帶ヲ存シ。上面ニ二個ノ細點ヲ具フ。

稜狀板ハ中庸ノ長サニテ先端尖ルモ銳尖ナラズ。

翅鞘ハ強キ點刻アル線條ヲ有シ兩側ニ強キ切込ミヲ存ス。先端節ハ稍ヤ銳シ又毛ヲ有ス。殊ニ先端ニ近ク多シ。多クハ小形ナル白色斑紋點アリ。其主ナルモノハ肩ニ一個外縁ヨリ先端ニ沿フテ四個其内中央ヨリ少シク前方ノモノ最大ニシテ短カキ一字形ヲナス。會合線ニ近ク先端ニ偏シテ一個其他細點狀ノモノ數個アリ。

尾節板ハ兩側ニ二個ツツノ白斑ヲ有ス。

下面ハ黑色光澤アリ。胸節ニ淡黄色毛ヲ生ズ。中胸突起ハ先端圓形ヲナシ稍ヤ長形ナリ。

前脛節ノ三齒ハ銳シ。後脛節ハ稍ヤ長形ニシテ其端棘ハ雄ニ於テ雌ヨリ短カシ。

此ノ種ハ最モ普通ナルモノノ一ニシテ我國ノミナラズ印度支那ニ産ス。其色及ビ斑紋ニ於テ多クノ變化アリ。予等ノ有スル標本ハ多數ナルモ胸背板ニ明カナル白色ノ帶縁ヲ有スルモノ甚少ナシ。斑紋ハ全ク之ヲ缺クモノ又毛ヲ有セザルモノアリ。斑紋ノ色モ稍ヤ黄色ヲナスモノアリ。本種ハ色澤斑紋ノ變化ニ由リ數種ノ變種ノ記載セラレタルモノアリ。其内我國ニ知ラレタルモノ次ノ如シ。

變種あかいろこはなむぐり(新稱)

Oxycetonia jucunda Fald. var. *ferruginosa* Reitt.

Reitter (*Gametis*), Best.-Tab. (38) 1898, p. 35,

基種ト斑紋ヲ同シクシ毛ヲ有ス。下面黑色ニシテ上面銅赤色ヲ帶ブ。朝鮮ニ産スルトシテ知ラレタルモノナルモ我國ニモ少ナカラズ。予等ノ有スル標本ハ長野縣産七個仙臺附近ノモノ一個ナリ。

本種ノ外こはなむぐり屬ニ屬スルモノ次ノ二種アリ共ニ予等ノ標本ヲ缺ク。

Oxycetonia costigera Bourgoin.

Bull. Soc. Ent. France 1915, p. 163.

產地 Japan.

Oxycetonia forticula Jans.

Cist. Ent. II. 1881, p. 638.

Schoch. Mitteil. Schweiz. Ent. Ges. 1896, p. 391.

產地 Japan, Formosa.

ほそはなむぐり區

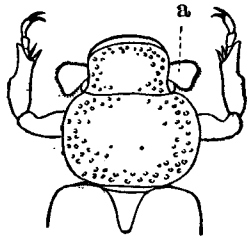
Cremastochilina

此内ニテ我國ニ記載セラレタル者唯一屬一種ノミ即チ次ノ如シ。

ほそはなむぐり屬

Callynomes Westwood

形著シク細長ニシテ前胸部略圓形ヲナス。頭部凸形ヲナシ眼ハ小形ニシテ口器ハ全ク下唇基節 (mentum) ノ下ニ隱サル。觸角ノ基節著大ニシテ



下唇基節ト前脚基節ト前側板トノ間ノ位置ヲ占充シ
靜止ノトキハ觸角ノ他ノ部分ヲ被覆ス(第十二圖a)。下
唇基節ハ甚大ニシテ扁平滑カナリ。頭部ノ腹面ヲ被ヒ
テ前脚基節ノ中間ニ及ブ。中胸突起ハ甚細ク明カニ基
節ノ間ニ突出セズ。脚ハ稍ヤ長ク前脛節ハ二小齒ヲ有
ス。跗節ハ四節ニシテ短カシ。體ノ最後ノ氣門ハ突出ス。

第十二圖

ほそはなむぐリノ頭及胸背
板 a 觸角ノ基節

本屬中我國ニ記載セラレタルモノ一種アリ。即チ朝

鮮産ノ一種ニシテ次記學名ヲ有スルモノナリ。予等ハ此屬ノ朝鮮産ノ標
本一個ヲ松村博士蒐集ノ大學標本中ニ見出スヲ得タリ。然ルニ予等ハ此
種ニ對スル原記載ヲ見ル能ハザルヲ以テ之ヲ確定シ得ザルモ元來甚稀
ナル種類ナルヲ以テ暫ラク此學名ヲ標本ニ當ルモノトシテ記載ヲナサ
ントス。

ほそはなむぐり

Callynomes obsoletus Fair. (?)

Ann. Soc. Ent. France, 1878 p. 108.

Kolbe, Arch. Naturg. 1886, p. 196.

産地 Korea.

朝鮮

體長 12 幅 5 mm.

黑色光澤アリ、翅鞘上ニ二双ノ小白斑ヲ有ス。

頭部ハ稍ヤ強キ不規則ナル點刻ヲ有ス。頭楯ハ幅廣クシテ側縁ヨリ前縁圓味ヲ帶ブ。下唇基節ハ心臟形ヲナシ光澤アリ。觸角ノ基節ハ三角形ヲナシテ眼ノ兩側ニ存ス。其縁ニ微細ナル短毛ヲ存ズ(第十二圖)。

胸背板ハ橢圓形ニシテ後縁角圓シ點刻稍ヤ強キモ密ナラズ。

稜狀板ハ先端甚鋭ク尖リ上面ニ點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ上面平カニシテ粗大ナル點刻アリ略中央ノ會合線ノ兩側ニ長方形ノ小白斑ト其他ニ二双ノ小點斑ヲ有ス。

尾節板ハ光澤アリ少シク圓ク隆起ス。

下面ハ黑色ニシテ光澤強ク小數ノ多ク半圓狀ヲナセル點刻ヲ存ス。前脛節ハ二個ノ鈍キ外齒ヲ有スル外後方ニ向テ鈍キ一齒ヲ存ス。跗節ハ四節ニシテ短カシ。

以上記載セル標本ハ本學昆蟲學教室ニ屬シ水原産一個雌ナリ。

第七節 とらはなむぐり亞科

Trichiinæ.

此亞科ハ最モはなむぐり亞科ニ近ク或ハ其内ノ一類トセラル。體緊實ニシテ外部はなむぐり亞科ノモノヨリ柔軟ナリ。脚細長ニシテ活潑ニ動カシ得ベシ。中胸部ノ側板ハ翅鞘ノ肩ト胸背板トノ間ニ達スルコトナシ。胸背板ノ基部ハ翅鞘ト密ニ會合セズ。即チ翅鞘ノ前部ハ稜狀板ト共ニ隆線ヲナシ胸背板ハ之ニ對シ靜置シ得ルモノトス。故ニ其胸部ヲ伸バシテはなむぐりノ類ヨリハ自由ニ之ヲ動カスコトヲ得ル。翅鞘ノ側縁ハ肩ノ下ニテ彎入セズ。

本亞科中我國ニ産スル屬ハ四アリ。即チ次ノ如シ。

I₁ 前脛節ノ外齒ハ三個ニシテ後脛節ハ後角ニ二齒ヲ有ス。

おほちやいろはなむぐり屬 *Osmoderma*.

I₂ 前脛節ノ外齒ハ二個ナリ後脛節ハ後角ニ一齒狀突起ヲ有ス。

II₁ 前跗節ノ第一ハ眞直簡單ニシテ脛節ノ端棘ヨリ短カシ。

III₁ 前脛節ハ内側ノ先端ニ一可動ノ刺棘ヲ有ス。雄ノ中脛節ハ強ク曲ル。

あしながはなむぐり屬 *Gnorimus*.

III₂ 前脛節ハ其内側ニ刺棘ヲ有セズ。雄ノ中脛節ハ眞直ナリ。

おほとらはなむぐり屬 *Paratrichius*.

II₂ 前跗節ノ第一節ハ少シク彎曲シ脛節ノ端棘ニ比シ雄ニテ長ク雌ハ短カシ。上面多少ノ毛ヲ生ス。

とらはなむぐり屬 *Trichius*.

おほちやいろはなむぐり屬

Osmoderma Serville.

前脛節ニハ三個ノ外齒ヲ有シ後脛節ハ後角ニ二ノ齒狀突起ヲ存ス。稜狀板ハ長三角形ニシテ尖ル。跗節ハ脛節ヨリ短カシ。雄ハ前跗節太クシテ其前四節ハ内方ニ棘狀ニ突起ス。頭楯ハ觸角ノ附着部ニテ瘤狀ニ張出ス。大形ニシテ黒褐色ヲナス。

おほちやいろはなむぐり(新稱)

Osmoderma opica Lewis.

Taf. VI. fg. 6.

Wien. Ent. Zeit. 1837, p. 94.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1887, p. 199.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 396.

産地 Tokio, Nikko, Chiuzeuji, Imaichi.

日光

體長 27 幅 13 mm.

體黒褐色ニシテ光澤アリ。胸背板上ニ二個ノ縦隆線ヲ存ス。

頭部黒色後頭部光澤アリ。頭楯長方形ニシテ表面窪ミ細微ナル皺刻アリ。前縁ハ平カニシテ著シク上反ス。前頭ニハ稍強キ點刻アリ。

胸背板ハ中央ヨリ少シク前方幅廣ク略六角形ヲナス。強キ點刻ヲ不規則ニ散布ス。中央ニ太キ二ノ隆條アリ其前方殊ニ隆シ。前縁ニ近キ左右ニ又瘤起アリ之等ノ間ハ少シク凹入ス。

稜狀板ハ長三角形ニシテ稍ヤ尖ル。

翅鞘ハ光澤アリ。少シク赤褐色ヲ帶ブ。上面平カニシテ不規則ニ散布セル點刻ト横皺トヲ有ス。翅端ニ近キ兩側ノ瘤起ハ明カナリ。

尾節板ハ黒色ニシテ光澤アリ。圓味ヲ帶ビ小ナル長形ノ點刻ヲ有ス。基部ニ近ク兩側ニ緩ニ窪メル部アリ。

下面ニハ強キ光澤アリ。脚及ビ觸角ト共ニ黒褐色ヲナス。

予等ノ標本ハ日光産一個ナリ。

本屬中予等ノ調査シ得ザル他ノ一種アリ。

Osmoderma barnabita Motsch.

Schrenk, Reise. 1860, p. 134, t. 9, f. 6.

Harold, Deutsche Ent. Zeitschr. 1878, p. 72.

産地 Tokio.

松村博士ハ本種ヲ樺太ヨリノ採取ニ記シ(Journ. Tohoku Imp. Agr. Univ.

1911, p. 120) 其和名ヲこあしながはなむぐりト稱セリ然ルニ本種ハ其形著シク大ニシテ脚ハ長カラズ故ニ此ノ和名ヲ有スル標本ハ本種ニアラザルカト思ハル。且ツ此標本本學昆蟲學教室ニ存セザルヲ以テ暫ク疑ヲ存ス。

あしながはなむぐり屬

Gnorimus Serv.

前脚脛節ノ外縁ニハ二齒ヲ有シ後脛節ハ後角ニ一個ノ齒狀ノ突起部ヲ有ス。稜狀板ハ短三角形ヲナシ先端圓シ。前跗節ノ第一ハ單簡ニシテ前脛節ハ一個ノ端棘ヲ有ス。上面ニ毛ヲ有セズ。雄ノ中脚ノ脛節ハ膝狀ニ曲リ前端ニ近ク幅少シク廣シ。跗節ハ先端ノモノ、外ハ下面ノ先端ニ毛群ヲ有ス。尾節板ハ其傾ムケル部分ニ於テ二ノ瘤起ヲ有ス。雌ハ殊ニ大ナリ。

此屬ノ甲蟲ニシテ我國ニ記載セラレタルモノ二種アリ。予等ハ其一種ヲ有シ別ニ二新種ヲ得タリ。

I₁ 翅鞘美黄色ヲナシ翅端ハ紫色ヲ呈ス。

たいわんとらはなむぐり *G. formosanus* n. sp.

I₂ 翅鞘ニ黄色部ナシ。

II₁ 翅鞘綠色ヲ帯ビ白點ヲ有ス。

あをあしながはなむぐり *G. viridiopacus*.

II₂ 翅鞘黑色ニシテ中央ニ二對ノ横線狀ノ斑紋アリ。

くろあしながはなむぐり *G. Otsukae* n. sp.

あをあしながはなむぐり

Gnorimus viridiopacus Lewis.

Taf. VI. fig. 2.

Wien. Ent. Zeit. 1887, p. 49.

Ann. Mag. Nst. Hist. 1887, p. 200.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 200.

產地 Tsushima, Chiuzenji.

日光飛彈天鹽上川樺太

體長 18—21 幅 9—10,5 mm.

體濃綠色ニシテ光澤アリ。翅鞘上ニ六對ノ白點ヲ有ス。體色稍紫色ヲ帶ブルモノアリ。頭部ハ綠黑色ニシテ大ナル點刻ヲ密ニ存ス。頭楯ハ長形ニシテ前縁上反シ中央ニ於テエグラレタル如ク彎入ス。

胸背板ハ光澤ヲ有シ側邊ノ中央ニ於テ角狀ヲナシ略六角形ヲ成ス。點刻甚密ナリ。中央ニ稍ヤ強キ縦ノ凹溝線ヲ有ス。三對ノ白點ヲ存ス。

稜狀板ハ半圓形ヲナシ又密ニ點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ綠色ニシテ少シク赤銅色ヲ帶ブ。上面ニ明ナル一個ノ縦隆線ヲ存ス。會合線縦隆線及ビ翅端ニ近キ瘤狀部ハ光澤ヲ呈シ他ハ溷濁ス六對ノ白色細點ヲ散布ス。

尾節板ハ綠黑色ニシテ黃褐毛ヲ有シ雄ハ圓味ヲ帶ビ雌ハ先端ニ於テ明ニ凹入ス。五個ノ白色斑紋ヲ存スルヲ常トス。

下面ハ綠色ヲナシ胸部ニ淡黃褐ノ毛ヲ生シ腹節上ニモ同様ノ毛ヲ散生ス。雄ハ腹部ノ中央ニ縦溝狀ノ窪ミヲ有シ脚ハ綠黒ニシテ光澤ヲ呈ス。觸角ハ基部ノミ綠黒ニシテ他ハ黑褐色ヲナス。

予等ノ調査セル標本中上川(神威古潭)産ノモノハ翅鞘著シク赤褐色ヲ帶ブ。

たいわんとらはなむぐり(新種)

Gnorimus formosanus Nijima et Matsumura n. sp.

Taf. I. fig. 14.

產地 臺灣

體長 18 幅 8,5 mm.

甚ダ美麗ナル甲蟲ニシテ翅鞘黃色ニ黑色ノ斑紋ヲ有シ翅端ニ紫色ヲ帶ブ。胸背板ニ短黃毛アリ。

頭部黑色ニ紫色ヲ帶ビ光澤ヲ有シ中央ニ縦凹線ヲ具フ。頭楯ハ前縁明カニ彎入シ強ク上反スルコトナシ。前頭ヨリ頭楯ニ縦皺狀ノ點刻ヲ有シ

細短ノ臥生セル黄色毛ヲ散生ス。

胸背板ハ黑色ニシテ前縁平カナリ。後縁ハ弧線狀ヲナシ明カニ縁取ラル。上面ハ密ニ微細ナル皺狀ノ點ヲ有シ稍ヤ密ニ太キ短黄毛ヲ生ズ。

稜狀板ハ甚ダ小形ニシテ黑色ヲナシ微細ナル僅少ノ短毛ヲ生ズ。

翅鞘ハ光澤ナク美ナル黄色ヲナシ肩及ビ中央部ニ黑色ノ大ナル斑紋ヲ有ス。先端部ノ會合線ヨリ外縁ニ瘤狀部ヲ中心トシテ赤紫色ノ斑紋ヲ有ス。

尾節板ハ黑色ニシテ雌ハ先端ニ近ク二箇ノ強キ隆起ヲ有シ其中間溝狀ニ凹入ス。上面ニ二箇ノ三角形ヲナセル黄色毛斑アリ。

下面ハ黑色ニシテ光澤アリ。胸部及ビ腹節ノ兩側面ニ黄色毛ヲ密生ス。脚ハ濃赤褐色ニシテ後脚ノ跗節ハ著シク長形ナリ。觸角ハ赤褐色ニシテ片狀部ハ前六節ト略ボ同形ナリ。

本種ハ松村松年氏ガ臺灣ニ於テ採收シタルモノニシテ只唯一箇ナリ。中脛節ハ甚シク彎曲セザルモ恐ラク本標本ガ雌ナルガ爲ナルベシ。

くろあしながはなむぐり(新種)

Gnorimus Otsukae Nijima et Matsumura n. sp.

Taf. VI. fig. 4.

産地 高知信濃大台ヶ原

體長 13—16 幅 8—9 mm.

光澤ナク黑色ニシテ翅鞘上ニ四個ノ稍長形ヲ成セル黄白色ノ斑紋アリ。尾節板ノ基部ハ細線狀黄白色ヲナス。

頭楯ハ前縁角圓ミヲ帶ビ前縁ノ中央彎入ス。前頭ヨリ後頭ニ細點刻ヲ有ス。

胸背板ハ略ボ六角形ヲナシ上面圓味ヲ帶ブ。點刻ハ不規則ニシテ散在ス。中央ハ縦線狀ニ凹ミ黄白色ノ線狀紋ヲ有ス。兩側縁ノ中央ヨリ後縁ニ沿ヒ黄白色ノ線狀黄白部アリ。後縁ハ稜狀板ノ前部ニテ厚ク縁取ラル標本ニヨリ全ク白色斑紋ヲ缺クモノアリ。

稜狀板ハ略半圓形ニシテ中央縱線狀ノ滑カナル部分ヲ除キ細キ點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ黑色ニシテ各側ニ二個ノ不明ナル縱隆線ヲ認メ得ベシ。點刻ハ淺クシテ線狀ニ排列スルモノ、外細小ナルモノヲ散在シ甚ダ細短ニシテ全ク注意シガタキ細毛ヲ生ズ。翅鞘ノ中央ニ近ク二對ノ橫線狀ヲナセル黃白色ノ斑紋アリ。

尾節板ハ上面ニ圓ク隆起セズ。細小ナル網狀ノ點刻アリ。後縁ニ沿ヒテ黃白色ノ縁狀ノ斑紋アリ。

下面ハ光澤アル黑色ニシテ淺キ半圓形ノ點刻ト細カキ褐色毛ヲ存ス。後基節ニハ黃白色ノ斑紋ヲ有シ。腹節ノ第一、二、三節ハ兩側ニ小ナル黃白色ノ斑紋ヲ有ス。

予等ノ調査シタル標本ハ皆雌蟲ノミニテ五個中三個(大塚鐵夫氏採集)ハ本學ノ昆蟲學教室ニ屬スルモノナリ。

予等ノ檢シ得ザリシ既記載ノ一種次ノ如シ。

Gnorimus subopacus Motsch.

Schrenk, Reise. 1860, p. 135, t. 9, f. 5.

Waterhouse, Trans. Ent. Soc. Lond, 1875, p. 115.

Lewis, Ann, Mag. Nat. Hist. 1837, p. 200.

產地 Chousan, Tsushima, Sapporo.

とらはなむぐり屬

Trichius Fabricius.

前脛節ハ外側ニ二齒ヲ有ス。前跗節ノ第一節ハ其形狀雄ハ脛節先端ノ刺棘ヨリ長ク雌ハ短カシ。少シク彎曲シ先端稍ヤ外方ニ伸長ス。全體又ハ翅鞘ノ外ノ部分ニ長キ毛ヲ具フ。

本屬中調査シ得タル種類ハ次ノ如シ。

- I₁ 翅鞘黃色ニ黑色ノ橫帶ヲ虎斑狀ニ存ス。
- II₁ 翅鞘ノ黒斑明カナル輪劃ヲ有ス。
- III₁ 翅鞘ノ黒斑大ニシテ其中央ノモノ會線ニ向テ尖ル。

とらはなむぐり *Tr. japonicus*.

III₂ 翅鞘ノ黒斑大ナラズ中央ノモノ尖ラズ。

ことらはなむぐり *Tr. fasciatus*.

II₂ 翅鞘ノ黒斑ハ輪割不明ナリ。

IV₁ 翅鞘ノ黄條明カニ會合線ニ直角ニ存ス先端ノ黒斑大ニシテ會合線ニ達ス。
ひめとらはなむぐり *Tr. abdominalis*.

IV₂ 翅鞘ノ黄條線明カニ會合線ニ直角ヲナサズ先端ノ黒斑ハ著シク大ナラズ。
てうせんひめとらはなむぐり *Tr. succinctus*.

I₂ 翅鞘黒色ニシテ十二ノ白斑ヲ有ス。

十七ぼしはなむぐり *Tr. 17-punctatus*.

とらはなむぐり

Trichius japonicus Janson.

Taf. VI. fig. 8.

Cist. Ent. Pars. XXIX. III, 1885, p. 139.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1887, p. 200.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist, 1903, p. 392.

松村松年, 日本千蟲圖解第三 p. 95. pl. 48. 10. 合

Matsumura, Journ. Coll. Agr. Tohoku. Imp. Univ. 1911, p. 120.

産地 Nikko, Sapporo.

札幌, 定山溪, 樺太

體長 14—15 幅 7.5—9 mm.

體黒色翅鞘黄色ニシテ三個ノ黒紋ヲ有ス胸背板ニハ黄色ノ毛ヲ密生ス。

頭部ハ黒色ニシテ淡黄色ノ長毛ヲ有ス頭楯長クシテ前方ニ幅狭ク前縁ハ稍ヤ彎入ス上面ニ淺キ小點刻ヲ密布ス眼ハ大形ニシテ突出ス。

胸背板ハ上面圓味ヲ帯ビ細點刻ヲ散布シ長キ黄色毛ヲ密生ス。

稜狀板ハ小ニシテ又黄色毛ヲ有ス。

翅鞘ハ黄色ニシテ標本ニ由リ光澤ヲ有ス僅少ノ短毛ヲ有ス外縁ニ近ク三個ノ黒紋アリ其先端ニ近ク翅鞘癒起部ヲ中心トシテ存スルモノ楕

圓形ニシテ大ナリ。條線ハ五個アルモ判然セズ。

尾節板ハ先端ニ近ク著シク隆起シ黄色ノ毛ヲ密生ス。其前節ニハ殊ニ長キ毛ヲ存ス。

下面ハ黑色ニシテ又淡黄色ノ長毛ヲ存ス。腹ノ第四節ニハ兩側面ニ淡黄ノ斑紋ヲ有スルモノアリ。脚及ビ觸角又黑色ヲナス。

予等ノ標本ハ最多ク江崎、今田、田畑三氏ニ由リテ樺太ニテ採取セラレタルモノナリ。

ことらはなむぐり

Trichius fasciatus Lin.

Taf. VI. fig. 1.

Waterh., Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 115.

Reitt., Best.-Tab. (38) 1878, p. 84.

産地 Yesso, Europa, Kaukasus.

東京、京都、天鹽、北見、根室

體長 12—14 幅 7—8 mm.

最モヨクとらはなむぐりに似ル。唯形少シク小ニシテ翅鞘上ノ黒斑又小ナリ。

頭部ヨリ胸背板ハ殆ントとらはなむぐりと異ルコトナシ。唯頭上ノ黄色毛ハ標本ニヨリ著シク密ナル者アリ。

翅鞘ハ幅少シク狭クシテ光澤ナク黄色ニシテ三個ノ黒色斑紋ヲ有ス。其中央及前方ノ二個ハ著シク前種ヨリ小ナルヲ常トス。

尾節板ノ隆起ハ前種ノ如ク著シカラズ。

本種ハ歐洲ヨリ我國ニ産スル普通種ナリ。

ひめとらはなむぐり

Trichius abdominalis Ménétr.

Taf. VI. fig. 20.

Cat. rnis. 189. 825.

(194)

Lewis, Cat. Col. Jap. No. 10, 26.

Reitt, Best.—Tab. (38), 1898, p. 84.

松村松年, 日本千蟲圖解第三 p. 98. pl. 49 f. 98 ♀

産地 Japan, Umgebung des Kapischen Meeres.

東京, 京都, 札幌, 定山溪

體長 10—12 幅 5—6 mm.

體黑色ニシテ翅鞘上ノ虎斑淡シ。尾節前ニ存スル毛ハ灰白ナリ。

頭部ハ黑色ニシテ黒褐ノ刺毛ヲ多ク存ス。頭楯ノ前縁ハ彎入シ前縁角ハ圓シ點刻細小ナリ。

胸背板ハ稍ヤ散布セル點刻ヲ存シ, 黑色ノ刺毛ニ黄色細毛ヲ交ユ。中央ニ淺キ縦溝ヲ存ス。

稜狀板ハ長形ニシテ黄白色ノ毛ヲ密生ス。

翅鞘ハ黑色光澤ヲ有シ。二條ノ淡黄横帶ヲ存シ底部モ亦同色ナリ。

尾節板ハ光澤アル黑色ニシテ細點刻ト黑色刺毛ヲ多ク生ズ。其ノ前節ノ後縁ニ近ク灰色又ハ淡黄ノ長毛ヲ群生ス。

下面ハ黑色ニシテ後胸及ビ脚ノ腿節ニ淡黄ノ長毛ヲ密生ス。脚ハ黑色ニシテ觸角ハ濃褐色ナリ。

てうせんひめとらはなむぐり(新稱)

Trichius succinctus Pallas.

Taf. VI, fig. 23.

Iconogr. Ins. p. 18, 19. t. A. f. 19.

Burmeister, Handb. Ent. III 1842, p. 758.

Kolbe, Archiv, f. Naturg. 1836, p. 196.

Arrow, Ann. Mag Nat. Hist. 1913, p. 396.

産地 Korea, Ostsibirien, Daurien, Amur, Ins. Askold.

朝鮮(五防)

體長 10—11 幅 6—6,5 mm.

光澤アル黑色ニシテ頭及ビ胸背板ハ毛ヲ有ス。ひめとらはなむぐりニ

似テ更ニ小形ナリ。

頭部光澤アル黑色ニシテ細點刻ヲ有ス。頭楯ハ側縁圓味ヲ帶ビ前縁彎入ス。前頭ハ強キ黑色刺毛ヲ有シ灰白毛ヲ交ユ。

胸背板ハ殆ンド半球狀ヲナシ又細點刻ヲ稍ヤ密ニ存ス。黑色刺毛ト灰白毛ヲ密生ス。白色毛ハ後縁ニ近ク長クシテ密ナリ。

稜狀板ハ黑色ニシテ稍ヤ長形ナリ。長キ灰白毛ヲ存ス。

翅鞘ハ光澤アル淡黃褐ニシテ黑褐ノ三横斑ヲ有ス。ブルマイターノ記載ニハ地色ハ黑クシテ稜狀板ノ側邊會合線及ビ二ノ外縁ニ達スル横條ハ淡黃褐ヲナストアルモ此ノ種ニ近キ他ノモノノ斑紋ヨリ考フレバ黄色ヲ基調トスルヲ至當トナスガ如シ。之等ノ斑紋ハ輪割不明ナリ。上面細點刻ヲ散布シ黑色部ニハ黑毛、淡黃部ニハ白毛ヲ生ズ。

尾節板ハ黑色ニシテ長毛ヲ生ジ細點刻ヲ有ス。其前節ノ後縁ハ白色ヲナス。

下面及ビ脚ハ又細點刻ヲ存シテ毛ヲ具フ。

予等ハ内田氏採取ノ標本四個ヲ檢スルヲ得タリ。

十七ほしはなむぐり(新稱)

Trichius septemdecimpunctatus Snellen, s. Voll enhoven.

Taf. VI, fig. 25.

Tijdsch. Ent. Nederl. 1864, p. 159.

Waterhouse, Trans. Ent. Soc. London, 1875, p. 115. pl. III f. 8

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1837, p. 210.

産地 Tomatsu near Nagasaki.

日向, 豊後, 熊本

體長 14 幅 6,5 mm.

體黑色ニシテ胸背板ニ三個、翅鞘上ニ十二個、尾節板ニ二個ノ白色斑紋アリ。

頭部黑色ニシテ長形細カクシテ淺キ點刻ヲ密ニ存ス。頭楯ノ前縁ハ厚クシテ少シク彎入シ上反ス。

胸背板ハ側縁ノ中央ヨリ後縁半圓形ヲナシ。後縁ハ縁取ラル。上面ニ小字形ニ排列セル黃白斑アリ。後縁角ニ沿ヒ又縁狀ニ同色ノ部分アリ。

稜狀板ハ半圓形ニシテ光澤ヲ有シ明カナル細點刻ヲ存ス。

翅鞘黑色ニシテ光澤無ク大小十二個ノ白色又ハ黃白ノ點斑アリ。即チ稜狀板ノ兩側ノモノノ外ハ各側ニノ位置ニ排列ス。

尾節板ハ瘤狀ニ隆起シ大ナル黒白色ノ斑紋ヲ兩側ニ存ス。

下面ハ長キ脚ト共ニ黑色ヲナシ細毛ヲ有ス。側方ニ列狀ヲナシ胸部ノ後脚ノ基節及ビ腹節ニ白色斑紋アリ。觸角ノ片狀節ハ黒褐色ニシテ著シク長シ。

ウオーターハウスハ雌雄ノ關係ナク赤色ヲ呈スルモノアルヲ記載セルガ予等ノ調査セル標本ニモ又著シク美赤色ノモノ一個アリ。但シ予等ノ調査セルハ八個ニシテ皆本學昆蟲學教室所屬ノモノナリ。

おほとらふこがね屬

Paratrichius Janson.

前脛節ノ内側ニ刺棘ヲ存セズ。外縁ニ二齒ヲ有ス。後脚ハ外角小齒狀ニ突出ス。前脚ノ第一附節ハ簡單ナリ。頭楯ハ雄ニ於テ前縁著シク上反ス。觸角十節片狀節四個ニシテ雄ノモノ著シク長シ。美ナル甲蟲ニシテ上面ニ毛ヲク色斑ヲ具フ。

本屬ニハ本邦産二種ヲ有ス。予等ハ其内一種ヲ得タリ。

おほとらふこがね

Paratrichius Doenitzi Harold.

Taf. VI, fig. 3.

(*Gnoricus*) Deutsche Ent. Zeitschr. 1879, p. 366.

Lewis, Ann. Ent. Zeit. 1887, p. 49.

(*P. longicornis*) Janson, Cist. Ent. 1881, II. p. 611. pl. XI, f. 1.

Lewis, Ann. Mag. Nat. Hist. 1895, p. 406.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 396.

松村松平, 日本千歳圖釋第三 p. 99. pl. XI. VIII 18 号

産地 Yunots, Oyayama, Ontake, Nihozan, Wadatōge, Jesso.

高知, 信濃

體長 14 幅 7 mm.

體黑色ヲナシ翅鞘上ノ周縁赤色ニシテ中央ニ二個ノ黄白色ノ横線紋アリ。

頭楯ハ全部又ハ周邊黄褐色ニシテ前縁著シク上反シ表面凹陷ス。頭ノ上面ハ黑色ニシテ細毛ヲ具ヘ。四個ノ小黄白色ノ斑紋アリ。

胸背板ハ黑色ニシテ散布セル細毛ト點刻ヲ有ス。周縁, 中央縦線, 及ビ兩側面ノ屈線狀斑ハ黄白色ナリ。

稜狀板ハ小ニシテ略半圓形ヲナシ赤褐色ナリ。

翅鞘ハ明カナル條線ヲ有シ黑色ニシテ周縁及ビ會合線ニ沿ヒ赤色ヲナシ中央ニ二ノ黄白色ノ横紋アリ下方ノモノハ屈線狀ヲナス。

尾節板ハ中央ニ小形ノ黑色部ヲ殘スノミニシテ殆ント全部黄白色ヲナス。褐色ノ細毛ヲ有ス。

下面ハ大部黄白色ニシテ毛ヲ有ス。尾節ハ黑色ニシテ兩側面ニ二個ノ小斑ヲ有ス。

脚及ビ觸角ハ黄褐色ナリ。雄ノ觸角片狀節ハ長クシテ柄部ノ略二倍ナリ。

本屬中ニ予等ノ調査シ得ザリシ次ノ一種アリ

Paratrichius duplicatus Lewis.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1815, p. 406.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 393.

産地 Oshima.

第八節 ひらたはなむぐり亞科

Valginae.

體小形ニシテ稍ヤ扁平ナルヲ常トス。體面ニ鱗毛ヲ有ス。鱗毛ハ幅廣クシテ密着スル者アリ或ハ長形ニシテ上向スルモノアリ。頭部細長ニシテ下面ニ屈曲スルコトヲ得上面ヨリハ胸背板ノ前部ニ隠サレテ見ル能ハス。胸背板ハ翅鞘ヨリ幅狭ク後縁ハ中央ニ於テ矢筈形ヲナスコトナク後縁角ハ圓味ヲ帶ブ腹部ノ環節ハ相合着セズ脚ノ爪ハ簡單ニシテ同長ナリ。翅鞘ハ外縁ニ彎入セル部ヲ有セズ。腹部ノ尾端ノ二節ハ背面ニ於テ翅鞘ノ外ニ現ハル。尾節ノ側方ニハ膜狀ヲナシテ突出セル氣孔ヲ具フ。後脚部基節ハ中央ニ於テ廣ク相離ル。後跗節ノ第一ハ次ノ二或三節ヲ合セタルモノト同長ナリ。

我國ニ産スルモノニシテ此ノ亞科ニ屬スルモノ四屬アリ即チ次ノ如シ。

- I₁ 前脛節ニ三個ノ外齒ヲ有ス雌ノ尾節板ノ先端ニ棘狀ヲナセル突起ヲ有ス。 とげひらたはなむぐり屬 *Valgus*.
- I₂ 尾節板ノ先端ニ突起ナシ。
- II₁ 脚ノ中基節ノ間ニ突起ナシ。
- III₁ 頭楯ハ前縁ニ向テ狹搾ス。 おほひらたはなむぐり屬 *Chromovalgus*.
- III₂ 頭楯ハ前部狹搾セズ。 ひらたはなむぐり屬 *Dasyvalgus*.
- II₂ 脚ノ中基節ノ間ニ突起ヲ有ス。 はいぼばるがす屬 *Hypovalgus*.

ひらたはなむぐり屬

Dasyvalgus Kolbe.

前脚ノ脛節ハ五個ノ外齒アリ其第一及ビ第三(先端ヨリ數フ)ハ大形ニシテ第四ハ甚小ナリ。跗節ノ第一ハ第二ヨリ長シ。胸背板ハ翅鞘ヨリ幅狭クシテ背面ニ二ノ隆條ヲ存ス。尾節ノ前節ノ氣孔ハ後縁ニ近ク管狀ヲナス。尾節板ハ球面狀ニ隆起シ幅廣シ。雌ハ尾節ノ棘狀突起ヲ有セズ。

我國ニ産スルモノニ種アリ其内一種ハ之ヲ缺ク。

ひらたはなむぐり

Dasyvalgus angusticollis Waterh.

(*Valgus*) Trans. Ent. Soc. London, 1875, p. 115.

Arrow, Ann. Soc. Nat. Hist. 1913, p. 396.

松村松年(*Valgus*) 千歳圖解第三 p. 81, pl. 47. f. 4.

産地 Japan, All the islands, including Tsu-shima.

東京, 京都, 大阪, 仙臺

體長 5.5 幅 3 mm.

黑色小形ヲナシ翅鞘ノ上面平カニシテ光澤アリ。

頭黑色ニシテ少シク褐色ヲ帶ブ頭楯ハ前縁平カニシテ點刻上ニ甚ダ短細ナル黄褐毛ヲ有ス。

胸背板ハ稍ヤ長形ニシテ中央ニ縦ノ鋭キ二隆線アリ、之ト側縁トノ間ニモ亦一小隆線アリ。點刻ハ稍ヤ大ナリ。灰白ノ鱗毛ヲ存ス。

稜狀板ハ細長ニシテ先端尖ル。

翅鞘ハ長サ僅カニ幅ヨリ大ニテ兩側略ボ並行ス。第二間室ノ稜狀板ニ近キ位置ニ於テ黑色ノ鱗毛ヨリ成レル點斑アリ。第三間室ニハ先端ニ近ク同様ノ斑紋ヲ存ス。先端ニハ白斑アリ。或ハ翅鞘基部ト先端ニ近ク黑色鱗毛ノ帶狀ヲナスモノアリテ其間ニ僅少ノ白色鱗毛ヲ存ス。

尾節板ハ黑色ニシテ幅廣ク兩側ニ白色鱗斑ヲ具フ。

跗節ノ第一ハ長ク第二ハ其半ナリ。

予等ノ研究シ得ザリシ他ノ一種ハ次ノ如シ。

Dasyvalgus formosanus Moser.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1915, p. 518.

産地 Formosa.

とげひらたはなむぐり屬

Valgus Scriba.

雌ハ其尾節板ニ眞直ニシテ尖リタル長形ノ突起ヲ有ス。其上部ハ重鋸齒狀ヲナス。前脚ノ脛節ハ五個ノ外齒ヲ有シ。其第一三及ビ五ハ大形ナリ。此屬ニ加フベキ我國ノ種類ハ唯次ノ一種アルノミナリ。

とげひらたはなむぐり(新稱)

Valgus tuberculatus Lewis.

Taf. I. fig. 17.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1887, p. 201.

Arrow, (*Dasyvalgus*) Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 336.

産地 Fukushima, Usuitoge.

秩父高野山

體長 7.5—8 幅 4 mm.

體赤褐色ヲナシ少シク光澤ヲ帶ビ黄色ノ鱗毛ヨリ成レル小斑アリ。胸背板及ビ尾節板前縁ニ鈍キ棘狀ニ突起スル鱗毛群アリ。

頭楯赤褐色ニシテ前縁ノ兩側少シク突出シ上面ニ細鱗毛アリ。前頭ハ稍ヤ黑色ヲ帶ビ大形ノ黄色鱗毛ヲ生ズ。

胸背板ハ長形ニシテ黄色ノ鱗毛ヲ存ス。中央ノ二個ノ縦隆線ハ著シクシテ其中央ヨリ少シク後部ニ上立セル黑色鱗毛ノ一双ノ棘狀ヲナスモノアリ。之ト側縁ノ間ニ又低キ一鱗毛群ヲ存ス。後縁ニ近ク四個大ナル棘狀鱗毛群アリ。

棘狀板ハ細長ニシテ黑色ヲナシ黄色鱗毛ヲ具フ。

翅鞘ハ略四角形ヲナシ赤褐色ニシテ大ナル點刻ヲ密布ス。中央及ビ稜狀板ノ兩側ニ横條ヲナセル黄色鱗毛斑ヲ存シ其間及ビ後方ニ黑色鱗毛ヲ具フ。

尾節板ハ黄鱗毛ヲ散生シ兩側ニ黄斑ヲ存シ先端ニ短棘狀ニ突出セル鱗毛群ヲ有ス。其前節ニハ中央ニ二個ノ黄鱗毛ノ棘狀突起アリ。兩側ニ近

ク後縁上ニ二個ノ太キ鱗毛ヲ存セザル短棘ヲ有ス。

前脛節ノ外齒ハ明カニ第一第三第五ノ三齒ヲ存ス。下面ハ黑色ニシテ灰黄色ノ鱗毛ヲ存ス。

おほひらたはなむぐり屬

Chromovalgus Kolbe.

前脚ノ脛節ハ五個ノ外齒ヲ有シ其第三及ビ第五大形ナリ。頭楯ハ前端甚狭ク圓錐形ヲナス。雌ノ尾節板ニ棘狀突起ヲ有セズ。

我國ニ二種ノ記載セラレタルモノアリ。予等ハ其内一種ヲ檢スルヲ得タリ。

おほひらたはなむぐり

Chromovalgus fumosus Lew.

(*Valgus*) Ann. Mag. Nat. Hist, 1887, p. 201.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. 1913, p. 396.

産地 Junsai, Fukushima, Ontake, Chiuzenji.

岩手, 米澤, 青森

體長 8.5 幅 4 mm.

體黑色翅鞘ノ基部ニ ω 形ノ黄褐紋アリ。尾節板ノ前節ニモ又同色ノ横紋アリ。

頭部黒褐深キ點刻ヲ有ス。頭楯ノ前縁ハ明カニ彎入ス。

胸背板ノ縦隆線ハ強ク鋭クシテ點刻粗大ナリ。縦隆線ノ中間及ビ基部ニ近ク白色細鱗毛ヲ有ス。

稜狀板ハ小ニシテ僅少ノ褐色鱗毛アリ。

翅鞘ハ黑色上面平カニシテ平面ノ側方少シク隆起ス。稜狀板ノ兩側ヨリ會合線ヲ圍ミテ ω 形ノ黄褐斑紋アリ。點刻ハ粗大ニシテ密ナリ。

尾節板ハ先端ヤ、尖リ中央ニ褐色鱗毛ノ一隆條ヲ有ス。尾節板ノ前節ハ後縁ニ沿ヒテ黄褐鱗毛ヨリ成レル帶狀斑アリ。

(202)

前脚ノ脛節ノ外齒ハ下方ノモノト中央ノモノ最大ナリ。下面及ビ脚ニハ灰色ノ鱗毛ヲ有ス。

予等ノ調査シ得ザリシ他ノ一種ハ次ノ如シ。

Chromovalgus lætus Arrow.

Ann. Mag. Nat. Hist 1913, p. 408.

産地 Leo Choo Is: Oshima.

はいぼぼるがす屬

Hypoalgus Kolbe.

小形ニシテ(10 mm. 以下)中胸部ニ於テ基節ノ間ニ突起ヲ有ス。本屬ノ種類ハ唯一個我國ヨリ記載セラレタルモノアリ。予等ハ此標本ヲ得ル能ハザリキ。

Hypoalgus thoracicus Moser.

Ann. Soc. Ent. Belg. 1911, p. 121.

産地 Formosa.

第九節 かぶとむし亞科

Dynastinae.

胸背板ノ前縁ハ瘤狀ニ隆起シ長キ立毛ヲ存ス。上顎ハ片狀ヲナシ往々鋸齒狀ヲ呈シ上部ヨリ見ルヲ得ベシ。觸角ノ片狀節ハ雌雄形ヲ同ジクシ静止ノトキ橢圓形ヲナス。

本亞科ニテ我國ニ知ラレタルモノ次ノ四屬アリ。

I₁ 頭部ニ長大ナル枝角狀ノ突起ヲ有ス。後脚跗節ノ第一節ハ次節ト同形ナリ。 かぶとむし屬 *Xylotrupes*.

I₂ 頭部ニ枝角狀突起ナシ後脚ノ跗節ノ第一節多少三角形ヲナス。

II₁ 前胸ノ腹片ハ前基節ノ後部ニテ高キ突起ヲナサズ。

III₁ 中後脛節ハ次第ニ幅少シク増シ先端掌狀又ハ齒狀ヲナス。

たいわんかぶとむし屬 *Oryctes*.

III₂ 中後脛節ハ先端ニ急ニ太サヲ加ヘ冠狀ノ刺棘ヲ有ス。

こかぶとむし屬 *Phileurus*.

II₂ 前胸ノ腹片ハ前基節ノ後部ニテ突起ヲナス。後脛節ハ狹窄セス。

くろまるこがね屬 *Alisonotum*.

かぶとむし

異名 さいかちむし

Xylotrupes dichotomus Lin.

Burmeister, Handb. Ent. V. p. 265.

Harold, Abh. Brem. 1875, p. 292.

Waterh. Trans. Ent. Soc. London. 1875, p. 113.

Heyden, Deutsch Ent. Zeitschr. 1879, p. 316.

Schönfeld, Ent. Nachr. 1884, p. 49. tab. f. 5

Arrow, Ann. Soc. Nat. Hist. 1913, p. 396

松村松年, 日本千蟲圖解第三 p. 76. pl. 46. f. 5

産地 China, Darjeeling, Japan; Hiogo etc.

東京熊本

體長 38—53(角狀突起ヲ除ク) 幅 19—27 mm.

最モ普通ニ知ラレタル甲蟲ニシテ雄ハ頭部ニ於テ大形ナル角狀ノ突起ヲ有シ胸背板ニ是レヨリ小ナル前向セル角狀突起ヲ有ス。

頭部ハ雄ニ於テ大ナル角狀突起ヲ有ス其ノ先端ハ二重ニ分岐ス雌ハ之ヲ缺キ前頭ニ三箇ノ短棘狀突起ヲ具フ頭楯ノ兩側ニモ各一突起アリ。

胸背板ハ雄ハ前縁ニ近ク枝狀ノ突起ヲ有シ上面ニ微細ナル顆粒ヲ存ス雌ハ前縁ニ近ク窪ミヲ存シ強キ點刻ヲ密附ス。

翅鞘ハ縱隆線ナク雄ハ光澤アリ雌ハ點刻ト細キ淡褐色毛ヲ密附ス。

下面ハ光澤アリ胸部ニ細褐毛ト細點刻トヲ存ス前胸部ノ基節後方ニ存スル突起ハ雄ハ前端平カニシテ雌ハ分叉ス。

本種ハ其ノ大サニ於テ著シキ變化アリ。

こかふとむし

Phileurus chinensis Falderm.

Taf. VI, fig. 7.

Mém. Ac. Petr. ii. 1835, p. 370.

Waterh. Trans. Ent. Soc. Lond. 1875, p. 113.

Arrow, Ann. Soc. Nat. Hist. 1913, p. 396.

松村松年, 日本千蟲圖釋第三 p. 75. pl. 46. f. 4.

產地 China, Japan.

東京

體長 20—22 幅 10—11 mm.

體黑色ニシテ光澤アリ雄頭部ニ上向セル短カキ角狀突起ヲ存ス。

頭部光澤ヲ有シ雄ハ頭楯ノ中央ニ於テ上向セル稍ヤ平タキ分岐セザル角狀突起ヲ有ス雌ハ同ジ位置ニ短カキ突起ヲ存ス。

胸背板ハ中央ニ大ナル橢圓形ノ窪ミヲ有シ其ノ内部ニ大形ノ點刻ヲ具フ雌ハ此ノ凹陷部小ナリ。

翅鞘ハ大約十二箇ノ淺キ縱溝狀ノ點線ヲ有ス中間帶ハ殆ンド點刻ヲ

缺ク。

下面ハ光澤ヲ有シ僅少ノ褐色毛ヲ生ズ。前基節ノ後方ニ存スル突起ハ甚ダ小ナリ。

たいわんかぶとむし

Oryctes rhinoceros Lin.

(*Scarabaeus*) Syst. Nat. I. 1758, p. 346.

Burmester, Handb. Ent. V. 1847, p. 202.

Arrow, Fauna of British India, I. 1910, p. 278.

松村松年 臺灣甘蔗害虫編明治四十三年 p. 64. f. 26. 1.

産地 Ceylon, Sumatra, Philippine Is., Formosa, Korea, etc.

臺灣(臺南)琉球(石垣島)

體長 39—47 幅 18—22 mm.

體黒褐色ニシテかぶとむしニ似ル。頭部ノ角狀突起ハ長カラズ。胸背板ニハ突起ナシ。

頭楯ニハ雄ニ大約一分五厘ノ長サヲ有スル角狀突起ヲ有ス。其先端ハ分岐スルコトナク圓味ヲ帶ブ。雌ノ突起ハ少シク短小ナリ。

胸背板ハ長サ其ノ幅ト略ボ同ジクシテ周圍強ク縁ドラル。前縁ヨリ中央部ノ後方ニ略ボ橢圓形ヲナセル凹陷部ヲ存ス。其内部ハ粗糙ナリ。凹陷部ノ後方ハ二箇ノ短カキ突起狀ヲナス尙ホ前縁角ニ接シ左右ニ長形凹陷部ヲ存ス。陥没部ノ外ハ滑カニシテ光澤ヲ有シ只微細ナル點刻ヲ存ス。稜狀板ハ粗糙ニシテ外縁ノミ滑カナリ。

翅鞘ハ密ニ強キ點刻ヲ有シ三對ノ縦隆線ヲ具フ。

前脚ノ脛節ハ四箇ノ外齒ヲ有ス。其ノ中先端ノ一箇ハ小ナリ。中脛節ハ後脚ノモノヨリ短シ。

本種ハ印度ノ各地ニ普通ニシテ又朝鮮ニ産ス。予等ハ臺灣産ノ外新タニ琉球石垣島ノ標本二個ヲ得タリ。

くろまるこがね屬

Alissonotum Arrow.

頭部前頭ノ會線中央ニ二齒狀ヲナス頭楯ハ前端狹挫シ少シク二片狀ヲナス上顎ハ強キ鋸齒狀ヲ外方ニ呈ス。前脛節ニハ三ノ外齒ヲ有シ其他ニ二ノ小齒ヲ具フ。尾節板ノ前節ニハ長形ノ鳴鏝ヲ具フ(第十三圖)。雌雄ハ外形ニ差ナシ。

本屬ノ種類ハ我國ニ三種アリ皆臺灣産ナリ。

I₁ 胸背板滑カニシテ殆ド點刻ナシ。 くろまるこがね *A. pauper*.

I₂ 胸背板ニ明カナル點刻ヲ有ス。

II₁ 胸背板ノ點刻稍ヤ大ニシテ密ナリ。

いんどくろまるこがね *A. crussum*.

II₂ 胸背板ノ點刻小ニシテ散在ス。

ほりしやくろまるこがね *A. impressicolle*.

ほりしやくろまるこがね(新稱)

Alissonotum impressicolle Arrow.

Trans. Ent. Soc. London, 1908, p. 323.

Arrow, Fauna of Brit. India, I. 1910, p. 301.

産地 Burma, Tonkin.

臺灣(補里社)

體長 14—16 幅 8—9 mm.

黒色ニシテ光澤ヲ有ス。下面ハ少シク赤褐色ヲ帶ブ。

頭部ハ密ナル網狀刻ヲ有ス。頭楯ノ前縁上反シ二片狀ヲナス。會線上ニ存スル二小瘤ハ少シク相分離ス。

胸背板ハ上面微細ニシテ側方ニ稍ヤ大ナル點刻ヲ散布ス。前縁ノ中央ニ接シテ小ナル瘤起アリ其ノ後方弱ク凹入ス。

稜狀板ハ幅廣クシテ尖リ上面ニ殆ンド點刻ヲ缺ク。

翅鞘ニハ深クシテ明カニ點刻ヲ存セザル會合線ノ側線ト強キ點刻ヲ

有スル四對ノ條線ヲ有ス。第一及第七ノ中間帶ハ不規則ナル點刻ヲ存ス。第三及ビ第五ニハ不完全ナル點列ヲ存ス。外縁ヨリ先端ニ稍ヤ強キ點刻ヲ具フ。

尾節板ハ圓味ヲ帶ビ兩側及ビ中央ニ弱キ凹ミヲ存ス。稍ヤ粗ナル點刻アリ。其ノ前節ニハ小形ニシテ少シク幅廣キ鳴鏝ヲ有ス。

本種ハ臺灣補里社産ノ標本ニシテ本學昆蟲學教室所藏ノモノニヨリテ記載セリ。

いんどくろまるこがね(新稱)

Alissonotum crussum Arrow.

Trans. Ent. Soc. London, 1908, p. 323.

Fauna of Brit. India, I. 1910, p. 302. f. 70.

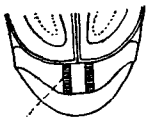
産地 Raimahal, Assam: Silhet, Burma: Bhamo, Tenasserim.

臺灣

體長 18 幅 10 mm.

黑色ニシクくろまるこがねニ似ル體形稍ヤ大ナリ。

頭部粗網狀刻ヲ有ス會線ノ二瘤起ハ強カラズ。



第十三圖
いんどくろまる
こがねノ鳴鏝

胸背板ハ上面ノ中央點刻少シク小ナルモ兩側面ニ大ニシテ密ナリ。前縁ニ近キ瘤起ハ低クシテ其後方ノ凹壓部ハ甚淺シ。側縁ハ圓味ヲ帶ブ。

稜狀板ハ幅廣クシテ平滑ナリ。

翅鞘ハ強キ條線ヲ有ス。其會合線ニ接スルモノハ點刻不明ナルモ他ノ線上ニハ強キ點刻アリ。第一ノ中間帶ハ幅廣クシテ不規則ナル細點刻アリ。第三及ビ第五ハ不判明ナル點刻線アリ。外縁ニハ細カキ先端ニハ大ナル點刻アリ。

尾節板ノ前節ハ後縁ノ中央少シク突出シ長形ノ細線ヨリ成ル鳴鏝ヲ有ス。尾節板ハ中央粗ニ兩側ニ稍密ニ點刻ヲ存ス。

くろまるこがね

Alissonotum pauper Burm.

(*Heteromychus*), Handb. Ent. V, 1817, p. 94.

Arrow, Trans. Ent. Soc. London, 1908, p. 323.

産地 Philippin.

臺灣(嘉義補里社)

體長 15 幅 9 mm.

光澤アル黑色ナリ頭楯ノ幅廣ク胸背板ハ殆ンド滑カナリ。

頭部ハ前頭ヨリ頭楯ニ網狀ノ點刻ヲ有シ後頭ハ滑カナリ。頭楯ハ幅廣クシテ會線上ノ隆起ハ廣ク分離セス。

胸背板ハ上面滑カニシテ殆ンド點刻ナク唯兩側邊ニ近ク微細ナル點刻ヲ認メ得ベシ。前縁ノ中央ニ近キ隆起ハ殆ド不明ナリ。

稜狀板ハ幅廣クシテ上面又滑カナリ。

翅鞘ハ其ノ上面ニ三對ノ明ナル縦隆線ヲ存シ其ノ兩側ニ線狀ノ點刻ヲ有ス。中間帶ノ點刻ハ甚少ナク會合線ニ近キ中間帶ノ幅最モ廣ク僅少ノ細點刻ヲ略ボ一列ニ存ス。

尾節板ハ先端ニ近ク圓ク隆起シ其前節中央少シク後方ニ突出ス。鳴鏞ハ細長ニシテ先端ニ於テ相接近ス。

前脚脛節ハ三個ノ大ナル外齒ト二ノ小齒ヲ有ス。

第十節 ひげぶとはなむぐり亞科

Glaphyrinae.

後脚脛節ノ端棘ハ先端ニ存スルコトナク少シク前方ニ生ズ。後脛節ノ先端ノ縁ハ後方ニ溝狀ノ切込ヲ有ス。後脚ノ跗節ハ細長ナリ。前胸部腹片ノ前縁ハ簡單ナリ。觸角ハ十節ニシテ片狀節ハ三箇ヨリ成リ各片狀節ノ先端ハ肥厚シ相接著セズ。前脛節ノ外齒ハ三箇或ハ二箇ナリ。而シテ跗節ノ附著セル後部ニ端棘ヲ有ス。

此ノ亞科ニ屬スル本邦産甲蟲ハ只一屬アルノミ。

ひげぶとはなむぐり屬

Anthypna Latr.

前脛節ハ二或ハ三ノ外齒ヲ有ス。觸角ノ片狀節ハ厚クシテ相分離ス。前跗節ノ基部ノ四節ハ雄ニ於テ内方ニ鱗片狀ヲナシテ突出ス。雄ノ中脛節ハ先端ノ前部ニ殆ンド幅ノ全部ニ達スル斜狀ノ切込ヲ有ス。

本屬ノ種類ハ甚ダ多カラズ本邦ニ於テハ只一種ノ知ラレタルモノアルノミナリ。

ひげぶとはなむぐり(新稱)

Anthypna pectinata Lewis.

Taf. VI. fig. 5. Taf. II. fig. 14. 15.

Ann. Mag. Nat. Hist. 1837, p. 388.

産地 Tokio.

東京

體長 8 幅 4 mm.

體黑色ニシテ小シク綠色ノ光澤ヲ帶ブ體面ニ強キ刺毛ヲ有ス。

頭部ハ長形ニシテ頭楯ハ前部紫黑色ヲ帶ブ。點刻粗大ニシテ前頭部ト共ニ濃褐色ノ強キ上向セル刺毛ヲ生ズ。眼前ニ突出セル部ハ幅廣キ片狀

(210)

ヲナス。

胸背板ハ上面圓味ヲ帶ビ強キ點刻ヲ散布ス。其上ニ細キ刺毛ヲ生ズ。刺毛ハ上面ニ少ク側縁ニ多シ。

稜狀板ハ小ニシテ綠色半圓形ヲナシ細點刻ト白色毛ヲ生ズ。

翅鞘ハ先端ニ向ツテ狹細シ。左右ノ先端部圓味ヲ帶ビ其ノ内縁ヨリ外縁ニ向ツテ強キ刺毛ヲ生ズ。肩部ニ近キ外縁ニ又強キ刺毛ヲ有ス。上面ノ點刻ハ胸背板ヨリ密ニシテ細白色毛ヲ具フ。

尾節板ハ光澤アル黒綠色ニシテ先端ハ尖リ上面ニ白色毛ヲ生ズ。

下面ハ又綠黑色ニシテ長キ白色毛ヲ生ズ。雄前脚ノ跗節ハ基部ノ四節甚ダ短ク内方ニ濃褐色ノ鱗片狀ヲナシテ延長ス。前脛節ノ外齒ハ二齒ニシテ銳シ。後脛節ノ端棘ハ二箇ニシテ銳ク赤褐色ヲナス。

予等ノ調査シタル標本ハ東京産雄二箇ナリ。

第十一節 結 論

本報告ヲ終ルニ當リ我國ノこがねむしニ對スル分布ノ状態ニ就テ一言セントス。後掲各種ノ分布表ニ於テ其詳細ヲ知ルヲ得ベキモ今之ヲ總括シテ我國所産ノ種類ノ分布ヲ各亞科ニ於テ表示スルトキハ第一表ノ如シ

但シ括弧内ニ記セル數ハ予等ノ今回調査シ得ザリシモノナリ。

第 一 表

	Sachalin. 樺 太	Hokkaido. 北海道	Honshu. 州 本	Shikoku. 四 國	Kiushu. 九 州	Liukiu. 琉 球	Formosa. 臺 灣	Korea. 朝 鮮	
Sericinae. びらうどこがね亞科	36	2	5	21.(7)	3	8.(2)	1	9.(4)	11.(6)
Melolonthinae. こぶきこがね亞科	37	1.(1)	4	14.(4)	6	13.(3)	3.(1)	12.(1)	12.(5)
Hopliinae. あしながこがね亞科	8	1	—	2	1	5.(3)	1.(1)	—	2.(2)
Butelinae すじこがね亞科	75	2	16.(1)	35.(7)	14	21.(5)	5.(3)	23.(15)	23.(7)
Cetoniinae. はなむぐり亞科	59	2.(1)	5	17.(6)	3	10.(2)	6.(2)	37.(25)	9.(7)
Trichiinae. とらはなむぐり亞科	13	3.(1)	4.(1)	7.(1)	2	3.(2)	1.(1)	1	2.(1)
Valginae. ひらたはなむぐり亞科	6	—	1.(1)	3.(1)	—	1	1.(1)	2.(2)	—
Glaphyrinae. ひげぶとはなむぐり亞科	1	—	—	1	—	—	—	—	—
Dynastinae. かぶとむし亞科	6	—	—	2	—	1	1	4	1.(1)
	211	11	35	102	29	62	19	88	60

我國ニ於ケル上記九亞科ヲ通ジテ記載セラレタル種類ハ二百四十一ニシテ其内二十三ハ新種トシテ今回之ヲ發表セルモノナリ而シテ種類ニ於テ最モ多キハすじこがね亞科ニシテ之ニ次グヲはなむぐり亞科トス。びらうどこがね及ビこふきこがね亞科ノモノハ同數ニシテ略すじこがね亞科ノモノノ半ナリ。各地方ノ種類ヲ見ルトキハ樺太ニ於ケル最小ナルハ實際ニ於テ其地方ノ寒氣ハ此種ノ繁殖ニ不適當ナルコトノ大原因ヲナスハ勿論ナルモ亦昆蟲上ノ探檢甚ダ不足ナルニ由ルモノアリ。故ニ同地ニ於ケルこがねむし類ノ研究ニ更ニ深キヲ加フルノ要アルモノトス。最多數ノ種類ヲ産スルハ本州ニシテ是レ其地積ノ大ナルト探究ノ至レルトニ由ルモノナリ。之ニ次グヲ臺灣トス同地ハ熱帶系ノ昆蟲ニ富ムガ爲メニシテ他地方ニ於テハ多シトセザルはなむぐり亞科ノモノヲ甚多ク産スルヲ見ル。然レドモ予等ノ檢シ得ザル標本ノ同地方ニ多カリシハ最モ遺憾トスル處ナリ。更ニ各亞科ノモノニシテ一地方ニ特在シ或ハ二以上ノ地方ニ通ジテ存在スルモノヲ舉グレバ第二表ノ如シ。

此表ヲ檢スルトキ我等ハ先ヅ四國ニ於テ一ノ特有種ノ存セザルコトヲ見ルベシ。即チ四國産ノこがねむし類ニハ全ク同地ニノミ産スルモノナク皆九州本州等ト共通種ナラザルハナシ。之レ其地理上ノ關係ノ然ラシムル處ナルモ四國ノ内部ニ於ケル交通ノ不便ハ尙學界ニ未開ノ餘地ヲ存スルニアラザルカ。元來四國ハ有名ナル甲蟲採集家レウキスノ足ヲ入レザルノ地ニシテ亦専門家ノ探索ノ深ク及バザル山地尙多シトス。北海道ニハすじこがね亞科ノ唯一種樺太ニハびらうどこがね及ビはなむぐり亞科ノ各一種アルノミ。最モ多ク特有種ニ富ムハ臺灣ニシテ殊ニはなむぐり及ビすじこがね亞科ニ多シトス。共通種ニ於テハ樺太産ノモノハ北海道本州ヨリ九州ニ及ブモノニシテ中間ノ地ニ産セズシテ九州及ビ朝鮮ニ各一種ヲ産スルハ甚奇ト云フベシ。北海道ノモノハ殆ンド皆本州ト共通シ其ヨリ四國及ビ九州ニ及ブ。北海道九州朝鮮ニ通スルモノトらはなむぐり亞科ニ一種アリ。本州ノ各地ニ共通スルモノこふきこがね及ビはなむぐりノ亞科ヲ最モ多シトス。殊ニ本州及ビ朝鮮ニノミ共通ス

ルこぶきこがねノ六種ヲ算スルハ奇ト云フベシ。

今外國ト共通スルモノニ就テ見ルトキハとらはなむぐり亞科ハ唯朝鮮ニテシベリヤニ共通スルモノ一個アルノミニテひらたはなむぐり及ビひげぶとはなむぐり亞科ニハ共通ノモノナクかぶとむし亞科ハ皆印度或ハ支那ニ共通スルモノナリ。之等ヲ除キテ他ノ五亞科ニ就テ見ルトキハ第三表ノ如シ。

樺太ニハシベリヤ及ビ支那ニ共通スルモノ三個アルノミナルガ既知ノ全數僅カニ九ナルヲ以テ恐ラク同地ノモノハ比較的の多ク亞細亞大陸ト共通スルモノナランカ。北海道ハ唯すじこがね及ビはなむぐりノ二亞科ニテ之ヲ有シ本州ハ支那ニ對スル共通種ヲ有スルコト多シ四國及ビ九州ハ其共通種ノ數相似最モ支那ノ交渉ヲ有スルガ如シ殊ニ九州ハはなむぐりに於テ五個ノ共通種ヲ支那ニ有スルモノヲ見ル。琉球ノ外國ニ對シ全ク共通種ヲ有セザルハ奇ト稱ス可シ。臺灣ハ南部支那トノ共通種ヲ最モ多ク有シ本表ニ擧ゲザルモ又南洋ニ共通ノ傾向ヲ有スルモノナリ。朝鮮ハ其陸地ヲ接續スル關係上最モ多ク支那及ビシベリアニ共通ス。其他唯一種朝鮮産はなむぐり亞科ノモノニシテカリホルニアニ産スルモノアリ。要スルニ我國ノこがねむし類ハ最モ多ク支那大陸ニ關係ヲ有スルモノト云フベシ。

以上略述セルこがねむし類ノ分布ハ林業上有害種ヲ研究スル前提トシテ甚タ必要ナルモノニシテ最モ被害ノ著シキすじこがね、こぶきこがね、びらうどこがねノモノハ我全土ニ及ンデ分布セラレ臺灣ニ於テハ更ニ他地方ニテ著シカラザルはなむぐり亞科ノ林業ニ關スルモノ少カラザルヲ見ル。予等ハ進ンデ更ニ被害關係ノ研究ヲ公ニスルノ時期アランコトヲ期ス。

第 二 表

					Sericinae. びろろどこがね亜科	Melonthinae. こぶまこがね亜科	Hoplinae. あしながこがね亜科	Rutelinae. すじこがね亜科	Cetoninae はなむぐり亜科	Trichiinae. とらはなむぐり亜科	Yagrinae. ひらたはなむぐり亜科	Glaphyrinae. ひげぶとはなむぐり亜科	Dynastinae. かぶとむし亜科
太 道					1				1				
北 海 州								1					
本 州					12	3		7	5	2		1	1
四 國 州					1	3				1			
琉 球						1	1	4	4	1	1		
臺 灣					3	10		23	28	1	2		3
朝 鮮					6	7		11	3	1			
太 道	北 海 道	本 州	九 州		1			1					
太 道	北 海 道	本 州	九 州							1			
太 道	北 海 道	本 州	九 州	琉 球		1							
太 道	本 州	四 國	九 州				1			1			
太 道	本 州	四 國	九 州		1			4	1	1	1		
太 道	本 州	四 國	九 州			1		6					
太 道	本 州	四 國	九 州	臺 灣	1		1		1				
太 道	本 州	四 國	九 州	琉 球	1								
太 道	本 州	四 國	九 州	朝 鮮	1	2			2				
太 道	本 州	本 州	朝 鮮					2					
太 道	本 州	四 國	九 州							1			1
太 道	本 州	四 國	九 州			1	1		1				
太 道	本 州	四 國	九 州	臺 灣		1							
太 道	本 州	四 國	九 州	臺 灣 朝 鮮	1								
太 道	本 州	九 州	琉 球	朝 鮮	2	1	1		1		1		
太 道	本 州	九 州	臺 灣		1								
太 道	本 州	九 州	朝 鮮						1				
太 道	本 州	臺 灣							2				
太 道	本 州	臺 灣	朝 鮮						1				
太 道	本 州	臺 灣	朝 鮮			3							
太 道	本 州	琉 球				1							
太 道	本 州	朝 鮮				6							
四 國	九 州	臺 灣				1							
四 國	琉 球								1				
九 州	朝 鮮					1							
琉 球	臺 灣							1					
臺 灣	朝 鮮				2			1					1

第 三 表

	Sericinae びるうどこがね亜科	Melolonthinae. こぶきまがね亜科	Hopliinae. あしながこがね亜科	Rutelinae. すじこがね亜科	Cetoniinae. ははむぐり亜科
Sachalin 樺 太	Siberia. 1 (西伯利亚)	China. 1 (支 那)		Siberia. 1 (西伯利亚)	
Hokkaido 北 海 道				Siberia. 2 (西伯利亚) Mands. 1 (滿 州) China. 1 (支 那)	China. 2 (支 那) Siberia. 2 (西伯利亚)
Honshiu 本 州	China. 1 (支 那)	China. 4 (支 那) Siberia. 1 (西伯利亚)		Siberia. 4 (西伯利亚) Mands. 1 (滿 州) China. 3 (支 那)	Siberia. 4 (西伯利亚) China. 9 (支 那)
Shikoku 四 國		China. 4 (支 那)		Siberia. 1 (西伯利亚) China. 1 (支 那)	Siberia. 2 (西伯利亚) China. 1 (支 那)
Kiushiu 九 州		China. 5 (支 那)		Siberia. 1 (西伯利亚) Mands. 1 (滿 洲) China. 1 (支 那)	Siberia. 3 (西伯利亚) China. 5 (支 那)
Formosa 臺 灣		China. 3 (支 那)	China. 4 (支 那) Siberia. 1 (西伯利亚)		China. 7 (西伯利亚) Siberia. 4 (支 那)
Korea 朝 鮮		China. 4 (支 那) Siberia. 3 (西伯利亚) Mands. 1 (滿 州)	Siberia. 1 (西伯利亚)	Siberia. 8 (西伯利亚) China. 10 (支 那) Mands. 1 (滿 州)	China. 10 (支 那) Siberia. 7 (西伯利亚) Calif. 1 (カリホルニア)

Beschreibung der neuen Arten.

Der erste Teil unserer Arbeit erschien 1917 in Nr. 5 dieser Beiträge und ist nur auf Japanisch geschrieben. Das Thema lautete „Untersuchungen über Schädlichkeit der Melolonthiden und deren Vertilgung,“ bearbeitet von Y. Nijima, K. Kusunoki und Y. Tomimoto. Diese Arbeit handelt von der Verbreitung unserer japanischen forstschädlichen Melolonthidenarten, sodann über Lebensweise, Schaden und Vertilgungsmethode der *Heptophylla picea* Mots. Diese letzte Art ist in Sapporo und verschiedenen Teilen Hokkaidos stark vertreten, und es wurden mit ihr viele Versuche angestellt. Die Untersuchungen haben wir ununterbrochen fortgesetzt und so sind uns Lebensweise, Schaden und Naturfeinde vieler Melolonthidenarten bekannt geworden. Die Erfolge sollen später in nachfolgenden Teilen dieser Arbeit veröffentlicht werden.

Das für unsere erste Arbeit gelieferte Material war so ungenau benannt, dass wir es für unbedingte Notwendigkeit hielten, unsere japanischen Melolonthiden genau zu bestimmen. Die Melolonthidenarten hat bis jetzt kein japanischer Entomologe oder Forstmann gründlich studiert, und sie besaßen daher keine genügenden Kenntnisse, um zum Beispiel die *Anomala*-Arten, welche doch in der Forstwirtschaft so ungeheuren Schaden anrichten, von einander zu unterscheiden.

Aus obigen Gründen erschien uns als erste Notwendigkeit, eine genaue Bestimmungstabelle aufzustellen und eine ausführliche systematische Beschreibung hauptsächlich für forstliche Zwecke zu geben. Im Herbst 1920 liessen wir in Japan, einschliesslich Sachalin, Korea und Formosa ein Rundschreiben ergehen, worin wir um alle vorkommenden Melolonthidenarten baten. Daraufhin erhielten wir von Entomologen, Forstämtern, forstlichen Schulen und Versuchsanstalten reichhaltiges Material, worauf sich unsere jetzige Arbeit grösstenteils aufbaut.

Als erste Schwierigkeit unserer systematischen Arbeit käme in Betracht das Nichtvorhandensein von typischem Material, da sämtliche japanischen Arten in Europa beschrieben wurden und keine Typen hier blieben, so sind wir gezwungen die Arten nur nach Beschreibungen zu bestimmen. Nach eifrigem Bemühen gelang es uns, verschiedene Arbeiten über japanische Arten zu bekommen.

Bei den Untersuchungen haben wir die peinlichste Genauigkeit walten lassen; jedoch ist leider noch nicht alles vollkommen geworden. Wir hoffen, dass in Bälde noch reichhaltigeres Material kommen wird, damit das noch Fehlende und Lückenhafte ergänzt werden kann. Die neuen Arten, welche wir noch als unbeschrieben halten, sollen hier in deutscher Sprache veröffentlicht werden; gleichzeitig wollen wir dabei einige Bemerkungen

über unsere Arten anknüpfen. Die unter Niijima und Matsumura beschriebenen Arten sind schon früher von Herrn Prof. Matsumura gesammelt und von ihm benannt worden, jedoch bis jetzt unbearbeitet geblieben. Die am Schlusse beigefügten Tabellen weisen die Verbreitung unserer japanischen Arten nach.

Zu grossem Danke sind wir Herrn Prof. Dr. Matsumura verpflichtet, der uns die entomologische Bibliothek der hiesigen Universität, sowie seine wertvolle Privatliteratur benutzen liess und uns ferner noch reichhaltiges Material zur Verfügung stellte. Weiter möchten wir an dieser Stelle allen Forstleuten, Forstbeamten und Entomologen, die durch ihr wertvolles Versuchsmaterial zur Förderung der Arbeit beigetragen haben, unsern innigsten Dank aussprechen.

Sericania hidana Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II, fig. 9, 9a.

Fundort, Hida.

Länge 11, Breite 4 - 5,5 mm.

Diese Art ist schmal und lang, glänzend schwärzlich braun, die Längsstreifen der Flügeldecken sind stark vertieft. Der Clypeus ist nach vorne verschmälert, ziemlich stark punktiert und hat abgerundete Ecken und gebogene Seiten; der Vorderrand ist schwach gebuchtet, die Stirnnaht ist undeutlich. Die Stirn ist stark punktiert, in der Mitte mit einem glänzenden Längskiel. Der Scheitel ist glatt ohne Punktierung. Die Augen sind gross und etwas vortretend. Das Halsschild ist kurz, breiter als die doppelte Länge, glänzend, schwärzlichbraun, zu beiden Seiten gelbbraun, in der Mitte länglich schwach gedrückt, stark punktiert, am Seitenrande spärlich behaart. Das Schildchen ist langgestreckt, fein punktiert, in der Mitte länglich seicht eingedrückt. Die Flügeldecken sind sehr schmal, die Längsstreifen sind schmal und gefurcht, wenig gelblichbraun; die Zwischenräume sind schwärzlich braun und gewölbt, der zweite Zwischenraum ist nach dem Apex zu breiter, in den Furchen dicht unregelmässig punktiert. Das Pygidium ist glänzend schwarzbraun, stark gewölbt, fein punktiert und am Apex gelblich behaart. Die Unterseite ist glänzend; die Hinterbrust ist gelblichbraun, zerstreut punktiert, fein spärlich behaart; das Abdomen ist an beiden Seiten stärker punktiert ohne Borstenpunkte. Die Hinterhüften sind vor dem Quereindruck dunkelbraun, hinter demselben gelblich matt. Die Enddornen der Hinterschienen sind kürzer als das erste Tarsenglied; die Hintertarsen sind besonders schlank. Die Fühler sind gelbbraun, die männliche Fahne ist sehr lang, das vor der Fahne stehende Glied ist kurz blattartig verlängert und beträgt fast 1/3 der Fahnenlänge.

Diese Art hat viele Ähnlichkeit mit *Serica fuscoliniata* Mots., unterscheidet sich aber von letzterer durch ihren schlanken Körperbau und die stark vertieften Flügeldecken-

streifen.

Wir besitzen 3 Exemplare, die alle in Hida gesammelt wurden.

***Serica karafutoensis* Nijima et Kinoshita n. sp.**

Taf. III, fig. 5.

Fundort, Sachalin.

Länge 8 - 9,5, Breite 5 - 6 mm.

Körper schwärzlich braun mit unregelmässig zerstreuten schwarzen Flecken; die Augen hervortretend. Der Kopf ist schwarz, der Clypeus ist vorne unverschmälert; Vorderrand aufgebogen; runzelig punktiert mit hellbraunen Härchen. Der Nahtstreifen ist genau sichtbar, die Stirn ist glänzend, dagegen ist der Scheitel matt. Das Halsschild ist schwarz, an beiden Seiten und der Basis gelbbraunlich gefärbt, viel breiter als lang, fein punktiert und sehr kurz behaart; der Rand ist spärlich einreihig gelblich behaart. Das Schildchen ist länglich dreieckig, stumpf zugespitzt, fein punktiert und behaart. Die Flügeldecken sind dunkelgelb-bräunlich; die Punktstreifen sind einreihig punktiert; die Zwischenräume spärlich punktiert, zerstreut kurz behaart, mit schwarzen Flecken, die oft unregelmässig ineinander verlaufen, auf dem Seitenrande dicht mit braunen Haaren besetzt. Das Pygidium ist bräunlichschwarz mit langen hellen Haaren. Der Fühler hat 9 Glieder; die Fahne beim ♂ ist sehr lang, fast doppelt so lang wie der Stiel, beim ♀ kürzer als der Stiel. Der Hinterschenkel ist glänzend und mit gelben Haaren spärlich besetzt; die Borstengruppe der Hinterschienen ist sehr klein, die Enddornen sind länger als die Hälfte des ersten Tarsalgliedes.

Diese Art steht der *Serica boops* Waterh. sehr nahe, jedoch unterscheidet sie sich sehr von ihr durch glanzlosen Scheitel, unbeschupptes Halsschild und dichtere schwarze Flecken auf den Flügeldeckenzwischenräumen, und von *Serica nigroguttata* Br. aus Honkong durch das unbeschuppte Halsschild.

Diese Art kommt nur in Sachalin vor: in Südsachalin fand sie Herr Ezaki, im Norden wurden von Herrn Konda viele Exemplare gesammelt.

***Sericania shinanoensis* Nijima et Kinoshita n. sp.**

Taf. II, fig. 7.

Fundort, Shinano: Yarigatake-Berg, Echigo: Ehiko-Berg.

Länge 10,5 - 11, Breite 6 mm.

Diese Art ist bräunlich, mattschwarz, bisweilen schillernd, der Clypeus ist ohne Querkiel. Der Kopf ist schwarz, glänzend; der Clypeus ist unregelmässig stark punktiert, mit quer verlaufenden einreihigen bräunlichen Borsten besetzt; nach vorne verschmälert, Vorderrand schwach ausgeschweift und aufgebogen; die Stirnnaht ist un-

deutlich. Die Stirn ist vorne stark, hinten fein punktiert. Die Augen sind nicht stark vortretend. Das Halsschild ist doppelt so breit als lang, bräunlich schwarz, sehr fein punktiert, die Seitenränder sind nach vorne gebogen, der Vorderrand nach der Mitte allmählich vortretend, die Vorderecken sind vorgezogen, die Hinterecken etwas abgerundet. Das Schildchen ist länglich schildförmig zugespitzt, sehr fein punktiert. Die Flügeldecken sind viel- und ziemlich tiefgestreift; die Furchen sind einreihig fein punktiert, die Zwischenräume sind schwach gewölbt, zerstreut fein punktiert, spärlich kurz behaart, am Seitenrande mit bräunlichen Borstenreihen versehen. Das Pygidium ist stark gewölbt, glänzend, fein punktiert, nach dem Apex zu bräunlich beborstet. Die Fühler sind 9 gliederig; die Fahne des ♀ ist kürzer als der Stiel. Die Vorderhüften tragen am äusseren Rande lange Borstenhaare. Die Hinterhüften sind vor dem Quereindruck dunkelbraun gefärbt; die Hinterschienen sind schlank, mit zwei Borstengruppen auf dem Aussenrande, die Enddornen sind kürzer als das erste Fussglied.

Wir haben drei ♀ Exemplare, zwei sind in Yarigatake und eins in Ehikosan gesammelt worden.

***Gastroserica bicolor* Nijima et Matsumura n. sp.**

Taf. II, fig. 8.

Fundort, Formosa

Länge 7, Breite 3 mm.

Körper länglich oval, schwarz, mit gelblichbraunen Längslinien; matt, schwach gereift. Der Clypeus ist gelblichbraun, der Vorderrand ist schwach abgerundet und etwas aufgebogen, fein unregelmässig punktiert, mit wenigen bräunlichen Haaren. Die Stirn ist schwarz, die Vorderecken treten etwas spitz vor, sind stark punktiert und behaart; schwach erhöhte Mittellinie. Die Augen sind schwarzbraun, vortretend. Das Halsschild ist an der Basis am breitesten, nach dem Vorderrande zu verschmälert und abgerundet; in der Mitte schwarz, an beiden Seiten bräunlichgelb gefärbt, fein punktiert mit feinen kurzen Härchen, ohne vertiefte Mittellinie; an beiden Seitenrändern nach dem Vorderrande hin bräunlich behaart. Das Schildchen ist länglich, bräunlich, zugespitzt, die Mitte ist glatt, die Seiten sind punktiert und kurz behaart. Die Flügeldecken sind schwarz und mit einer gelben Längslinie versehen; die Punktstreifen sind einreihig punktiert; die Zwischenräume jedoch unpunktiert, auf dem 1. 3. und 5. Zwischenraum nach dem Apex zu mit einreihigen, bräunlichen, starken Borsten besetzt, besonders auf dem ersten befinden sich viele Borsten, die der Naht zu gerichtet stehen. Das Pygidium ist gross, gelblichbraun gefärbt, fein punktiert und ziemlich lang behaart. Die Bauchsegmente sind schwarz, mit einreihig querlaufenden bräunlichen Borsten. Die Fühler sind zehngliedrig; die vierblättrige Fahne des Männchens ist viel länger als der gelbbraunliche Stiel. Die

Hinterhüften sind sehr gross, hellgelblich braun gefärbt, gleichmässig fein punktiert, dünn behaart, ohne Borsten. Der Enddorn der Hinterschienen ist kurz.

Der Beschreibung nach steht diese Art der *Gastroserica Herzi* nahe; jedoch ist die Fahne des Fühlers bei unserer Art sehr lang, dann fehlt die länglich vertiefte Mittellinie des Halsschildes, und auf den Flügeldecken stehen bräunliche Borsten. Diese 2 ♂ Exemplare sind in dem entomologischen Institut unserer Universität.

Miridiva koreana Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II, fig. 16, Taf. IV, fig. 15.

Fundort, Korea; Suigen.

Länge 13 - 14,5 Breite 6,5 - 7,5 mm.

Kopf schwarz, Körper gelblich glänzend, länglich oval, Oberseite ohne Haare; Tarsen lang; äusserlich ähnelt diese Art der *Heptophylla piczi* Mats. Der Kopf ist verhältnismässig gross; der Clypeus ist bräunlich schwarz, die Vorderecken sind abgerundet, der Vorderrand ist aufgebogen, fein aber nicht dicht punktiert. Der Nahtstreifen ist deutlich bemerkbar, fast gerade. Die Stirne ist unregelmässig länglich gedrückt und fein punktiert. Das Halsschild ist bräunlichgelb, etwas zerstreut punktiert, die Vorderecken kaum vorspringend, fein zugespitzt; die Hinterecken sind fast rechtwinkelig, etwas abgerundet; die Basis ist an beiden Seiten schwach gerandet. Das Schildchen ist gleichmässig punktiert. Die Flügeldecken sind gewöhnlich hellgelblich gefärbt, nur bei einem Exemplar ist es wie das Halsschild gefärbt, die Punktierung ist feiner und tiefer als wie beim Halsschild. Die Nahtstreifen sind ziemlich hoch gewölbt, nach dem Apex zu breiter. Der erste Längskiel ist fast glatt, breit und kaum merklich gewölbt, die übrigen sind unbemerkbar. Das Pygidium ist dicht und fein punktiert; am Spitzenrande spärlich gelb behaart. Die Unterseite ist gelblich, an der Brust mit langen, weichen gelblichen Haaren versehen. Das Abdomen ist glänzend, sehr fein punktiert und spärlich mit dünnen Haaren besetzt. Der Fühler ist 9 gliedrig; drei Fahnglieder sind beim ♂ fast so lang wie der Stiel. Die Vorderschienen tragen 3 Zähne, der Sporn steht zwischen dem ersten und dem mittleren Zahne gegenüber.

Wir besitzen 9 aus Korea stammende, männliche Exemplare, sie stimmen nicht mit der bis jetzt einzig beschriebenen Art *M. trichophorus* Fairm. aus China überein; denn bei unseren Exemplaren fehlen die Haare an den Oberseiten; da sie aber andere gleichartige Gattungsmerkmale besitzen, haben wir sie diesem Genus eingereiht.

Holotrichia pruinosa Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. IV, fig. 4. 10.

Fundort, Formosa: Horisha, Taihoku.

Länge 21♂ - 27♀, Breite 10,5 - 13 mm.

Diese Art ist schwarzbraun oder rotbraun, matt, oben stark gereift; das Weibchen hat einen grossen Bauch. Der Kopf ist schwach glänzend; der Clypeus ist kurz und breit, dicht stark punktiert, vorne abgerundet, am Vorderrand aufgebogen und beim Weibchen in der Mitte stärker gebuchtet; die Stirnnaht ist in der Mitte nach innen gebogen. Die Stirn ist schwach dünn punktiert, mit einem schwachen Querkiel zwischen den Augen. Das Halsschild ist breit, etwas zerstreut fein punktiert, in der Mitte ist eine glatte Linie; die Seitenränder sind vor der Mitte fein gesägt und bräunlich beborstet. Das Schildchen ist flach, ausser der Mittellinie fein punktiert. Die Flügeldecken sind rotbräunlich, fein punktiert; der Längskiel ist sehr schwach vortretend und spärlich punktiert. Das Pygidium ist flach, etwas weitläufig runzelig punktiert; beim Weibchen vor dem Apex etwas buckelig feiner punktiert. An der Unterseite ist die Mittelbrust lang hellgelb dicht behaart. Der Bauch ist schwarzbraun oder rotbraun, matt, fein punktiert, beim Weibchen ist der Bauch sehr gross; auf der Oberseite befindet sich das vorletzte Bauchglied ausserhalb der Flügeldecken. Beim Weibchen sind die drei äusseren Zähne der Vorderschienen gross, beim Männchen dagegen ist der hinterste klein; die Hinterhüften sind lang behaart. Das Fahnenglied des Weibchens ist sehr klein, beim Männchen ist es etwas länger.

Diese Art ist *H. morcosz* sehr ähnlich, aber die hier beschriebene hat eine stärkere Bereifung, und das Weibchen zeichnet sich durch den auffallend grossen Bauch aus. Wir besitzen 4 aus Taihoku und Horisha stammende Exemplare; es scheint, als ob diese Art in Formosa nicht selten vorkomme.

***Holotrichia horishana* Nijima et Kinoshita n. sp.**

Taf. II, fig. 3.

Fundort; Formosa: Horisha.

Länge 16 - 17 ♂, 19 ♀ Breite 8 - 8,5 ♂, 9,5 ♀ mm.

Diese Art steht der *H. kiotoensis* Brenske nahe, ist jedoch viel kleiner. Schwarz glänzend, Unterseite, ausser dem letzten Bauchglied, gereift. Kopf gleichmässig stark punktiert; der Clypeus am Vorderrand aufgebogen und in der Mitte ausgebuchtet. Das Halsschild ist fast doppelt so breit als lang, kleiner und zerstreuter als der Kopf punktiert. Das Schildchen ist flach dreieckig, etwas bräunlich, an beiden Seiten punktiert, mit glatter Mittellinie. Die Flügeldecken sind grösser, weitläufiger und unregelmässiger als das Halsschild punktiert. Das Pygidium ist schwach gewölbt, seicht punktiert, am Spitzenrande gelbbraunlich behaart. Hinterrand des Pygidiums und vorletztes Glied matt und gereift; vorderer Teil des vorletzten Gliedes kurz gelblich behaart. Unterseite ist wie das Pygidium punktiert und ausser dem letzten Bauchglied stark gereift, das vorletzte Glied ist ziemlich breit eingedrückt und trägt vereinzelte gelbe Haare. Die Beine sind dunkelbräunlich;

die Vorderschienen tragen 3 Zähne am äusseren Rande. Die Tarsen stehen auf der Innenseite der Ausrandung des ersten und mittleren Zahnes, und der Sporn liegt dem ersten gegenüber. Die Fahne des Fühlers ist bei beiden Geschlechtern gleich.

Wir besitzen 3 Exemplare dieser Art, von denen 2 ♂ aus Horisha stammen. 1 ♀ erhielten wir ohne Ortsbeschreibung von Herrn M. Ishida aus Dainan; wir nehmen an, dass es dort gesammelt wurde.

Melolontha satsumaensis Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II, fig. 5, Taf. IV, fig. 19, Taf. VII, fig. 13.

Fundort, Kagoshima, Miyazaki, Kochi.

Länge 27 - 33, Breite 13 - 15 mm.

Diese Art ähnelt sehr der *Melolontha japonica* Burm., jedoch ist diese etwas grösser; Kopf, Halsschild, Schildchen und Beine sind schwarz, bei wenigen Exemplaren etwas bräunlich; der Episternalfortsatz ist klein. Der Kopf ist fein dicht punktiert und viel dicker als bei *M. japonica* gelblich behaart. Der Clypeus des Männchens gleicht dem *M. japonica*, dagegen ist er beim Weibchen nach vorne verschmälert und in der Mitte des Vorderrandes gebuchtet. Das Halsschild ist in der Mitte des Hinterrandes beim Weibchen stärker vortretend. Die Längsstreifen der Flügeldecken sind viel höher als bei *M. japonica*. Das Pygidium ist lang gestreckt und stumpf zugespitzt. Der Mesosternalfortsatz ist länglich schmal und unbehaart. Die Unterseite ist schwarz; die weissen Flecken der Bauchseite sind länglich und bilden gewissermassen eine Längslinie. Die Gestalt der männlichen Genitalien ist eine ganz andere als wie bei der *M. japonica*, und dann befindet sich vor der Spitze ein nach oben gerichteter scharfer Zahn; ein aus Motoyama (Kochi) stammendes Exemplar ist etwas anders geformt, vielleicht ist es eine Ortsvarietät.

Diese Art haben wir zuerst der *M. japonica* zugesellt, aber nach Untersuchung der Genitalien als eine neue Art aufgestellt, auch der Mesosternalfortsatz ist ein ganz anderer.

Wir besitzen 4 ♂ und 8 ♀, alle stammen aus wärmeren Gegenden.

Gymnogaster Ezakii Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II, fig. 1.

Fundort, Formosa: Urai.

Länge 9,5, Breite 4,5 mm.

Diese Art ist länglich zylindrisch gestaltet, dunkelbraun, glänzend; die Fühlerfahne ist sehr lang, 6 gliedrig. Der Kopf ist breit und kurz, gross und tief punktiert, das Kopfschild ist nach vorne verschmälert, die Vorderecken sind abgerundet, der Vorderrand ist aufgebogen, deutlich gebuchtet. Die Fühler sind zehngliedrig, die Fahne ist beim

Männchen sechsgliedrig, sehr lang und schmal; das innere dritte Fahnenglied ist sehr klein, kürzer als die Hälfte der anderen Glieder. Das Halsschild ist breit und kurz, mässig gewölbt, etwas runzelig gross punktiert, in der Mitte mit einer schwachen Vertiefung versehen, die Seitenränder sind in der Mitte bogenförmig erweitert. Das Schildchen ist klein, stark glänzend, glatt, ohne Punktierung. Die Flügeldecken sind dunkelbraun, zwischen dem Schildchen und der Schulter rötlich gefärbt, die beiden Nahtstreifen sind etwas breit und erhöht, zwei Längskiele sind auf der Scheibe deutlich bemerkbar; die Zwischenräume sind breit und flach, etwas runzelig gross punktiert. Der Innenrand der Naht ist nach dem Apex zu einreihig und besonders kurz beborstet. Das Pygidium ist glänzend grob punktiert, mit langen gelbbraunen Borsten am Apex. An der Unterseite sind Brust und Beine rotbräunlich, der Bauch ist hell gelbbraun; der Brustteil ist grob punktiert, die Hinterhüften sind matt und haben hellgelblich, dünn und kurz behaarte Punkte; die Bauchsegmente sind spärlich fein punktiert, die Vorderschienen tragen drei Randzähne, der hintere davon ist sehr klein.

Die beschriebene Art ist ein männliches Exemplar, das Herr Ezaki in Formosa gesammelt hat; an den Vorderschienen befinden sich drei Randzähne, wogegen bei der Gattungsbeschreibung nur zwei erwähnt sind, alle andern Eigenschaften stimmen mit der genannten Gattung überein.

Lepidota cratacea Nijima et Matsumura n. sp.

Taf. I. fig. 16, Taf. II. fig. 12, fig. 13.

Fundort, Formosa: Horisha.

Länge 21, Breite 11 mm.

Die ganze Oberseite ist dicht mit weissen Schuppen bedeckt, daher ist die Grundfarbe nicht erkennbar; die Unterseite ist schwarzbraun, ebenso fein aber nicht so dicht wie die Oberseite beschuppt. Die Oberlippe ist unsymmetrisch, die rechte Seite ist sehr gross, wogegen die linke kleiner ist. Die Fühler sind gelblichbraun, die Fahne ist klein. Der Kopf ist verhältnismässig gross; der Clypeus ist breit und kurz, an der Seite nach vorne abgerundet. Die Stirn ist in der Mitte vor der Naht vertieft; am Scheitel stehen die weissen Schüppchen wirbelartig erhöht. Das Halsschild ist breiter als lang, die Vorderecken sind wenig aber lang behaart, die an den Hinterecken vorhandenen Schuppenhaare bedecken leicht die Flügeldeckenbasis, die Seitenränder sind in der Mitte fast eckig gebogen. Die Flügeldecken sind dicht mit gelblich weissen Schuppen bedeckt; drei deutliche Längskiele sind auf beiden Decken vorhanden, an beiden Seiten nach dem Apex zu breit grubenartig vertieft, der vertiefte Teil ist ganz weiss beschuppt. Das Pygidium ist fast flach, länglich dünn beschuppt. Die Unterseite ist bräunlich schwarz, die Brust ist weiss lang behaart, dazwischen spärlich beschuppt. Die Bauchsegmente haben an den

Seiten dieselbe Beschuppung wie das Pygidium, aber in der Mitte sind sie fast kahl. Die Beine sind gelblich rot; die Schenkel sind weiss beschuppt. An den Vorderschienen befinden sich drei Randzähne.

Der Beschreibung nach ist unsere Art *L. stigma* Fabr. ähnlich, aber bei letzterer fehlen die Seitengruben der Flügeldecken, wogegen die zwei höckerigen Erhöhungen der *L. stigma* bei dieser Art nicht vorhanden sind. Unser Material ist ein von Herrn Prof. Matsumura gesammeltes Exemplar.

Anomala tokioensis Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. I. fig. 8. Taf. VII. fig. 21.

Fundort, Tokio: Komaba, Meguro.

Länge 15 - 16, Breite 7 - 7,5 mm.

Diese Art ist länglich oval, gelbbraunlich, hellgrünlich erzglänzend; der Kopf und das Halsschild sind fein dicht punktiert; die Punktiertung der Flügeldecken ist noch feiner. Der Kopf ist verhältnismässig gross, der Clypeus ist vorne verschmälert, dicht netzartig schwach punktiert; der Vorderrand ist stark aufgebogen. Die Stirn ist bei der Naht dicht und stark punktiert, auf dem Scheitel feiner und weitläufiger. Das Halsschild ist anderthalbmal so breit als lang, am Seitenrande ist es ganz spärlich behaart und noch dichter wie der Scheitel punktiert, in der Mitte ist eine dünne vertiefte Linie; auf beiden Seiten der Scheibe und nahe am Basalrande sind schwache Eindrücke. Die Flügeldecken sind etwas feiner punktiert als das Halsschild, der innere Teil der Schulter ist etwas eingedrückt; die Epipleurakiele an den Seiten der Flügeldecken sind hinter der Mitte verkürzt, drei Längskiele sind auf jeder Seite bemerkbar; der Zwischenraum bei der Naht ist breit und flach, die anderen sind schmaler und etwas gewölbt. Das Pygidium ist netzartig fein punktiert, an dem Apex mit bräunlichen Borstenhaaren. Die Unterseite ist gelblichbraun, die Behaarung auf der Brust ist kurz und spärlich; die Bauchsegmente haben spärlich zerstreute Borsten. An der männlichen Genitalie sind die beiden Parameren des Forceps sehr schmal, aber an der Spitze verbreitern sie sich und greifen an der Innenseite übereinander.

Diese Art besitzt eine gewisse Ähnlichkeit mit *A. multistriata* Motsch, doch ist sie viel schmaler und die Halsschildpunktiertung ist eine viel feinere; die männliche Genitalienbildung ist auch eine ganz andere.

Phyllopertha tanbaensis Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. VI. fig. 21.

Fundort, Tanba.

Länge 9 - 10, Breite 5,5 - 6 mm.

Diese kleine Art hat eine gewölbte, unbehaarte Oberseite, ist glänzend schwarz, Kopf und Halsschild sind grünlich. Der Clypeus ist grünlich schwarz, sehr dicht punktiert; der Vorderrand ist aufgebogen, die Vorderecken sind gerundet; die Stirn ist zerstreuter und feiner punktiert als der Scheitel. Das Halsschild ist glänzend, grünlich schwarz, gleichmässig deutlich punktiert, unbehaart, mit einer glatten Längslinie vor dem Schildchen; die Seitenränder und der Basalrand sind gerandet. Das Schildchen ist halbkreisförmig fein punktiert. Die Flügeldecken sind schwarz, die Punktstreifen sind schmal furchenartig; die Zwischenräume sind gewölbt und fein punktiert. Das Pygidium ist netzartig punktiert; am Apex bräunlich lang behaart. Die Unterseite ist schwarzbraun, auf der Brust weiss fein behaart, auch die Bauchsegmente sind zerstreut lang behaart. Zwei Randzähne befinden sich an der Vorderschiene, der hintere davon ist besonders klein. Die Fühlerfahne ist beim Männchen so lang wie der Stiel, beim Weibchen ein wenig kürzer.

Diese Art stimmt nicht mit den schon beschriebenen Arten überein, sie unterscheidet sich von jenen durch ihren schwarzen, unbehaarten Körper. Wir sind im Besitz von 5 Exemplaren, 3 wurden in Tanba und 2 in Kochi gesammelt.

Phyllopertha kiotoensis Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. VI. fig. 17.

Fundort, Kioto.

Länge 9 - 10,5, Breite 5 - 6 mm.

Die Oberseite ist schwarz behaart; die Flügeldecken sind schwärzlichbraun. Das Kopfschild ist sehr dicht punktiert, die Seitenränder sind bedeutend stärker aufgebogen als der Vorderrand. Die Stirnnaht ist deutlich. Die Stirn ist wie der Clypeus dicht punktiert; der Scheitel ist glänzend, zerstreut punktiert. Das Halsschild ist doppelt so breit als lang, an der Basis gerandet, der Basalwinkel ist beim Männchen etwas vortretend, beim Weibchen abgerundet; die Scheibe ist glänzend schwarz, grünmetallisch schimmernd, stark unregelmässig punktiert, hellgelblich aufstehend behaart. Das Schildchen ist halbkreisförmig, glänzend schwarz, spärlich punktiert. Die Flügeldecken sind abgeflacht, glänzend schwarzbraun, deutlich gestreift, fast unerkennbar, kurz bräunlich behaart, dem Seitenrande entlang läuft eine furchenartige Vertiefung. Der erste Zwischenraum ist an der Basis bis zur Mitte unregelmässig stark punktiert. Das Pygidium ist schwarz metallisch glänzend, hellbräunlich behaart. Die Bauchseite und Beine sind schwarz glänzend, lang weissbehaart. Die Fahne der Fühler ist beim Männchen länger als der Stiel, beim Weibchen ist dieselbe kürzer; der am Aussenrande der Vorderschiene befindliche Apikalzahn ist beim Weibchen viel länger und schärfer als beim Männchen.

Diese Art ähnelt der *Ph. conspurcata* Har., aber sie unterscheidet sich von

dieser durch schwarze Färbung der Flügeldecken und tiefere Punktierung daselbst. Unsere Exemplare sind ein männliches und drei weibliche, sie wurden alle in Kioto gesammelt.

Phyllopertha fuscata Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. VI. fig. 22.

Fundort, Hokkaido: Tomakomai.

Länge 10 - 11, Breite 5,5 - 6 mm.

Diese Art ist länglich schwarz, oben abgeflacht, fein weissbehaart; das Halsschild ist grünlich glänzend. Der Clypeus ist dicht fein punktiert, nach vorne verschmälert; der Vorderrand ist gerade, die Vorderecken erscheinen abgerundet. Die Stirn ist etwas weitläufig punktiert, fein spärlich mit langen Haaren besetzt. Das Halsschild ist grünlich, stark glänzend, wie *Ph. tanbaensis*, fein lang weissbehaart und ohne glatte Mittellinie. Das Schildchen hat die Färbung des Halsschildes, ist aber dichter fein punktiert. Die Flügeldecken sind schwarz, schwach glänzend, kurz fein behaart; die Punktstreifen sind dagegen seichter, aber stärker punktiert als bei *Ph. tanbaensis*. Das Pygidium ist schwarz, etwas grünlich, dicht weissbehaart. Die Bauchseite ist schwarz mit einem grünlichen Schimmer, stark glänzend; auf der Brust weissbehaart, die Haare der Bauchsegmente sind feiner. Zwei äussere Zähne sind an den Vorderschienen vorhanden; die Fühlerfahne ist bei beiden Geschlechtern fast gleich und kürzer als der Stiel.

Diese Art steht *Ph. tanbaensis* nahe, aber sie unterscheidet sich durch ihren länglichen flacheren Körperbau und die Behaarung der Oberseiten. In unserer Sammlung sind zahlreiche Exemplare vorhanden, sie kommen aus dem Universitätswald Tomakomai.

Popillia Uchidai Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. III. fig. 36.

Fundort, Korea.

Länge 9, Breite 5 mm.

Die Art ist klein, schwarz grünlich erzglänzend; die Flügeldecken sind hell gelbbraun; die weissen Haarflecke des Pygidiums sind klein. Der Kopf ist schwärzlich purpurn gefärbt. Der Clypeus ist nach vorne verschmälert, dicht fein runzelig punktiert; der Vorderrand ist gerade und etwas aufgebogen, die Stirnnaht ist undeutlich. Die Stirn ist vorne dicht, nach dem Scheitel weitläufiger punktiert. Das Halsschild ist gewölbt, glänzend; die Seitenränder sind stark gebogen; die Vorderecken sind vortretend, und der Basalrand ist an beiden Seiten gerandet, nach dem Schildchen zu schief

geneigt. Das Schildchen ist glänzend, stumpf zugespitzt, an der Basis fein punktiert, auf der Mitte mit einer glatten Linie. Die Flügeldecken sind hell gelblichbraun; die vertieften Streifen sind einreihig punktiert; die Zwischenräume sind sehr fein punktiert und fast glatt, nur der zweite Zwischenraum ist breit und von der Basis bis zur Mitte stark punktiert. Das Pygidium ist schwärzlich purpurn gefärbt, zerstreut punktiert; die weissbehaarten Flecken sind klein und dünn. Die Unterseite ist auch schwärzlich purpurn gefärbt, auf der Brust weissbehaart, an beiden Seiten der Bauchsegmente stehen einreihig weisse Haare. Der Mesosternalfortsatz ist ziemlich gross, konisch, stumpf zugespitzt. Die Beine und Fühler sind schwarzbraun.

Diese Art steht *P. lewisi* Arrow nahe, aber die letztgenannte Art hat einen kleineren Mesosternalfortsatz und zweireihige Behaarung auf den Bauchsegmenten im Unterschied zur hierbeschriebenen Art. Wir besitzen zwei aus Suigen (bei Seoul) stammende Exemplare.

Popillia comma Nijima et Matsumura n. sp.

Taf. I. fig. 9.

Fundort, Formosa.

Länge 10 - 12, Breite 6 - 7 mm.

Die Färbung dieser Art ist schwarzgrün oder etwas kupferrötlich schwarz, auf den Flügeldecken mit einem halbkreisförmigen gelbbraunen Flecken. Der Kopf ist grünlich-schwarz oder etwas kupferfarbig; der Clypeus ist grob punktiert. Die Stirnnaht ist undeutlich; die Stirn ist ziemlich dicht, am Scheitel zerstreut punktiert. Das Halsschild ist stark glänzend, oben gewölbt; der Basalrand ist vor dem Schildchen nicht gerandet. Die Punktierung ist am Vorderrand und an den Seiten stärker. Das Schildchen ist flach und stumpf zugespitzt. Die Flügeldecken sind wie der Körper grünlich gefärbt, die Punktstreifen sind stark vertieft, einreihig punktiert; der 1. und 3. Zwischenraum ist bis über die Mitte hin stark einreihig punktiert und hat scharfe Quervertiefungen hinter dem Schildchen. Die Nahtstreifen sind schwach purpurn glänzend, unterhalb des Schildchens befindet sich ein halbkreisförmiger bräunlichgelber Fleck. Das Pygidium ist leicht gewölbt, fein punktiert, an dem Apex zerstreut behaart; die zwei weissen oder hellbräunlichen Haarflecken sind klein. Die Unterseite ist schwarzgrün, mit kupferrotem Schimmer. Der Mesosternalfortsatz ist kurz und spitz. Die Bauchsegmente sind einreihig hell bräunlich behaart.

Diese Art ähnelt sehr der *Popillia indigonacea* Motsch, ist aber durch die grünliche Färbung und den halbkreisförmigen Fleck der Flügeldecken zu unterscheiden. Zehn Exemplare sind von Herrn Prof. Matsumura gesammelt worden.

Polyphylla formosana Nijima et Matsumura n. sp.

Taf. II. fig. 2, Taf. IV. fig. 22.

Fundort, Formosa.

Länge 41, Breite 20 mm.

Diese sehr grosse dunkelbraune Art ist dichter weisslich marmoriert als *P. laticollis*, ohne aufstehende Haare auf der Stirn. Der Clypeus ist kurz und breit, fast viereckig; der aufgeworfene Vorderrand ist schwach wellenförmig gebogen, an beiden Seiten mit gelblichen Schuppen besetzt, vor der Stirnnaht glatt. Die Stirn ist stark punktiert, zu beiden Seiten gelblich geschuppt. Das Halsschild ist an der Basis deutlich gerandet, die Seitenränder sind in der Mitte eckig gebogen, auf der Scheibe dicht punktiert, in der Mitte und an beiden Seiten hellgelblich lang bandartig gestreift, die seitlichen Bänder sind in der Mitte unterbrochen, unweit der Seitenränder befindet sich ein glänzender Fleck. Das Schildchen ist von der Mitte nach dem Apex zu glatt glänzend, auf beiden Seiten der Basis hellgelblich gefleckt. Die Flügeldecken sind seicht punktiert, unregelmässig mit weissen Schuppen marmoriert. Das Pygidium ist glänzend, mit dichten kurzen Börstchen besetzt, der Apex ist abgeschnitten und bräunlich lang behaart. Die Unterseite ist glänzend braun, die Brust und die Hinterhüften sind lang dünn weisslich behaart, die Bauchsegmente sind runzelig punktiert, sehr kurz behaart, die Vorderschienen sind am Aussenrande mit nur einem Zahn (δ) versehen. Die Fahnen der Fühler sind bedeutend länger, im Ruhezustande bilden die äusseren Ecken einen etwas scharfen Winkel.

Diese Art ähnelt der *P. laticollis*, doch unterscheidet sie sich von dieser durch eine viel grössere Form, dichter marmorierte Flecken der Flügeldecken und unbehaarte Stirn.

Wir besitzen ein in Horisha gesammeltes Exemplar, auch ist eins im entomologischen Institut unserer Universität, beide sind männlich.

Macronota fuscomaculata Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II. fig. 2.

Fundort, Formosa; Kagi.

Länge 23, Breite 10 mm.

Der Körper ist pechbraun, glänzend, mit 4 bräunlichen Bändern auf dem Halsschild; auf den Flügeldecken sind elliptische und rundliche, braune Flecken. Der Kopf ist stark punktiert, in der Mitte gekielt; zu beiden Seiten des Mittelkiels bis zur Mitte des Clypeus sind bräunliche, lange Flecken. Das Kopfschild ist am Vorderrand stark ausgebuchtet und zweilappig. Das Halsschild ist stark punktiert, an den Seiten nach dem Vorder-

rande abgerundet; auf der Scheibe sind 4 bräunliche Streifen, wovon die seitlichen schmal sind, die beiden mittleren sind breiter und stehen dichter beieinander; die Streifen sind dicht kurz behaart. Das Schildchen ist länglich zugespitzt, beide Seitenlinien sind gebogen; die ganze Fläche ist gelblich angehaucht und kurz behaart. Die Flügeldecken sind glänzend; elliptische und rundliche braune Flecken ziehen sich von der Mitte bis zum Apex hin, zwischen den beiden Flecken befindet sich am Seitenrande je ein kleiner Fleck, sämtliche Flecken sind dicht bräunlich behaart. Das Pygidium ist auch bräunlich behaart. Die Bauchseite und die Beine sind schwarz glänzend; beide Seiten des Bauchsegments sind gekielt. Jedes Bauchglied ist an der Seite bräunlich gefleckt und behaart. Die äusseren drei Zähne der Vorderschienen und eine Zahn der Mittelschiene sind zugespitzt.

Unser Versuchsmaterial sind drei aus Formosa stammende Käfer.

Eins unserer Exemplare wurde in Kagi gesammelt, zwei aus dem entomologischen Institut unserer Universität stammende, sind ohne genaue Ortsangabe.

Macronota formosana Nijima et Matsumura n. sp.

Taf. I. fig. 13.

Fundort, Formosa: Tappan.

Länge 21, Breite 9,5 mm.

Diese Art steht der *Macronota quadrivittata* Schaum nahe, unterscheidet sich aber von dieser durch ihre grössere und schmalere Gestalt und andere Fleckenform; auf dem Halschild sind 4 gelbe Längsbinden; die Flügeldecken sind rot, mit schwarzen Flecken und gelben Punkten besetzt; die Bauchringe sind auf der Rückseite nur wenig sichtbar. Der Kopf ist schwarz und hat zwei gelbe Bänder, welche bis zur Mitte des Clypeus reichen. Der Clypeus ist rötlich gefärbt, ziemlich stark punktiert und gelb behaart, der Vorderrand ist deutlich zweilappig. Das Halschild ist etwas länglich geformt, vor der Mitte nach dem Vorderrande stark verschmälert, schwarz, leicht halbkreisförmig punktiert, an beiden Seitenrändern rötlich gefärbt, mit 4 gelben Längsbinden, die etwas eingedrückt sind, die 2 mittleren sind vorne verbreitert. Die Seitenränder sind fein gesägt. Das Schildchen ist schwarz, länglich, stumpf zugespitzt, beide Seitenlinien sind schmal gelblich gesäumt. Die Flügeldecken sind rot mit schwarzen Streifen; zwei derselben bilden, von der Naht ausgehend, einen rechten Winkel und reichen bis zur Schulter hin, einer steht unweit des Apex; ausserdem gibt es noch 5 gelbe punktartige Flecken. Das Pygidium ist am Seitenrande schwarz, nach dem Apex zu rötlich gefärbt, mit einem gelben Fleck in der Mitte. Die Unterseite ist schwarzglänzend; der Hinterrand der Epimeren ist gelb gefärbt, auch sind auf demselben zwei gelbe Flecken; an beiden Seiten der Bauchsegmente, ausser dem letzten und vorletzten, sind ein oder zwei gelbe Flecken vorhanden. Die Bauchseiten sind schwach gekielt. Die Vorderschienen haben drei Randzähne, die

beiden vorderen Zähne sind gross, wogegen der hintere klein ist. Der äussere Zahn der Mittelschiene ist scharf zugespitzt.

Nur ein einziges Exemplar dieser Art ist vorhanden; es wurde von Herrn Prof. Matsumura in Formosa gesammelt und gehört dem entomologischen Institut der hiesigen Universität. Wir sind im Besitz eines sehr ähnlichen aus China stammenden Exemplares, es ist aber kleiner von Gestalt und die Fleckung ist eine andere, auch mit der *M. quadrivittata* ist es nicht übereinstimmend.

Macronota kagiensis Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. I. fig. 15.

Fundort, Formosa: Kagi.

Länge 13, Breite 6 mm.

Diese kleine Art ist schwarz, auf der Oberseite hat sie schöne rote Längslinien, ausserdem sind zwei gelbbraunliche Querbinden auf den Flügeldecken. Der Kopf ist glänzend bräunlichschwarz, dicht punktiert, kurz gelbbraunlich behaart. Der Clypeus ist vorne abgerundet, der Vorderrand ist in der Mitte stark gebuchtet und zweilappig; die Scheitelmittle ist glänzend, kurz gekielt. Das etwas längliche Halsschild ist in der Mitte am breitesten; es ist dicht punktiert, kurz gelbbraunlich behaart; die Vorderecken sind abgerundet, die Hinterecken sind fast rechtwinkelig; die Basis tritt in der Mitte hinter dem Schildchen hervor und ist mit einer Längslinie von gelbbraunlichen Schuppenhaaren versehen. Das Schildchen ist schwarz, die Mittellinie desselben und der Apex sind gelbbraunlich geschuppt. Die Flügeldecken sind länglich runzelig punktiert, fein bräunlich behaart; nahe beim Schildchen ist eine kurze glatte unbehaarte Anschwellung, eine ebensolche längliche Erhebung ist auf der Scheibe vorhanden; die Grundfarbe ist schwarz, rechts und links vom Schildchen läuft eine rote Linie, die erst einen Ring bildet und dann an der Erhöhung entlang sich bis zur Mitte zieht und hier quer gehend in der Naht endigt, auch den Seitenrändern entlang geht ein roter Streifen nach dem Apex hin, welcher in der Naht zusammentrifft. Ferner sind zwei gelbbraun beschuppte Querbinden vorhanden, eine befindet sich in der Mitte, die andere zwischen der Mitte und den Schultern. Das Pygidium ist schwarz stark punktiert, dem Hinterrand entlang und von der Mitte nach dem Apex zu kurz streifenartig gelbgeschuppt. Die Behaarung ist beim letzten und vorletzten Segment länger. Die Bauchsegmente sind halbkreisförmig zerstreut punktiert, an beiden Seiten sind die drei mittleren Segmente länglich gefleckt und haben gelbbraunliche Schuppchen. Die Beine sind rotbraun. An den Vorderschienen sind drei Randzähne, der vorderste ist gross, die andern sind sehr klein.

Wir besitzen nur ein in Kagi gesammeltes Exemplar. Diese Art ist der *M. quadrivittata* ziemlich ähnlich, aber die hier beschriebene Art ist viel kleiner und die roten Streifen

der Flügeldecken sind anders.

Macronota viridula Nijima et Matsumura n. sp.

Taf. I. fig. 6.

Fundort, Formosa : Taihei.

Länge 16, Breite 8 mm.

Die Oberseite ist dunkelgrün, matt, auf der Mitte der Flügeldecken sind kleine weisse Flecken; die von den Flügeldecken unbedeckte Rückenseite der Bauchsegmente ist auch kurz linienartig weiss gefleckt. Der Kopf ist glänzend grünlich schwarz und purpurn schimmernd, zwischen den Augen länglich gekielt, auf der Stirn stark punktiert weiss behaart. Der Clypeus ist am Vorderrande zweilappig, nicht aufgebogen; fein weiss behaart. Das siebeneckige Halsschild ist vor der Mitte des Seitenrandes eckig, die Scheibe ist gleichmässig fein punktiert, dünn weissbehaart. Das Schildchen ist länglich, nicht scharf zugespitzt, mit weissen Härchen am Apex versehen. Die Flügeldecken sind schmal, dunkelgrün, schwach schillernd, nicht stark punktiert, bei den Nahtstreifen furchenartig vertieft, hinter der Mitte 4 kleine weisse Flecken in der Furche, die länglichen Erhebungen der beiden Furchenseiten sind parallel und an den Schultern gegabelt. Vom Schildchen aus läuft zu beiden Seiten dem Nahtstreifen entlang eine ganz feine, scharfe Linie, und ferner erscheinen hinter der Mitte bis zum Apex auf der Furche noch drei feine Linien. Am Apex sind die Nahtstreifen und die Ränder weiss behaart. Das Pygidium ist vor dem Apex gebuchtet, runzelig, dünn weissbehaart. Die von den Flügeldecken unbedeckte Oberseite des breiten Bauches trägt auf dem Hinterrande der Glieder längliche, weisse Fleckchen. Die Bauchseite ist purpurschwarz glänzend; auf der Brust lang weissbehaart; der Mesosternalfortsatz ist kurz und fast kugelig. Die Bauchsegmente haben keine Seitenkiele und sind in der Mitte furchenartig vertieft. Das an die Hinterlüfte anstossende Bauchsegment ist beiderseits mit weissen Flecken versehen. Die inneren Seiten der Schenkelglieder sind lang behaart; drei äussere Zähne der Vorderschienen sind sehr spitz; der einzige mittlere Zahn der Mittelschiene ist dornartig zugespitzt.

Diese nur in einem Exemplar vertretene Art wurde von Prof. Matsumura gesammelt und ist in dem entomologischen Institut der hiesigen Universität.

Macronota hopponus Nijima et Matsumura. n. sp.

Taf. I. fig. 12.

Fundort, Formosa : Hoppo.

Länge 22 - 24 mm., Breite 11 - 12 mm.

Diese schöne Art ist stark glänzend schwarz, fast das ganze Halsschild und die

Flügeldecken sind gelb oder rötlichgelb. Der Kopf ist schwarz und etwas purpurn schimmernd mit einem Längskiel auf der Stirnmitte, zu beiden Seiten des Längskiels ist ein dicht gelbbehaarter länglicher Fleck. Der Clypeus ist unregelmässig punktiert und dünn behaart, vor den Augen verschmälert; der Vorderrand ist ausgebuchtet und fast zweilappig. Das Halsschild ist vor der Mitte des Seitenrandes eckig, dann nach vorne abgerundet; die Hinterecken sind rechtwinklig. Auf der Scheibe gibt es eine \wedge förmige Erhebung, welche in der Mitte ziemlich stark vertieft und an beiden Seiten gelblich gefleckt und stark behaart ist. Der übrige schwarze Teil ist glatt, unpunktiert und vor der Mitte des Basalrandes vertieft. Das Schildchen ist klein mit vertiefter Mittellinie, zugespitzt, spärlich gelbbehaart. Die Flügeldecken sind breit, von den Schultern nach dem Apex zu erhöht, nach der Naht geneigt und vertieft; hinter der Mitte elliptisch und dann bis zum Apex gross Xförmig gelbgefleckt und behaart, ausserdem gibt es noch zwischen den obigen Flecken am Seitenrande und nach den Schultern hin kleinere rundliche Flecken. Das Pygidium ist grösstenteils gelbgefleckt und behaart, nur die beiden Seitenränder sind schwarz; beim Männchen ist die Behaarung viel stärker. Die Unterseite ist glänzend schwarz, die beiden Seiten der Bauchglieder sind gelblich gefleckt und behaart. Bei beiden Geschlechtern sind an den Vorderschienen drei scharfe Zähne; alle Schenkel sind am inneren Rande lang gelblich behaart, dagegen sind die Schienen nur wenig behaart; die äusseren Ecken der Hüften sind dornartig nach hinten ausgezogen.

Unsere Exemplare umfassen 3 ♀ und 1 ♂, sie befinden sich in der entomologischen Abteilung der hiesigen Universität.

***Liocola miyakoensis* Nijima et Kiuoshita n. sp.**

Taf. II. fig. 6, Taf. VII. fig. 17.

Fundort, Miyako-Insel, Tosa.

Länge 23,5–27, Breite 13–14 mm.

Diese Art steht der *Liocola brevitarsis* Lew. sehr nahe, nur ist sie grösser gestaltet, die Färbung ist grün kupferig und ähnelt der *L. brevitarsis* var. *viridis* Kraatz. Der Kopf ist gleich wie bei *L. brevitarsis*, aber das Weibchen unserer Art hat auf dem Clypeus eine feine Behaarung. Das Halsschild ist stark punktiert, an beiden Seiten gerunzelt, den Seitenrändern entlang schmal weiss gesäumt. Die Flügeldecken haben deutlichere Längskiele als *L. brevitarsis*. Der Mesosternalfortsatz ist nach vorne abgeflacht. Auf den Mittel- und Hinterschienen sind bräunliche, lange Haarreihen vorhanden. Die Längsfurche des männlichen Bauches ist breit und seicht. Die männliche Genitalia ist breit und hat am spitzen Apex nach aussen gerichtete Dornfortsätze, aber bei *L. brevitarsis* fehlen dieselben, dagegen hat *L. formosana* Moser nach hinten gerichtete Dornfortsätze.

Wir haben diese Art von den mit *L. brevitarsis* zusammengestellten Exemplaren getrennt und sie zuerst als eine Varietät behandelt; jedoch nach genauer Untersuchung hielten wir es für besser, sie als eine neue Art zu bestimmen, da die Gestalt grösser und die männliche Genitalienbildung eine ganz andere ist.

Potosia grisea Nijima et Matsumura n. sp.

Taf. V. fig. 7.

Fundort, Formosa.

Länge 19 - 20, Breite 11 - 12 mm.

Diese Art ist gelblichbraun, glanzlos, die Oberseite ist kurz behaart, die Unterseite und Beine sind glänzend purpurschwarz. Der Clypeus ist fast quadratisch, dunkelbraun, der Vorderrand ist leicht aufgebogen und in der Mitte seicht gebuchtet; die Punktierung ist sehr schwach, fast unbemerkbar. Die Stirn ist zerstreut fein punktiert, bei den Augen gelbbraunlich behaart. Das Halsschild ist gewölbt; hellgelblich punktartig gefleckt, fein punktiert, und daselbst kurz gelbbraunlich beborstet, in der Mitte mit einer glatten Linie, die nicht an den Vorderrand reicht. Die Basalecken sind rundlich. Das Schildchen ist länglich, matt, unpunktiert. Die Flügeldecken sind gelblichbraun, nadelrissig, ^förmig punktiert, auf der Punktierung kurz beborstet, von der Mitte bis auf den Spitzenbuckel ist eine dunkle erhöhte Längslinie vorhanden, die Zwischenteile der Linien und die Nahtstreifen sind vertieft. Auf der Vertiefung ziehen sich über den Spitzenbuckel schräglaufende Flecken und etwas vor der Mitte, zwischen der erhöhten Linie und dem Arsenrande ist ein Querfleck, ausserdem sind viele zerstreute kleine Fleckchen vorhanden. Das Pygidium ist fein bogenartig punktiert, kurz beborstet, mit kleinen hellgefärbten Fleckchen. Die Unterseite ist purpurschwarz, glänzend. Die Brust ist an beiden Seiten gelbgefleckt und gelblich lang behaart. Die Hüften und Schenkel der Vorder- und Mittelbeine und die ganze Hinterhüfte, sowie der vordere Teil der Hinterschenkel sind durchwegs gelb gefärbt und gelblich lang behaart, die Flecken des vorletzten Gliedes sind besonders gross.

Wir haben sechs aus Formosa stammende Exemplare, wovon fünf der entomologischen Abteilung unserer Universität gehören.

Potosia nitidiscutellata Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. V, fig. 2. Taf. VII, fig. 18.

Fundort, Kioto; Hanazono, Kibune.

Länge 21-24, Breite 12-13 mm.

Die Oberseite dieser Art ist grün, matt, nur das Halsschild ist stark glänzend; die weissen Fleckchen der Flügeldecken haben kurze bogenförmige, weissliche Linien. Der

Kopf ist glänzend, die beiden Seiten der Stirne sind glanzlos und in der Mitte schwach gekielt; der Clypeus ist am Vorderrande purpurn gefärbt und gebuchtet, oben unregelmässig ziemlich fein punktiert. Das Halsschild ist auf der Mitte fein, an beiden Seiten gröber punktiert, aber nicht gerunzelt, die Seitenränder sind purpurn gefärbt, bogenförmig, deutlich gerandet, dabei weisslich schmal gesäumt, auf der Oberseite sind ungefähr sieben Paar weissliche Fleckchen. Das Schildchen ist länglich, sehr stark glänzend, in der Mitte ist eine schwach erhöhte Längslinie. Die Flügeldecken sind matt grün, fein punktiert; die Punktierung der Punktstreifen ist etwas stärker und bei den Schultern sind halbkreisförmige seichte Punkte erkennbar. Vor dem Apex zieht sich, von der Naht ausgehend, ein weisser Fleckstreifen rechtwinklig über den Buckel; ungefähr in der Mitte des Aussenrandes geht nach innen ein winkliger Fleck, ausserdem sind noch zerstreute weisse Punktstellen da. Das Pygidium ist matt, etwas breit und flach, mit weissen Flecken. Die Unterseite und die Beine sind schwarz purpurn leuchtend; die Brust ist gelbbraunlich lang behaart, weissgefleckt, beim Männchen ohne Mittelfurche. Die Vorderschienen haben bei beiden Geschlechtern drei Randzähne. Die männliche Genitalie ist breit und hat am Apex nach aussen gerichtete Dörnchen.

Wir besitzen vier in Kioto gesammelte Exemplare.

Protoetia taiwana Nijima et Matsumura n. sp.

Taf. II. fig. 4.

Fundort, Formosa.

Länge 14 - 15,5, Breite 8 - 9 mm.

Diese Art ist grauschwarz, etwas grünlich oder kupferfarbig, glänzend; die Flügeldecken sind kaum erkennbar fein behaart, die Flecken der Oberseite sind klein, nur zwei der Flügeldeckenränder sind grösser. Der Kopf ist schwarz, glänzend; der Clypeus ist fast quadratisch, zerstreut gross punktiert. Die Stirn ist stark punktiert, lang, weiss beschuppt, in der Mitte mit einem Längskiel versehen. Das Halsschild ist gewölbt, vorne stark verschmälert; die Basalecken sind gerundet, an den Seiten nach hinten spärlich weiss beschuppt. Auf dem Halsschild befinden sich viele kleine gelblichweisse Fleckchen, dagegen bleibt der mittlere Teil unbefleckt; der Basalrand ist an beiden Seiten gelblichweiss gesäumt. Das Schildchen ist länglich, stumpf zugespitzt, unpunktiert, an den Basalseiten weisslich beschuppt. Die Punkte der Flügeldecken sind seicht halbkreisförmig, die Nahtwinkel sind lang, dornartig ausgezogen, ferner sind am Seitenrande zwei grosse, gelblichweisse Flecken. Die am Apex befindlichen Flecken setzen sich aus kleinen Gruppen zusammen, ausserdem sind noch vereinzelte kleine punktartige Flecken vorhanden. Das Pygidium ist sehr fein nadelförmig punktiert, zerstreut weiss beschuppt, an beiden Seiten ziemlich gross gefleckt. Die Unterseite ist schwarz, glänzend; die Brust

dicht mit weissen langen Schuppenhaaren besetzt. Die Bauchsegmente sind an beiden Seiten gelblichweiss gefleckt, zerstreut halbkreisförmig punktiert und auf der Punktierung weissbeschuppt. Die Vorderschienen haben zwei Randzähne.

In Japan sind drei Arten dieser Gattung beschrieben worden; unsere Art stimmt nicht mit ihnen überein, da Gestalt und Färbung eine andere ist. Ein Exemplar sammelte Herr Baron Y. Tanaka und fünf Herr Prof. Matsumura.

Gnorimus formosanus Nijima et Matsumura n. sp.

Taf. I. fig. 14.

Fundort, Formosa.

Länge 18, Breite 8,5 mm.

Diese besonders prächtig gefärbte Art hat schwarz gefleckte und am Apex violettgelbe Flügeldecken; das Halsschild ist mit kurzen gelben Haaren bedeckt. Der Kopf ist glänzend schwarz, etwas purpurn schimmernd, in der Mitte mit einer länglichen Vertiefung. Der Clypeus ist am Vorderrande gebuchtet. Die Stirn ist gerunzelt, nach dem Clypeus mit zerstreuten, kurzliegenden gelben Härchen versehen. Das Halsschild ist schwarz fein gerunzelt, ziemlich dicht kurz gelb behaart; der Vorderrand ist gerade, der Basalrand ist gebogen und sehr schmal gerandet. Das Schildchen ist klein halbkreisförmig schwarz und hat spärliche feine Härchen. Die Flügeldecken sind matt, von schöner gelber Farbe; die Schulter und mittleren Querflecken sind schwarz, der Apikalteil ist rotviolett gefärbt. Das Pygidium ist schwarz, beim Weibchen sind nach dem Apex zu starke längliche Erhöhungen vorhanden, die Zwischenteile sind furchenartig vertieft; auf der Oberseite sind zwei dreieckige gelbe Haarflecken vorhanden. Die Unterseite ist schwarz glänzend; die Brust und Bauchseiten sind dicht gelblich behaart. Die Beine sind dunkel rotbraun, stark glänzend; die Hintertarsen sind lang. Der Fühler ist rötlichbraun, das Fahnglied ist so lang wie die vorhergehenden sechs Glieder zusammen.

Von dieser neuen Art gibt es nur ein weibliches Exemplar, das von Herrn Prof. Matsumura in Formosa gesammelt wurde. Die Mittelschiene dieser Art ist nicht stark gebogen, es ist jedoch nicht ausgeschlossen, dass dieses nur bei weiblichen Exemplaren vorkommt, denn bei dem *G. viridiopacus* Lew. haben wir denselben Fall.

Gnorimus Otsukae Nijima et Matsumura n. sp.

Taf. VI. fig. 4.

Fundort, Kochi, Shinano, Odaigahara.

Länge 13 - 16, Breite 8 - mm.

Diese Art ist schwarz, auf den Flügeldecken sind vier gelblichweisse Flecken; das Pygidium ist gelbweiss dünn gesäumt. Der Clypeus ist am Vorderrande gerandet, die

Vorderdecken sind rindlich. Die Stirn und der Scheitel sind fein punktiert. Das Halsschild ist fast sechseckig, oben gewölbt, unregelmässig zerstreut punktiert. Die mittlere Längslinie ist vertieft, gelblichweiss, von der Mitte aus an beiden Seiten nach dem Basalrande gelblichweiss gesäumt, der Basalrand ist in der Mitte gerandet. Die gelblichweissen Flecken fehlen bei einigen Exemplaren. Das Halsschild ist halbkreisförmig, die mittlere Linie ist glatt, der übrige Teil fein punktiert. Die Flügeldecken sind schwarz mit zwei undeutlichen Längskielen; schwach, fein und zerstreut punktiert, fast unmerkbar fein behaart, die Streifen sind einreihig punktiert; auf der Mitte sind zwei gelblichweisse Querlinien vorhanden. Das Pygidium ist nicht gewölbt, fein netzartig punktiert; der Spitzenrand ist gelblichweiss gesäumt. Die Unterseite ist schwarz glänzend, punktiert, die Punkte sind halbkreisförmig fein bräunlich behaart. Die Hinterhüften sind gross, erstes und drittes Bauchsegment sind klein gelbweisslich gefleckt.

Unsere Exemplare sind fünf weibliche, davon gehören zwei dem entomologischen Institut unserer Universität.

本邦こがねむし類分布表
 SERICINAE.
 ひらうどこがね亞科

		Sachalin. 樺太	Hokkaido. 北海道	Honshu. 本州	Shikoku. 四国	Kiushu. 九州	Luzon. 琉球	Formosa. 臺灣	Korea. 朝鮮	
<i>Serica grisea</i> Motsch.	ひめちやいろこがね		—	—		—				
<i>S. boops</i> Waterh.	ひげちやいろこがね			—						
<i>S. karafutoensis</i> N. et K.	からふとひげちやいろこがね	—								
<i>S. similis</i> Lew.	かばいろこがね			—		—				
<i>S. nigrovariata</i> Lew.	くろほしびろうどこがね			—						
<i>S. salebrosa</i> Brensk.	ひとびろうどこがね		—	—	—	—		—		
<i>S. orientalis</i> Motsch.	びろうどこがね		—	—	—	—			—	
<i>S. Motschulskyi</i> Brensk.	てうせんびらうどこがね								—	
<i>S. spissigrada</i> Brensk.	おほびろうどこがね			—		—			—	
<i>S. famelica</i> Brensk.								..		
<i>S. formosana</i> Mos.								
<i>Autoserica segeta</i> Brensk.	まるがたびろうどこがね			—		..				
<i>A. japonica</i> Motsch.	あかびろうどこがね			—	—	—		—	—	
<i>A. formosae</i> Brensk.	たいわんびろうどこがね							—	—	
<i>A. Sauteri</i> Mos.	ざうてるびろうどこがね							—		
<i>A. korana</i> Mos.									..	
<i>A. ievenusta</i> Mos.								..		
<i>A. infusca</i> Mos.									..	
<i>A. cariniceps</i> Mos.									..	
<i>A. opaciventris</i> Mos.									..	
<i>A. castanea</i> Arrow.				..						China
<i>Sericania mimica</i> Lew.	なへどこちやいろこがね		—	—						
<i>S. sachalinensis</i> Matsu.	からふとちやいろこがね	—	—	—						Ost-sibirien Wladiwostock Mandschurei
<i>S. hidana</i> N. et K.	ひだちやいろこがね			—						
<i>S. lewisi</i> Arrow.	れうみすちやいろこがね			—						
<i>S. shinanoensis</i> N. et K.	ちやいろこがね			—						
<i>S. fuscolineata</i> Motsch.	くろちやいろこがね			..						
<i>Microserica nikkoensis</i> Brensk.				..						
<i>M. brevicornis</i> Lew.				..						
<i>M. higonina</i> Lew.						..				
<i>M. Brenskei</i> Reitt.				..						
<i>Gastroserica Herzi</i> Heyd.									..	
<i>G. bicolor</i> N. et M.	しまびろうどこがね							—		
<i>Neoserica angulata</i> Lew.				..						
<i>N. quadrifoliata</i> Lew.				..						
<i>N. macrophthalma</i> Mos.								..		

MELOLONTHINAE.

こぶきこがね亜科

	Sachalin 樺太	Hokkaido 北海道	Honshu 本州	Shikoku 四国	Kyushu 九州	Liuksu 琉球	Formosa 臺灣	Korea 朝鮮	
Miridiva koreana N. et K.								—	
Pollaplonyx fravidus Waterh.					—				
Holotrichia castanea Waterh.			—					..	
H. sinensis Hope.							—		China
H. formosana Mos.							—		
H. kiotoensis Brensk.			—	—	—		..		China
H. picea Waterh.		—	—		—				
H. Sauteri Mos.							—		
H. morosa Waterh.	..		—	—	—			—	China
H. diomphalia Bates.			..					—	Ostsibirien Mongolei
H. pruinosa N. et K.							—		
H. convexopyga Mos.			—		—				China
H. horishana N. et K.							—		
H. niponensis Lew.					
Microtrichia formosana Mos.							—		
Heptophylla picea Motsch.		—	—	—	—			.	
Hilyotrogus bicolorus Heyd.								—	Sibirien Mandschurei
Melolontha japonica Burm.		—	—	—	—				
var. gotenbaensis N. et K.			—						
M. satsumaensis N. et K.					—				
M. incana Motsch.								—	China
M. insulana Motsch.							—		
var. taihokuensis N. et K.							—		
M. f.ater Arrow.			—	—	—				China
Granida albolineata Mots.		—	—		..	—			
Polyphylla laticollis Lew.			—					—	
P. formosana N. et M.							—		
Gymnogaster Ezakii N. et K.							—		
Brahmina crenicollis Motsch.								..	China
Br. intermedia Mannerh.								..	Ostsibirien
Br. excisiceps Mos.								..	
Rhizotrogus niponicus Lew.			..						
Apogonia amida Lew.				—	—		—		Hongkong
A. cupreoviridis Kolbe.								—	
var. fusana Kolbe.								—	
A. bicavata Arrow.						—			

注意 — ハ標本ヲ有スルモノ .. ハ記載ノミノモノヲ示ス

こぶきこがね亞科(承前)

	Sacubini. 樺太	Hokkaido. 北海道	Honshin. 本州	Shikoku. 四国	Kinshu. 九州	Laukiu. 琉球	Formosa. 臺灣	Korea. 朝鮮	
A. major Waterh.					..				
A. bicarinata Lew.					
A. niponica Lew.			..						
Lepidota crataecea N. et M. しろこがね							—		

HOPLINAE.

あしながこがね亞科

Hoplina communis Waterh. あしながこがね			—		—				
H. moerens Waterh.					..				
H. Reimii Heyden.					..				
H. gracilipes Lew.						..			
H. maculata Bates.					..				
H. koreana Mos.								..	
Ectinohoplia rufipes Mots. かばいろあしながこがね	—							..	Sibirien
E. obducta Mots. ひめはなむぐり			—	—	—				

RUTELINAE.

すじこがね亞科

Anomala holosericea Fabr. きんすじこがね	—	—	—					—	Sibirien
A. testaceipes Mots. すじこがね		—	—	—	—				Ostsibirien
var. ochroptera Ohaus. すじちやいろこがね		—	—	—	—			—	Mandschurei
var. anocypria Ohaus. あいろすじこがね		—	—	—	—				
A. costata Hope. おほすじこがね		—	—	—	—				
var. flavipennis Ohaus. ちやいろおほすじこがね		—	—	—	—				
A. octiescostata Burm. ひらたあをこがね			—	—	—			—	
A. Sieversi Heyd. てうせんひらたあをこがね			..					—	
A. Jonasi Ohaus. じよなすひめこがね								—	
A. auracoides Ohaus. ほそすじこがね								—	
A. costifera Reitt. てうせんひめすじこがね								—	Wladwostock
A. corpulenta Mots. ちやいろすじこがね			—					—	Nordchina Mongolei
A. daimiana Har. さくらこがね		—	—	—	..				
A. pleurimargo Reitt. てうせんひめこがね					—			—	China
A. limbifera Ohaus. たいわんひめすじこがね								—	
A. luculenta Er. てうせんはんのきこがね								—	Wladwostock China
var. purpurea N. et K. むらさきてうせんはんのきがこね								—	
A. Ienzi Ohaus. れんちこがね			—						

注意 — ハ標本ヲ有スルモノ .. ハ記載ノミノモノヲ示ス

すじこがね亜科(承前)

		Sachalin. 樺太	Hokkaido. 北海道	Honshu. 本州	Shikoku. 四国	Kyushu. 九州	Lankiu. 琉球	Formosa 臺灣	Korea. 朝鮮	
<i>A. rufocuprea</i> Mots.	ひめこがね									
var. <i>viridicuprea</i> Ohaus.	みどりひめこがね	—	—	—	—					
var. <i>violacea</i> Ohaus.	あをいろひめこがね		—	—	—					
var. <i>castanipennis</i> Ohaus.	くりいろひめこがね		—	—	—					
<i>A. geniculata</i> Mots.	ひめさくらこがね		—	—	—					
<i>A. tokioensis</i> N. et K.	とうきようこがね		—	—	—					
<i>A. lucens</i> Ballion.	つやこがね		—	—	—					
<i>A. Motschulskyi</i> Har.	はんのきこがね		—	—	—				—	
var. <i>viridicuprea</i> Ohaus.	あをいろはんのきこがね		—	—	—				—	
var. <i>aptesa</i> Ohaus.	ちやばねはんのきこがね		—	—	—					
var. <i>violacea</i> Ohaus.	あいろはんのきこがね		—	—	—					
var. <i>rufoviolacea</i> Ohaus.	あをちやはんのきこがね		—	—	—					
<i>A. multistriata</i> Mots.	はんのひめこがね		—	—	—	..				
<i>A. albopilosa</i> Hope.	あをどうがね		—	—	—	—				
<i>A. viridana</i> Kolbe.	ひめどうがね		—	..	—	—			—	
<i>A. cuprea</i> Hope.	どうがねぶいぶい		—	—	—	—				
<i>A. expansa</i> Bats.	たいわんあをどうがね		—	—	—	—		—		China
<i>A. Schönteldti</i> Ohaus.			—	..	—	..				
<i>A. ignicolor</i> Reitt.			—	—	—	—		..		
<i>A. corrugata</i> Bats.			—	—	—	—		..		
<i>A. incocinua</i> Bats.			—	—	—	—	..			
<i>A. difficilis</i> Waterh.			—	..	—	—				
<i>A. chamaeleon</i> Fairm.			—	—	—	—			..	Nordchina Amur
<i>A. triangularis</i> Schönf.			—	..	—	—				
<i>A. poecilochalcea</i> Ohaus.			—	—	—	—	..			
<i>A. streptopyga</i> Ohaus.			—	—	—	—	..			
<i>A. libidinea</i> Ohaus.			—	—	—	—	..			
<i>A. polianor</i> Ohaus.			—	—	—	—	..			
<i>A. sagax</i> Ohaus.			—	—	—	—	..			
<i>A. Sauteri</i> Ohaus.			—	—	—	—	..			
<i>A. siniopyga</i> Ohaus.			—	—	—	—	..			
<i>A. chloroderma</i> Arrow.			—	—	—	..				
<i>A. xanthopleura</i> Arrow.			—	—	—	..				
<i>A. castaneoventris</i> Bats.			—	—	—	—	..			
<i>A. cupripes</i> Hope.			—	—	—	—	..			Sudchina
<i>A. trachypyga</i> Bats.			—	—	—	—	..			

注意 — ハ標本ヲ有スルモノ .. ハ記載ノミノモノヲ示ス

すじこがね亞科(承前)

	Seohain 樺太	Hokkaido. 北海道	Honshiu. 本州	Shikoku. 四國	Kiushiu. 九州	Lankiu. 琉球	Formosa. 臺灣	Korea. 朝鮮	
A. plagiicollis Fairm.								..	Os/sibirien China
Mimela lucidula Hope. こがねむし			—		—			—	
M. flavilabris Waterh. ひめすじこがね		—	—	—					
M. testaceoviridis Blanch.			..						China
M. fusania Ba's.								..	
M. splendens Gylle.								..	
var. cyanicollis Ohaus.								..	
Phyllopertha conspurcata Har. かたもんこがね		—	—					—	Usuri Peking
Ph. pubicollis Waterh. ならのちやいろこがね			—		—				
Ph. diversa Waterh. うすちやこがね			—		—				
Ph. intermixta Arrow. あをうすちやこがね		..	—						
Ph. irregularis Waterh. きすじこがね			—		..				
Ph. orientalis Waterh. せまだらこがね		—	—	—	..				
Ph. kiotoensis N. et K. あかちやこがね			—						
Ph. pallidipennis Reitt. うすきいろこがね			—	—	—			..	Wladivostock Usuri
Ph. tanbaensis N. et K. たんばひめこがね			—						
Ph. fuscata N. et K. くらひめこがね		—							
Ph. maculicollis Reitt.			..						
Popillia japonica New. まめこがね		—	—		—				
P. lewisi Arrow. おきなはまめこがね						—			
P. atrocoerulea Bats. てうせんまめこがね								—	China
P. indigonacea Mots. るりまめこがね							—	—	China Amur
P. taiwana Arrows. たいわんまめこがね							—		
P. quadriguttata Fabr. きばねまめこがね							—		China
P. histeroidea Gyll. ちやばねまめこがね							—		Ostindien
P. Uchidai N. et K. うちだまめこがね								—	
P. comma N. et M. つきがたまめこがね									
P. formosana Arrow.							..		
P. insularis Lew.						..			
P. chlorion Newm.							..		
P. mongolica Arrow.							..		
P. Sauteri Ohaus.							..		
Adoretus tenuimaculatus Waterh. ちやいろこがね			—	—	—			—	

注意 — ハ標本ヲ有スルモノ .. ハ記載ノミノモノヲ示ス

CETONINAE.

はなむぐり亞科

	Sachalin. 樺 大	Hokkaido. 北海道	Honshu. 本 州	Shikoku. 四 国	Kyushu. 九 州	Lankiu. 琉 球	Formosa. 臺 灣	Korea. 朝 鮮	
<i>Dicranocephalus Adamsi</i> Pasc.							
<i>D. Bourgoini</i> Pouillande.							..		
<i>D. Bowringi</i> Pasc.							..		Nordchina
<i>Macronota formosana</i> N. et M. よつすじゑぐりこがね							—		
<i>M. fuscomaculata</i> N. et K. ちやいろゑぐりこがね							—		
<i>M. kagiensis</i> N. et K. かぎゑぐりこがね							—		
<i>M. viridula</i> N. et M. あをゑぐりこがね							—		
<i>M. hopponus</i> N. et M. ほつぽゑぐりこがね							—		
<i>M. proxima</i> Bourg.							..		
<i>M. lata</i> Bourg.							..		
<i>M. procera</i> Bourg.							..		
<i>M. flavofasciata</i> Mos.							..		
<i>Clinteria aeneofusca</i> Bourg.							..		
<i>Coelodera nigroscutellaris</i> Mos. subsp. <i>formosana</i> Mos.							..		Toukin
<i>Ingrisma paralleiceps</i> Bourg.							..		
<i>In. insulara</i> Mos.							..		
<i>Trigonophorus dilutus</i> Bourg. つのかなぶん							—		
<i>Tr. varians</i> Bourg.							..		
<i>Cosmiomorpha similis</i> Fair.							..		
<i>Rhomborrhina japonica</i> Hope. かなぶん			—					..	China
<i>Rh. unicolor</i> Motsch. あをかなぶん		—	—						
<i>Rh. formosana</i> Mos. たいわんあをかなぶん			—				—		
<i>Rh. polita</i> Waterh. くらかなぶん			—						
<i>Rh. insularis</i> Mos.							..		
<i>Rh. splendida</i> Mos.							..		
<i>Rh. aurora</i> Bourg.							..		
<i>Rh. pilifera</i> Mos.							..		
<i>Cetonia pilifera</i> Mos. はなむぐり		—	—		..				
<i>C. Roelofsi</i> Harold. あをはなむぐり		—	—						
var. <i>nitidula</i> Reitt. つやあをはなむぐり		—	—						
var. <i>villifrons</i> Reitt.		..							
<i>C. hondana</i> Arrow.					
<i>C. Bohdemeyeri</i> Curti.			..						
<i>C. prasinata</i> Bourg.							..		
<i>Anthrachophora rusticola</i> Burm. あかまだらこがね			—		—			..	Amur Mongolei
<i>Liocola brevitarsis</i> Lew. しらほしはなむぐり		—	—	—	—		—		China Ostaibirien
var. <i>crassa</i> Harold. おほしらはしはなむぐり									China
var. <i>viridis</i> Kraatz. あをしらはしはなむぐり			—		—				China

注意 — ハ標本ヲ有スルモノ .. ハ記載ノミノモノヲ示ス

はなむぐり亞科(承前)

		Sachalin. 樺太	Hokkaido. 北海道	Honshiu. 本州	Shikoku. 四國	Kiushiu. 九州	Lankiu. 琉球	Formosa. 臺灣	Korea. 朝鮮	
var. seulensis Kolbe.	てうせんしらほしはなむぐり								—	
<i>Liocoola formosana</i> Mos.	たいわんしらほしはなむぐり							—		
<i>L. insperata</i> Lew.	むらさきおほはなむぐり	..	—			..				
<i>L. speculifera</i> Swartz.	みどりはなむぐり			—		—		..		Himalaya China
<i>L. miyakoensis</i> N. et K.	みやこはなむぐり				—					
<i>L. Lenzi</i> Har.				..						
<i>Potosia aerata</i> Erichson.	しろてんはなむぐり			..		—		—	..	China
<i>P. ishigakia</i> Fairm.	いしがきはなむぐり						—			
<i>P. purpureipes</i> Mats.	からふとはなむぐり	—								
<i>P. nitidiscutellata</i> N. et K.	きようとあをはなむぐり			—						
<i>P. grisea</i> N. et M.	かばいろはなむぐり							—		
<i>P. exasperata</i> Fairm.						..				
<i>P. formosana</i> Mos.								..		
<i>P. famelica</i> Jans.									..	Amur
<i>Protaetia taiwana</i> N. et M.	はいいろはなむぐり							—		
<i>P. orientalis</i> G. et P.					Himalaya China
<i>P. spinosa</i> Mos.								..		
<i>P. culta</i> Waterh.								..		
<i>Pyropotosia pryeri</i> Jans.	りうきうはなむぐり						—			
<i>P. Lewisi</i> Jans.	おほりうきうはなむぐり						—			
<i>Glycyphana fulvitemma</i> Mots.	くろはなむぐり			—					..	Mongolia
var. Sieboldi Snell.								..		
<i>G. incingrua</i> Jans.								..		
<i>Oxyctonia juncunda</i> Fald.	こあをはなむぐり			—	—	—			..	Nepal etc. Siberien China Californien
var. ferruginosa Reitt.	あかいろはなむぐり			—					..	
<i>O. castigera</i> Burz.				..						
<i>O. forticula</i> Jans.								..		
<i>Callynomes obsoletus</i> Fair.	ほそはなむぐり								—	

TRICHIINAE.

とらはなむぐり亞科

<i>Osmoderma barnabita</i> Mots.							
<i>O. opica</i> Lew.	おほちやいろはなむぐり			—						
<i>Gnorimus viridiopacus</i> Lew.	あをあしながはなむぐり	—	—	—		..				
<i>G. formosanus</i> N. et M.	たいわんとらはなむぐり							—		

注意 — ハ標本ヲ有スルモノ .. ハ記載ノミノモノヲ示ス

とらはなむぐり亜科(承前)

	Sachalin 樺太	Hokkaido 北海道	Honshin 本州	Shikoku 四国	Kinshu 九州	Liuku 琉球	Formosa 臺灣	Korea 朝鮮	
Gnorimus Otsukae N. et M.			—	—					
G. subopacus Mo's.		
Trichius abdominalis Ménér.			—						
T. fassiatius L.		—	—						Europe Kaukasus
T. japonicus Jans.	—	—							
T. 17-guttatus Voll.					—				
T. succinctus Pall.								—	Sibirien
Paratrichius Doenitzi Har.			—	—					
P. duplicatus Lew.						..			

VALGINAE.

ひらたはなむぐり亜科

Dasyvalgus angusticollis Waterh.			..	—					
D. formosanus Moser.						..			
Valgus tuberculatus Lew.			—						
Chromovalgus fumosus Lew.		..	—						
C. laetus Arrow.						..			
Hypovalgus thoracicus Moser.							..		

DYNASTINAE.

かぶとむし亜科

Xylotrupes dichotomus L.			—	—					China
Phileurus chinensis Fald.			—						China
Oryctes rhinoceros L.						—	—	..	Ceylon Sumatra Philippinen e'tc.
Alissonotum impressicolle Arrow.							—		Burma
Alissonotum crussum Arrow.							—		Burma
Alissonotum pauper Burm.							—		Philippinen

GRAPHYRINAE.

ひげぶとはなむぐり亜科

Anthypna pectinata Lew.			—						
-------------------------	--	--	---	--	--	--	--	--	--

注意 — ハ標本ヲ有スルモノ .. ハ記載ノミノモノヲ示ス

和名索引

	頁
あ	
あいろすじこがね.....	89
あいろはんのきこがね.....	109
あをあしながはなむぐり.....	188
あをいろはんのきこがね.....	108
あをいろひめこがね.....	103
あをうすちやこがね.....	119, 123
あをゑぐりこがね.....	143, 149
あをかなぶん.....	155, 157
あをしらほしはなむぐり.....	167
あをちやはんのきこがね.....	109
あをどうがね.....	84, 110
あをはなむぐり.....	16', 162
あかいろこはなむぐり.....	183
あかちやこがね.....	119, 126
あかびろうどこがね.....	25, 26
あかびろうどこがね屬.....	13, 24
あかまだらこがね.....	164
あかまだらこがね屬.....	163, 159
あしながこがね.....	77
あしながこがね亞科.....	11, 77
あしながこがね屬.....	77
あしながはなむぐり.....	186
あしながはなむぐり屬.....	186, 188
い	
いしがきはなむぐり.....	171, 172
いんどくろまるこがね.....	206, 207
いんぐりすま屬.....	153, 154
う	
うすきいろこがね.....	120, 127
うすちやいろこがね屬.....	83
うすちやこがね.....	119, 121
うすちやこがね屬.....	119
うちだまめこがね.....	131, 138
お	
おきなまめこがね.....	131, 132
おほくろこがね.....	44, 49
おほこふきこがね.....	60, 65

おほすぎむし.....	60
おほすじこがね.....	81, 89
おほちやいろはなむぐり.....	187
おほちやいろはなむぐり屬.....	183
おほとらふこがね.....	196
おほとらふこがね屬.....	196
おほひらたはなむぐり.....	201
おほひらたはなむぐり屬.....	193, 201
おほびろうどこがね.....	15, 23, 49
おほりうきうはなむぐり.....	179

か

かぎゑぐりこがね.....	146, 148
かきこがね.....	60
かたもんこがね.....	120
かなぶん.....	155
かなぶん屬.....	153, 155
かなぶん類.....	144, 153
かばいろあしながこがね.....	80
かばいろこがね.....	14, 18
かばいろこがね屬.....	57, 59
かばいろはなむぐり.....	171
かぶとむし.....	203
かぶとむし亞科.....	12, 203
からふとはなむぐり.....	171, 173
からふとちやいろこがね.....	30, 31
からふとひげちやいろこがね.....	14, 17
かんしよこがね屬.....	71
かんしよこがね類.....	71

き

きこがね.....	42
きこがね屬.....	40, 41
きすじこがね.....	119, 124
きばねまめこがね.....	131, 136
きようとはなむぐり.....	171, 174
きんすじこがね.....	81, 86

く

くはがたむし科.....	10
くりいろこがね.....	43, 44
くりいろひめこがね.....	103

くりんてりあ屬.....	115, 152
くろあしながはなむぐり.....	188, 199
くろかなぶん.....	155, 158
くろこがね類.....	39
くろこがね屬.....	43, 42
くろこがね.....	43, 47
くろちやいろこがね.....	34
くろはなむぐり.....	180
くろはなむぐり屬.....	160, 180
くろひめこがね.....	120, 129
くろほしびろうどこがね.....	15, 19
くろまるこがね屬.....	206
くろまるこがね.....	206, 208

こ

こあをはなむぐり.....	182
こあをはなむぐり屬.....	160, 181
こいちやこがね屬.....	83
こえろうでら屬.....	145, 152
こかぶとむし.....	234
こがねむし科.....	10
こがねむし類.....	10
こがねむし屬.....	83, 116
こがねむし.....	117
こくろこがね.....	43, 48
こしらほしはなむぐり.....	166
こすみをもるふあ屬.....	153
ごてんばこふきこがね.....	62
ことらはなむぐり.....	192, 193
こびろうどこがね屬.....	14, 35
こふきこがね.....	60
こふきこがね亞科.....	11, 39
こふきこがね屬.....	57, 59
こふきこがね類.....	55

さ

さいかちむし.....	203
ざうてるびろうどこがね.....	25, 28
ざうてるくろこがね.....	44, 48
さくらこがね.....	85, 93
まつまこふきこがね.....	60, 62

し

十七ほしはなむぐり.....	192, 195
----------------	----------

しまこびろうどこがね.....	36
しまこびろうどこがね屬.....	13, 36
じよなすひめこがね.....	84, 93
しらほしはなむぐり.....	165
しらほしはなむぐり屬.....	160, 165
しろこがね類.....	75
しろこがね.....	75
しろすじこがね.....	66
しろすじこがね屬.....	57, 66
しろちやいろこがね.....	31
しろてんはなむぐり.....	160, 171, 172
しろてんはなむぐり屬.....	171

す

すぎこがね.....	89
すぎむし.....	89
すじこがね.....	84, 87
すじこがね亞科.....	11, 82
すじこがね屬.....	83
すじこがね類.....	82
すじちやいろこがね.....	88

せ

せまだらこがね.....	120, 125
--------------	----------

た

だいくこがね類.....	10
たいほくこふきこがね.....	65
たいわんあをかなぶん.....	155, 157
たいわんあをどうがね.....	84, 113
たいわんおほくろこがね.....	44, 51
たいわんかぶとむし.....	205
たいわんくりいろこがね.....	43, 46
たいわんくろこがね.....	43, 45
たいわんこふきこがね.....	60, 64
たいわんしらほしはなむぐり.....	165, 167
たいわんとらはなむぐり.....	188, 189
たいわんひげこがね.....	69
たいわんひめびろうどこがね.....	25, 27
たいわんひめすじこがね.....	85, 98
たいわんびろうどこがね.....	27
たいわんまめこがね.....	131, 135
たいわんくろこがね.....	43
たんばひめこがね.....	120, 128

ち

ちやいろおほすじこがね..... 91
ちやいろこがね..... 141
ちやいろこがね屬..... 13, 29, 141
ちやいろこがね類..... 140
ちやいろすじこがね..... 85, 95
ちやいろゑぐりこがね..... 146, 147
ちやばねはんのきこがね..... 109
ちやばねまめこがね..... 131, 137

つ

つきがたまめこがね..... 131, 139
つしますじこがね..... 92
つのがね屬..... 144
つのがね類..... 144
つのかなぶん..... 154
つのかなぶん屬..... 153
つやあをはなむぐり..... 161, 162
つやこがね..... 85, 106

て

てうせんかばいろこがね..... 59
てうせんかんしよこがね..... 72, 73
てうせんきこがね..... 40
てうせんきこがね屬..... 40, 57
てうせんくろこがね..... 44, 50
てうせんこふきこがね..... 60, 63
てうせんしらほしはなむぐり..... 167
てうせんはんのきこがね..... 85, 99
てうせんひめこがね..... 85, 97
てうせんひめとらはなむぐり..... 192, 194
てうせんひめすじこがね..... 84, 94
てうせんひらたあをこがね..... 83
てうせんびろうどこがね..... 15, 23
てうせんまめこがね..... 131, 133

と

どろがねぶいぶい..... 84, 112
とうきようこがね..... 83, 105
どげひらたはなむぐり..... 200
とげひらたはなむぐり屬..... 198, 200
とらはなむぐり..... 192
とらはなむぐり亞科..... 11, 186

とらはなむぐり屬..... 186, 191
とびいろびろうどこがね..... 26

な

ながちやこがね..... 57
ながちやこがね屬..... 57
なへどこあかこがね..... 30
なへどこちやいろこがね..... 30
ならのちやいろこがね..... 120, 121
ならのちやいろこがね亞屬..... 83

ね

ねをせりか屬..... 14, 37

は

はいいろはなむぐり..... 176
はいいろはなむぐり屬..... 160, 176
はいいろびらうどこがね..... 15
はいぼぼるがす屬..... 198, 202
はなむぐり..... 160, 161
はなむぐり亞科..... 11, 143
はなむぐり區..... 144
はなむぐり屬..... 100
はなむぐり類..... 144, 159
はんのきこがね..... 85, 107
はんのひめこがね..... 84, 109

ひ

ひげこがね..... 68
ひげこがね屬..... 67
ひげちやいろこがね..... 14, 16
ひげながこがね屬..... 57
ひげながちやいろこがね..... 16
ひげぶとはなむぐり..... 209
ひげぶとはなむぐり亞科..... 12, 209
ひげぶとはなむぐり屬..... 209
ひだちやいろこがね..... 30, 32
ひめかんしよこがね..... 72
ひめくろこがね..... 54
ひめくろこがね屬..... 54
ひめこがね..... 85, 101
ひめきくらこがね..... 85, 104
ひめすじこがね..... 118

ひめちやいろこがね.....	14, 15
ひめどうがね.....	84, 111
ひめとらはなむぐり.....	192, 193
ひめはなむぐり.....	79
ひめはなむぐり亞科.....	12
ひめはなむぐり屬.....	77, 79
ひめびろうどこがね.....	15, 20
ひらたあをこがね.....	83, 91
ひらたはなむぐり.....	199
ひらたはなむぐり亞科.....	11, 198
ひらたはなむぐり屬.....	198
びろうどこがね.....	15, 21
びろうどこがね亞科.....	11, 13
びらうどこがね屬.....	13, 14

ふ

ぶらあみな屬.....	40, 55
-------------	--------

へ

片角類.....	10
----------	----

ほ

ほそこがね.....	70
ほそこがね屬.....	55, 70
ほそすじこがね.....	81, 94
ほそはなむぐり.....	185
ほそはなむぐり區.....	144, 184
ほそはなむぐり屬.....	184
ほつほゑぐりこがね.....	146, 150
ほりしやくろこがね.....	44, 52
ほりしやくろまるこがね.....	206

ま

まめこがね.....	131
------------	-----

まめこがね屬.....	82, 130
まるがたびらうどこがね.....	25
まるをくろこがね.....	44, 52

み

みどりしらほしはなむぐり.....	165
みどりはなむぐり.....	169
めどりひめこがね.....	102
みやこしらほしはなむぐり.....	165
みやこはなむぐり.....	170

む

むらさきおほはなむぐり.....	168, 165
むらさきてうせんはんのきこがね.....	100

よ

よつすじゑぐりこがね.....	146
-----------------	-----

り

りうきうかんしよこがね.....	72, 73
りうきうはなむぐり.....	178
りうきうはなむぐり屬.....	160, 178
りぞとらうぐす屬.....	40, 56

る

るりまめこがね.....	130, 134
--------------	----------

れ

れうゐすちやいろこがね.....	30, 33
れんちこがね.....	85, 100

ゑ

ゑぐりこがね屬.....	145
ゑぐりこがね類.....	144, 145

學名索引

- A**
- Adoretina. 82, 140
 Adoretus Laporte. 141
 Adoretus tenuimaculatus Waterh. 141
 Alissonotum Arrow. 203, 206
 Alissonotum crussum Arrow. 206, 207
 A. impressicolle Arrow. 206
 A. pauper Burm. 206, 208
 Anomala Samouelle. 83,
 A. albopilosa Hope. 81, 110
 A. albopilosa immarginata Reitt. 111
 A. auracoides Ohaus. 84, 94
 A. castaneoventris Bats. 115
 A. chamaeleon Fairm. 114
 A. chloroderma Arrow. 115
 A. corpulenta Mots. 85, 95
 A. corrugata Bats. 114
 A. costata Hope. 81, 89
 var. flavipennis Ohaus. 91
 var. incuprata Ohaus. 90
 A. costifera Reitt. 84, 94
 A. cuprea Hope. 84, 112
 A. cupripes Hope. 116
 A. daimiana Har. 85, 96
 A. difficilis Waterh. 114
 A. expansa Bats. 84, 113
 A. geniculata Mots. 85, 104
 A. holosericea Fabr. 84, 86
 var. holocypria Ohaus. 86
 var. carbonaria Ohaus. 87
 A. ignicolor Reitt. 114
 A. inconcinna Bats. 114
 A. Jonasi Ohaus. 84, 93
 A. Lenzi Ohaus. 85, 100
 A. libidinosa Ohaus. 115
 A. limbifera Ohaus. 85, 98
 A. lucens Ballion. 85, 106
 A. luculenta Er. 85, 99
 var. purpurea N et K. 100
 var. rufofemorata Reitt. 100
 A. Mongolica Motsch. 99
 A. Motschulakyi Har. 85, 107
 var. aptena Ohaus. 109
 var. rufoviola Ohaus. 109
 var. violacea Ohaus. 109
 var. viridiaenea Ohaus. 102
 var. viridicuprea Ohaus. 108
 A. multistriata Mots. 84, 109
 A. octocostata Burm. 91, 92
 A. octiescostata Burm. 83, 91
 A. plagiocollis Fairm. 116
 A. pleurimargo Reitt. 85, 97
 A. poecilochalcea Ohaus. 115
 A. polianor Ohaus. 115
 A. puncticollis Harold. 110
 A. rufocuprea Mots. 85, 101
 var. castanipennis Ohaus. 103
 var. violacea Ohaus. 103
 var. viridiaenea Ohaus. 102
 var. viridicuprea Ohaus. 102
 A. sagax Ohaus. 115
 A. Schönfeldti Ohaus. 114
 A. Sieversi Heyd. 83, 92
 var. subpurpurea Reitt. 93
 var. atrocoerulea Reitt. 93
 A. sinipyga Ohaus. 115
 A. streptopyga Ohaus. 115
 A. Sauteri Ohaus. 115
 A. testaceipes Mots. 84, 87
 var. anocypria Ohaus. 89
 var. cypriptera Ohaus. 89
 var. ochrochalcea Ohaus. 88
 var. ochroptera Ohaus. 88
 A. tokioensis N. et K. 85, 105, 225
 A. trachypyga Bats. 116
 A. triangularis Schönf. 114
 A. viridana Kolbe. 84, 111
 A. xanthopleura Arrow. 115
 Anthracophora Burmeister. 159, 163
 A. rusticola Burm. 164
 Anthypna Latr. 209
 A. pectinata Lew. 209
 Apogonia Kirby. 71
 A. amida Lew. 72
 A. bicarinata Lew. 74
 A. bicavata Arrow. 72, 73
 A. cupreoviridis Kolbe. 72, 74
 var. fusana Kolbe. 74
 A. major Waterh. 74
 A. niponica Lew. 75
 A. splendida Bohem. 72
 Autoserica Brenske. 13, 24
 Autoserica cariniceps Mos. 29
 A. castanea Arrow. 29
 A. formosae Brensk. 25, 27
 A. infuscata Mos. 29
 A. invenusta Mos. 29
 A. japonica Mots. 25, 23
 A. koreana Mos. 29

A. opaciventris Mos.	20
A. Sauteri Mos.	25, 28
A. secreta Brensk.	25

B

Brahmina Blanch.	40, 55
B. crenicollis Mots.	55
B. excisiceps Mos.	56
B. intermedia Mannerh.	55

C

Callynomes Westwood.	184
C. obsoletus Fairm.	185
Calopotosis aeorata Erichson.	172
Calop. ishigakia Fairm.	172
Castanea Waterh.	44
Cetoninae.	11, 143
Cetoniina.	144
Cetoniides.	144, 159
Cetonia Fabricius.	160
C. Bodemeyeri Curtl.	163
C. hondana Arrow.	163
C. orientalis Gory et Perch.	169
C. pilifera Mots.	160, 161
C. prasinata Bourg.	163
C. Roelofsi Harold.	161, 162
var. nitidula Reitt.	161, 163
var. villifrons Reitt.	163
Chromovalgus Kolbe.	198, 201
C. fumosus Lew.	201
C. laetus Arrow.	202
Clinteria Burmeister.	145, 152
Clinteria aeneofusca Bourg.	152
Coelodera Hope.	145, 152
C. nigroscutellaris Moser subsp. formosana Moser.	153
Coprophagides.	10
Cosmiomorpha Saund.	153, 155
C. similis Fairm.	155
Cremastochilina.	144, 184

D

Dasyvalgus Kolbe.	198
Dasyvalgus angusticollis Waterh.	199
D. formosanus Moser.	199
Dicranoccephalus Westwood.	144
D. Adamsi Pasc.	145
D. Bourgoini Pouillande.	145
D. Bowringi Pasc.	145
Diprotaxida.	39, 71
Dynastinae.	12, 233

E

Ectinohoplia Redtenbacher.	77, 79
----------------------------	--------

E. rufipes Mots.	79, 80
E. obducta Mots.	79
Euchlora albopilosa Hope.	110
E. chloroderma Arrow.	115
E. expansa Bates.	1
Eucetonia pilifera Mots.	161

G

Gastroserica Brenske.	13, 33
Gastroserica bicolor N. et M.	36, 220
G. Herzi Heyd.	36
Glaphyrinae.	12, 200
Glycetonina fulvistemma Mots.	180
Glycyphana Burm.	160, 180
G. albasetosa Mots.	182
G. argyrostrata Burm.	182
G. fulvistemma Mots.	180
var. Sieboldi Snell.	181
G. incongrua Jans.	181
Gnorimus Serv.	186, 188
G. subopacus Mots.	191
G. formosanus N. et M.	188, 189, 236
G. Otsukae N. et M.	188, 190, 236
G. viridiopacus Lew.	188
Goliathides.	144
Granida Motsch.	57, 66
G. albolineata Mots.	66
Gymnogaster Blanch.	56, 70
Gymnogaster Ezakii N. et K.	70, 223

H

Heptophylla Motsch.	57
H. picea Mots.	57
Heterorrhides.	144, 153
Hilyotrogus Fairm.	57, 58
H. bicoloratus Heyd.	59
Holotrichia Hope.	43, 42
H. castanea Waterh.	43, 44
H. convexopyga Mos.	44, 52
H. diomphalia Bats.	44, 50
H. formosana Mos.	43, 43
H. horishana N. et K.	44, 52, 221
H. kiotoensis Brensk.	43, 47
H. morosa Waterh.	44, 40
H. niponensis Lew.	54
H. picea Waterh.	43, 48
H. pruinosa N. et K.	44, 51, 221
H. Sauteri Mos.	44, 48
H. sinensis Hope.	43, 45
H. transversa Mots.	53
Hopliinae.	11, 77
Hoplia Illiger.	77
H. communis Waterh.	77
H. gracilipes Lew.	79

<i>H. koreana</i> Moser.....	79
<i>H. maculata</i> Bats.	78
<i>H. moerens</i> Waterh.....	78
<i>H. Reinii</i> Heyd.....	78
<i>Hoplosternus japonicus</i> Harold.....	61, 66
<i>Hypovalgus</i> Kolbe.....	198, 202
<i>Hypovalgus thoracicus</i> Mos.	202

I

<i>Ingrisma</i> Fairm.....	153, 154
<i>I. insulana</i> Mos.	155
<i>I. paralleiceps</i> Bourg.....	155

L

<i>Lachnosterna niponensis</i> Lew.....	54
<i>Lamellicornia</i>	10
<i>Lepidota cratacea</i> N. et M.	75, 224
<i>Leucopholida</i>	30, 75
<i>Liocola</i> Thoms.	160, 165
<i>L. brevitarsis</i> Lew.....	165
<i>var. crassa</i> Harold.	167
<i>var. seulensis</i> Kolbe.	167
<i>var. viridis</i> Kraatz.	167
<i>L. formosana</i> Mos.	165, 167
<i>L. insperata</i> Lew.	165, 168
<i>L. Lenzi</i> Har.	171
<i>L. miyakoensis</i> N. et K.	165, 170, 233
<i>L. speculifera</i> Swartz.....	165, 169
Lucanidae.	10

M

Macronotides.	144, 145
<i>Macronota Hoffmannsegg</i>	145
<i>M. flavofasciata</i> Mos. subsp. <i>formosana</i> Mos.	152
<i>M. formosana</i> N. et M.	146, 230
<i>M. fuscomaculata</i> N. et K.	146, 147, 229
<i>M. hopponus</i> N. et M.	146, 150, 232
<i>M. kagiensis</i> N. et K.....	146, 148, 231
<i>M. lata</i> Bourg.	151
<i>M. procera</i> Bourg.	152
<i>M. proxima</i> Bourg.	151
<i>M. viridula</i> N. et M.	146, 149, 232
<i>Maladera japonica</i> Mots.	26
<i>M. orientalis</i> Mots.	21
Melolonthinae.	11, 39
Melolonthides.	10
Melolonthina.	39, 56
<i>Melolontha</i> Fabr.	57, 59
<i>M. frater</i> Arrow.	60, 65
<i>M. incana</i> Mots.	60, 63
<i>M. insulana</i> Moser.....	60, 64
<i>var. taihokuensis</i> N. et K.	65
<i>M. japonica</i> Burm.	60
<i>var. gotenbaensis</i> N. et K.	62

<i>M. satsumaensis</i> N. et K.	60, 62, 223
<i>Microserica</i> Brenske	14, 35
<i>M. Brenskei</i> Reitt.	35, 36
<i>M. brevicornis</i> Lew.	35
<i>M. higonia</i> Lew.....	35
<i>M. nikkoensis</i> Brensk.	35
<i>Microtrichia</i> Brenske.	54
<i>M. formosana</i> Mos.	54
<i>Mimela</i> Kirby.	83, 116
<i>M. Gaschkewitchi</i> Motsch.....	117
<i>M. flavilabris</i> Waterh.	116, 118
<i>M. fusania</i> Bats.	119
<i>M. lucidula</i> Hope.	116, 117
<i>var. corsca</i> Heyd.	117
<i>var. splendens</i> Gyll.....	117
<i>M. splendens</i> Gyll. <i>var. cyanicollis</i> Ohaus.....	119
<i>M. testaceoviridis</i> Blanch.	118
<i>Miridiva</i> Reitter.	40
<i>M. koreana</i> N. et K.	40, 221
<i>M. trichophorus</i> Fairm.....	40

N

<i>Neoserica</i> Brenske.....	14, 37
<i>N. angulata</i> Lew.	38
<i>N. macrophthalma</i> Mos.	38
<i>N. quadrifoliata</i> Lew.	38

O

<i>Ophthalmoserica boops</i> Waterh.	16
<i>Oryctes rhinoceros</i> L.	205
<i>Osmoderma</i> Serville.	186
<i>O. barnabita</i> Mots.	187
<i>O. opica</i> Lew.	187
<i>Oxycetonia</i> Arrow.	160, 181
<i>O. costigera</i> Bourg.	184
<i>O. forticula</i> Jans.	184
<i>O. jucunda</i> Fald.	182
<i>var. ferruginosa</i> Reitt.	183

P

<i>Pachnotosia brevitarsis</i> Lewis.	165
<i>Paratrachius</i> Janson.	186, 196
<i>P. Doenitzi</i> Har.	196
<i>P. duplicatus</i> Lew.	197
<i>P. longicornis</i> Janson.....	196
<i>Phileurus chinensis</i> Fald.....	204
<i>Phyllopertha</i> Stephen.	119
<i>Ph. arenaria</i> Waterh.	120
<i>Ph. conspurcata</i> Har.	120
<i>Ph. diversa</i> Waterh.	119, 122
<i>Ph. fuscata</i> N. et K.	120, 123, 227
<i>Ph. intermixta</i> Arrow.	119, 123
<i>Ph. irregularis</i> Waterh.	119, 124

Ph. kiotoensis N. et K.	119, 126, 225
Ph. horticola Waterh.	123
Ph. maculicollis Reitt.	130
Ph. orientalis Waterh.	120, 125
Ph. pallidipennis Reitt.	120, 127
Ph. pubicollis Waterh.	120, 121
Ph. tanbaensis N. et K.	120, 128, 225
Poecilophilides rusticola Burm.	164
Pollaplonyx Waterh.	40, 41
P. fravidus Waterh.	42
Polyphylla Harris.	57, 67
P. formosana N. et M.	67, 69, 220
P. laticollis.	68
P. Schönfeldti Brenske.	67
Popillia Serville.	82, 130
P. atrocoerulea Bats.	131, 133
P. castanoptera Hope.	136
P. chlorion Newm.	140
P. comma N. et M.	131, 139, 223
P. formosana Arrow.	140
P. histeroidea Gyll.	131, 137
P. indigonacea Mots.	130, 134
P. insularis Lew.	140
P. japonica Newm.	131
P. lewisi Arrow.	131, 132
P. mongolica Arrow.	140
P. quadriguttata Fabr.	131, 136
P. Sauteri Ohaus.	140
P. taiwana Arrow.	131, 135
P. Uchidai N. et K.	131, 138, 227
Potosia Muls.	160, 171
P. aerata Erichson.	171, 172
P. exasperata Fairm.	176
P. famelica Jans. subsp. Amurensis Heyd.	176
P. formosana Mos.	176
P. grisea N. et M.	171, 175, 234
P. ishigakia Fairm.	171, 172
P. nitidiscutellata N. et K.	171, 174, 234
P. oschimana Nonfr.	178
P. purpureipes Matsumura.	171, 173
Protaetia Burmeister.	160, 176
P. culta Waterh.	178
P. orientalis G. et P.	177
P. spinosa Mos.	177
P. taiwana N. et M.	176, 235
Pyropotosia Reitter.	160, 178
Pyropotosia Lewisi Jans.	179
P. Pryeri Jans.	178

R

Rhizotrogina.	39
Rhizotrogus Latr.	40, 56
R. niponicus Lew.	56
Rhomborrhina Hope.	153, 155
Rhomborrhina aurora Bourg.	159
R. japonica Hope.	155
var. clypeata Burm.	156

R. formosana Mos.	155, 157
R. insularis Mos.	159
R. glauca J. Thomson.	156
R. pilifera Mos.	159
R. polita Waterh.	155, 158
R. squamuligera J. Thomson.	156
R. splendida Mos.	159
R. unicolor Mots.	155, 157
Rutelinae.	11, 82
Rutelina.	82

S

Scarabaeidae.	10
Sericinae.	11, 13
Serica M. 'Leay.	13, 14
S. boops Waterh.	14, 16
S. grisea Mots.	14, 15
var. formosana Shiraki.	28
S. famelica Brensk.	24
S. formosana Mos.	24
S. karafutoensis N. et K.	14, 17, 219
S. Motschulskyi Brensk.	15, 22
S. nigrovariata Lew.	15, 19
S. orientalis Mots.	15, 21
S. salebrosa Brensk.	15, 20
S. similis Lew.	14, 18
S. spissigrada Brensk.	15, 23
Sericania Reitter.	13, 29
S. hidana N. et K.	30, 32, 218
S. lewisi Arrow.	30, 33
S. mimica Lew.	30
S. sachalinensis Matsumura.	30, 31
S. shinanensis N. et K.	30, 34, 219
Spilota plagiicollis Fairm.	116

T

Torynorrhina japonica Hope.	156
Trichiinae.	11, 183
Trichius Fabricius.	186, 191
T. abdominalis Ménétr.	192, 193
T. bidentata Fabr.	136
T. fasciatus L.	192, 193
T. 17-guttatus Voll.	192, 195
T. japonicus Jans.	192
T. succinctus Pall.	192, 194
Trigonophorus Westwood.	153
Trigonophorus dilutus Bourg.	154
Trig. varians Bourg.	154

V

Valginae.	11, 198
Valgus Scriba.	198, 200
V. tuberculatus Lew.	200

X

Xylotrupes dichotomus. L.	203
--------------------------------	-----

圖 版 說 明

第 一 圖 版 (Taf. I)

Fig. 1. おほすじこがね	<i>Anomala costata</i> Hope.	89
1. a 1. b おほすじこがねノ變種	" " (Farbenvariationen.)	91
2. すじこがね	<i>Anomala testaceipes</i> Mots.	87
2. a 2. b すじこがねノ變種	" " (Farbenvariationen.)	88
3. さくらこがね	<i>A. dainiana</i> Har.	96
3. a. さくらこがねノ變種	" " (Farbenvariation.)	96
4. せまだらこがね	<i>Phyllopertha orientalis</i> Waterh.	125
5. ひらたあをこがね	<i>Anomala octiescostata</i> Burm.	91
6. あをえぐりこがね	<i>Macronota viridula</i> N. et M.	149,238
7. はんのきこがね	<i>Anomala Motschulskyi</i> Har.	107
8. とうきようこがね	<i>A. tokicensis</i> N. et K.	105,225
9. つきがたまめこがね	<i>Popillia comma</i> N. et M.	139,228
10. ひめさくらこがね	<i>Anomala geniculata</i> Mots.	104
11. はんのひめこがね	<i>A. multistriata</i> Mots.	109
12. ほつぼえぐりこがね	<i>Macronota hopponus</i> N. et M.	159,232
13. よつすじえぐりこがね	<i>Macro. formosana</i> N. et M.	146,230
14. たいわんとらはなむぐり	<i>Gnorimus formosanus</i> N. et M.	189,236
15. かぎえぐりこがね	<i>Macronota kagiensis</i> N. et K.	148,231
16. しろこがね	<i>Lepidota cratacea</i> N. et M.	75,224
17. とげひらたはなむぐり	<i>Valgus tuberculatus</i> Lew.	200
18. きすじこがね	<i>Phyllopertha irregularis</i> Waterh.	124

第 二 圖 版 (Taf. II)

(2)

Fig. 1. ほそこがね	<i>Gymnogaster Ezakii</i> N. et K.	70,223
2. ちやいろゑぐりこがね	<i>Macronota fuscomaculata</i> N. et K.	147,229
3. ほりしやくろこがね	<i>Holotrichia horishana</i> N. et K.	52,222
4. はいいろはなむぐり	<i>Protaetia taiwana</i> N. et K.	176,235
5. さつまこふきこがね	<i>Melolontha satsumaensis</i> N. et K.	62,223
6. みやこはなむぐり	<i>Liocola miyakoensis</i> N. et K.	170,233
7. くろちやいろこがね	<i>Sericania shimanoensis</i> N. et K.	34,219
8. しまびらうどこがね	<i>Gastroserica bicolor</i> N. et M.	36,220
9. 9a. ひだちやいろこがね	<i>Sericania hidana</i> N. et K.	32,218
10. きんすじこがね	<i>Anomala holosericea</i> Fabr.	86
11. ほそこがねノ觸角	<i>Gymnogaster Ezakii</i> N. et K. (Fühler)	70,223
12. しろこがねノ上唇	<i>Lepidota cratacea</i> N. et M. (Oberlippe)	75,224
13. しろこがねノ觸角	<i>Lepidota cratacea</i> N. et M. (Eühler)	75,224
14. ひげぶとはなむぐりノ觸角	<i>Anthypna pectinata</i> Lew. (Fühler)	209
15. ひげぶとはなむぐりノ前脚跗節	<i>Anthypna pectinata</i> Lew. (Vorderfuss)	209
16. てうせんきこがねノ觸角	<i>Miridiva koreana</i> N. et K. (Fühler)	40,221

第 三 圖 版 (Taf. III)

尺度ハ毫 mm.

Fig. 1. ひめちやいろこがね	<i>Serica grisea</i> Motsch.	15
2. かばいろこがね	<i>S. similis</i> Lew.	18
3. くろほしびらうどこがね	<i>S. nigrovariata</i> Lew.	19
4. ひげちやいろこがね	<i>S. boops</i> Waterh.	16
5. からふとひげちやいろこがね	<i>S. karafutoensis</i> N. et K.	17,219

6. ひめびらうどこがね	<i>S. salebrosa</i> Brenske.	20
7. おほびらうどこがね	<i>S. spiszigrada</i> Brenske	23
8. びらうどこがね	<i>S. orientalis</i> Mots.	21
9. てうせんびらうどこがね	<i>S. Motschulskyi</i> Brenske	22
10. あかびらうどこがね	<i>Autoserica japonica</i> Mots.	26
11. ざうてるびらうどこがね	<i>Aut. Sauteri</i> Mos.	28
12. まるがたびらうどこがね	<i>Aut. secreta</i> Brenske.	25
13. れうむすちやいろこがね	<i>Sericania Lewisi</i> Arrow.	33
14. からふとちやいろこがね	<i>Sericania achalinensis</i> Mats.	31
15. なへどちやいろこがね	<i>Sericania mimica</i> Lew.	30
16. たいわんひめびらうどこがね	<i>Autoserica formosae</i> Brenske.	27
17. りゆうきゆうかんしよこがね	<i>Apogonia bicavata</i> Arrow	73
18. ひめかんしよこがね	<i>Apogonia amida</i> Bohem.	72
19. てうせんかんしよこがね	<i>Apogonia cupreoviridis</i> Kolbe.	73
20. ちやいろこがね	<i>Adoretus tenuimaculatus</i> Waterh.	141
21. 同 上	" "	
22. をきなはまめこがね	<i>Popillia Lewisi</i> Arrow	182
23. てうせんまめこがね	<i>P. atrocoerulea</i> Bates.	132
24. るりまめこがね	<i>P. indigonacea</i> Mots.	134
25. ならのちやいろこがね	<i>Phyllopertha pubicollis</i> Waterh.	121
26. まめこがね	<i>Popillia japonica</i> New.	131
27. きばねまめこがね	<i>Popillia quadriguttata</i> Fabr.	138
28. かたもんちやいろこがね	<i>Phyllopertha conspurcata</i> Har.	120
29. きすじこがね	<i>Ph. irregularis</i> Waterh.	124
30. うすちやこがね	<i>Ph. diversa</i> Waterh.	122
31. あをうすちやこがね	<i>Ph. intermixta</i> Arrow.	123
32. 同 上	" "	
33. うすきいろこがね	<i>Ph. pallidipennis</i> Reitter.	127

(4)

34. くろひめこがね	Ph. fuscata N. et K.	129
35. ならのちやいろこがね	Ph. pubicollis Waterh.	121
36. うちだまめこがね	Popillia Uchidai N. et K.	138,227

第 四 圖 版 (Taf. IV)

Fig. 1. くりいろこがね	Holotrichia castanea Waterh.	44
2. たいわんくろこがね	H. sinensis Hope.	45
3. たいわんくりいろこがね	H. formosana Mos.	46
4. たいわんおほくろこがね古	H. pruinosa N. et K.	51,221
5. まるをくろこがね	H. convexopyga Mos.	52
6. くろこがね	H. kiotoensis Brenske.	47
7. ざうてるくろこがね	H. Sauteri Mos.	48
8. おほくろこがね	H. morosa Waterh.	49
9. ほりしやくろこがね	H. horishana N. et K.	52
10. たいわんおほくろこがね古	H. pruinosa N. et K.	51,221
11. こくろこがね	H. picea Waterh.	48
12. てうせんくろこがね	H. d'omphalia Bates.	50
13. ひめくろこがね	Microtrichia formosana Mos.	54
14. ながちやこがね	Heptophylla picea Motsch.	57
15. てうせんきこがね	Miridiva koreana N. et K.	40,221
16. てうせんかばいろこがね	Hilyotrogus bicoloratus Heyd.	59
17. おほこふきこがね	Melolontha frater Arrow.	65
18. こふきこがね	M. japonica Burm.	61
19. さつまこふきこがね	M. satsumaensis N. et K.	62,223
20. てうせんこふきこがね	M. incana Mots.	63
21. ひげこがね	Polyphylla laticollis Lew.	68
22. たいわんひげこがね	P. formosana N. et M.	69,229
23. たいわんこふきこがね	Melolontha insulana N. et K.	69,229

24. たいわんあをだうがね	<i>Anomala expansa</i> Bates.	118
25. あをどうがね	<i>A. albopilosa</i> Hope.	110
26. どうがねぶいぶい	<i>A. cuprea</i> Hope.	112
27. しろすじこがね	<i>Graniada albolineta</i> Mots.	66

第五圖版 (Taf. V.)

Fig. 1. あかまだらこがね	<i>Anthracophora rusticola</i> Burm.	164
2. きようとあをはなむぐり	<i>Potosia nitidiscutellata</i> N. et K.	174,234
3. てうせんしらほしはなむぐり	<i>Liocola brevitarsis</i> Lew. var <i>seulensis</i> Kolbe.	167
4. いしがきはなむぐり	<i>Potosia ishigakia</i> Fairm.	172
5. むらさきおほはなむぐり	<i>Liocola insperata</i> Lew.	168
6. みどりはなむぐり	<i>L. speculifera</i> Swartz.	169
7. かばいろはなむぐり	<i>Potosia grisea</i> N. et M.	175,234
8. はなむぐり	<i>Cetonia pilifera</i> Mos.	161
9. こあをはなむぐり	<i>Oxycetonia jukunda</i> Falderm.	182
10. くろはなむぐり	<i>Glycyphana fulvistemma</i> Mots.	180
11. あをはなむぐり	<i>Cetonia Roelofsi</i> Harold.	162
12. たいわんあをかなぶん	<i>Rhomborrhina formosana</i> Mos.	157
13. つのかなぶん	<i>Trigonophorus dilutus</i> Bourg.	154
14. みやこはなむぐり	<i>Liocola miyakoensis</i> N. et K.	170
15. あをかなぶん	<i>Rhomborrhina unicolor</i> Mots.	157
16. かなぶん	<i>Rh. japonica</i> Hope.	156
17. りゆうきゆうはなむぐり	<i>Pyropotosia pryeri</i> Jans.	178
18. たいわんしろほしはなむぐり	<i>Liocola formosana</i> Mos.	167
19. くろかなぶん	<i>Rhomborrhina polita</i> Waterh.	158
20. しろてんはなむぐり	<i>Potosia aerata</i> Er.	172

第六圖版 (Taf. VI)

Fig. 1. ことらはなむぐり	<i>Trichius fasiatus</i> L.	193
2. あをあしながはなむぐり	<i>Gnorimus viridiopacus</i> Lew.	188
3. おほとらふこがね	<i>Paratrichius Doenitzi</i> Har.	196
4. くろあしながはなむぐり	<i>Gnorimus Otsukae</i> N. et M.	190,236
5. ひげぶとはなむぐり	<i>Anthypna pectinata</i> Lew.	209
6. おほちやいろはなむぐり	<i>Osmoderma opica</i> Lew.	187
7. こかぶとむし	<i>Phileurus chinensis</i> Fald.	204
8. とらはなむぐり	<i>Trichius japonicus</i> Jans.	192
9. ほそすじこがね	<i>Anomala auracoides</i> Ohaus.	94
10. てうせんひめこがね	<i>Anomala pleurimargo</i> Reitt.	97
11. れんちこがね	<i>Anomala Lenzi</i> Ohaus.	100
12. おほりゆうきゆうはなむぐり	<i>Pyropotosia Lewisi</i> Jans.	179
13. てうせんひめすじこがね	<i>Anomala costifera</i> Reitt.	94
14. じよなすひめこがね	<i>Anomala Jonasi</i> Ohaus.	93
15. てうせんはんのきこがね	<i>Anomala luculenta</i> Er.	99
16. たいわんひめすじこがね	<i>Anomala limbifera</i> Ohaus.	98
17. あかちやこがね	<i>Phyllopertha kiotoensis</i> N. et K.	126,225
18. ひめはなむぐり	<i>Ectinohoplia obducta</i> Mots.	79,
19. かばいろあしながこがね	<i>Ectinohoplia rufipes</i> Mots.	80
20. ひめとらはなむぐり	<i>Trichius abdominalis</i> Ménétr.	193
21. たんばひめこがね	<i>Phyllopertha taubaensis</i> N. et K.	128,225
22. くろひめこがね	<i>Phyllopertha fuscata</i> N. et K.	129,227
23. てうせんひめとらはなむぐり	<i>Trichius succinctus</i> Pall.	194
24. あしながこがね	<i>Hoplia communis</i> Waterh.	77
25. 十七ほしはなむぐり	<i>Trichius 17-guttatus</i> Voll.	195

第七圖版 (Taf. VII)

金龜子類ノ雄交尾器 Genitalia

1. きんすじこがね	<i>Anomala holosericea</i> Fabr.	86
2. すじこがね	<i>A. testaceipes</i> Mots.	87
3. おほすじこがね	<i>A. costata</i> Hope.	89
4. てうせんひめこがね	<i>A. pleurimargo</i> Reitt.	97
5. ほそすじこがね	<i>A. auracoides</i> Ohaus.	94
6. れんちこがね	<i>A. Lenzi</i> Ohaus.	100
7. ひめこがね	<i>A. rufocuprea</i> Mots.	101
8. はんのひめこがね	<i>A. multistriata</i> Mots.	109
9. つやこがね	<i>A. lucens</i> Ballion.	106
10. はんのきこがね	<i>A. Motschulskyi</i> Har.	107
11. とうきようこがね	<i>A. tokicensis</i> N. et K.	106,225
12. こふきこがね	<i>Melolontha japonica</i> Burm.	61
13. さつまこふきこがね	<i>M. satsumaensis</i> N. et K.	62,223
14. しらほしはなむぐり	<i>Liocola brevitarsis</i> Lew.	165,
15. てうせんしらほしはなむぐり	<i>L. brevitarsis</i> L. var. <i>seulensis</i> Kolbe.	167
16. たいわんしらほしはなむぐり	<i>L. formosana</i> Mos.	167
17. みやこはなむぐり	<i>L. miyakoensis</i> N. et K.	170,241
18. きようとあそはなむぐり	<i>Potosia nitidiscutellata</i> N. et K.	174,234

